

令和 4（2022）年度
栃木県観光動態調査

報告書

令和 5（2023）年 3 月
栃木県産業労働観光部観光交流課

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的及び方法	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
(3) アンケート回答状況	2
2. 調査報告書の見方	3
(1) 調査地域区分	3
(2) 集計内容	4
(3) 集計対象サンプル数	6
(4) 集計値の誤差について	6
第2章 観光客調査 調査結果	7
1. 日帰り客	7
(1) 県全体	7
①令和4(2022)年度調査結果	7
②過去調査との比較	14
(2) エリア別	18
i. 日光エリア	18
ii. 那須エリア	25
iii. 県央エリア	32
iv. 県南エリア	39
v. 県東エリア	46
2. 宿泊客	53
(1) 県全体	53
①令和4(2022)年度調査結果	53
②過去調査との比較	60
(2) エリア別	65
i. 日光エリア	65
ii. 那須エリア	72
iii. 県央エリア	79
iv. 県南エリア	86
v. 県東エリア	93

参考資料

第1章 調査の概要

1. 調査の目的及び方法

(1) 調査目的

栃木県を訪れる旅行客の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、
「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行
い、その観光実態を把握し、観光動向を分析する。

(2) 調査概要

① 観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（15カ所）にて調査員が聞き取り（土日祝日から1日）

調査地点：

エリア	調査観光地点名
日光エリア 計3カ所	①二社一寺（日光東照宮）
	②華厳ノ滝（県営華厳第2駐車場）
	③東武ワールドスクウェア
那須エリア 計3カ所	④道の駅 那須高原友愛の森
	⑤那須ガーデンアウトレット
	⑥アグリパル塩原
県央エリア 計3カ所	⑦大谷資料館
	⑧道の駅 きつれがわ
	⑨道の駅 ばとう
県南エリア 計3カ所	⑩足利学校
	⑪佐野プレミアム・アウトレット
	⑫岩下の新生姜ミュージアム〔第4回：いちごの里〕
県東エリア 計3カ所	⑬道の駅 もてぎ
	⑭陶芸メッセ・益子
	⑮道の駅 はが

② 調査対象

調査地点を訪れるすべての方（日本人のみ）

③ 調査時期

第1回：令和4（2022）年6月25日（土）

第2回：令和4（2022）年9月10日（土）

第3回：令和4（2022）年12月3日（土）

第4回：令和5（2023）年1月28日（土）

(3) アンケート回答状況

①有効サンプル数：3,600件

	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	合計
観光地点調査	900件	900件	900件	900件	3,600件

②調査地点別回収結果

エリア	調査観光地点名	回収数	合計
日光エリア	①二社一寺（日光東照宮）	240	720
	②華厳ノ滝（県営華厳第2駐車場）	240	
	③東武ワールドスクウェア	240	
那須エリア	④道の駅 那須高原友愛の森	240	720
	⑤那須ガーデンアウトレット	240	
	⑥アグリパル塩原	240	
県央エリア	⑦大谷資料館	240	720
	⑧道の駅 きつれがわ	240	
	⑨道の駅 ばとう	240	
県南エリア	⑩足利学校	240	720
	⑪佐野プレミアム・アウトレット	240	
	⑫岩下の新生姜ミュージアム	180	
	〔第4回：いちごの里〕	60	
県東エリア	⑬道の駅 もてぎ	240	720
	⑭陶芸メッセ・益子	240	
	⑮道の駅 はが	240	

2. 調査報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

(1) 調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点の地域を以下のとおり区分した。

- ・日光、那須、県央、県南、県東の5エリア

なお、各観光地点に対する周辺地域の考え方は〈表1〉のとおり。

観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

〈表1〉 調査観光地点周辺地域

観光地点 エリア	観光地点名	周辺地域の範囲
日光エリア	①二社一寺（日光東照宮）	日光市
	②華厳ノ滝（県営華厳第2駐車場）	
	③東武ワールドスクウェア	
那須エリア	④道の駅 那須高原友愛の森	那須町
	⑤那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	⑥アグリパル塩原	
県央エリア	⑦大谷資料館	宇都宮市
	⑧道の駅 きつれがわ	さくら市、那須烏山市、高根沢町 那珂川町
	⑨道の駅 ばとう	那須烏山市、那珂川町
県南エリア	⑩足利学校	足利市
	⑪佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑫岩下の新生姜ミュージアム 〔第4回：いちごの里〕	栃木市 小山市
県東エリア	⑬道の駅 もてぎ	真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
	⑭陶芸メッセ・益子	益子町
	⑮道の駅 はが	真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

(2)集計内容

集計項目	集計方法	備考
お住まい	県全体 エリア別	回答者の住所を都道府県単位で集計し、栃木県を含む関東7都県及び福島県を表示し、それ以外を「その他」として集計。
性別・年代別	県全体 エリア別	回答者の性別及び年代を集計。なお、性別は男性、女性の2区分、年代は以下の5区分。 10・20代、30代、40代、50代、60代以上
旅行の主要目的	県全体	県外客が栃木県を訪れた主要目的を集計。区分は次の4区分。ビジネス、観光、帰省・知人訪問、その他
栃木県での滞在時間	県全体 エリア別 エリア比較	栃木県内の最初の「目的地」から最終「目的地」を離れるまでの時間を集計。なお、区分は以下の6区分。 2時間未満 2時間～4時間未満 4時間～6時間未満 6時間～8時間未満 8時間～10時間未満 10時間以上
宿泊旅程	県全体	宿泊の種類を集計。なお、区分は次の2区分。 県内のみ宿泊、県外を含む宿泊
栃木県内での宿泊日数	県全体 エリア別	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の栃木県内での宿泊数を集計。なお、区分は以下の5区分。 1泊、2泊、3泊、4泊、5泊以上
栃木県内での宿泊施設数	県全体	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の宿泊した施設の数を集計。なお、区分は以下の2区分。 1施設、2施設
栃木県内での利用宿泊施設	県全体	宿泊施設の分類を集計。なお、区分は10区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先に選んだ理由	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先に選んだ理由を集計。なお、区分は15区分（具体的な項目は調査票参照）。
同行者数	県全体 エリア別	今回の旅行の回答者を含む同行人数を集計。なお、区分は以下の8区分。 1人、2人、3人、4人、5人、6～10人、11～30人、31人以上
同行者の関係	県全体 エリア別	今回の旅行の同行者の関係を集計。なお、区分は8区分（具体的な項目は調査票参照）。
県外客の栃木県への来訪回数	県全体	栃木県への来訪回数を集計。なお、区分は以下の5区分。 初めて、2回目、3回目、4回目、5回目以上
調査地域周辺への来訪回数	エリア別	調査地域周辺への来訪回数を集計。現在地周辺とは調査地点の「周辺地域」を指し、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方はP.3〈表1〉の区分のとおり。
利用交通機関	県全体 エリア別	今回の旅行で利用した交通機関を集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。 選択肢で示した交通機関を利用したかしないかで集計。旅程内で一度でも利用すれば集計の対象とし、二度以上使った場合も1として集計。

集計項目	集計方法	備考
立ち寄り観光施設数	県全体	<p>今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）の合計数を集計。</p> <p>ここで対象としている観光施設（地点数）は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。そのため栃木県外の観光地点や下記のような観光施設とみなさない場所、不明確な場所は対象外としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設、実家、友人の家 ・ コンビニ、飲食店 ・ 鉄道の駅、高速道路のサービスエリア ・ 宇都宮、日光、鬼怒川、那須などの地名 <p>なお、調査に回答した観光地点はその数には含まない。 ※調査地点以外に立ち寄りがない場合は0地点と表す。</p>
立ち寄り観光施設	エリア別	<p>今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）。上記「立ち寄り観光施設数」と同様、ここで対象としている観光施設は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。</p>
旅行先に選んだ情報源	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源を集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先を選んだ“決め手”となった情報源	県全体 (年代別) エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源のうち“決め手”となったものを集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。
消費支出（平均）	県全体 エリア別	<p>栃木県内で消費した支出の総額及びその内訳を集計。内訳として表示する項目は以下の6項目。</p> <p>県内交通費、宿泊費、土産代、飲食費、入場料、その他</p> <p>なお、内訳項目のうちひとつでも記入がある場合には、それを総額とする。</p> <p>県内交通費については、以下の考え方により集計。</p> <p>回答者の回答がある場合：回答を集計。</p> <p>県外交通費のみの回答がある場合：居住県より県内外の距離を按分し集計。</p>
調査地域の総合満足度／再来訪意向	県全体 エリア別	<p>総合的な満足度：調査地点の周辺地域への訪問後の総合満足度を5段階で回答。</p> <p>また訪れたいか：調査地点の周辺地域への再来訪意向を5段階で回答。</p> <p>※「県全体」ではグラフの下に各項目の加重平均を表示。</p> <p>加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。</p> <p>なお、同設問に無回答である場合には、満足度・再来訪意向のn数からは除外。</p>

集計項目	集計方法	備考
項目別満足度 (加重平均値)	県全体 エリア別	県全体・調査地域に対する15の項目別の「満足度」についてまとめて表示。また、グラフの1行目には比較用として「調査地域の総合満足度」を表示し、グラフ右側には加重平均を表示。 なお、無回答の項目がある場合には、それぞれの項目のn数から除外。
調査地域の総合満足度・再来訪意向 (季節別/年代別)	県全体 エリア別	調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。季節別、年代別に調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。
栃木県の魅力	県全体 エリア別	栃木県の魅力が1位だと感じるものについて集計。 ※「エリア別」では上位5項目を表示。

(3)集計対象サンプル数

調査区分	アンケート 回収状況	集計区分	
		日帰り客	宿泊客(県内)
全体	3,600	2,413	1,140
日光エリア	720	309	400
那須エリア	720	418	298
県央エリア	720	470	242
県南エリア	720	585	128
県東エリア	720	631	72

※日帰り客・宿泊客(県内)については無回答の回答者がいたため、日帰り客と宿泊客(県内)の和が回収件数とはならない。

(4)集計値の誤差について

- 集計値は小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、nを100.0%として算出した。

第2章 観光客調査 調査結果

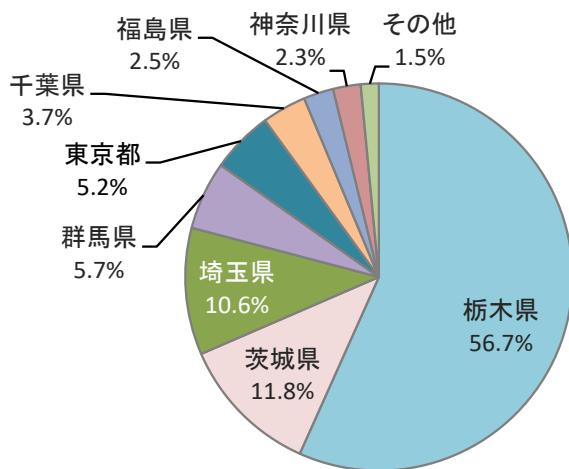
1. 日帰り客

(1) 県全体

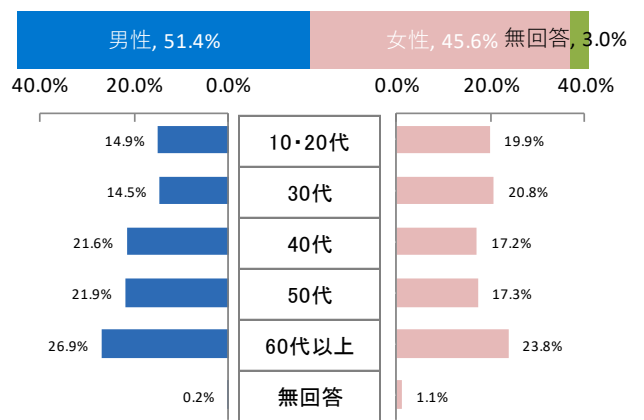
①令和4(2022)年度調査結果

お住まいは「栃木県」が56.7%で最も多く、次いで「茨城県」が11.8%、「埼玉県」が10.6%であった。
性別は、「男性」が51.4%、「女性」が45.6%であった。
年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性26.9%、女性23.8%であった。

お住まい (n=2,413)



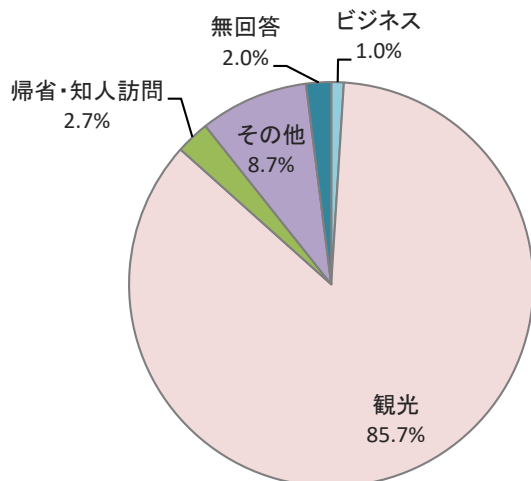
性別・年代 (n=2,413)



※年代別については性別が無回答のものを除外して集計しており、
ここでの無回答は年代が無回答の割合を指す。

旅行の主要目的は、「観光」が85.7%と8割半ばであった。

旅行の主要目的 (n=1,049)



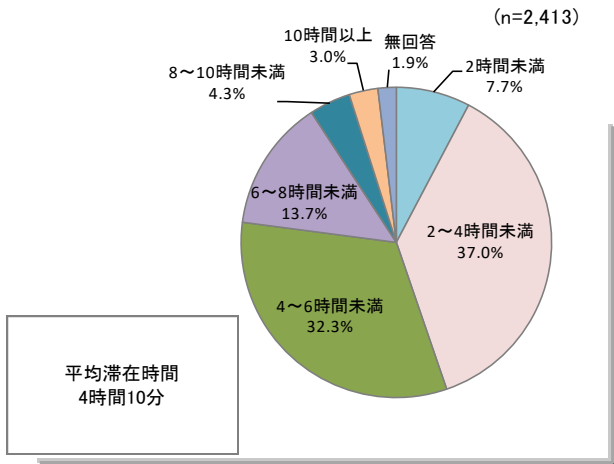
1. 日帰り客 (1) 県全体

栃木県での滞在時間は、県全体では、「2時間～4時間未満」が37.0%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が32.3%となり、合わせると『2時間～6時間未満』は69.3%となった。平均滞在時間は4時間10分であった。

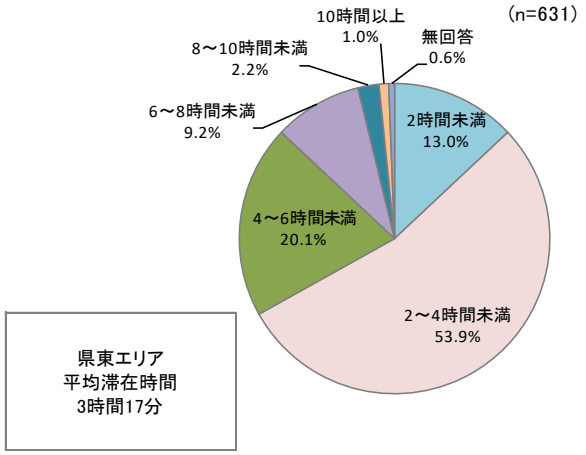
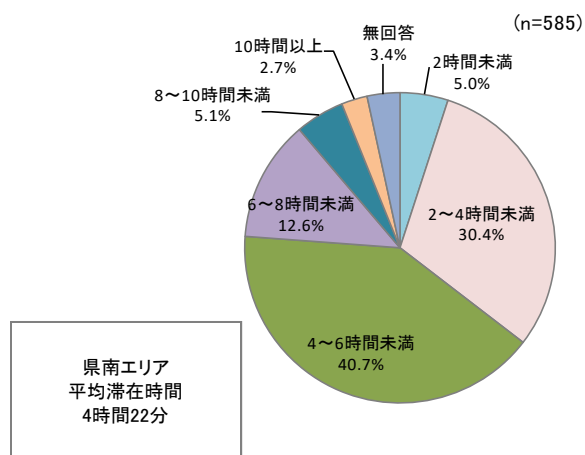
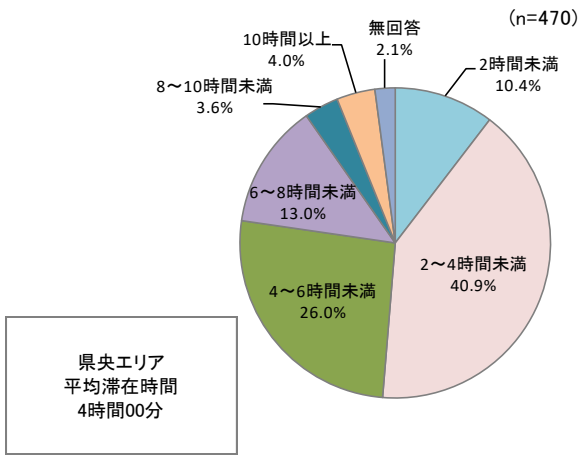
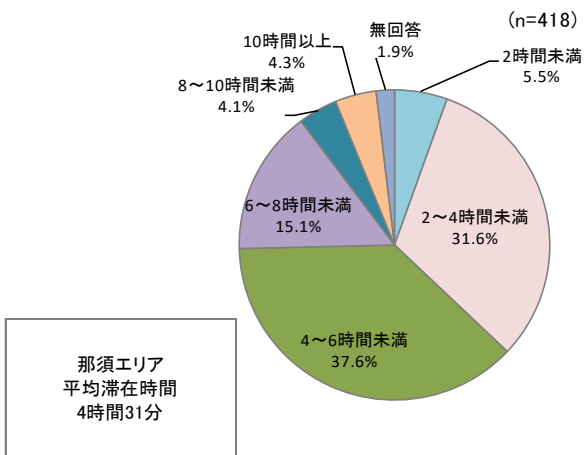
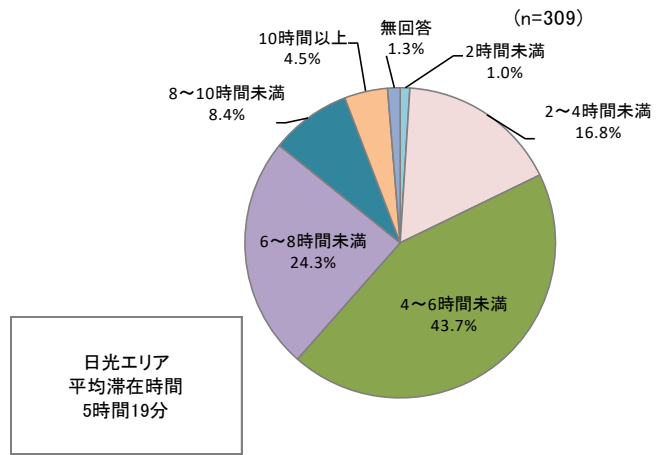
エリアごとに見ると、日光が5時間19分で最も長く、県東が3時間17分で最も短かった。「2時間未満」は県央と県東が1割を超えており、「10時間以上」は日光、那須、県央がいずれも4%以上と、他のエリアに比べてやや多かった。

栃木県での滞在時間

【県全体】

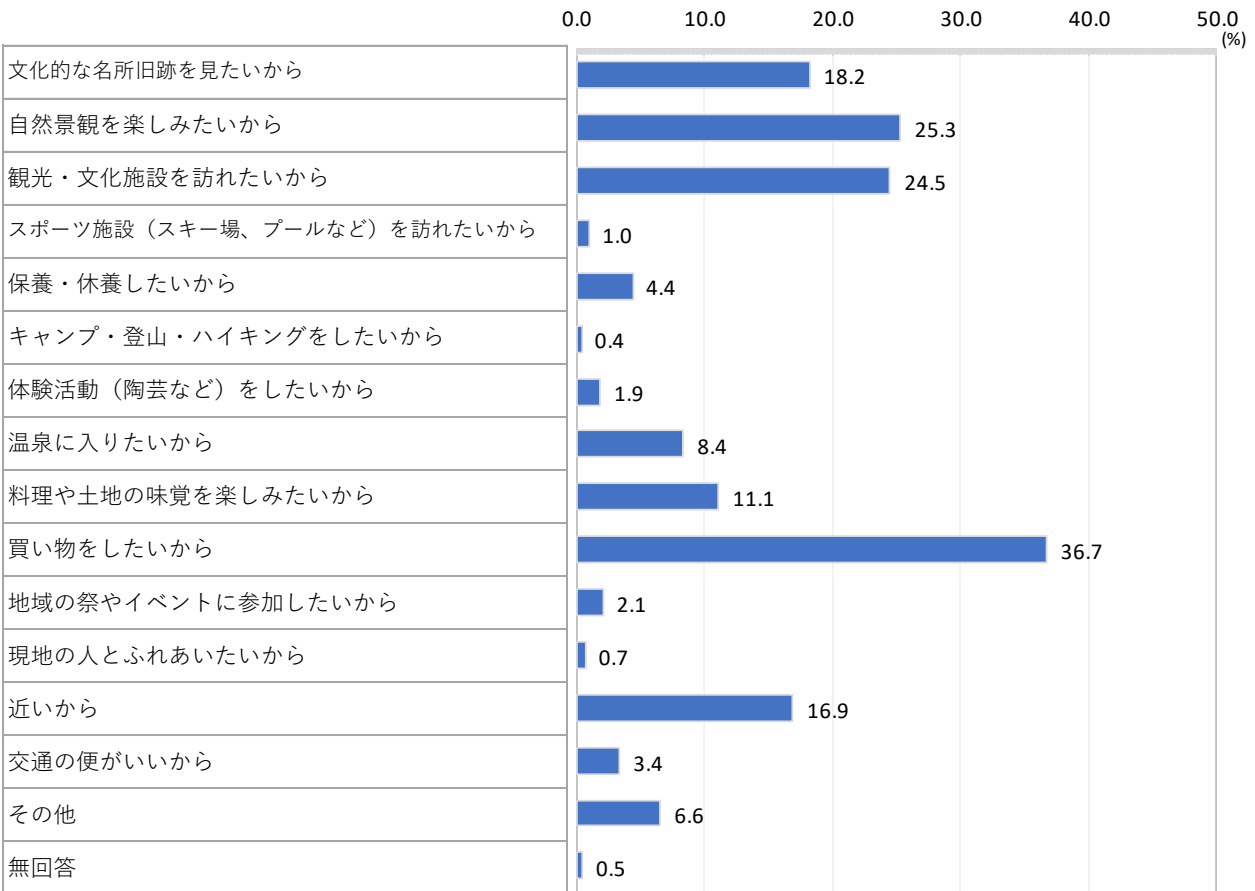


【エリア別】



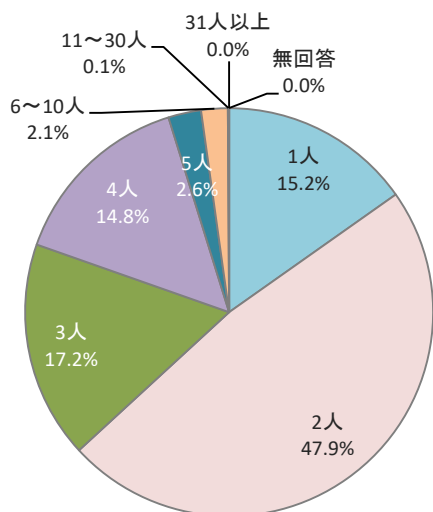
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が36.7%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が25.3%、「観光・文化施設を訪れたいから」が24.5%、「文化的な名所旧跡を見たいから」が18.2%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=2,413）

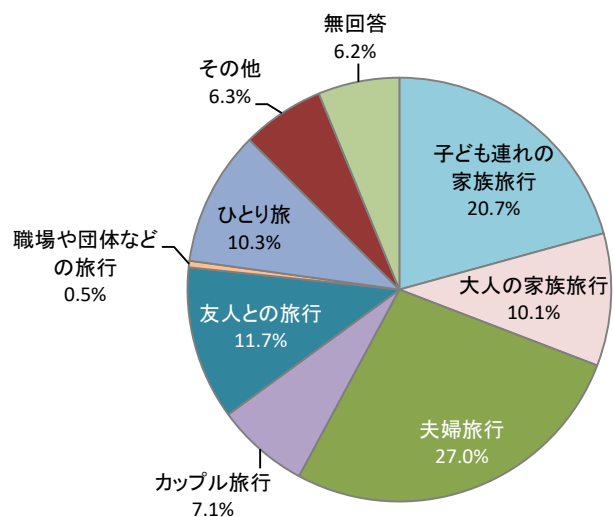


回答者を含む同行者数は、「2人」が47.9%で最も多く、次いで「3人」が17.2%、「1人」が15.2%であった。
 同行者の関係は、「夫婦旅行」が27.0%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が20.7%、「友人との旅行」が11.7%、「ひとり旅」が10.3%、「大人の家族旅行」が10.1%であった。

同行者数 ※回答者を含む（n=2,413）



同行者の関係（n=2,413）

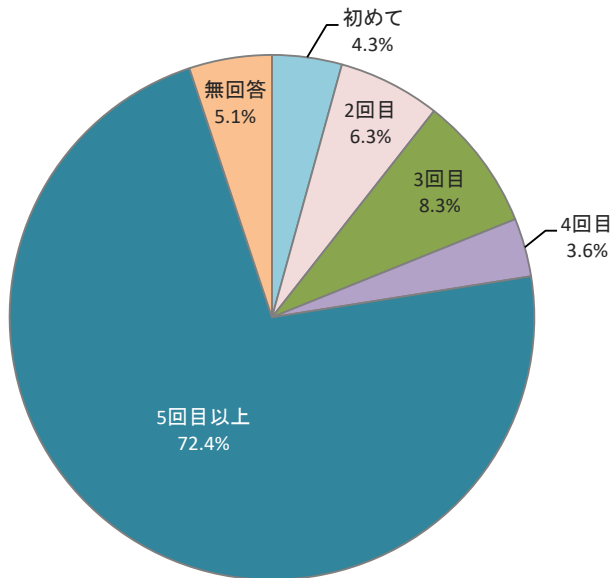


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

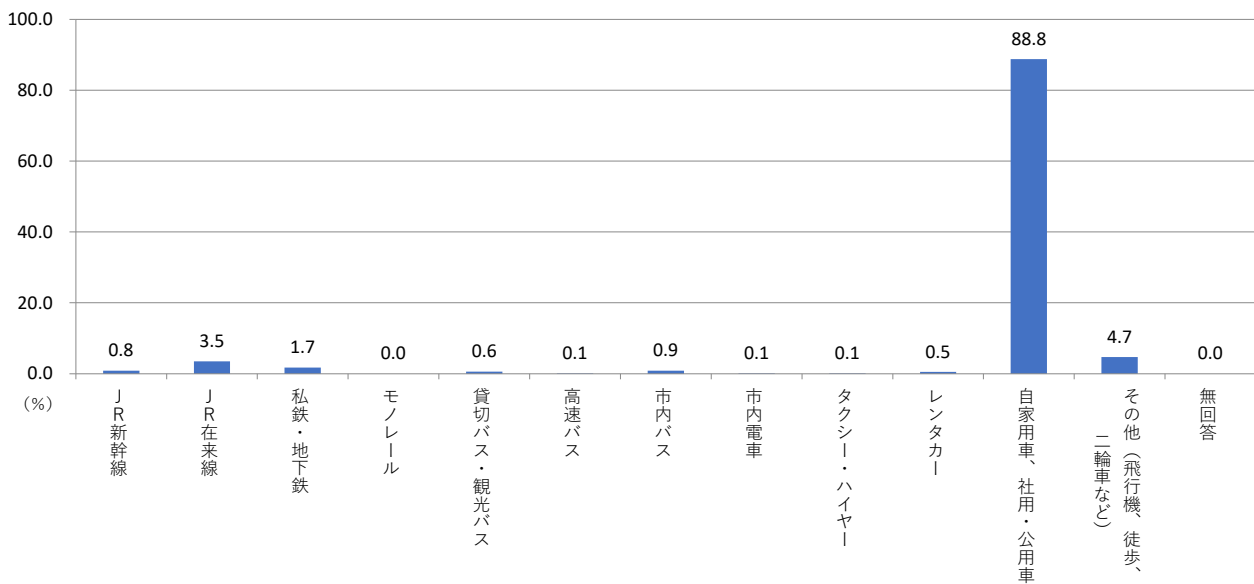
県外客の栃木県への来訪回数は、「5回目以上」が72.4%と7割強であった。一方、「初めて」は4.3%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1,049)

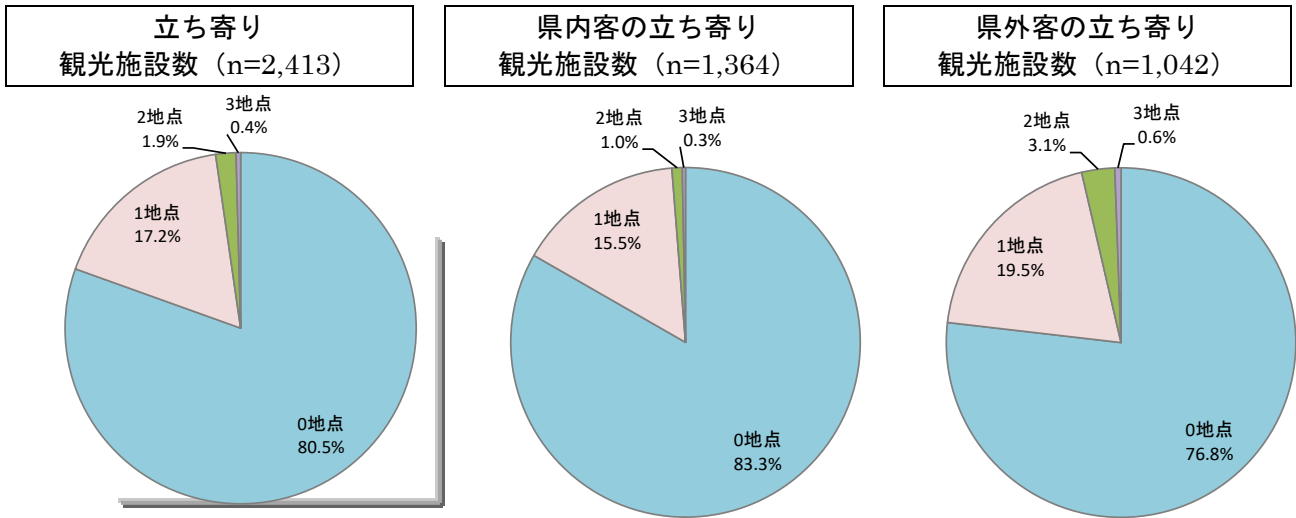


利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が88.8%で大半を占めた。その他の交通機関としては「その他（飛行機、徒歩、二輪車等）」が4.7%、「JR 在来線」が3.5%、「私鉄・地下鉄」が1.7%であった。

利用交通機関（複数回答） (n=2,413)

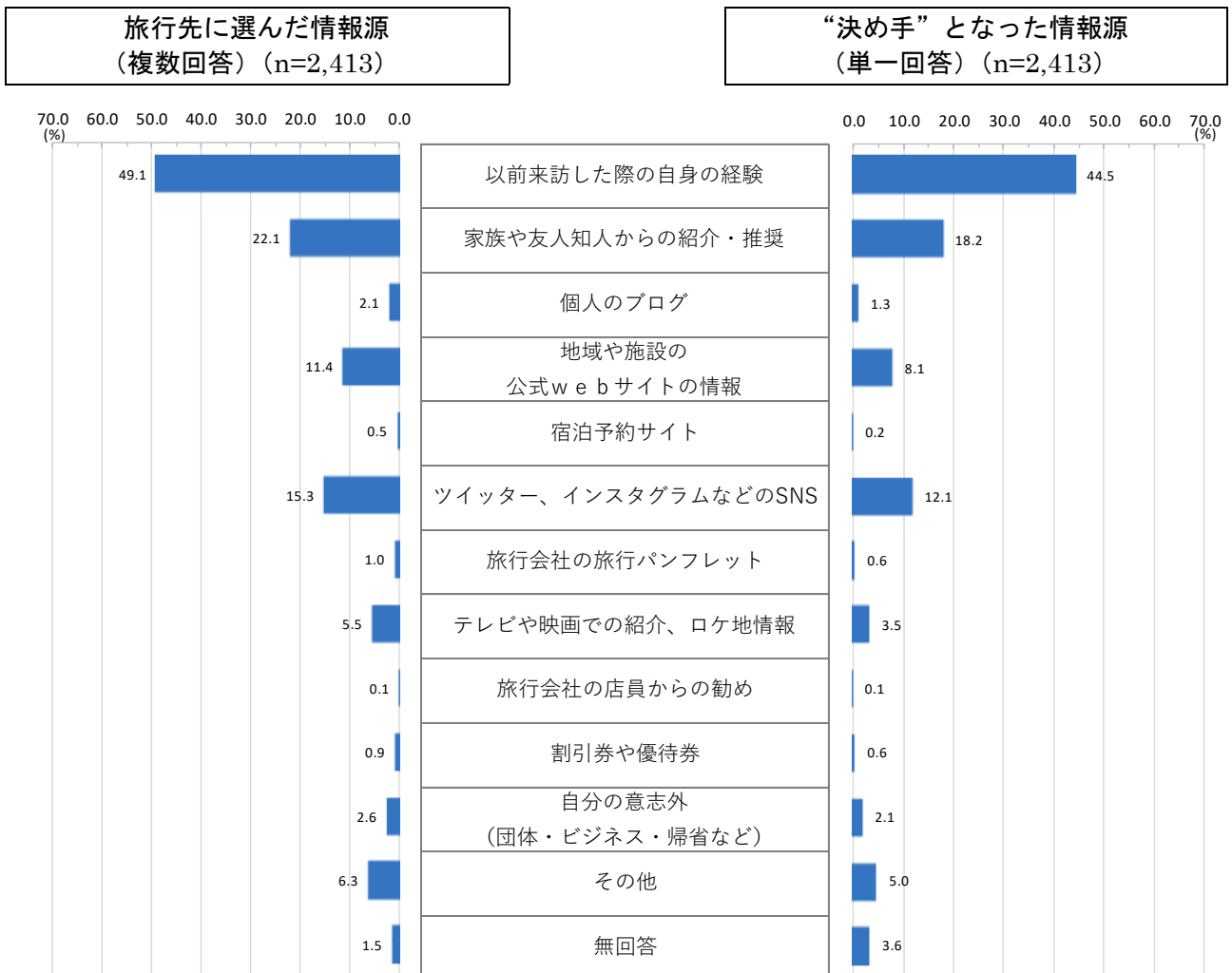


立ち寄り観光施設は、「0 地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が 80.5%で最も多く、次いで「1 地点」が 17.2%、「2 地点」が 1.9%であった。



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が 49.1%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 22.1%であった。

“決め手”となった情報源は、旅行先に選んだ情報源と同様に「以前来訪した際の自身の経験」が 44.5%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 18.2%であった。



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

※全体で回答数の多い順（「無回答」を除く）

(%)

NO.	全体 (n=2,413)	
1	以前来訪した際の自身の経験	44.5
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	18.2
3	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	12.1
4	地域や施設の公式webサイトの情報	8.1
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.5
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.1
7	個人のブログ	1.3
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.6
9	割引券や優待券	0.6
10	宿泊予約サイト	0.2
11	旅行会社の店員からの勧め	0.1
12	その他	5.0

NO.	10・20代 (n=422)	
1	以前来訪した際の自身の経験	32.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.4
3	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	23.5
4	地域や施設の公式webサイトの情報	5.5
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.8
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.8
7	個人のブログ	2.8
8	旅行会社の旅行パンフレット	1.2
9	割引券や優待券	1.2
10	宿泊予約サイト	0.7
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	2.6

NO.	30代 (n=417)	
1	以前来訪した際の自身の経験	35.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	14.9
3	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	23.3
4	地域や施設の公式webサイトの情報	10.8
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.4
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	1.4
7	個人のブログ	1.7
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.7
9	割引券や優待券	0.5
10	宿泊予約サイト	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	4.1

NO.	40代 (n=466)	
1	以前来訪した際の自身の経験	42.1
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	21.2
3	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	13.1
4	地域や施設の公式webサイトの情報	9.2
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.1
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	1.5
7	個人のブログ	1.9
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.2
9	割引券や優待券	0.6
10	宿泊予約サイト	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	4.3

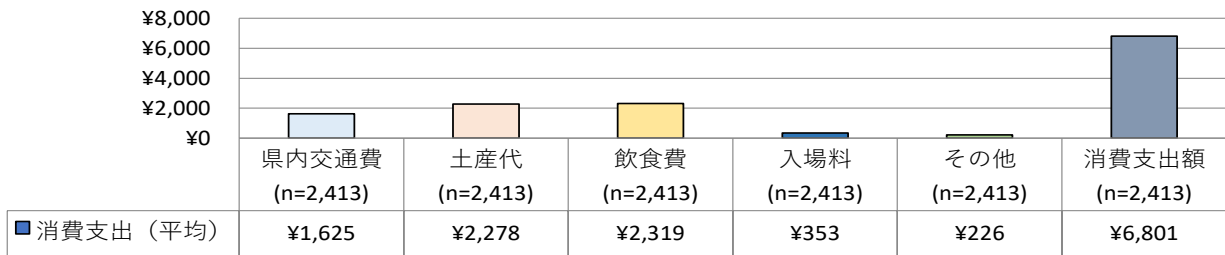
NO.	50代 (n=479)	
1	以前来訪した際の自身の経験	47.6
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.2
3	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	5.2
4	地域や施設の公式webサイトの情報	10.9
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.5
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.3
7	個人のブログ	0.2
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.0
9	割引券や優待券	0.4
10	宿泊予約サイト	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	6.9

NO.	60代以上 (n=610)	
1	以前来訪した際の自身の経験	58.4
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	16.6
3	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	1.8
4	地域や施設の公式webサイトの情報	5.2
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.4
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.5
7	個人のブログ	0.5
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.7
9	割引券や優待券	0.5
10	宿泊予約サイト	0.3
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	6.2

※全体 (n=2,413) には年代無回答の方が含まれているため、各年代の合計と一致しない。

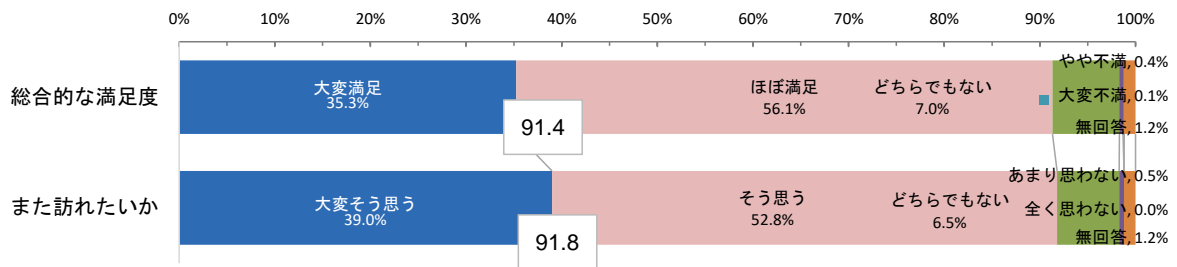
日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、総額で6,801円であった。
内訳は、「飲食費」が2,319円で最も多く、次いで「土産代」が2,278円であった。

消費支出（平均）



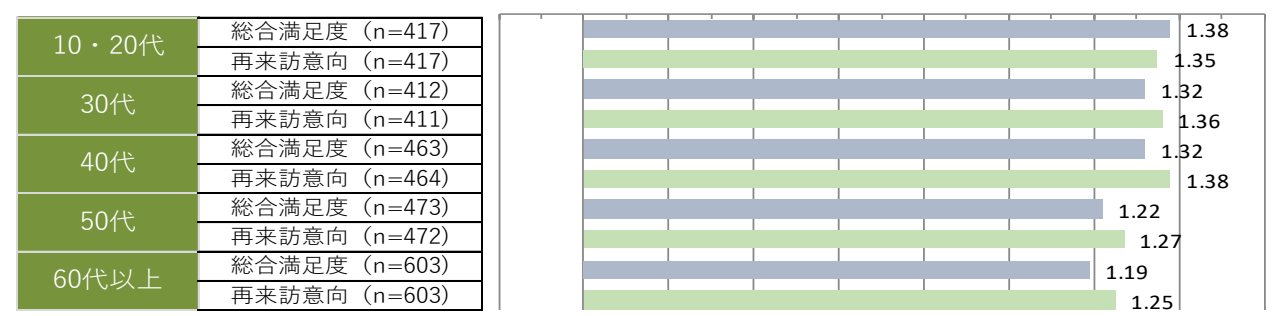
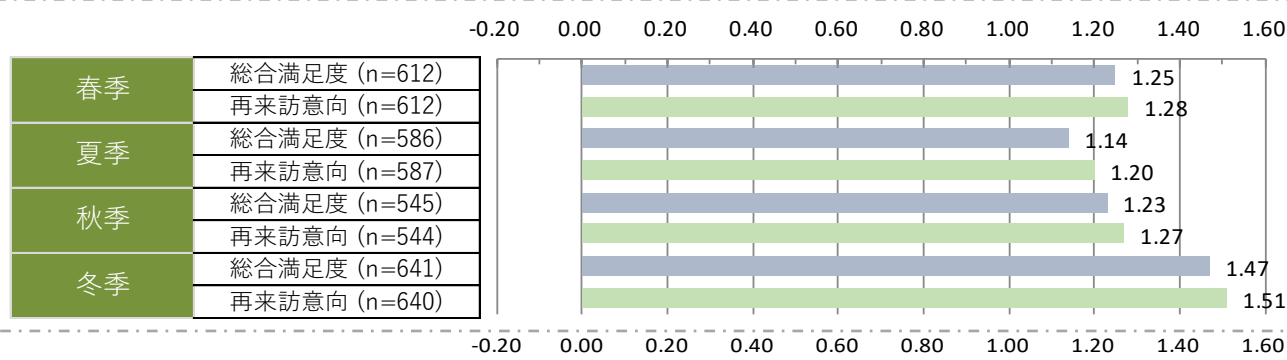
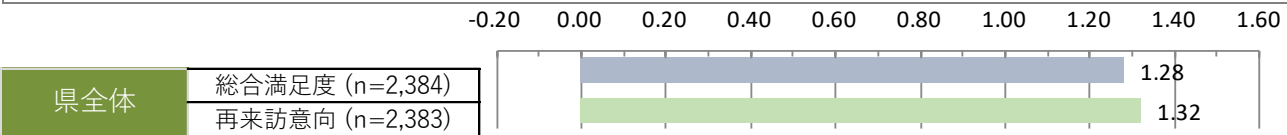
調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が91.4%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が91.8%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=2,413)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.47で最も高かった。再来訪意向についても「冬季」が1.51で最も高かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.38で最も高かった。また、再来訪意向は「40代」が1.38で最も高かった。



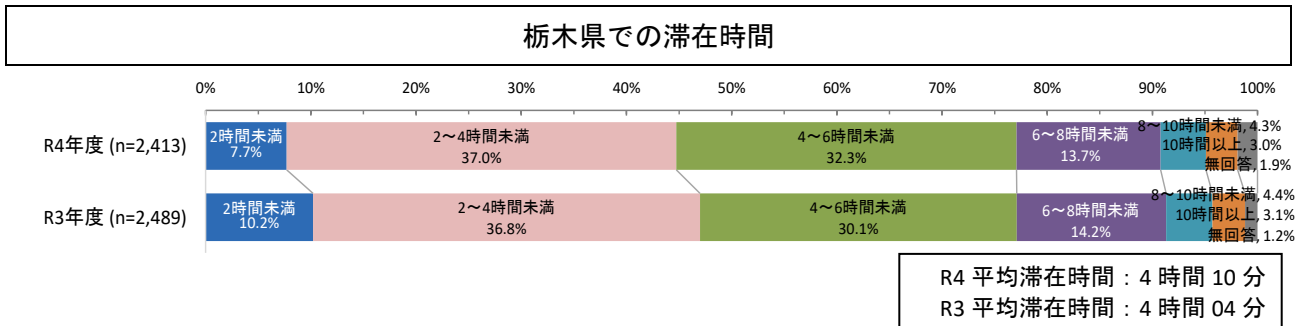
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

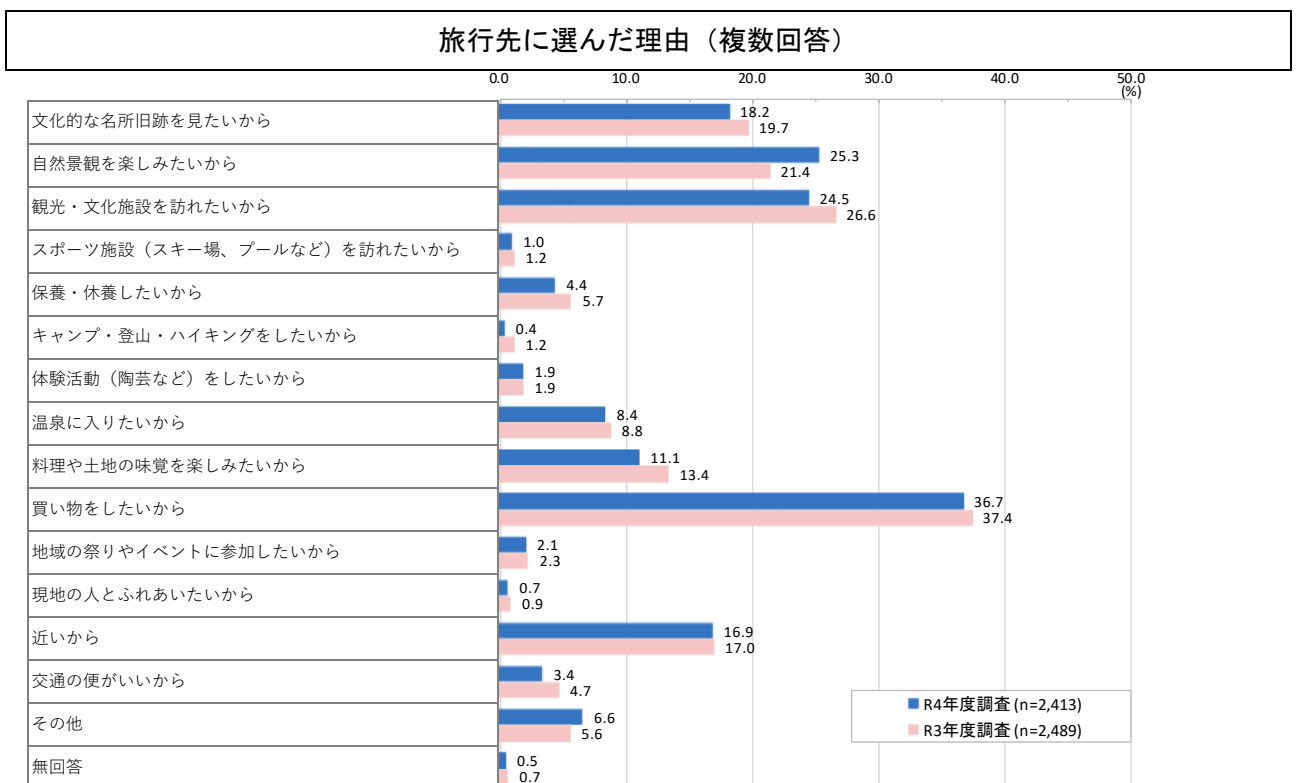
②過去調査との比較

栃木県での滞在時間は、「2～4時間未満」が最も多く、令和3（2021）年度調査では36.8%、令和4（2022）年度調査では37.0%と同程度であった。「4～6時間未満」は令和3（2021）年度調査では30.1%、令和4（2022）年度調査では32.3%と2.2ポイント増加した。

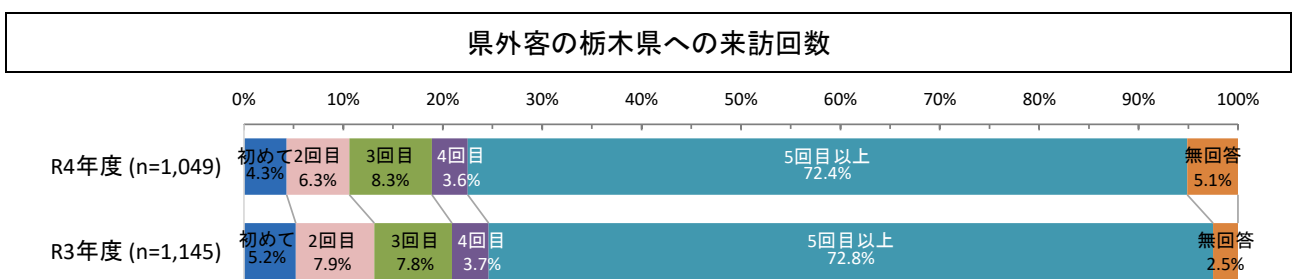
そして平均滞在時間は、令和3（2021）年度調査では4時間04分に対し、令和4（2022）年度調査では、4時間10分と6分延びた。



旅行先に選んだ理由として最も多かった「買い物をしたいから」は、令和3（2021）年度調査では37.4%、令和4（2022）年度調査では36.7%と、0.7ポイント減少した。一方、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は、令和3（2021）年度調査では21.4%、令和4（2022）年度調査では25.3%と、3.9ポイント増加した。

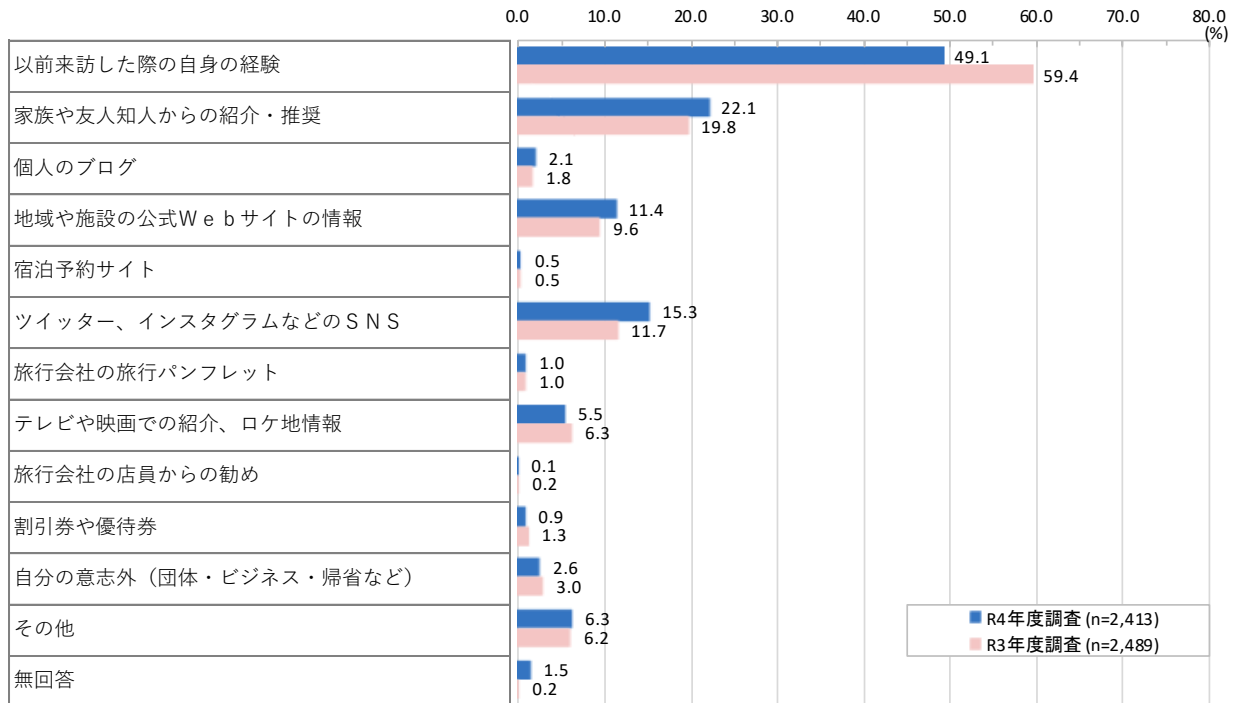


県外客の栃木県への来訪回数として最も多かった「5回目以上」は、令和3（2021）年度調査では72.8%、令和4（2022）年度調査では72.4%と、0.4ポイント減少した。一方、「3回目」は令和3（2021）年度調査では7.8%、令和4（2022）年度調査では8.3%と、やや増加した。



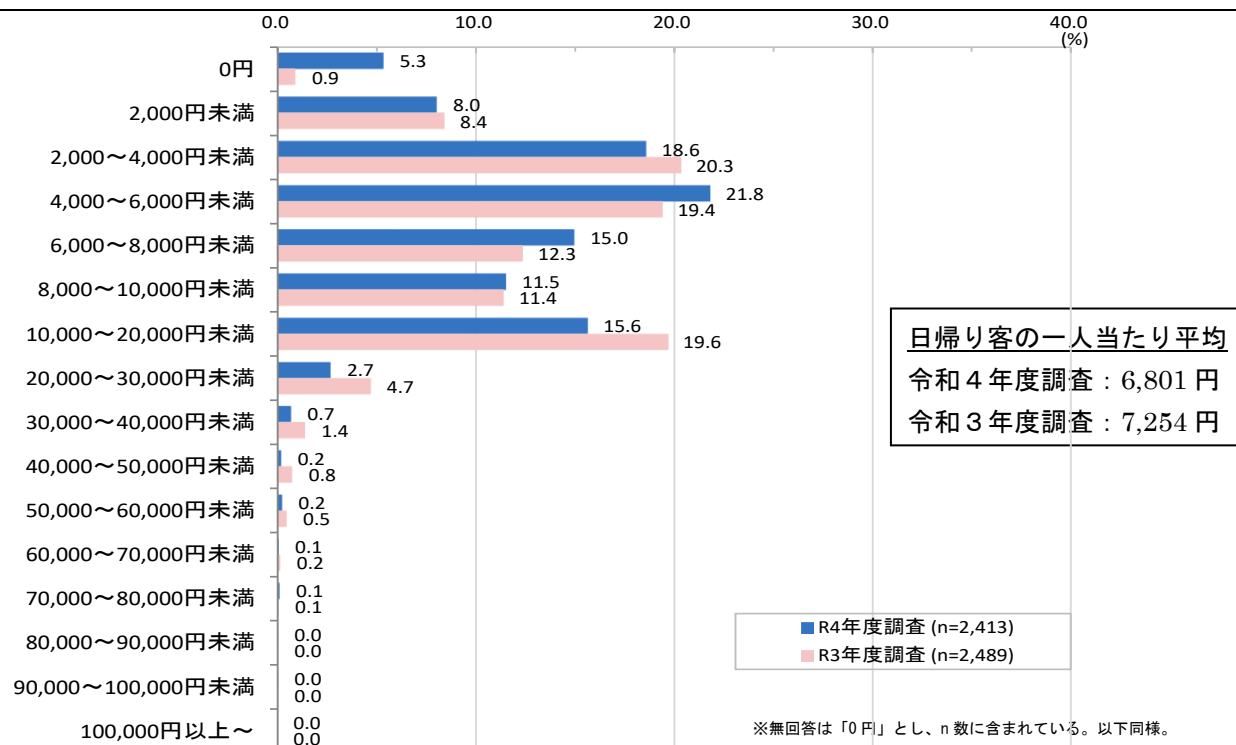
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3(2021)年度調査では59.4%、令和4(2022)年度調査では49.1%と、10.3ポイント減少した。一方、「家族や友人知人からの紹介・推奨」「ツイッター、インスタグラムなどのSNS」は、令和3(2021)年度調査と比べて2ポイント以上増加した。

旅行先に選んだ情報源 (複数回答)



消費支出の総額は、「4,000～6,000円未満」は令和3(2021)年度調査の19.4%に対し、令和4(2022)年度調査は21.8%と2.4ポイント増加した。一方、「10,000～20,000円未満」は令和3(2021)年度調査の19.6%に対し、令和4(2022)年度調査では15.6%と4.0ポイント減少した。日帰り客の一人当たり平均は、令和3(2021)年度調査では7,254円であったが、令和4(2022)年度調査では6,801円に減少した。

消費支出 (総額)

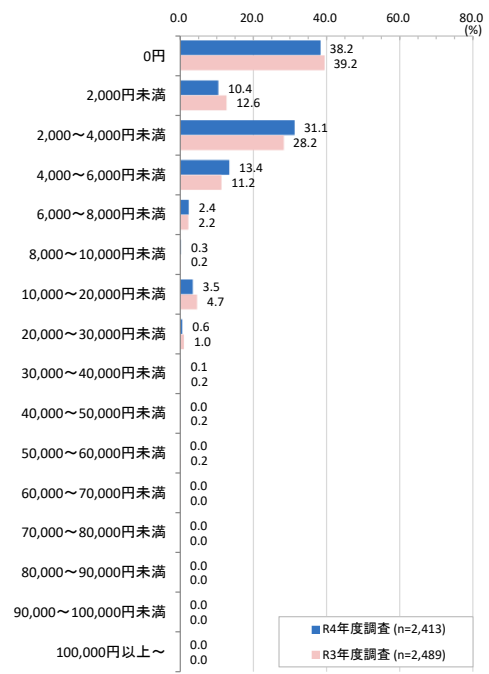


第2章 観光客調査 調査結果

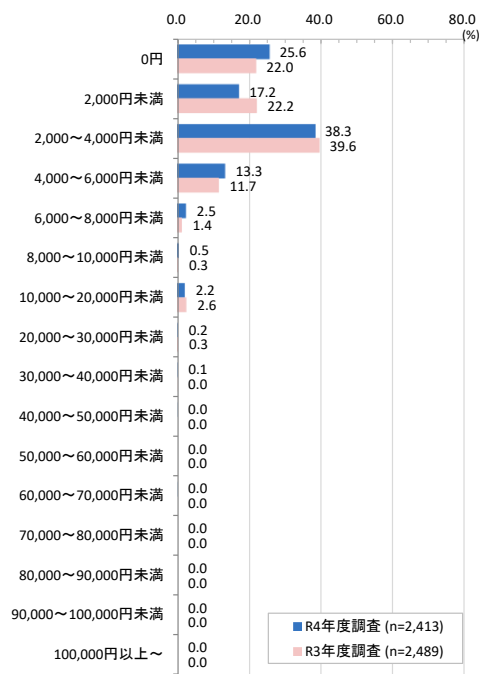
1. 日帰り客 (1) 県全体

土産代は、「2,000～4,000円未満」が令和3(2021)年度調査の28.2%に対し、令和4(2022)年度調査は31.1%と2.9ポイント増加した。飲食費は「4,000～6,000円未満」が令和3(2021)年度調査の11.7%に対し、令和4(2022)年度調査は13.3%と1.6ポイント増加した。一方、「2,000円未満」は令和3(2021)年度調査の22.2%に対し、令和4(2022)年度調査は17.2%と5.0ポイント減少した。

消費支出 土産代

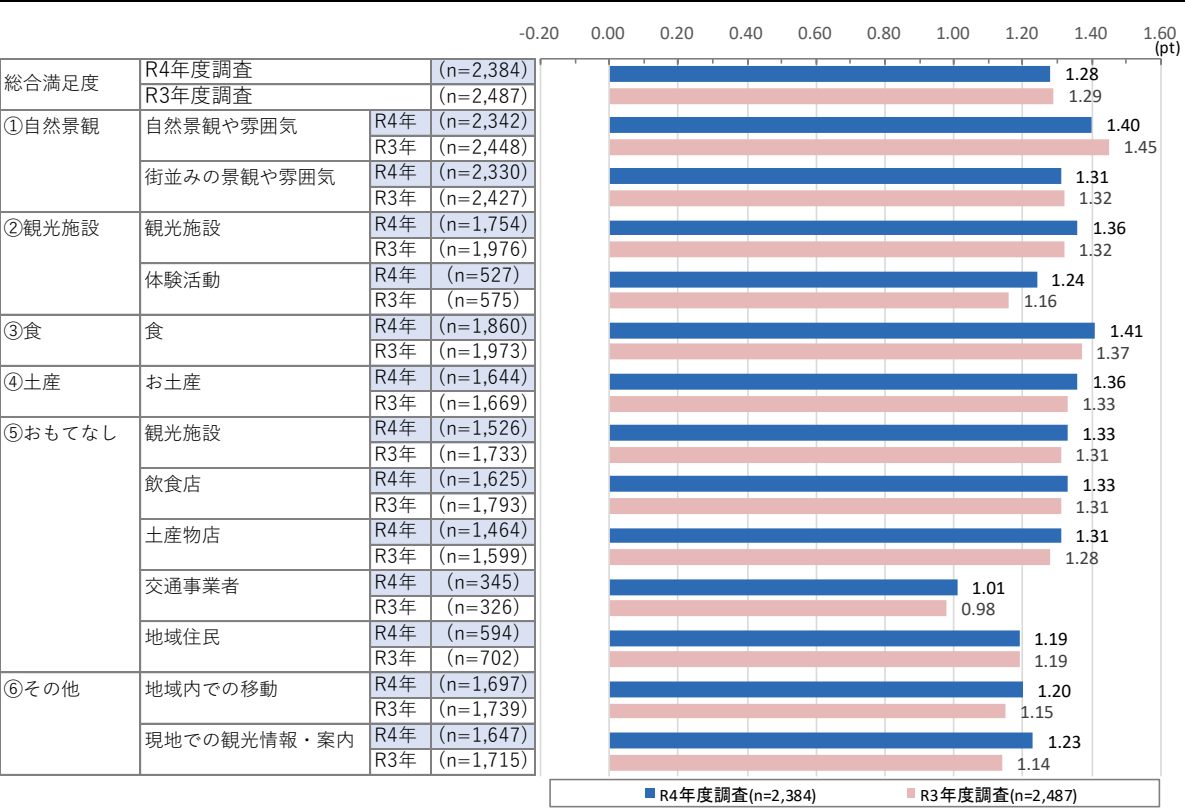


消費支出 飲食費



総合満足度は、令和4(2022)年度調査では1.28となり、令和3(2021)年度調査の1.29と比べて大差はなかった。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.45と最も高かったが、令和4(2022)年度調査では「食」が1.41と最も高くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



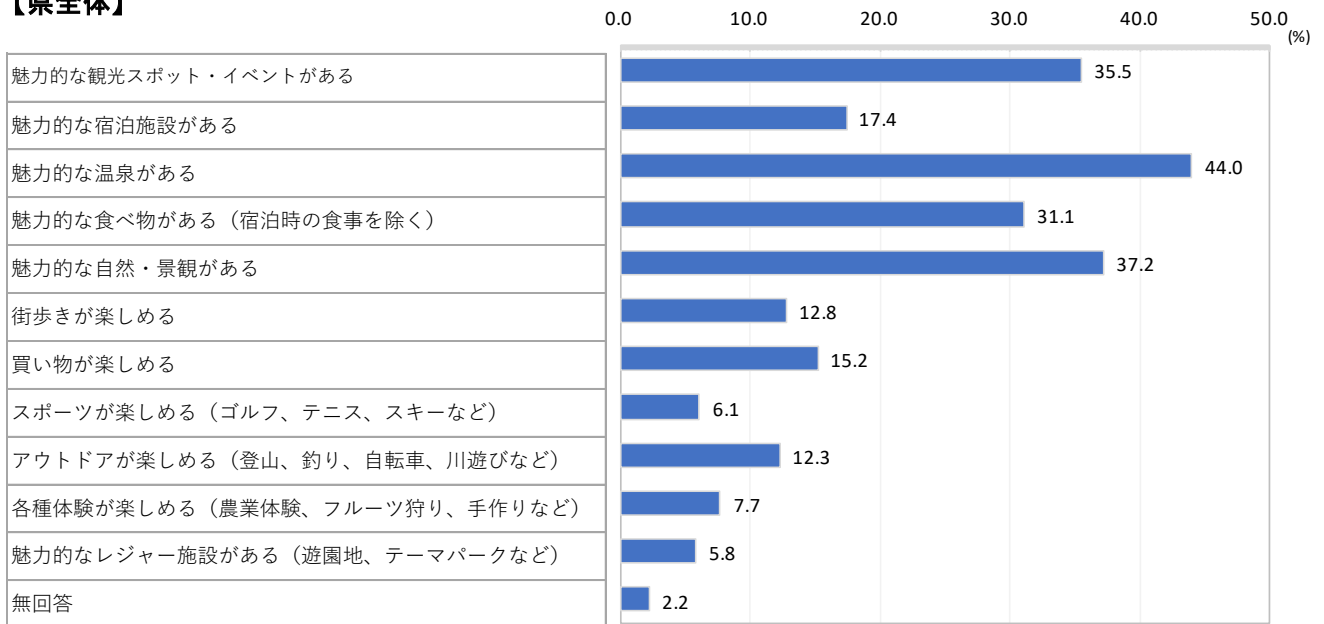
栃木県の魅力が1位だと感じるもの

◇「魅力的な温泉がある」が最も多く4割半ばとなった。

栃木県の魅力が1位だと感じるものについて、県全体では「魅力的な温泉がある」が44.0%で最も多く、次いで「魅力的な自然・景観がある」が37.2%、「魅力的な観光スポット・イベントがある」が35.5%であった。

エリアごとにみると、「魅力的な温泉がある」は日光で44.3%、那須で51.9%、県央で42.6%、県東で47.5%とそれぞれのエリアで最も多い。県南では「魅力的な観光スポット・イベントがある」が38.3%で最も多かった。

【県全体】



【エリア別】 ※上位5項目

NO.	全体 (n=2,413)	日光 (n=309)	那須 (n=418)
1	魅力的な温泉がある 44.0	魅力的な温泉がある 44.3	魅力的な温泉がある 51.9
2	魅力的な自然・景観がある 37.2	魅力的な観光スポット・イベントがある 43.7	魅力的な自然・景観がある 35.6
3	魅力的な観光スポット・イベントがある 35.5	魅力的な自然・景観がある 37.9	魅力的な観光スポット・イベントがある 34.2
4	魅力的な食べ物がある 31.1	魅力的な食べ物がある 30.7	魅力的な食べ物がある 31.1
5	魅力的な宿泊施設がある 17.4	街歩きが楽しめる 17.5	魅力的な宿泊施設がある 16.5

NO.	県央 (n=470)	県南 (n=585)	県東 (n=631)
1	魅力的な温泉がある 42.6	魅力的な観光スポット・イベントがある 38.3	魅力的な温泉がある 47.5
2	魅力的な自然・景観がある 40.4	魅力的な温泉がある 35.6	魅力的な自然・景観がある 38.2
3	魅力的な観光スポット・イベントがある 37.0	魅力的な自然・景観がある 34.2	魅力的な食べ物がある 36.3
4	魅力的な食べ物がある 28.3	魅力的な食べ物がある 28.0	魅力的な観光スポット・イベントがある 28.7
5	魅力的な宿泊施設がある 18.1	買い物が楽しめる 17.1	買い物が楽しめる 22.2

(2) エリア別

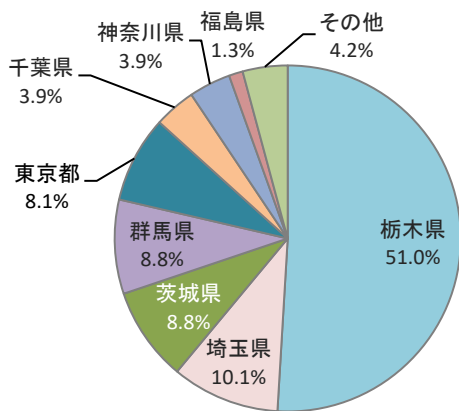
i. 日光エリア

① 令和4(2022)年度調査結果

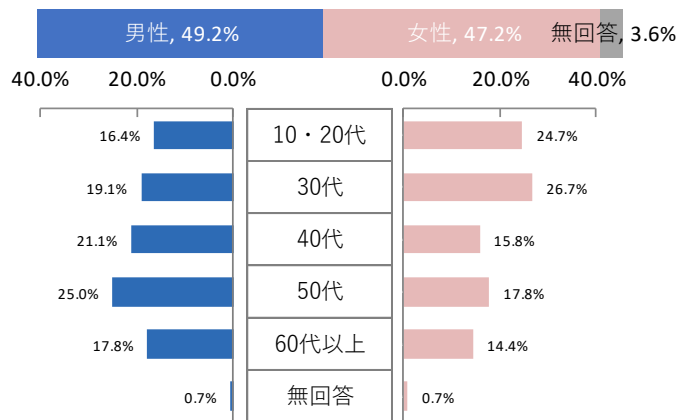
日帰り客 (日光エリア) サンプル数 : 309

お住まいは「栃木県」が最も多く 51.0%、次いで「埼玉県」が 10.1%、「茨城県」、「群馬県」がともに 8.8%であった。
 年代は、男性では「50代」が 25.0%で最も多く、女性では「30代」が 26.7%で最も多かった。
 調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が 62.0%で最も多かった。
 同行者数は「2人」が 46.9%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れの家族旅行」と「夫婦旅行」がともに 26.9%で最も多かった。

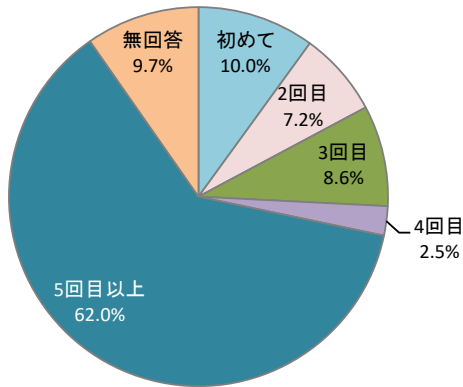
お住まい (n=309)



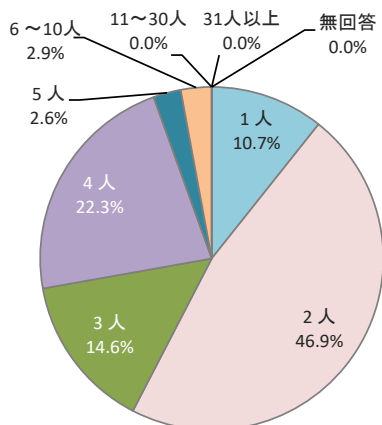
性別・年代 (n=309)



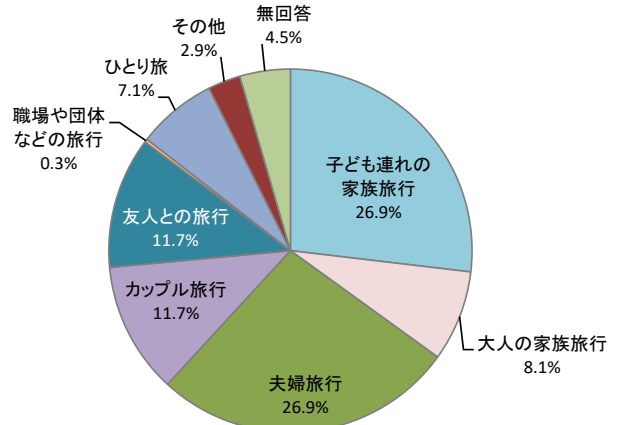
調査地域周辺への来訪回数 (n=279)



同行者数 ※回答者を含む (n=309)

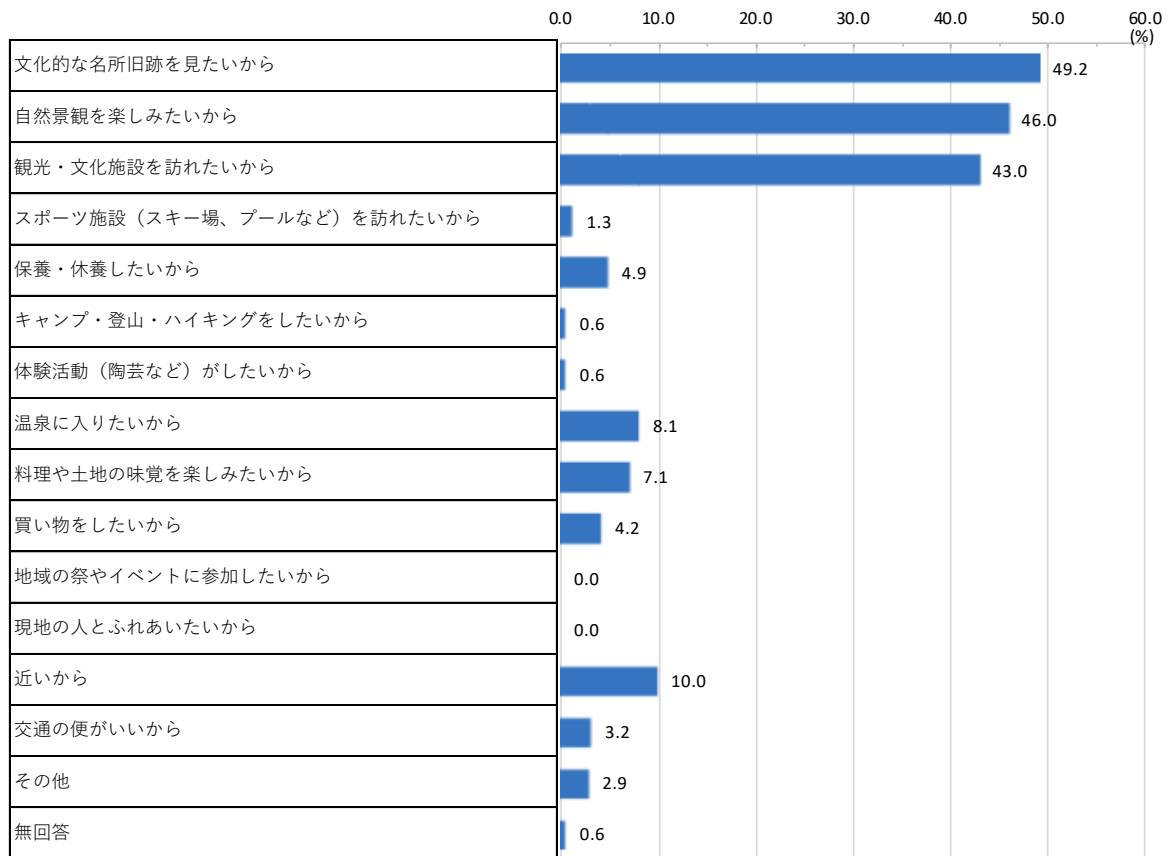


同行者の関係 (n=309)

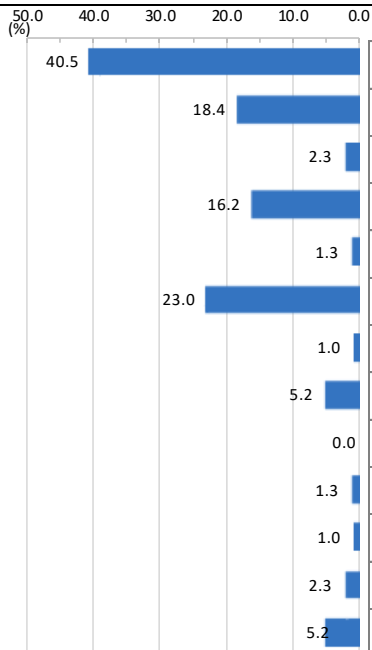


旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡を見たいから」が49.2%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が46.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が40.5%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が36.2%で最も多かった。

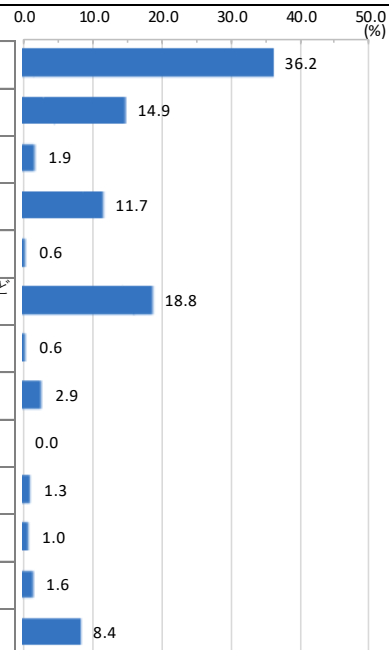
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=309）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=309）



“決め手”となった情報源（単一回答）（n=309）

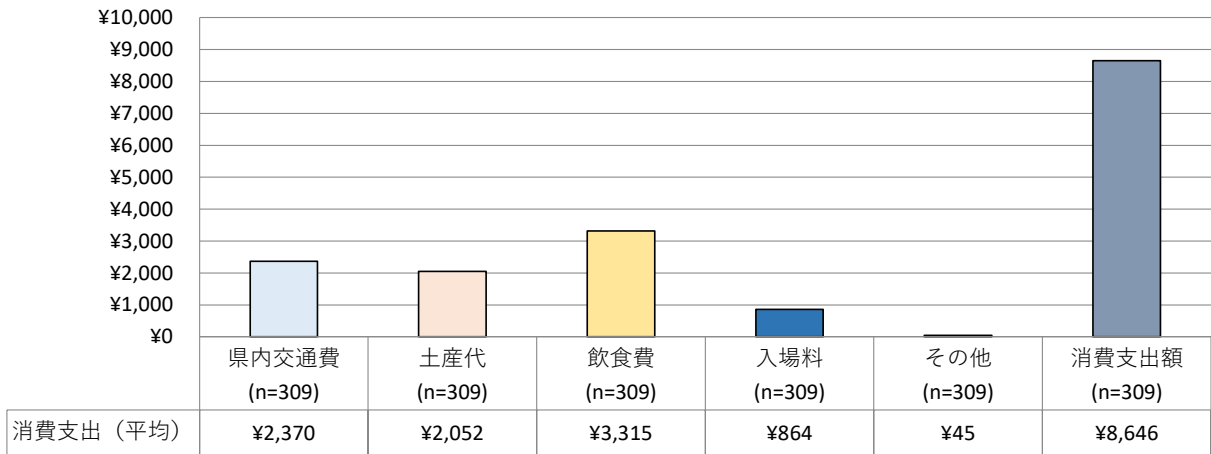


第2章 観光客調査 調査結果

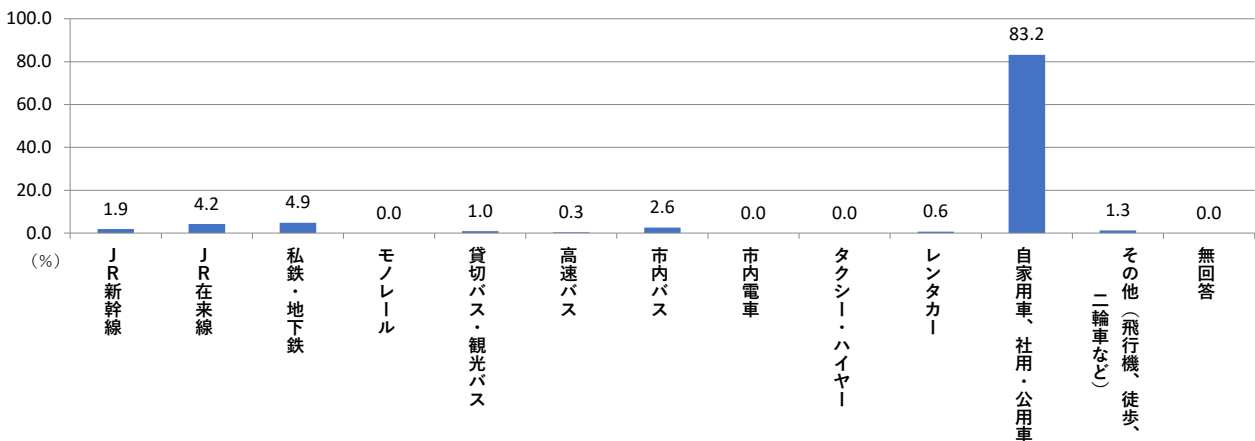
1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

消費支出の平均は、総額で8,646円であった。内訳は、「飲食費」が3,315円で最も多く、次いで「県内交通費」が2,370円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が83.2%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「二社一寺参拝者」が51人で最も多く、次いで「鬼怒川温泉」が14人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=309）



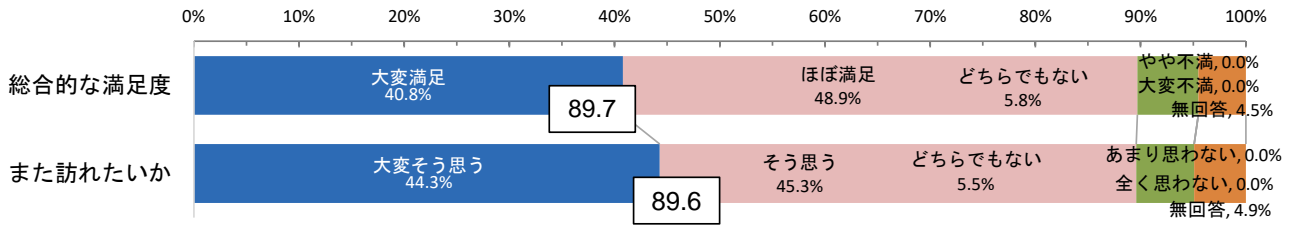
立ち寄り観光施設（n=309）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

日光	日光	県南
二社一寺参拝者(51)	東武ワールドスクウェア(5)	織姫公園(1)
鬼怒川温泉(14)	湯滝・湯の湖(3)	県央
中禅寺湖(12)	二荒山神社中宮祠(3)	道の駅うつのみやろまんちっく村(1)
初詣（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）(6)	明智平(2)	
華厳ノ滝(4)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
二社一寺参拝者（2）、華厳ノ滝（2）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 89.7%となった。また訪れたいかについても「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 89.6%となり、「満足度」「再来訪意向」ともに約9割となった。

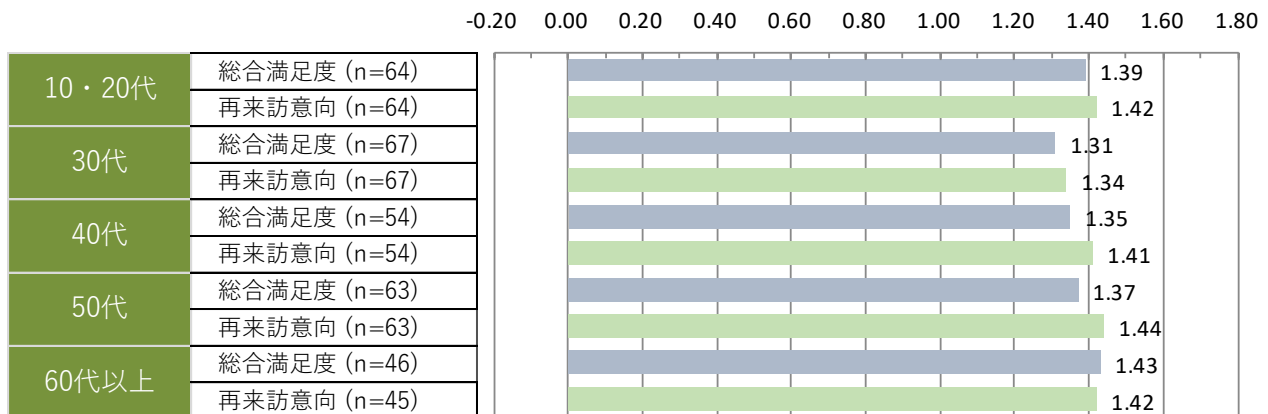
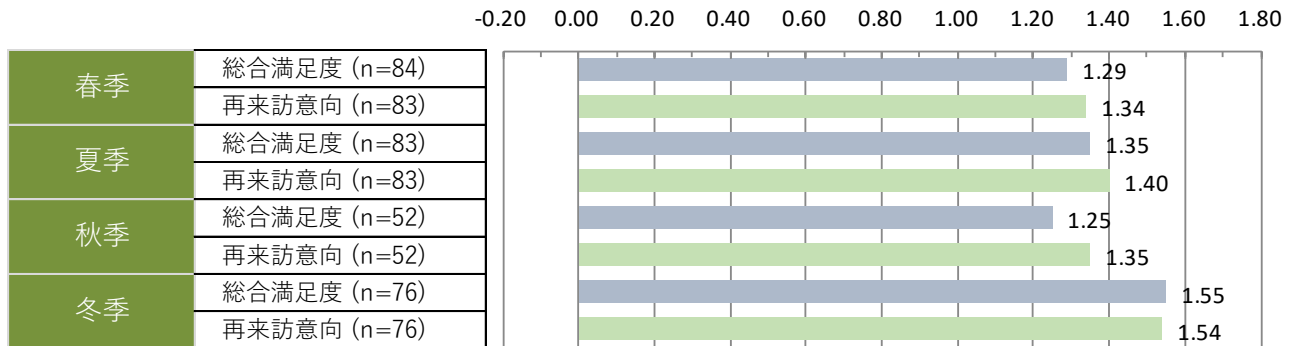
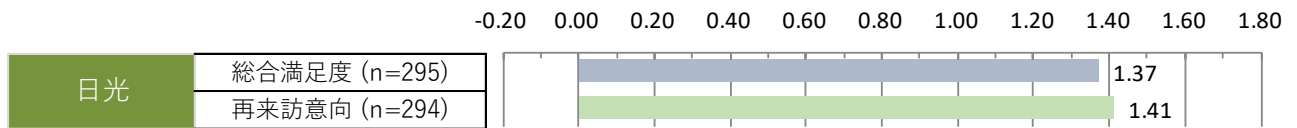
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=309)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が 1.55 で最も高く、「秋季」が 1.25 で最も低かった。また、再来訪意向は「冬季」が 1.54 で最も高く、「春季」が 1.34 で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「60代以上」で 1.43 と最も高く、「30代」で 1.31 と最も低かった。また、再来訪意向は「50代」で 1.44 と最も高く、「30代」で 1.34 と最も低かった。



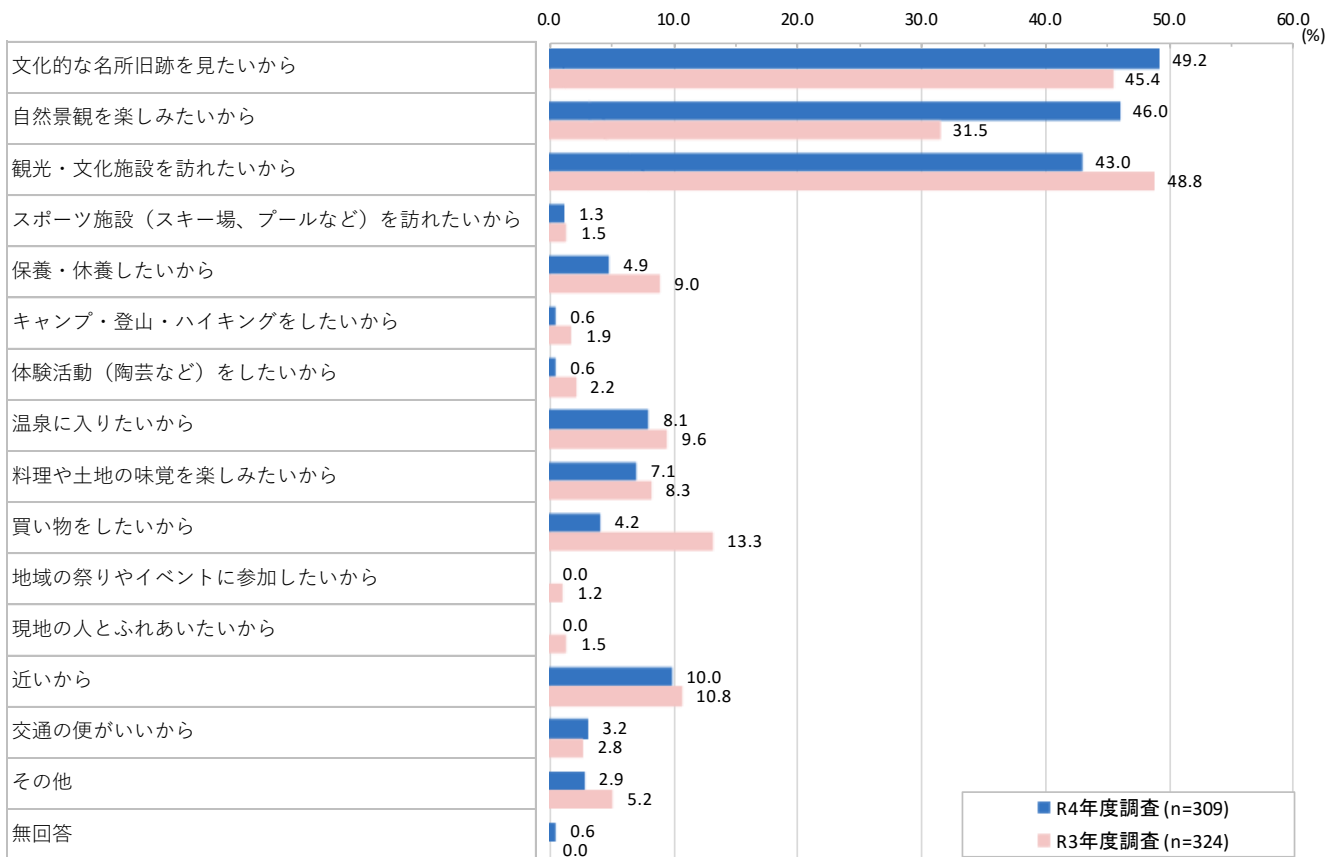
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

②過去調査との比較

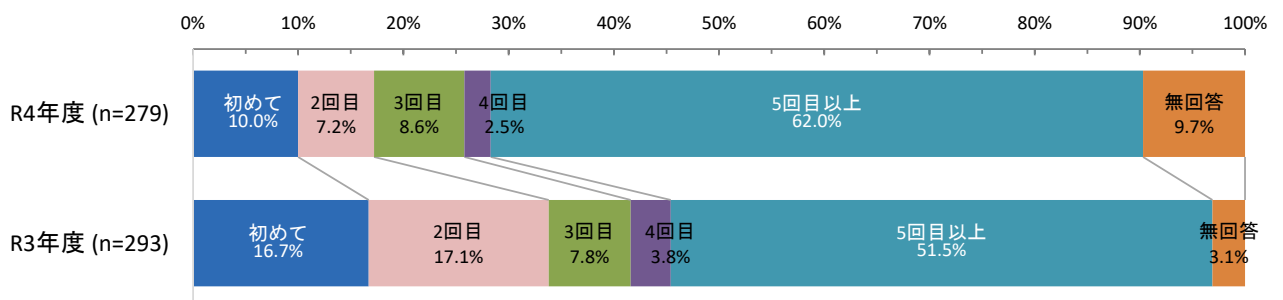
旅行先に選んだ理由は、「文化的な名所旧跡を見たいから」が最も多く、令和3(2021)年度調査では45.4%、令和4(2022)年度調査では49.2%と3.8ポイント増加した。また、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は令和3(2021)年度調査では31.5%、令和4(2022)年度調査では46.0%と14.5ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由 (複数回答)



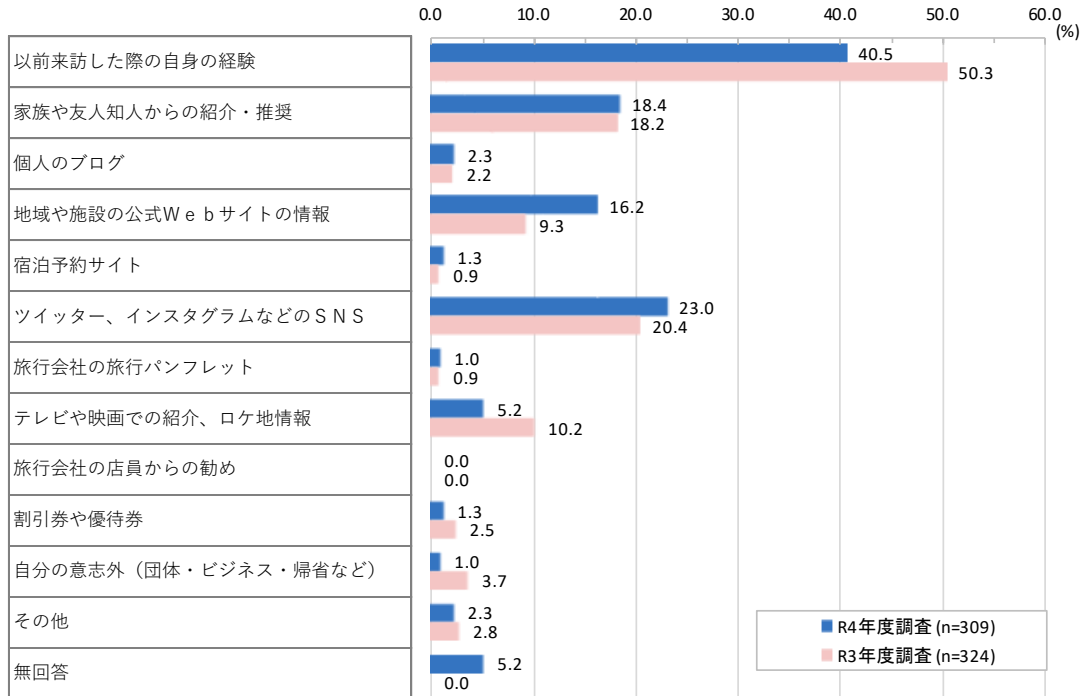
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和3(2021)年度調査では51.5%、令和4(2022)年度調査では62.0%と10.5ポイント増加した。一方、「初めて」は令和3(2021)年度調査では16.7%、令和4(2022)年度調査では10.0%と6.7ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



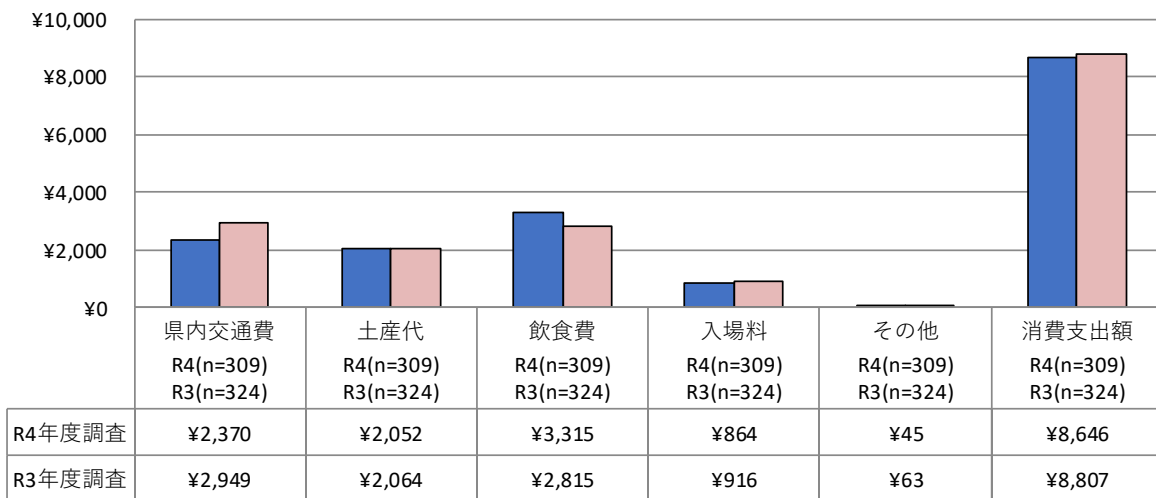
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3（2021）年度調査では50.3%、令和4（2022）年度調査では40.5%と9.8ポイント減少した。一方、「ツイッター、インスタグラムなどのSNS」「地域や施設の公式Webサイトの情報」は、令和3（2021）年度調査と比べて2.5ポイント以上増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では8,807円であったが、令和4（2022）年度調査では8,646円に減少した。

消費支出（総額）

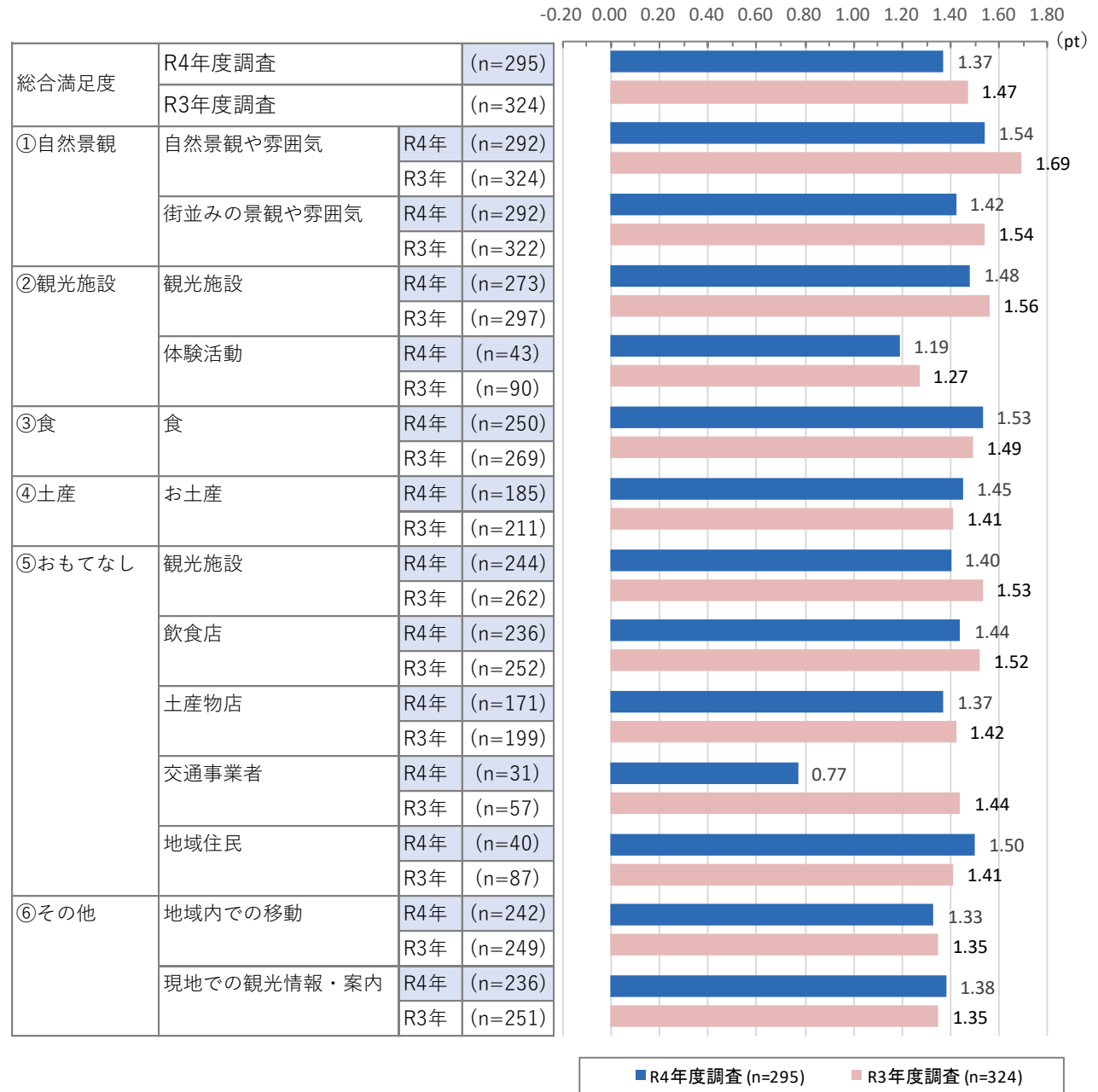


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

総合満足度は、令和4（2022）年度調査で1.37となり、令和3（2021）年度調査の1.47と比較して0.10ポイント減少した。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」が令和3（2021）年度調査では1.69、令和4（2022）年度調査では1.54とそれぞれ最も高くなった。

項目別満足度（加重平均値）



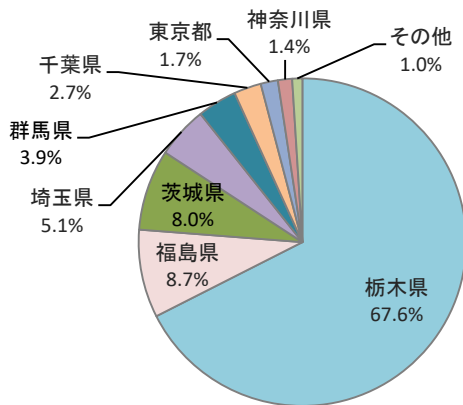
ii. 那須エリア

①令和4(2022)年度調査結果

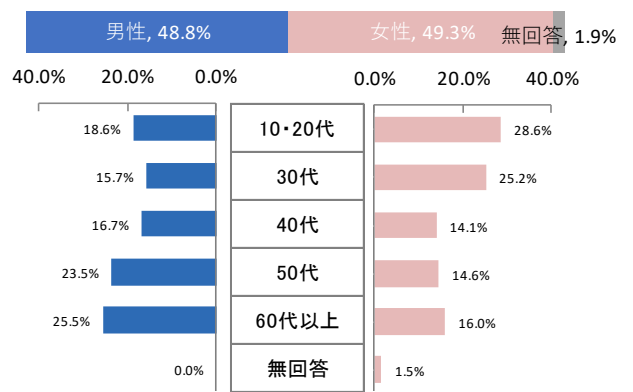
日帰り客(那須エリア) サンプル数：418

お住まいは「栃木県」が最も多く67.6%、次いで「福島県」が8.7%、「茨城県」が8.0%であった。
 年代は、男性では「60代以上」が25.5%で最も多く、女性では「10・20代」が28.6%で最も多かった。
 調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが70.8%で最も多かった。
 同行者数は「2人」が48.1%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が24.2%で最も多かった。

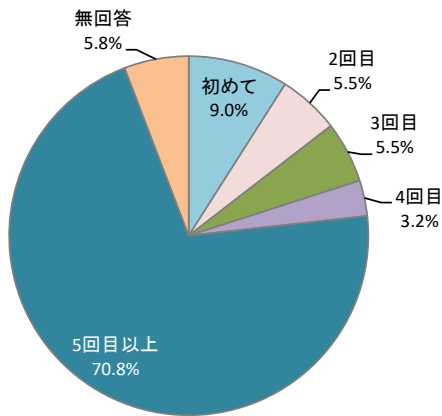
お住まい (n=418)



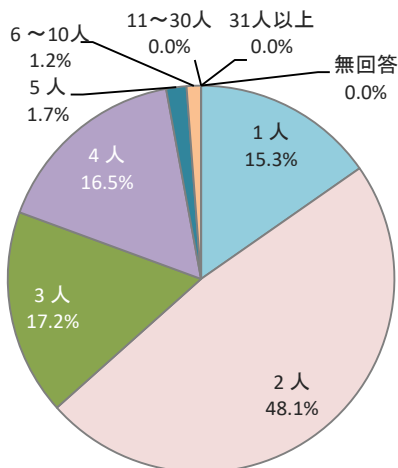
性別・年代 (n=418)



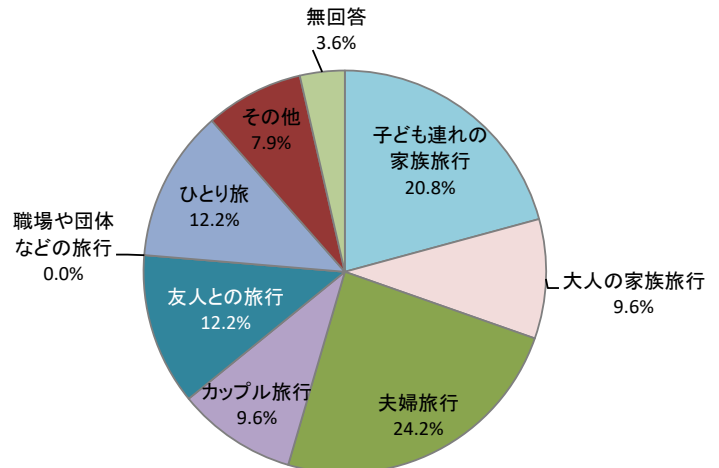
調査地域周辺への来訪回数 (n=343)



同行者数 ※回答者を含む (n=418)



同行者の関係 (n=418)

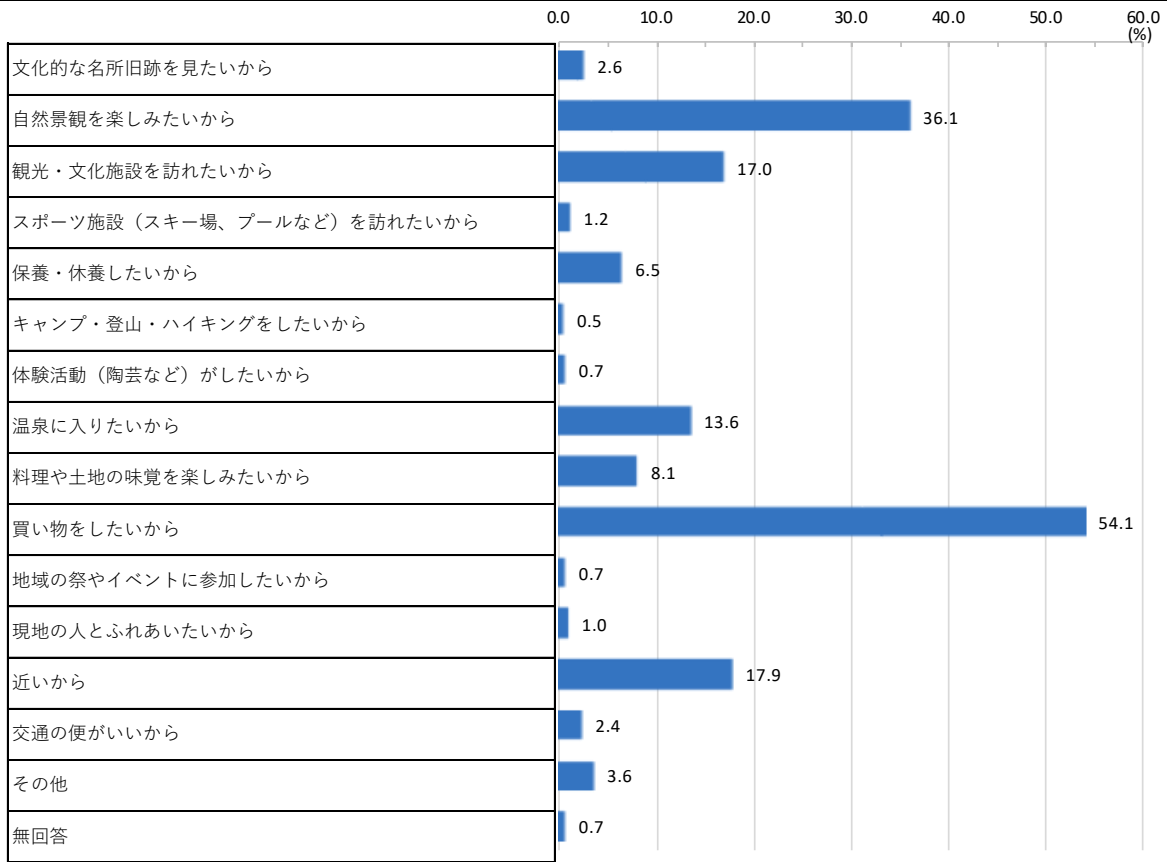


第2章 観光客調査 調査結果

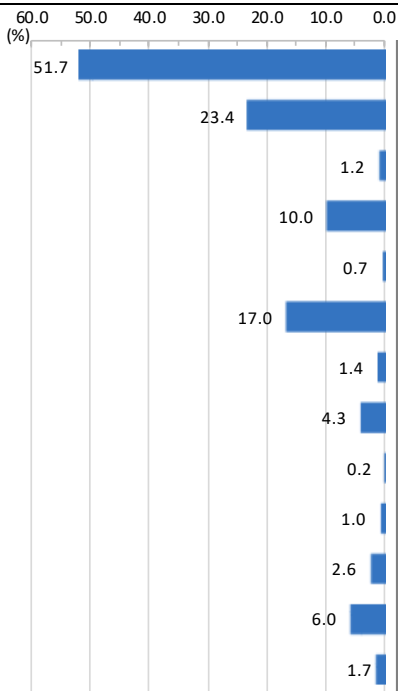
1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が54.1%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が36.1%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が51.7%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が45.0%で最も多かった。

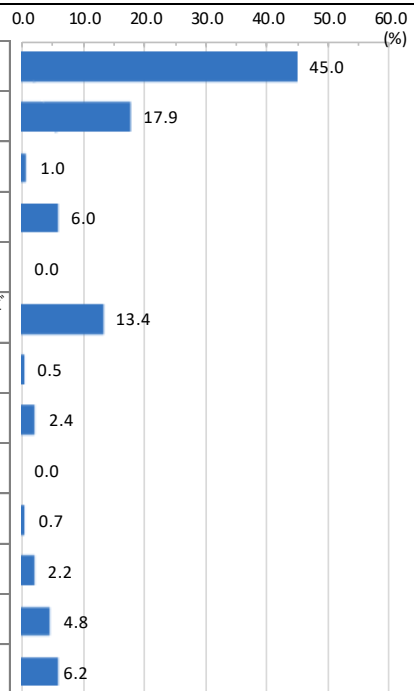
旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=418)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=418)

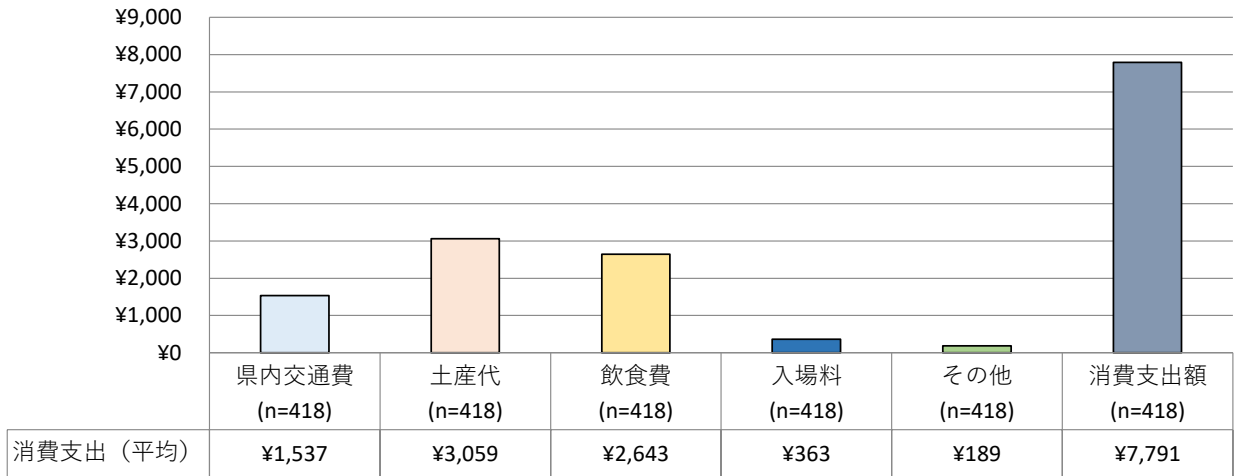


“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=418)

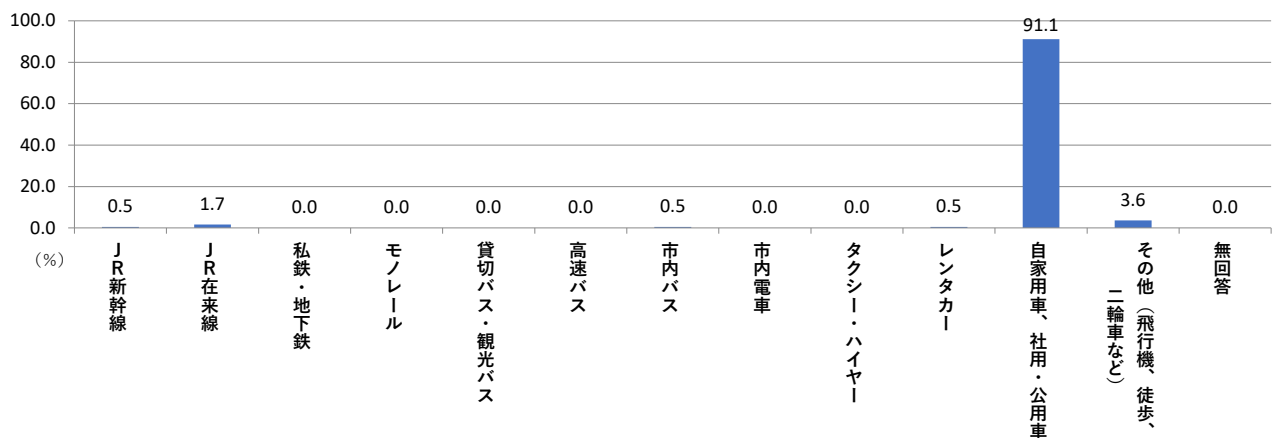


消費支出の平均は、総額で 7,791 円であった。内訳は、「土産代」が 3,059 円で最も多く、次いで「飲食費」が 2,643 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 91.1%であった。
立ち寄り観光施設は、「千本松牧場」が 27 人で最も多く、次いで「那須ガーデンアウトレット」が 21 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=418）



立ち寄り観光施設（n=418）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

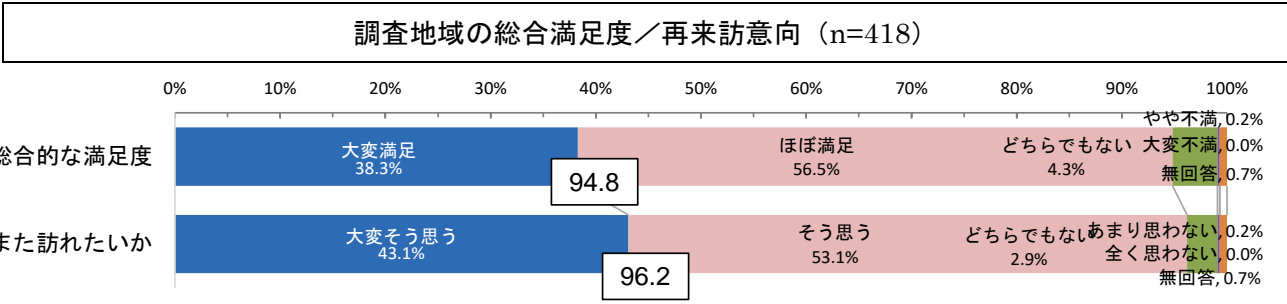
那須	道の駅那須高原友愛の森(2)	日光
千本松牧場(27)	那須高原りんどう湖ファミリー牧場(2)	とりっくあーとびあ日光(2)
那須ガーデンアウトレット(21)	とちぎ明治の森記念館(2)	上三依水生植物園(1)
那須どうぶつ王国(17)	那須岳（茶臼岳）(1)	鬼怒川温泉(1)
南ヶ丘牧場(14)	道の駅東山道伊王野(1)	大笹牧場(1)
塩原温泉郷(11)	道の駅やいた(1)	
那須ロープウェイ(8)	那須フラワーワールド(1)	
那須サファリパーク(6)	トリックアートの館(1)	
那須ハイランドパーク(4)	ハンターマウンテン塩原(1)	
那須アルパカ牧場(3)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅那須高原友愛の森（1）、アグリバル塩原（1）

第2章 観光客調査 調査結果

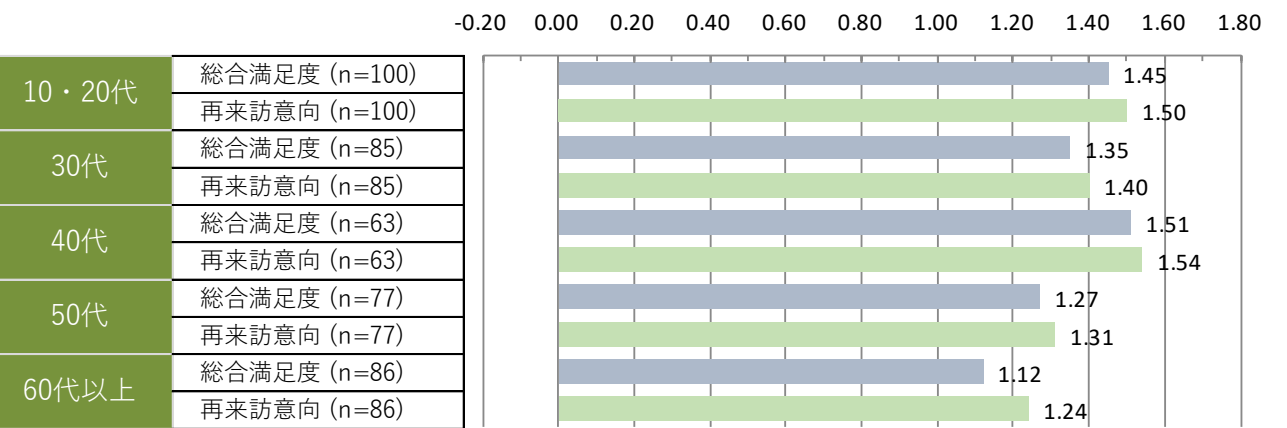
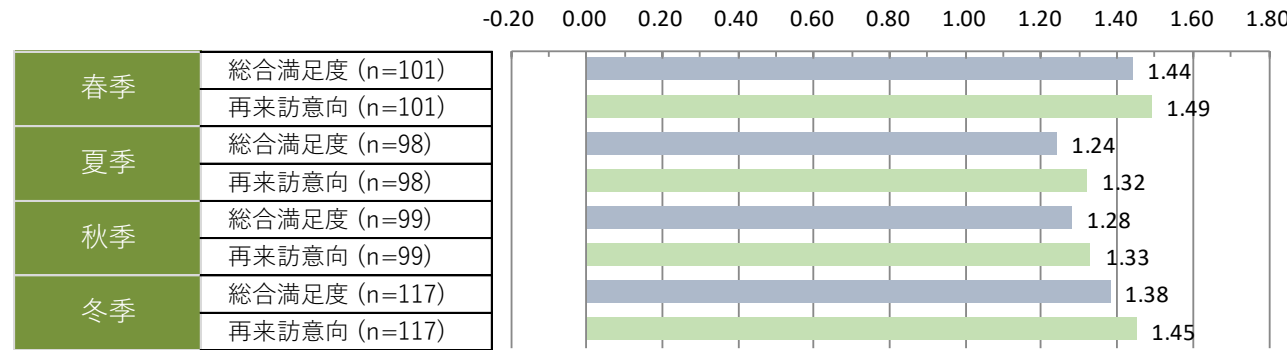
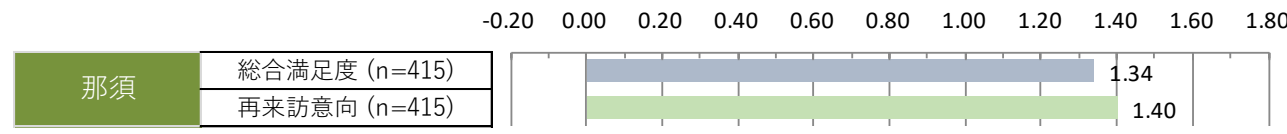
1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が94.8%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が96.2%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

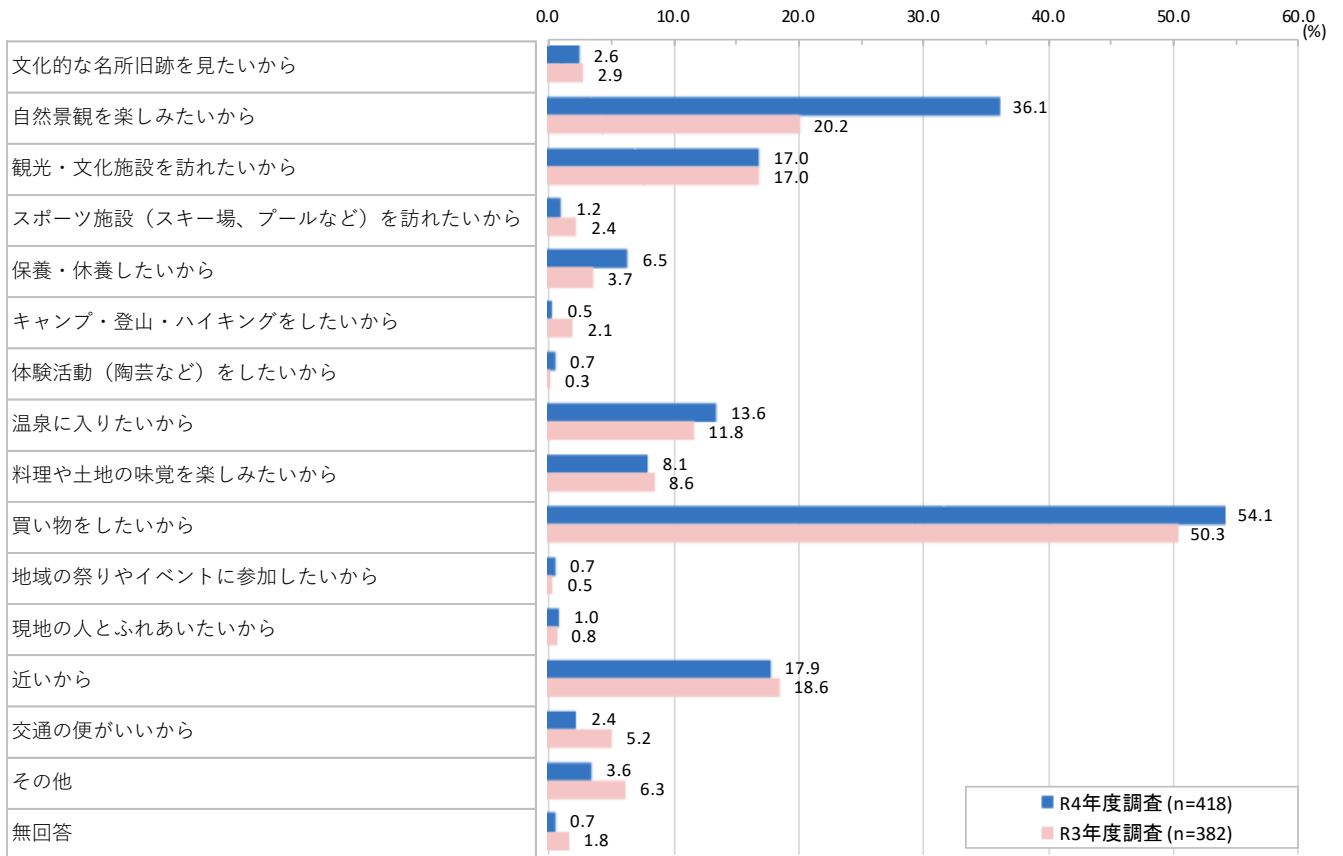
総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.44で最も高く、「夏季」が1.24で最も低かった。再来訪意向についても「春季」が1.49で最も高く、「夏季」が1.32で最も低かった。
 年代別にみると、総合満足度は「40代」が1.51で最も高く、「60代以上」が1.12で最も低かった。再来訪意向も、「40代」が1.54で最も高く、「60代以上」が1.24で最も低かった。



②過去調査との比較

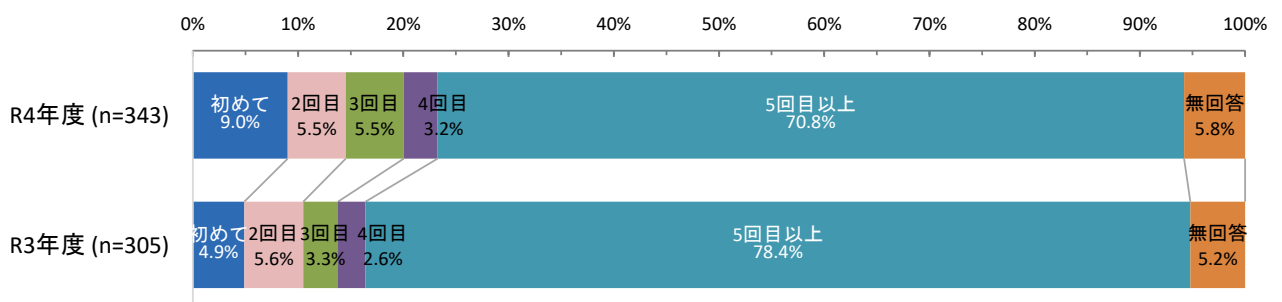
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和3（2021）年度調査では50.3%、令和4（2022）年度調査では54.1%と3.8ポイント増加した。また、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は、令和3（2021）年度調査では20.2%、令和4（2022）年度調査では36.1%と15.9ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和3（2021）年度調査では78.4%、令和4（2022）年度調査では70.8%と、7.6ポイント減少した。一方、「初めて」は令和3（2021）年度調査では4.9%、令和4（2022）年度調査では9.0%と4.1ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く

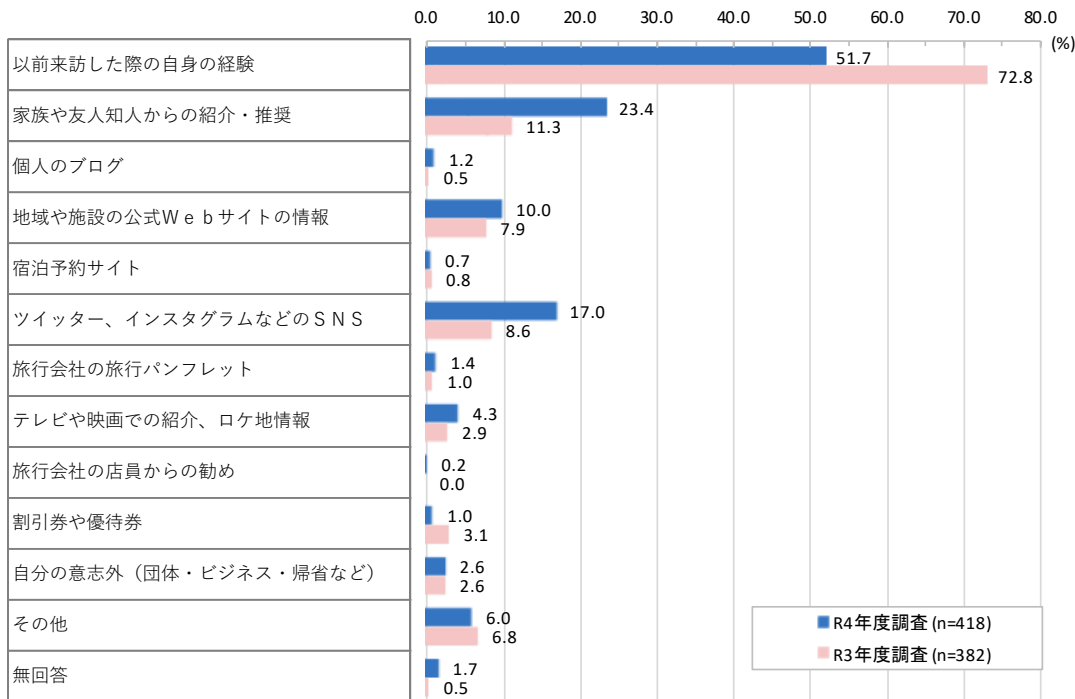


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

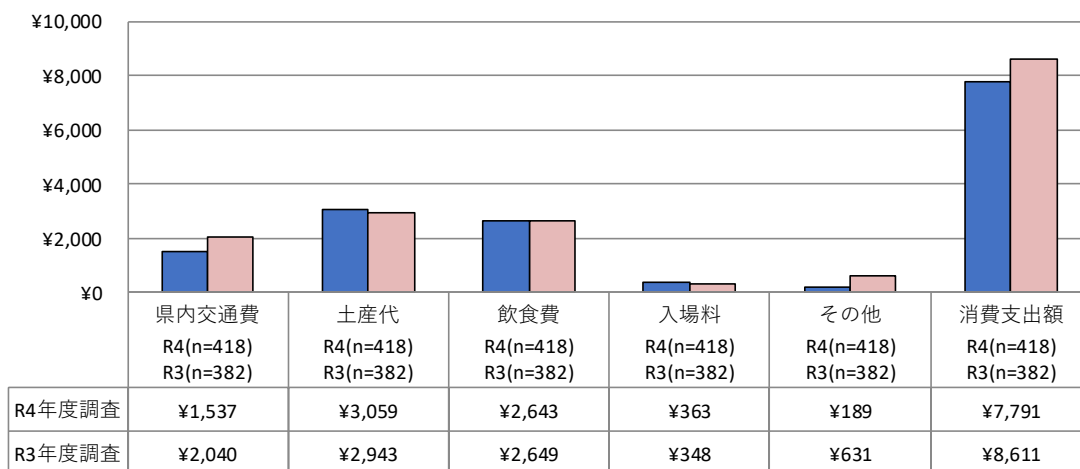
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3（2021）年度調査では72.8%、令和4（2022）年度調査では51.7%と21.1ポイント減少した。一方、「家族や友人知人からの紹介・推奨」は23.4%、「ツイッター、インスタグラムなどのSNS」は17.0%と令和3（2021）年度調査と比べて増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



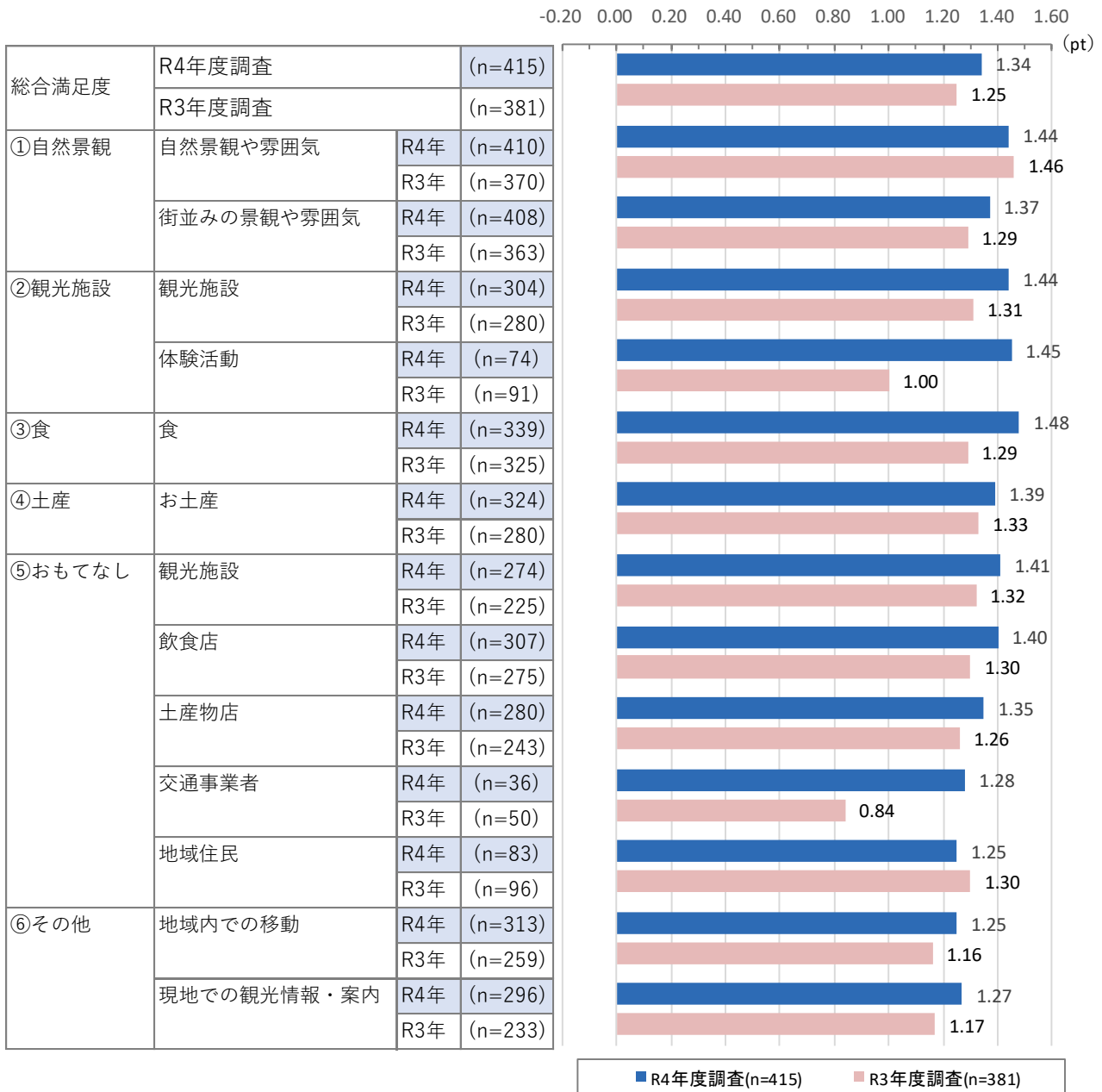
消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では8,611円であったが、令和4（2022）年度調査では7,791円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和3(2021)年度調査では1.25であったが、令和4(2022)年度調査では1.34と0.09ポイント増加した。満足度を項目別にみると「食」が最も高く、令和3(2021)年度調査では1.29、令和4(2022)年度調査では1.48とやや増加した。

項目別満足度 (加重平均値)



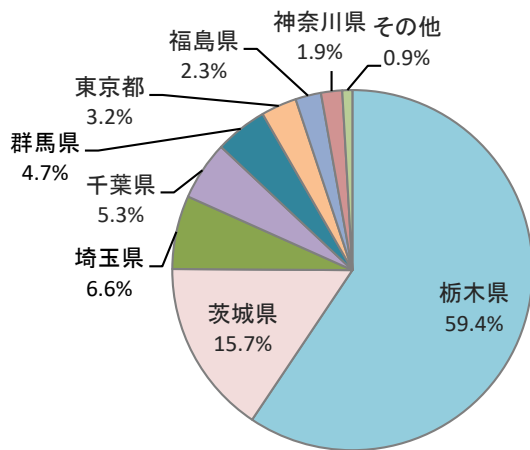
iii. 県央エリア

①令和4(2022)年度調査結果

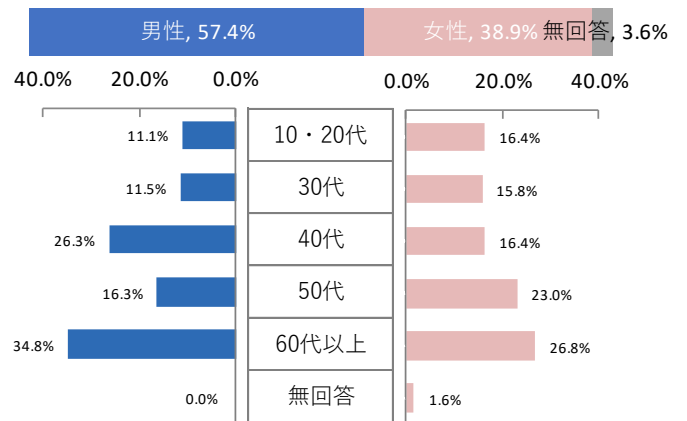
日帰り客(県央エリア) サンプル数：470

お住まいは「栃木県」が最も多く59.4%、次いで「茨城県」が15.7%、「埼玉県」が6.6%であった。
 年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、「男性」が34.8%、「女性」が26.8%であった。
 調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが60.0%で最も多かった。
 同行者数は「2人」が50.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が28.3%で最も多かった。

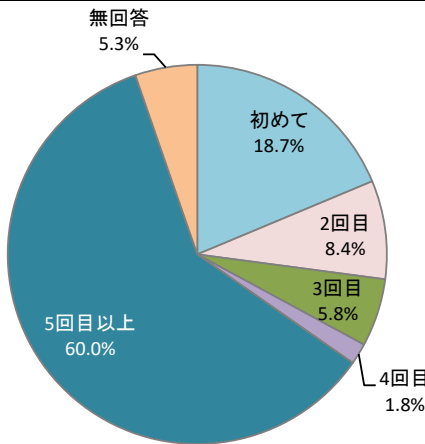
お住まい (n=470)



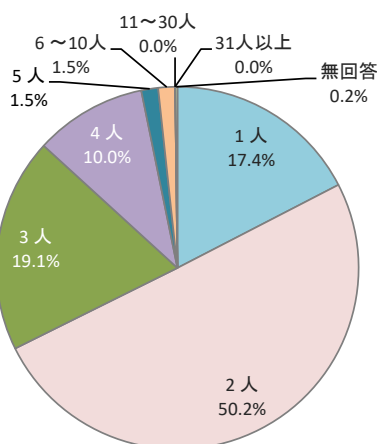
性別・年代 (n=470)



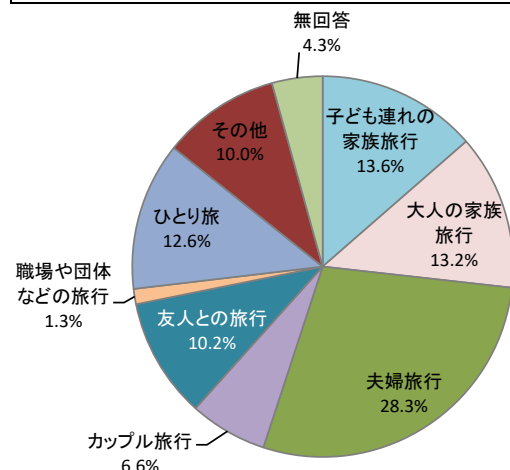
調査地域周辺への来訪回数 (n=395)



同行者数 ※回答者を含む (n=470)

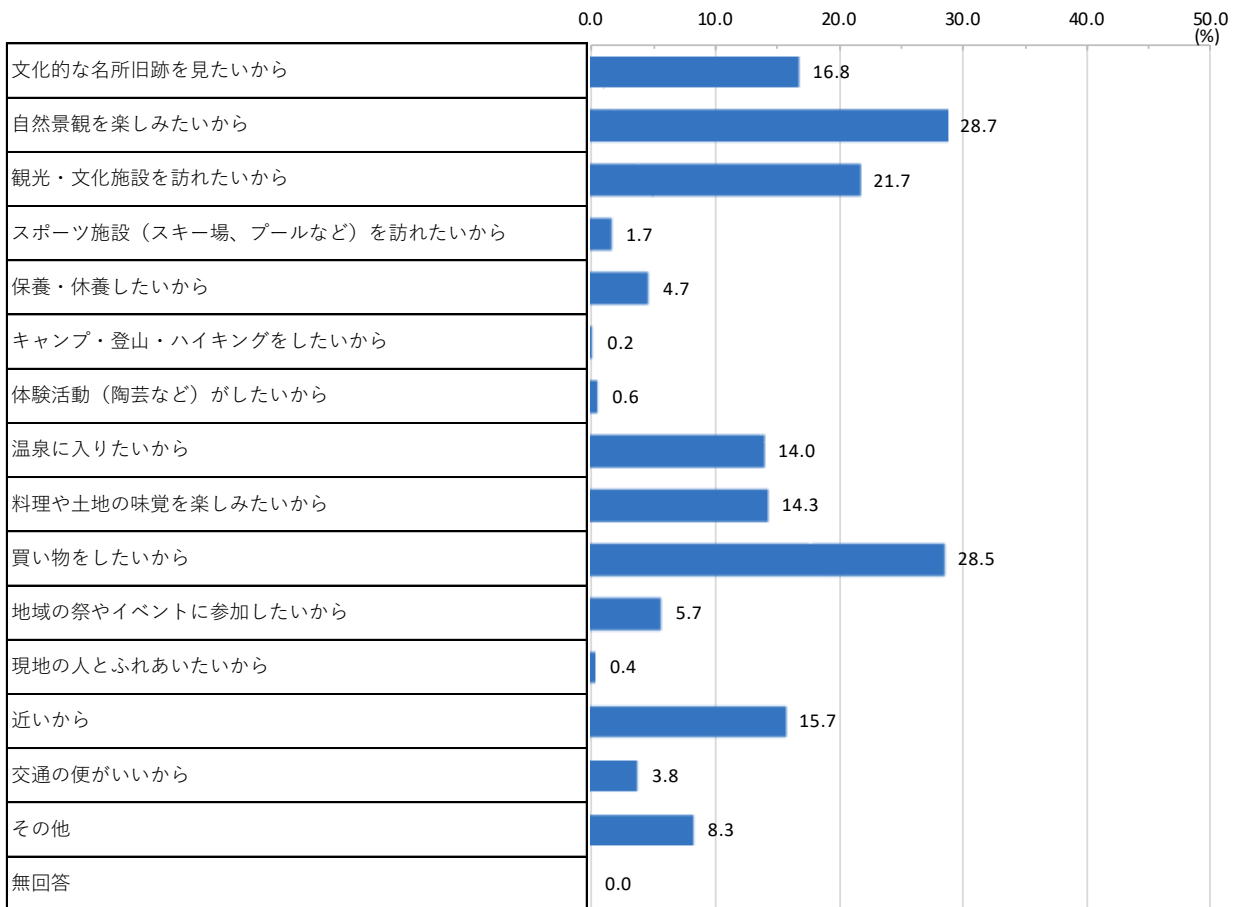


同行者の関係 (n=470)

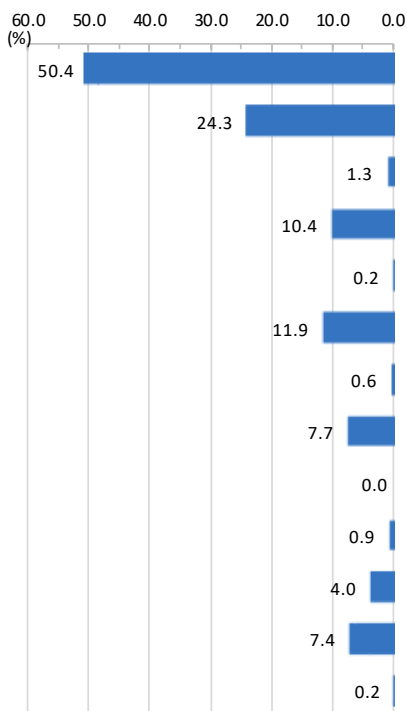


旅行先に選んだ理由は「自然景観を楽しみたいから」が28.7%で最も多く、次いで「買い物をしたいから」が28.5%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が50.4%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が48.1%で最も多かった。

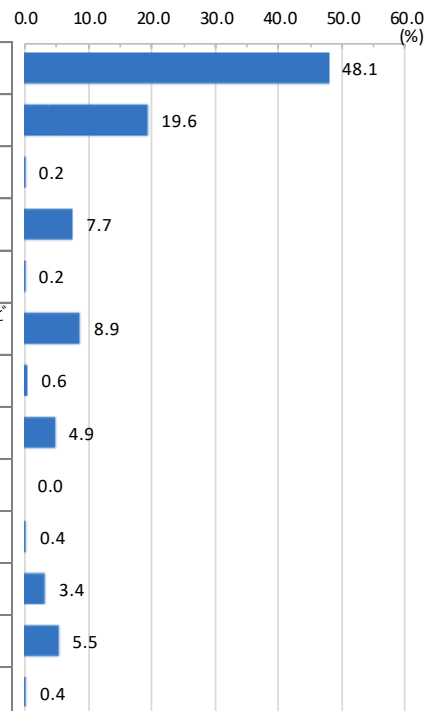
旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=470)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=470)



“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=470)

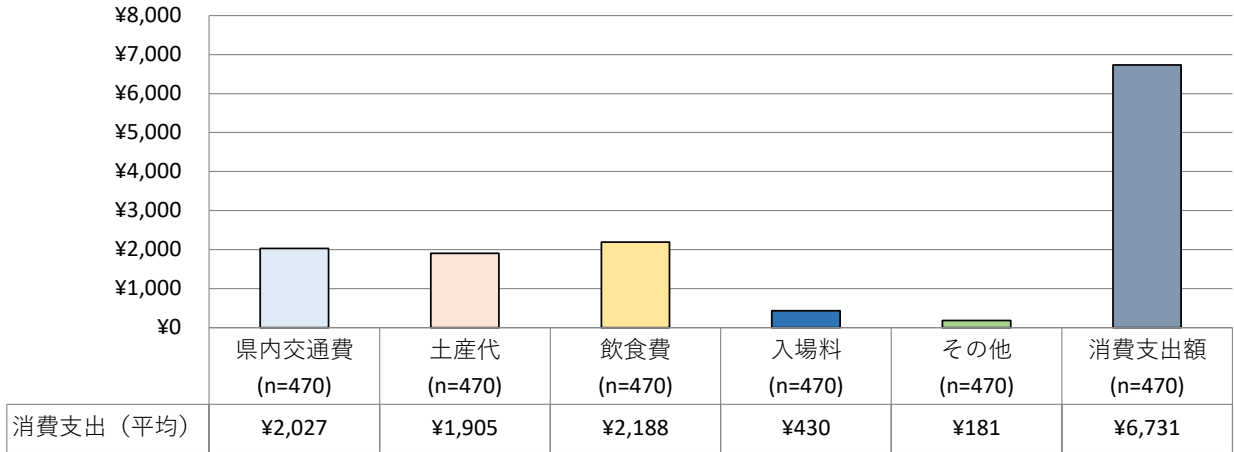


第2章 観光客調査 調査結果

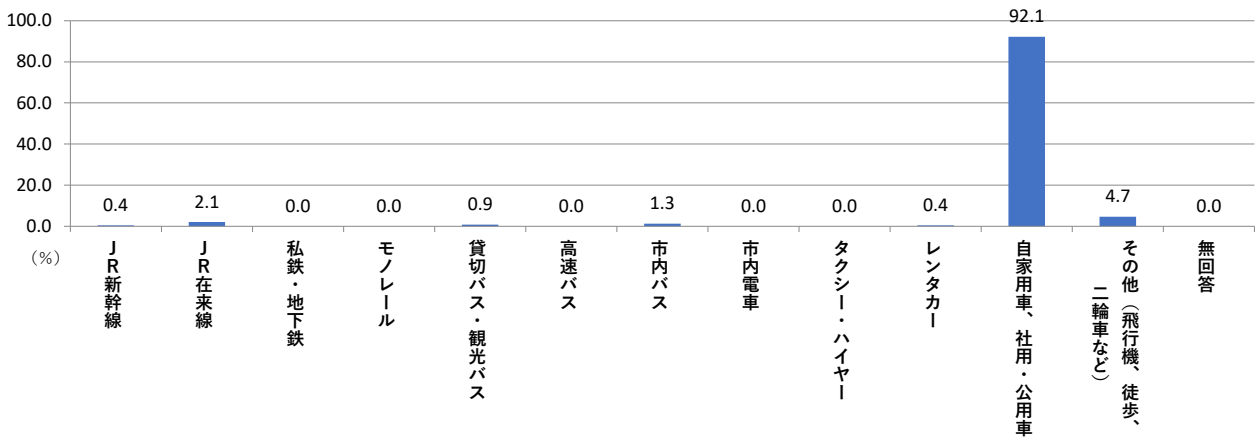
1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

消費支出の平均は、総額で6,731円であった。内訳は、「飲食費」が2,188円で最も多く、次いで「県内交通費」が2,027円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が92.1%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「鷲子山上神社」が6人で最も多く、次いで「道の駅うつのみやろまんちっく村」が5人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=470）

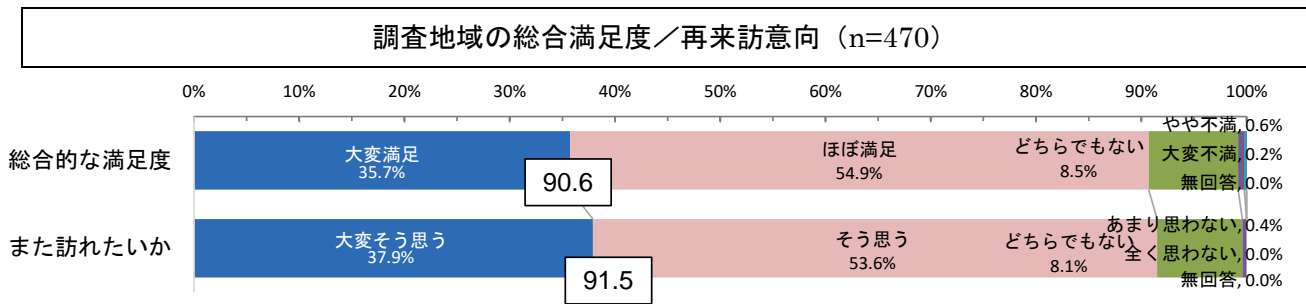


立ち寄り観光施設（n=470）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県央	あしががフラワーパーク(2)	那須ガーデンアウトレット(2)
鷲子山上神社(6)	岩下の新生姜ミュージアム(1)	那須どうぶつ王国(1)
道の駅うつのみやろまんちっく村(5)	野木 Hofman 館(1)	道の駅那須与一の郷(1)
道の駅きつれがわ(3)	県東	日光
馬頭温泉郷(2)	道の駅もてぎ(3)	二社一寺参拝者(3)
道の駅たかねざわ元気あっぷむら(1)	友遊はが(1)	初詣（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）(1)
古峯神社(1)	那須	東武ワールドスクウェア(1)
いわむらかずお絵本の丘美術館(1)	栃木県なかがわ水遊園(6)	
県南	塩原温泉郷(3)	
佐野プレミアム・アウトレット(2)	アグリバル塩原(2)	
足利学校(2)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅ばとう (1)

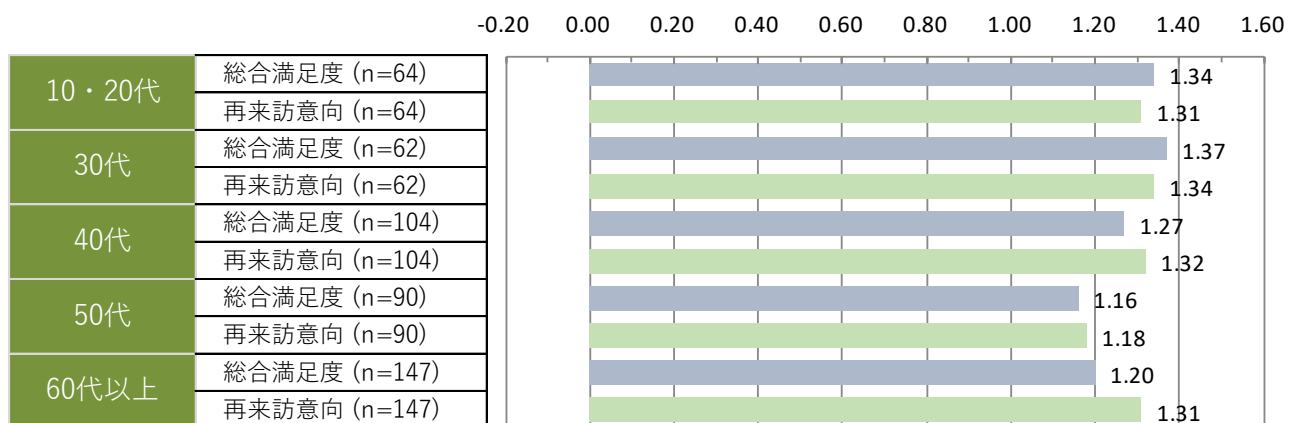
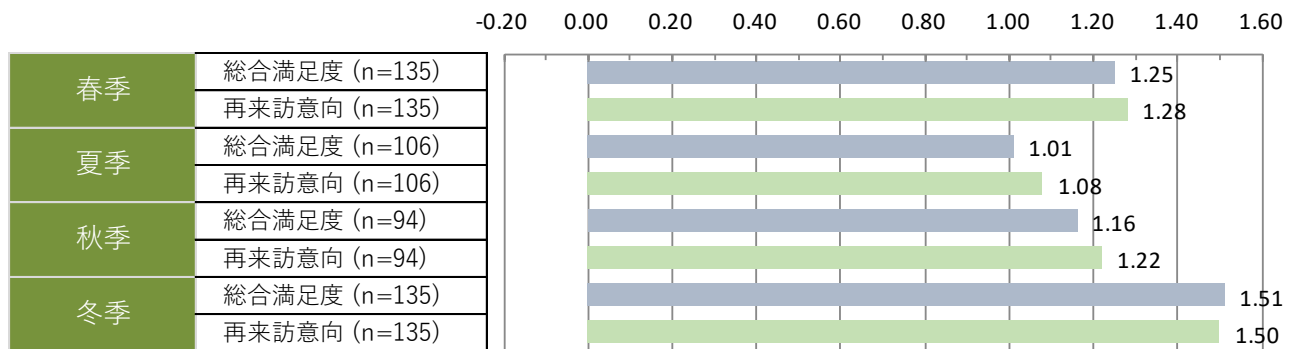
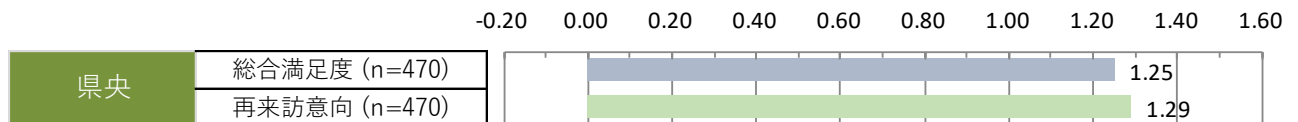
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が90.6%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が91.5%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.51で最も高く、「夏季」が1.01で最も低かった。再来訪意向についても、「冬季」が1.50で最も高く、「夏季」が1.08で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「30代」が1.37と最も高く、「50代」が1.16と最も低かった。再来訪意向については「30代」が1.34で最も高く、「50代」が1.18で最も低かった。



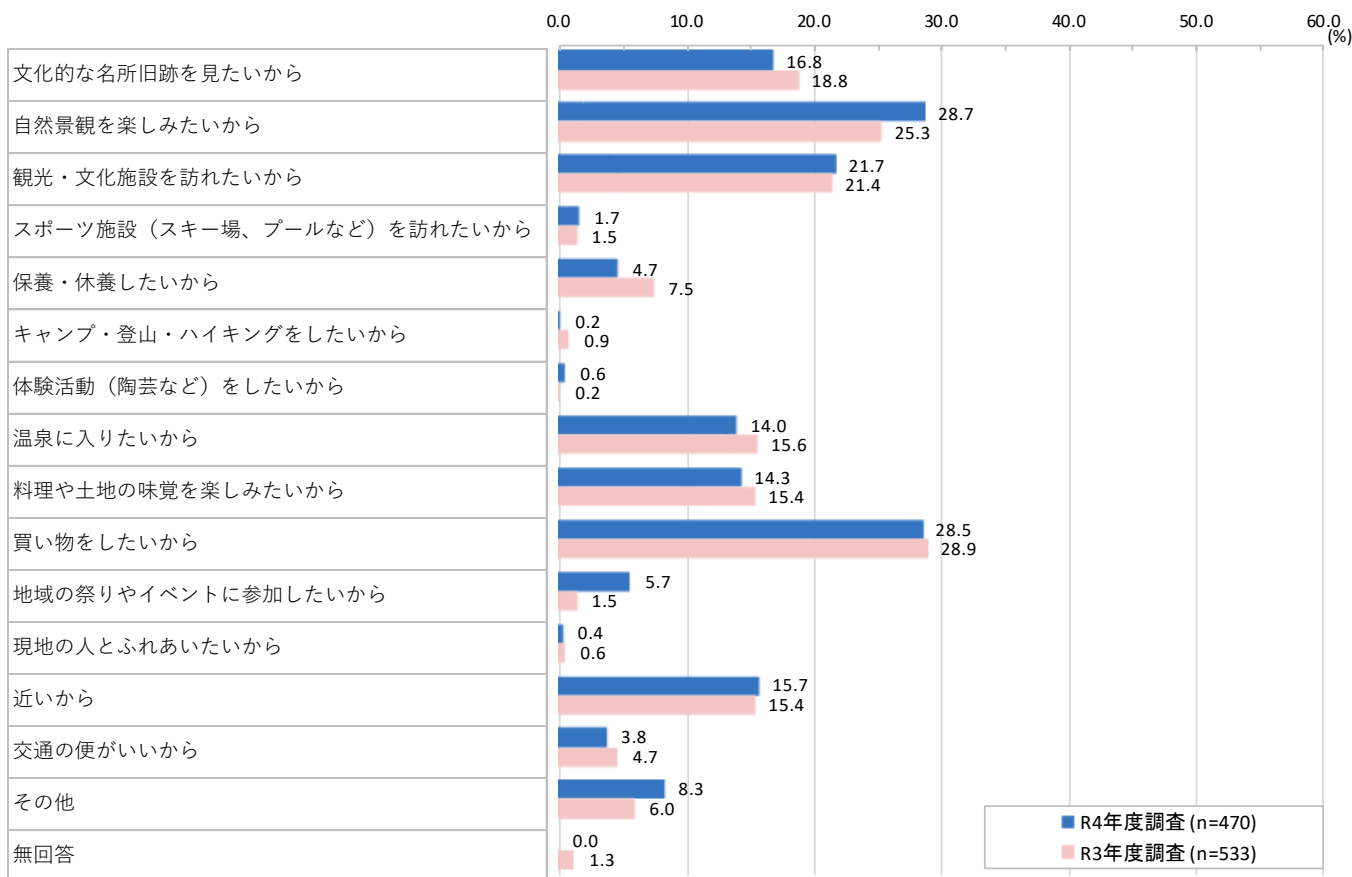
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

②過去調査との比較

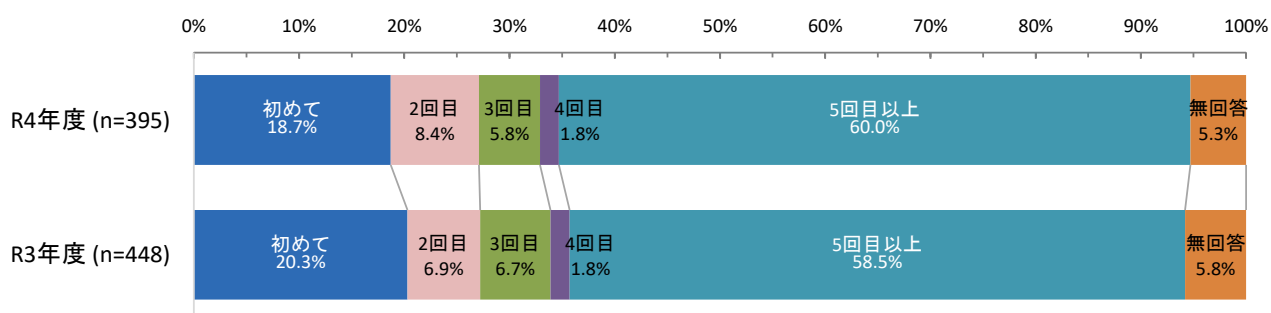
旅行先に選んだ理由は「自然景観を楽しみたいから」が最も多く、令和3(2021)年度では25.3%、令和4(2022)年度調査では28.7%と3.4ポイント増加した。一方、次いで多かった「買い物をしたから」は令和3(2021)年度調査では28.9%、令和4(2022)年度調査では28.5%と0.4ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由 (複数回答)



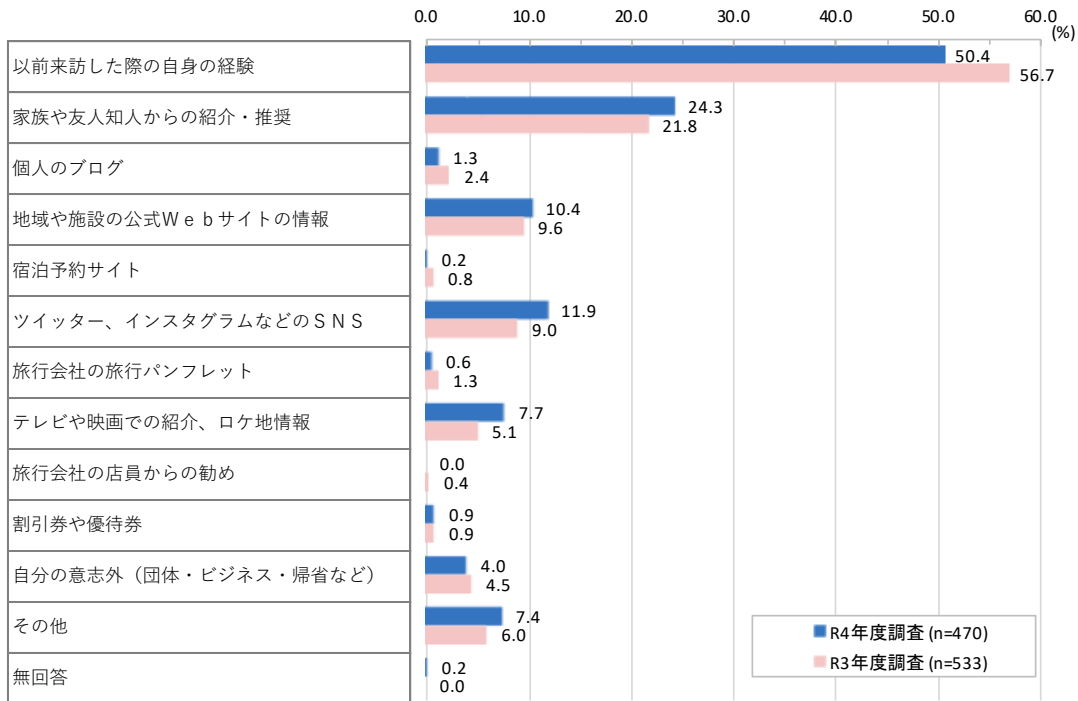
調査地域周辺への来訪回数は、令和3(2021)年度調査では「5回目以上」が58.5%であったが、令和4(2022)年度調査では60.0%と1.5ポイント増加した。一方、「初めて」、「3回目」は令和3(2021)年度調査と比べて減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



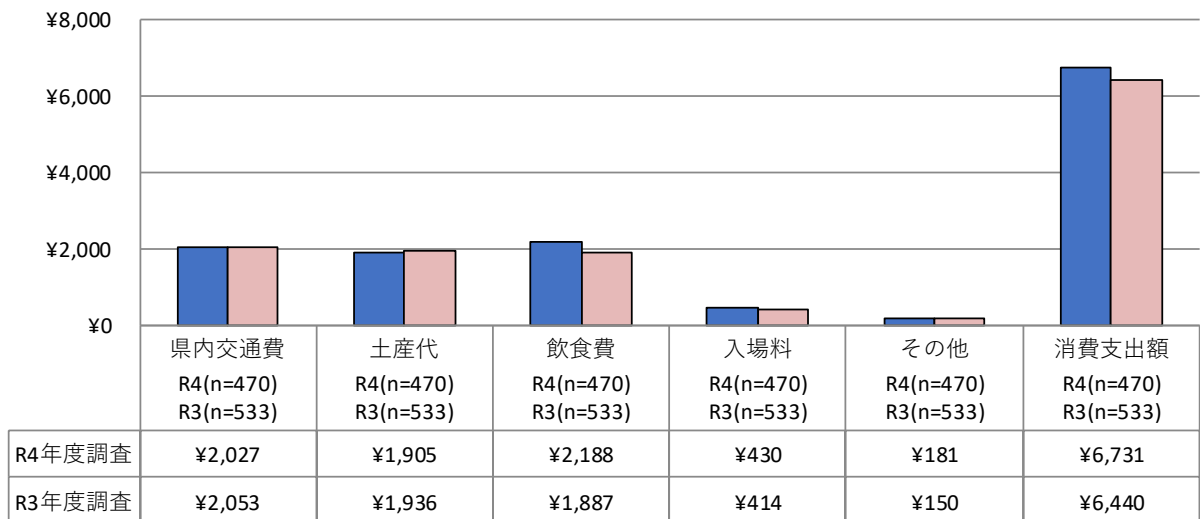
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3（2021）年度調査では56.7%、令和4（2022）年度調査では50.4%と6.3ポイント減少した。一方、「家族や友人知人からの紹介・推奨」、「ツイッター、インスタグラムなどのSNS」、「テレビや映画での紹介、ロケ地情報」は、令和3（2021）年度調査と比べて2.5ポイント以上増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では6,440円であったが、令和4（2022）年度調査では6,731円に増加した。

消費支出（総額）

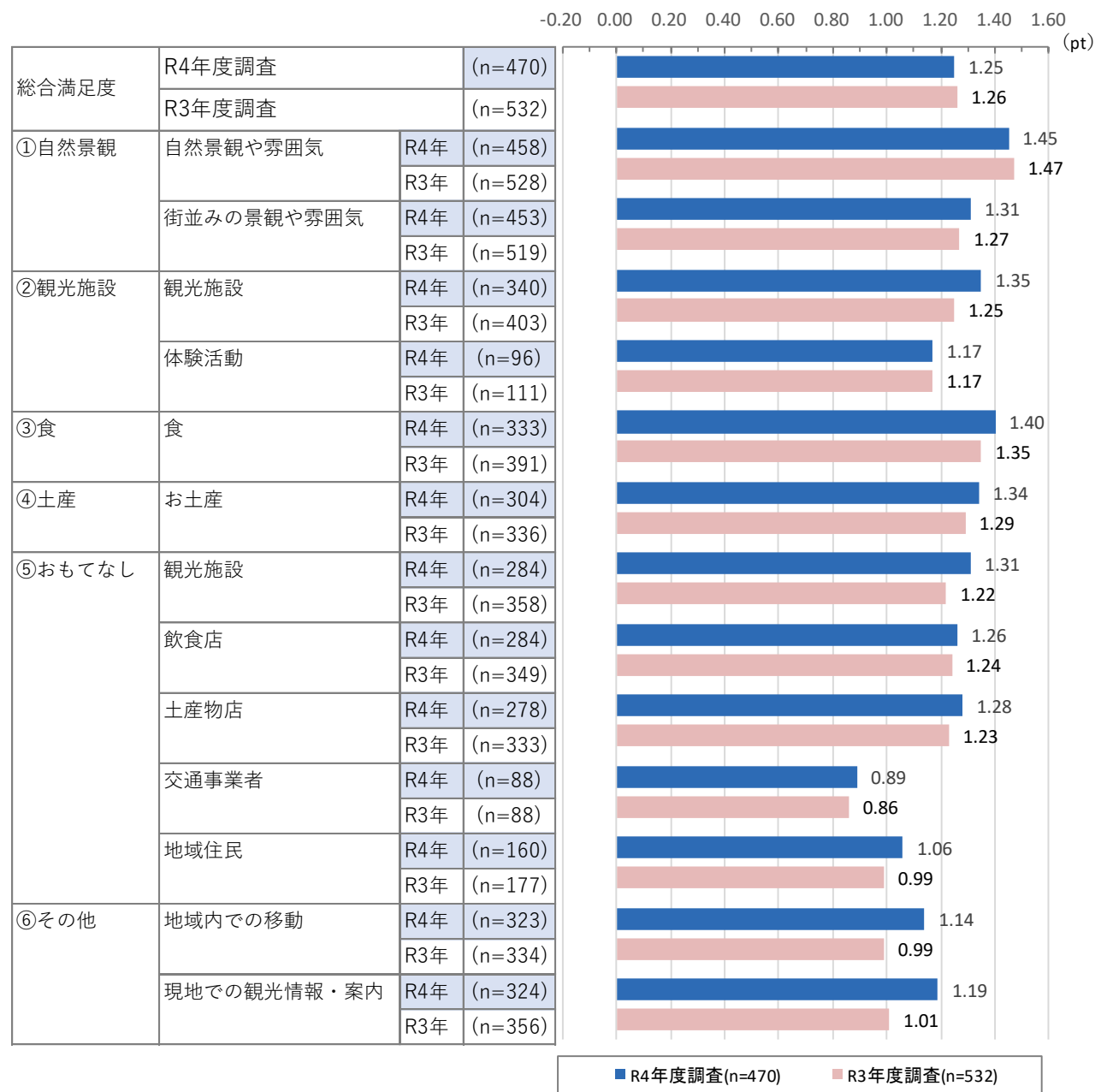


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

総合満足度は、令和3(2021)年度調査では1.26、令和4(2022)年度調査では1.25と大差はみられなかった。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」が令和3(2021)年度調査では1.47、令和4(2022)年度調査では1.45とそれぞれ最も高くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



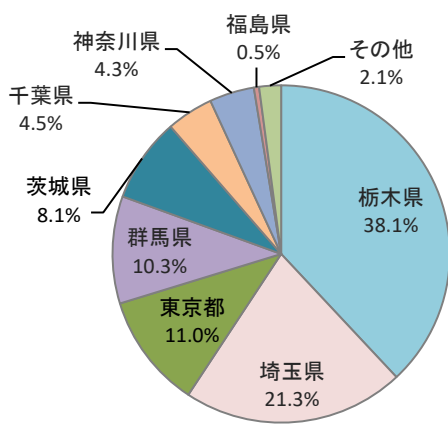
iv. 県南エリア

①令和4(2022)年度調査結果

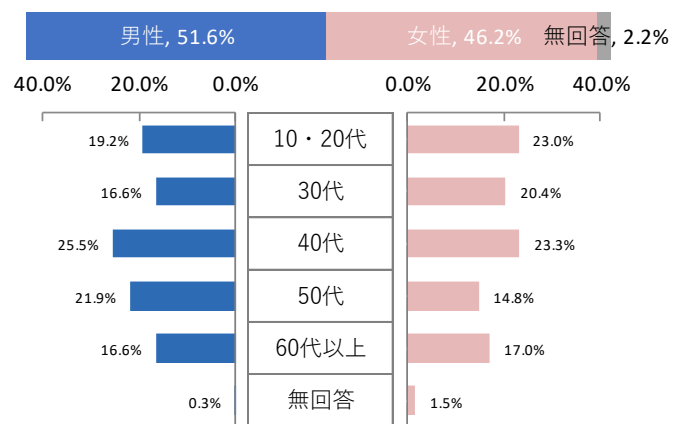
日帰り客(県南エリア) サンプル数：585

お住まいは「栃木県」が最も多く 38.1%、次いで「埼玉県」が 21.3%、「東京都」が 11.0%であった。年代は、男女ともに「40代」が最も多く、男性では 25.5%、女性では 23.3%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが 47.2%で最も多く、次いで「初めて」が 25.9%であった。
同行者数は「2人」が 44.6%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れの家族旅行」と「夫婦旅行」がともに 23.2%で最も多かった。

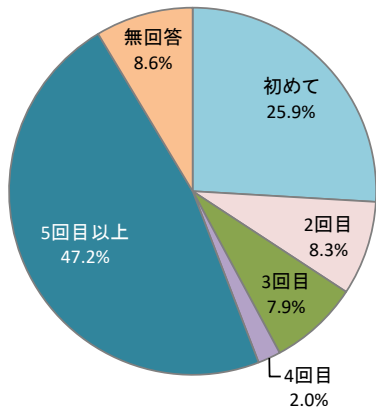
お住まい (n=585)



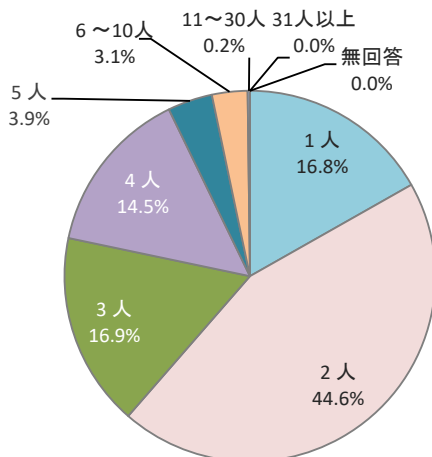
性別・年代 (n=585)



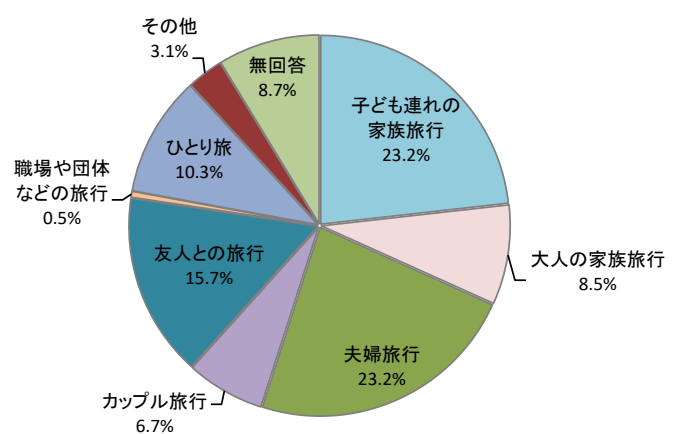
調査地域周辺への来訪回数 (n=544)



同行者数 ※回答者を含む (n=585)



同行者の関係 (n=585)

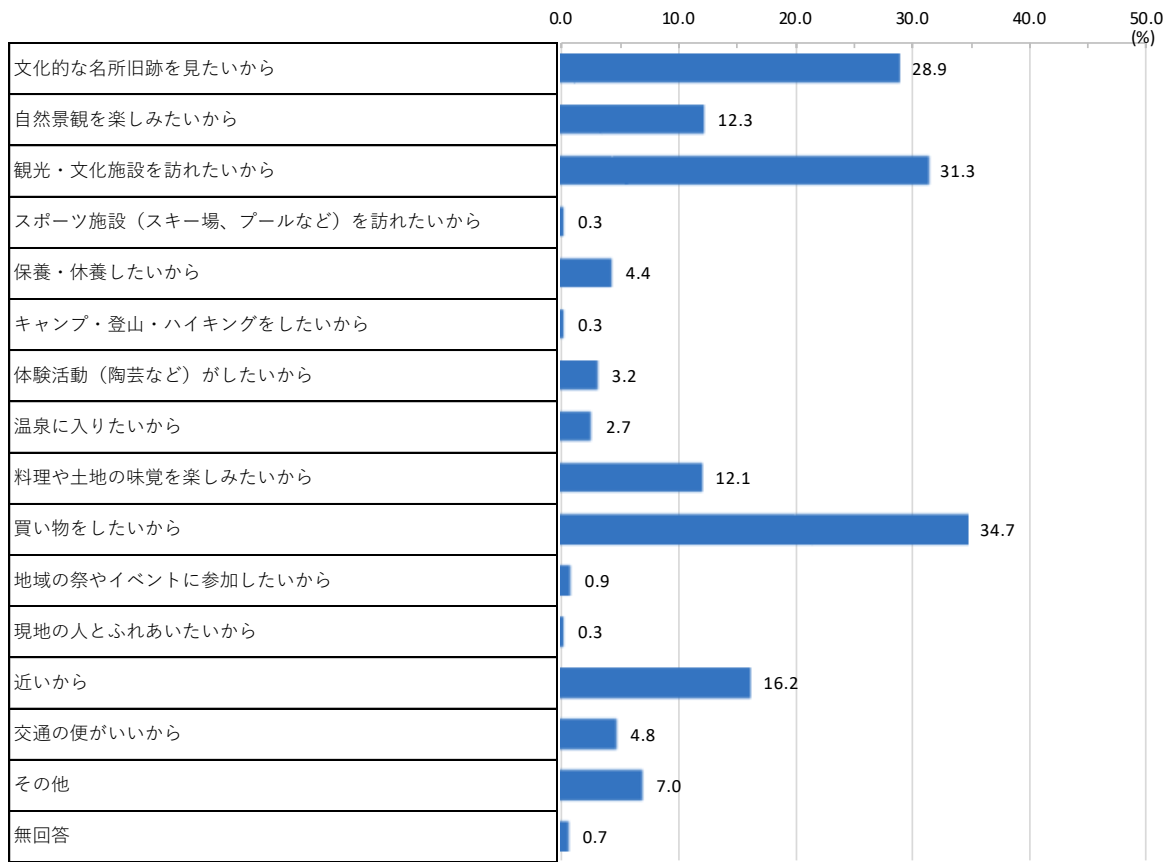


第2章 観光客調査 調査結果

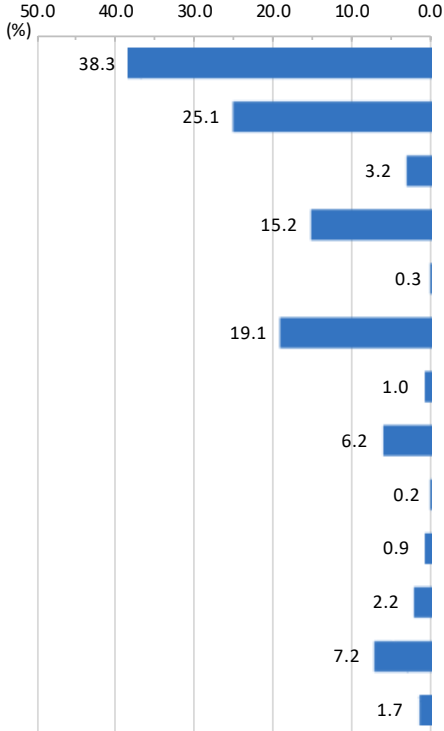
1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

旅行先に選んだ理由は「買い物をしたから」が34.7%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が31.3%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が38.3%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が33.7%で最も多かった。

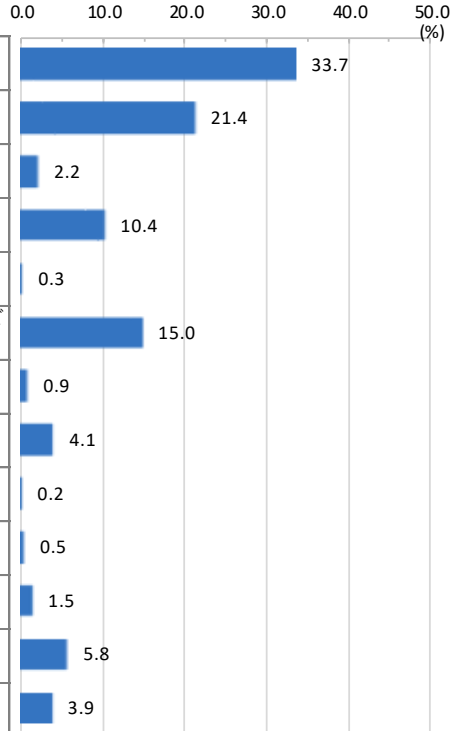
旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=585)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=585)



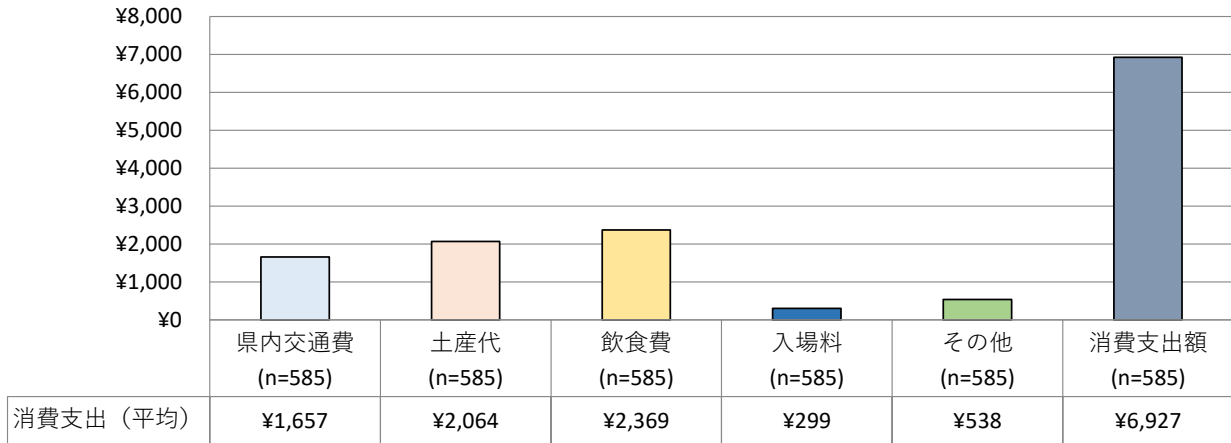
“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=585)



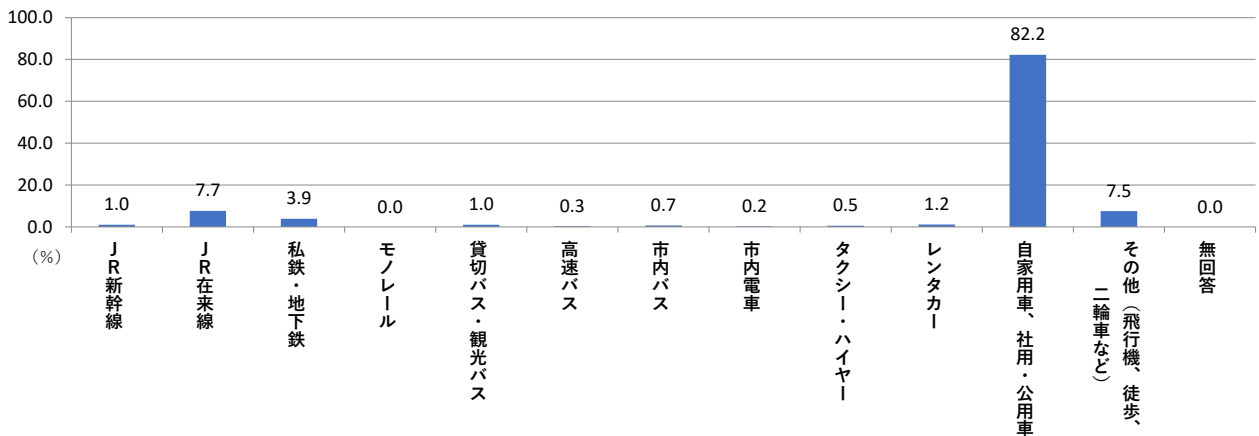
消費支出の平均は、総額で 6,927 円であった。内訳は、「飲食費」が 2,369 円で最も多かった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 82.2%であった。

立ち寄り観光施設は、「織姫公園」が 35 人で最も多く、次いで「あしかがフラワーパーク」が 30 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=585）



立ち寄り観光施設（n=585）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県南	道の駅どまんなかたぬま(2)	県央
織姫公園(35)	足利学校(2)	大谷資料館(2)
あしかがフラワーパーク(30)	みかも山公園(1)	道の駅うつのみやろまんちっく村(1)
佐野プレミアム・アウトレット(15)	とちぎ山車会館(1)	前日光つつじの湯交流館(1)
鑿阿寺(9)	唐澤山神社(1)	古峯神社(1)
佐野厄よけ大師(8)	とちぎ花センター(1)	那須
道の駅思川(7)	渡良瀬遊水地（谷中湖）(1)	那須ガーデンアウトレット(1)
太平山神社(6)	おやまゆうえんハーヴェストウォーク	日光
太平記館(5)	道の駅しもつけ(1)	二社一寺参拝者(3)
太平山(4)	道の駅みかも(1)	
いちごの里(4)	まちの駅コエド市場(1)	
大小山（ハイキングコース）(3)	栗田美術館(1)	

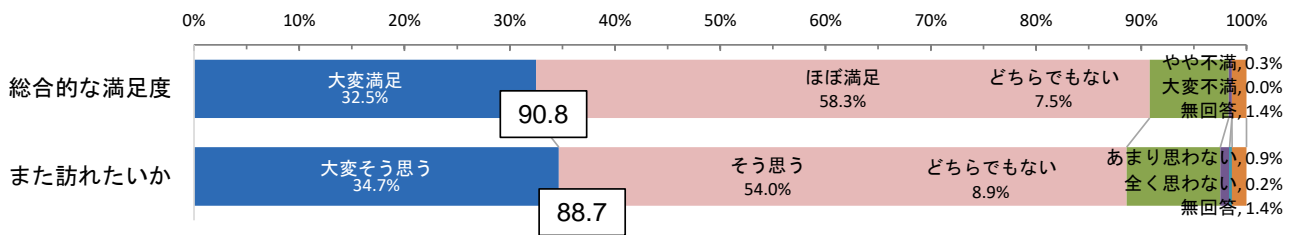
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
足利学校（3）、岩下の新生姜ミュージアム（2）

第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

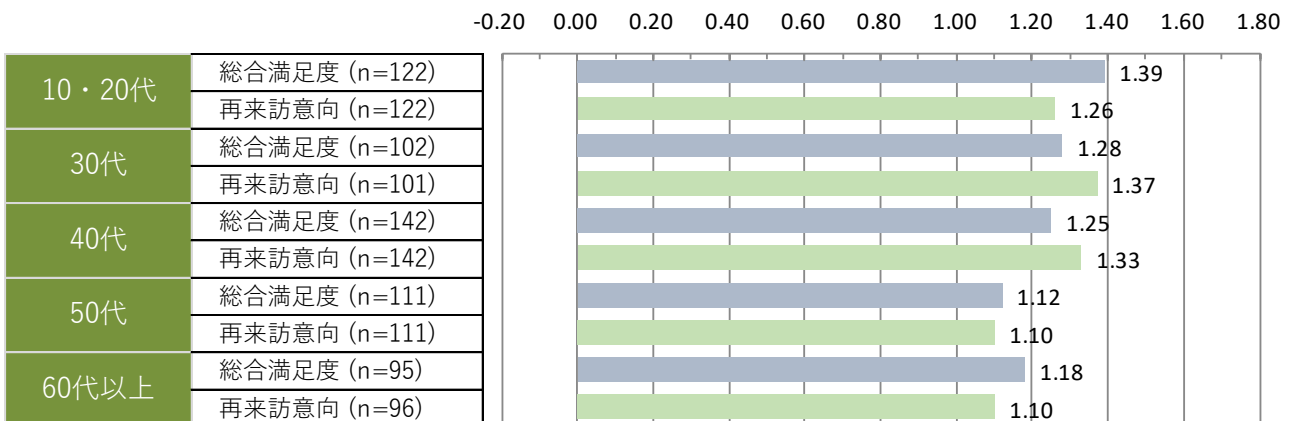
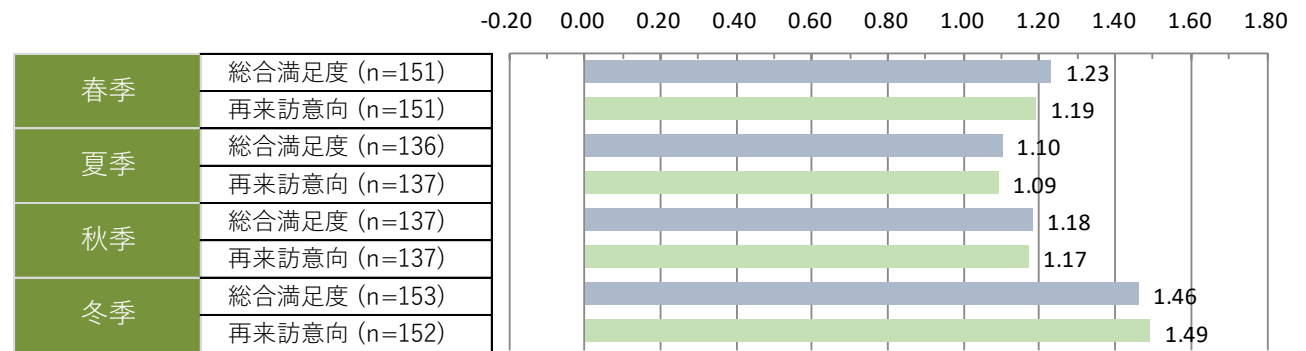
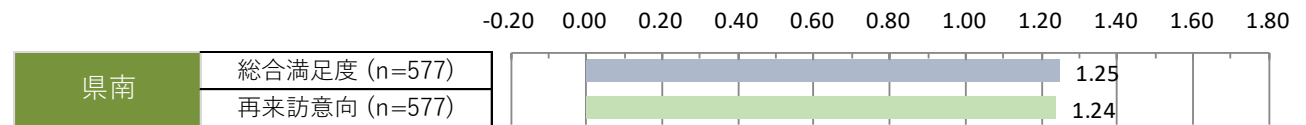
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が90.8%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】も88.7%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=585)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

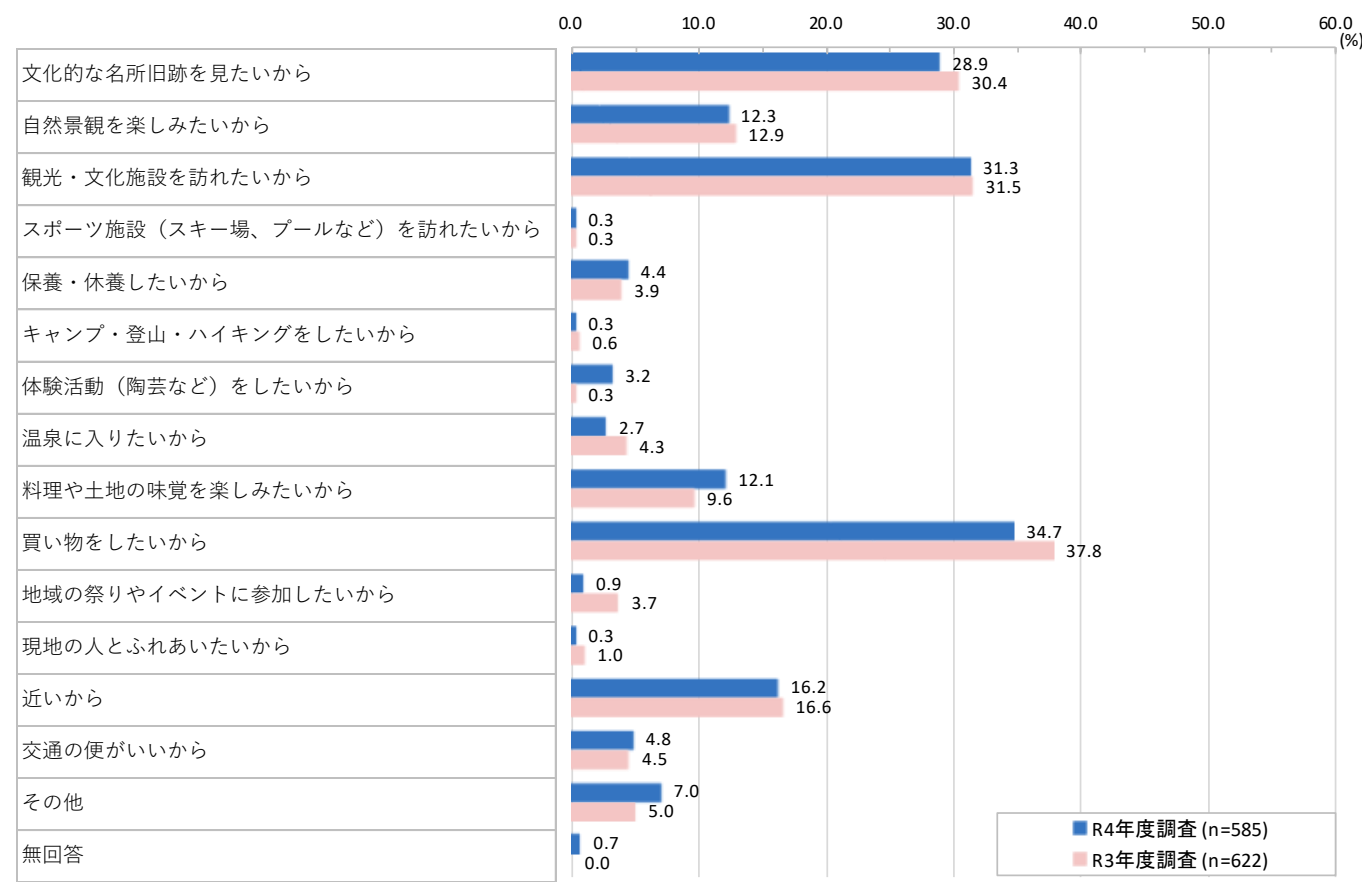
総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.46で最も高く、「夏季」が1.10で最も低かった。また、再来訪意向についても「冬季」が1.49で最も高く、「夏季」が1.09で最も低かった。
 年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.39と最も高く、「50代」が1.12と最も低かった。再来訪意向については「30代」が1.37と最も高く、「50代」と「60代以上」がともに1.10と最も低かった。



②過去調査との比較

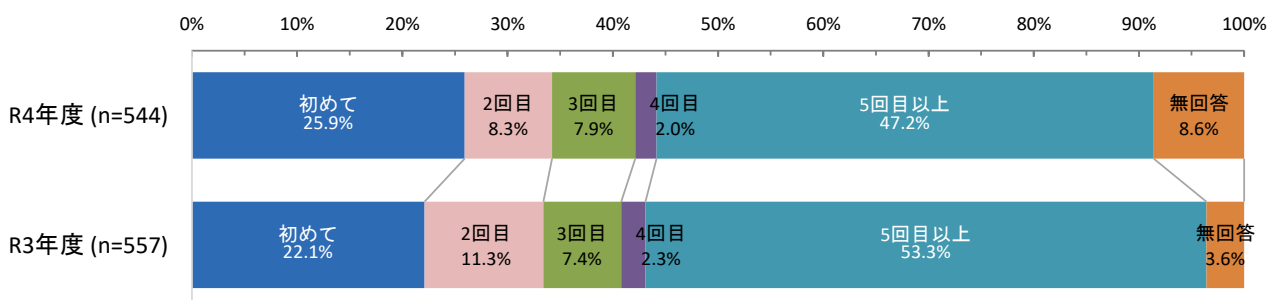
旅行先に選んだ理由として最も多かった「買い物をしたいから」は、令和3(2021)年度調査では37.8%、令和4(2022)年度調査では34.7%と3.1ポイント減少した。次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」は、令和3(2021)年度調査では31.5%、令和4(2022)年度調査では31.3%と大差はみられなかった。

旅行先に選んだ理由(複数回答)



調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が令和3(2021)年度調査では53.3%であったが、令和4(2022)年度調査では47.2%と6.1ポイント減少した。一方、「初めて」は令和3(2021)年度調査では22.1%であったが、令和4(2022)年度調査では25.9%と3.8ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く

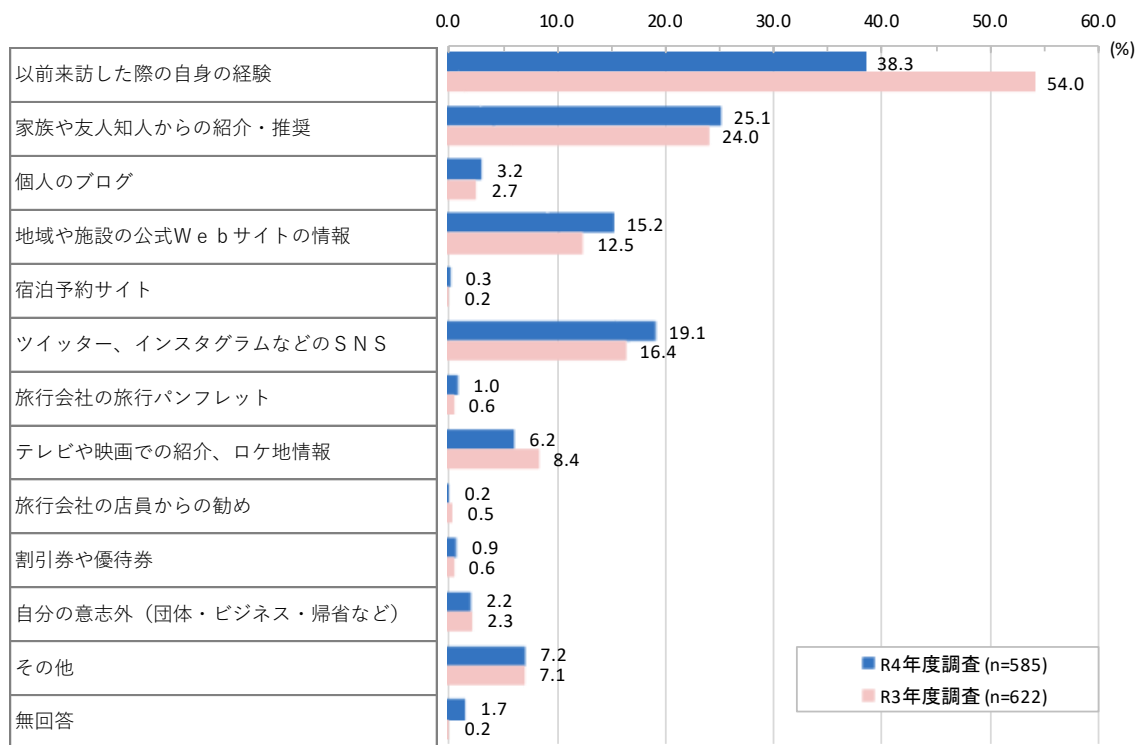


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

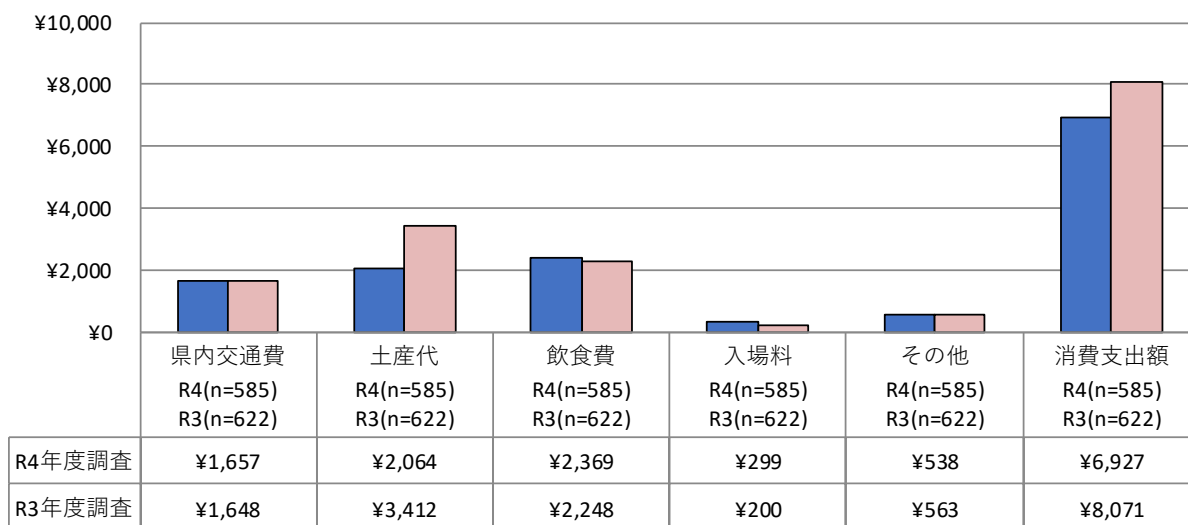
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3（2021）年度調査では54.0%、令和4（2022）年度調査では38.3%と15.7ポイント減少した。一方、「家族や友人知人からの紹介・推奨」「地域や施設の公式Webサイト」「ツイッター、インスタグラムなどのSNS」は令和3（2021）年度調査と比べてやや増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



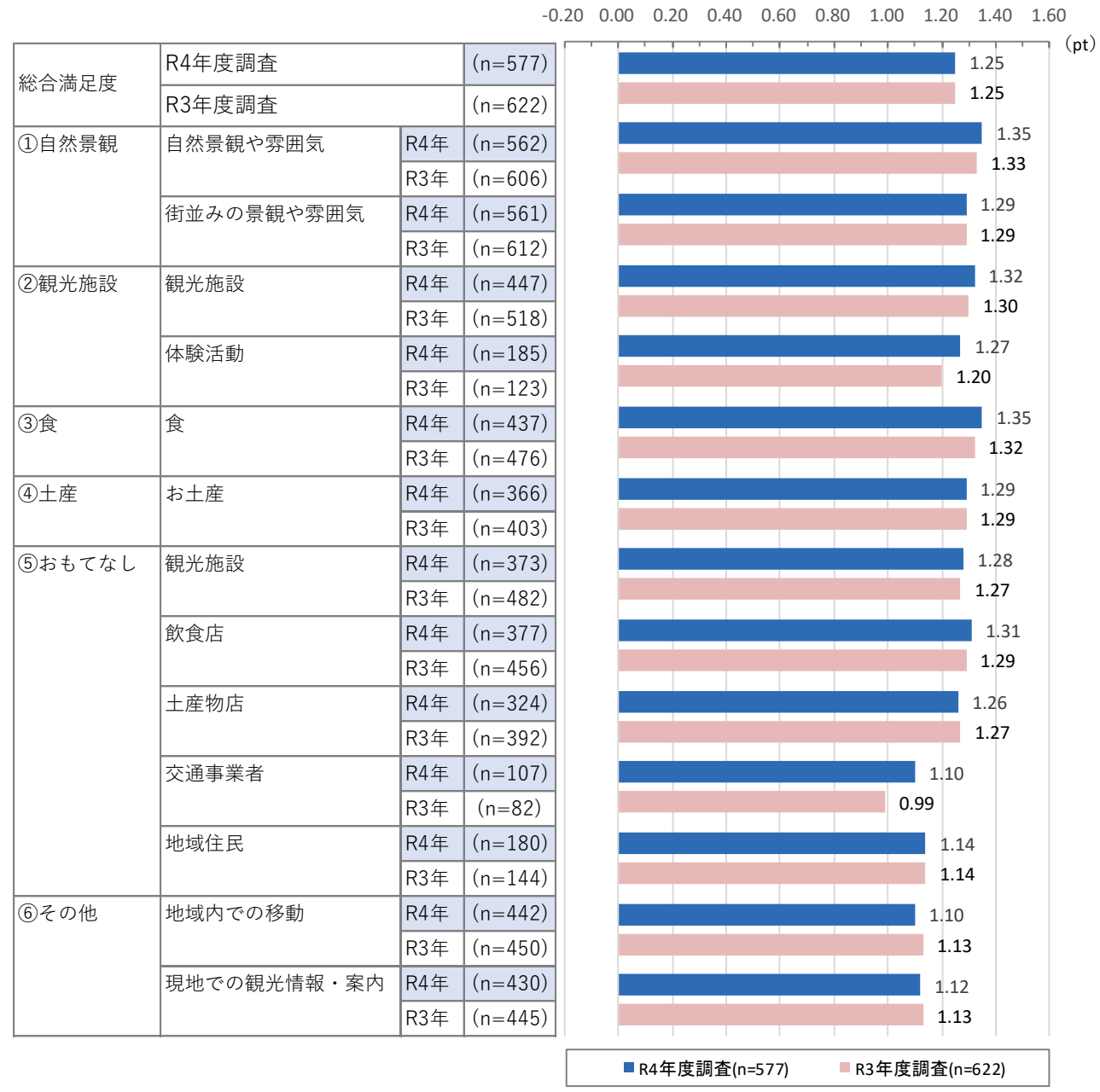
消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では8,071円であったが、令和4（2022）年度調査では6,927円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和3(2021)年度調査と令和4(2022)年度調査ともに1.25であった。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.33で最も高いが、令和4(2022)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」と「食」がともに1.35と最も高くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



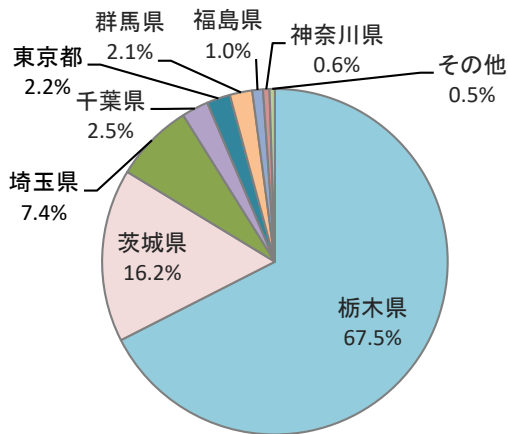
v. 県東エリア

①令和4(2022)年度調査結果

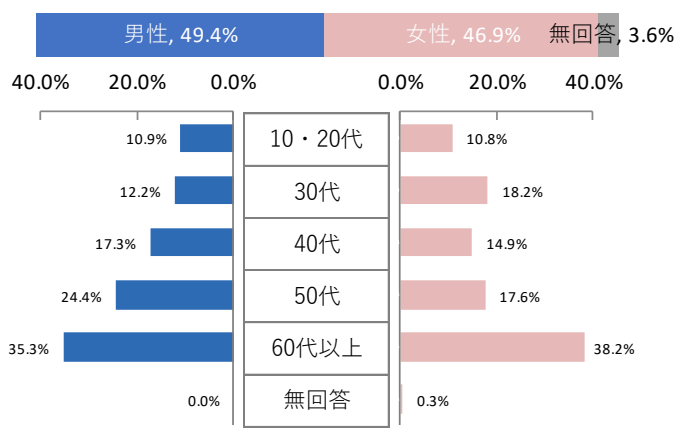
日帰り客(県東エリア) サンプル数：631

お住まいは「栃木県」が最も多く67.5%、次いで「茨城県」が16.2%、「埼玉県」が7.4%であった。
 年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、「男性」が35.3%、「女性」が38.2%であった。
 調査地域周辺の来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが71.7%で最も多かった。
 同行者数は「2人」が49.6%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が31.5%で最も多かった。

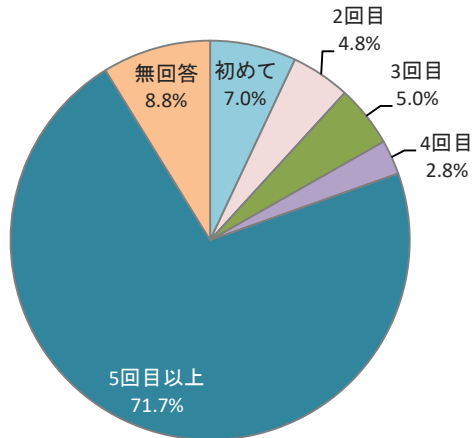
お住まい (n=631)



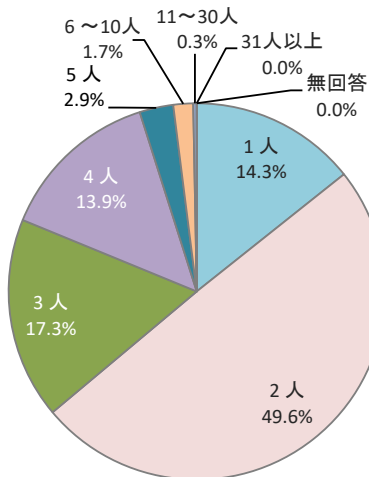
性別・年代 (n=631)



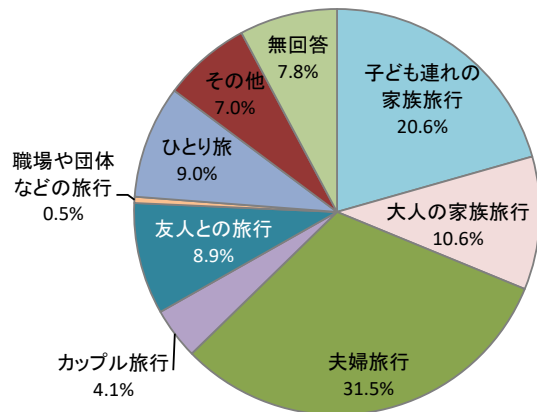
調査地域周辺への来訪回数 (n=501)



同行者数 ※回答者を含む (n=631)

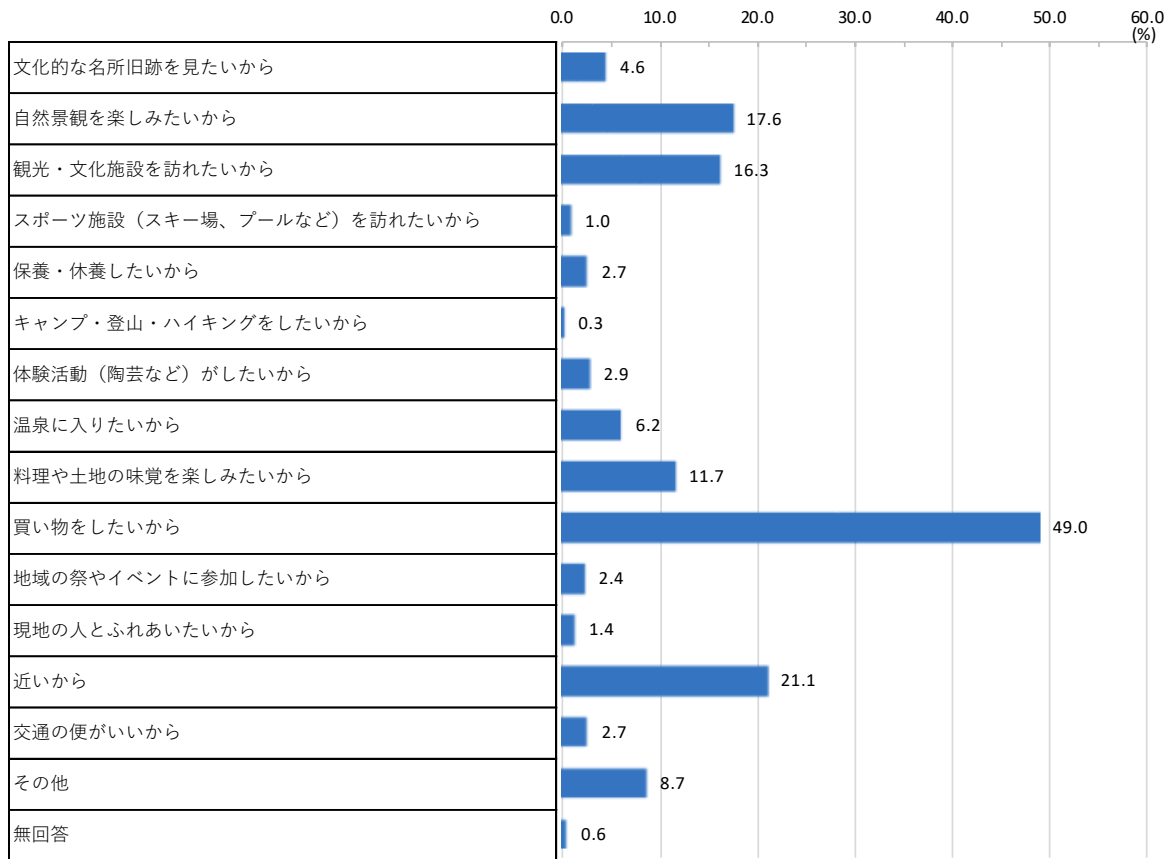


同行者の関係 (n=631)



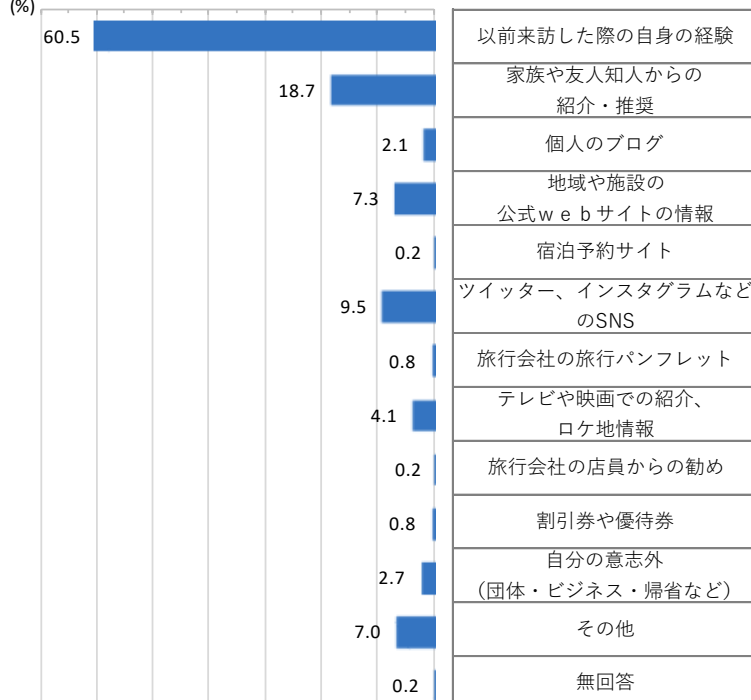
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が49.0%で最も多く、次いで「近いから」が21.1%と多かった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が60.5%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が55.5%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=631）



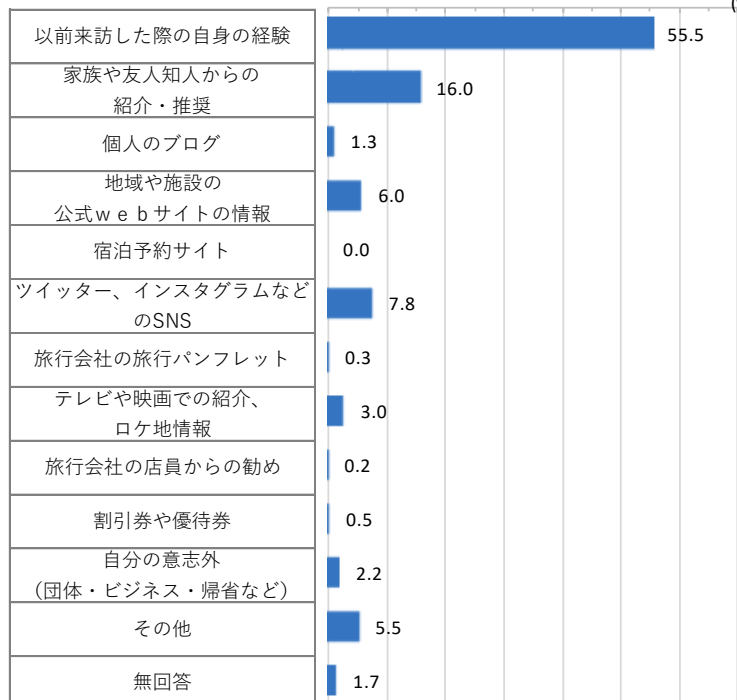
旅行先に選んだ情報源
（複数回答）（n=631）

70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0 (%)



“決め手”となった情報源
（単一回答）（n=631）

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 (%)

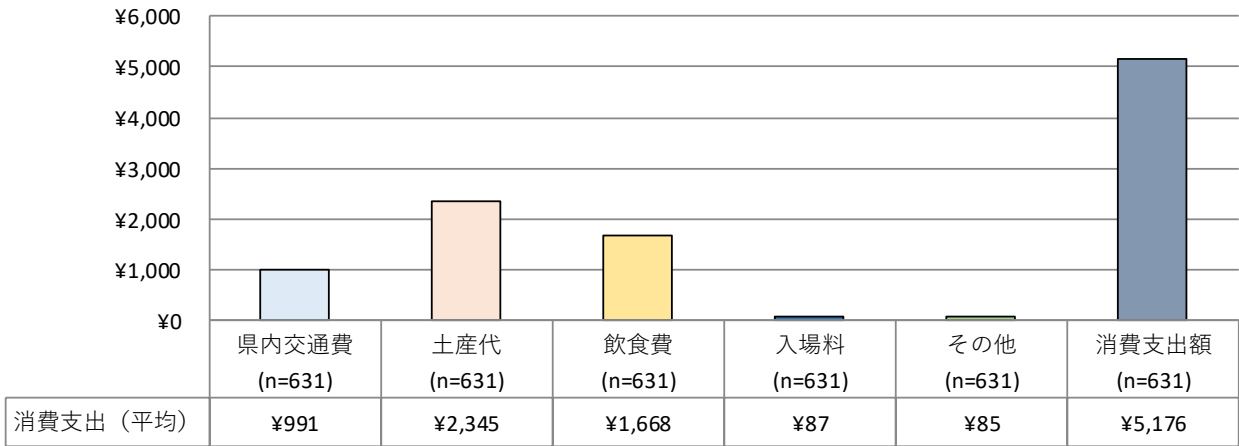


第2章 観光客調査 調査結果

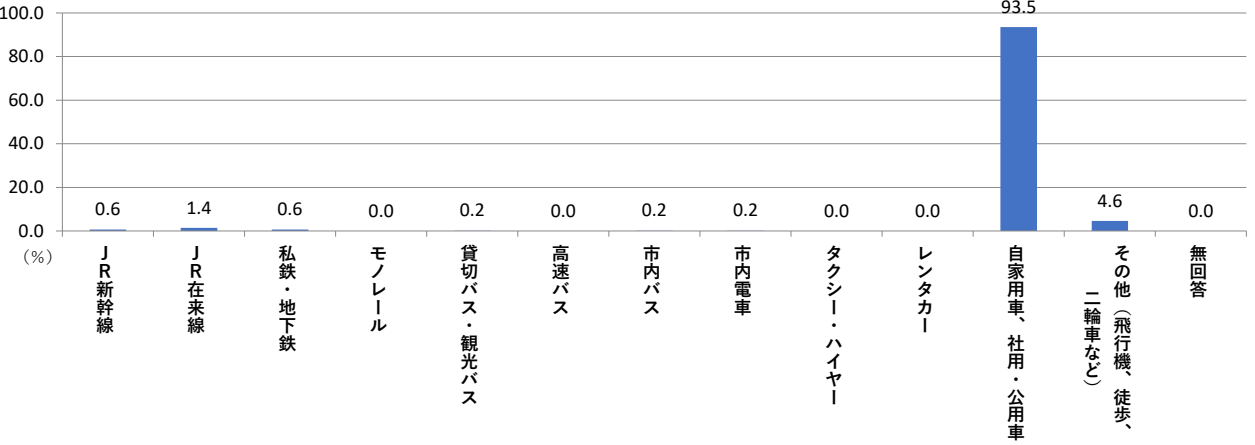
1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 県東エリア

消費支出の平均は、総額で 5,176 円であった。内訳は、「土産代」が 2,345 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,668 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 93.5%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「道の駅しもつけ」が 24 人で最も多く、次いで「道の駅ましこ」が 13 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=631）



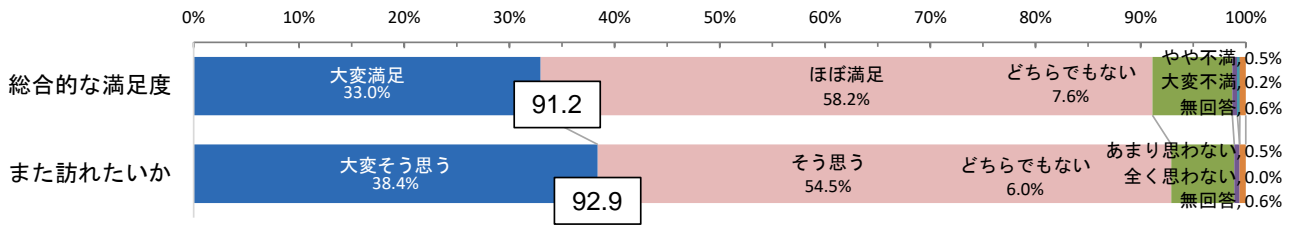
立ち寄り観光施設（n=631）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県東	県南	道の駅ばとう(1)
道の駅ましこ(13)	道の駅しもつけ(24)	
道の駅もてぎ(10)	とちぎあじさいまつり(6)	
道の駅はが(2)	いわふねフルーツパーク(2)	
道の駅サンバの里いちかい(2)	あしかがフラワーパーク(1)	
井頭公園(1)	県央	
学問の神様天満宮(1)	道の駅きつれがわ(1)	
道の駅にのみや(1)	馬頭温泉郷(1)	
大瀬観光やな(1)	道の駅たかねざわ元気あっぷむら(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅もてぎ（2）、道の駅はが（2）

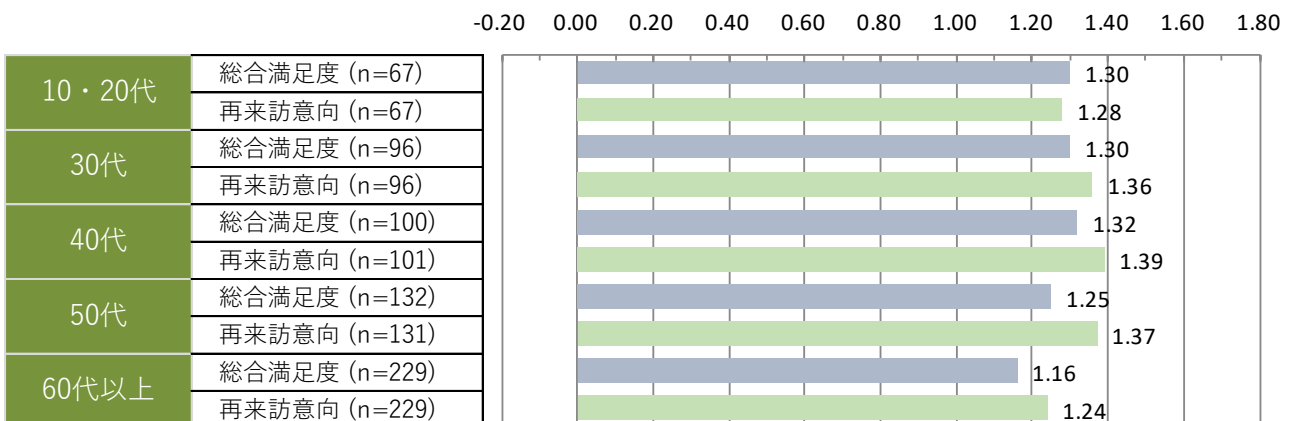
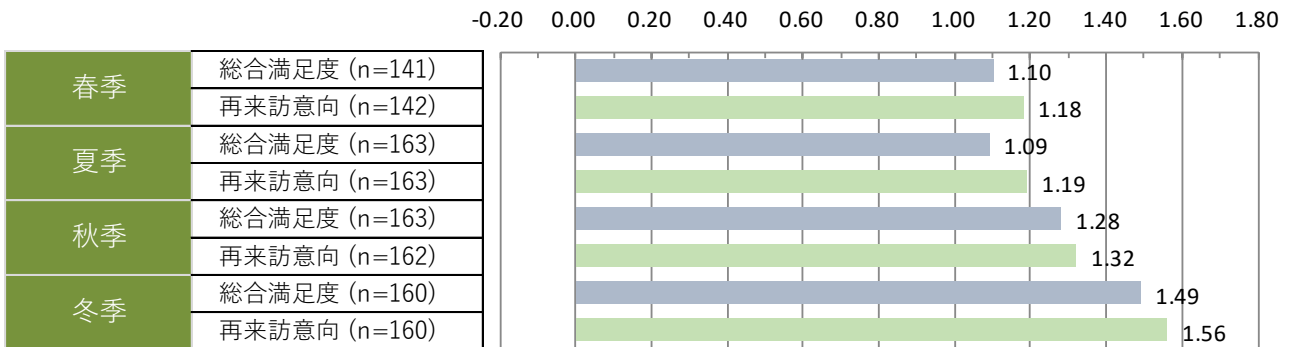
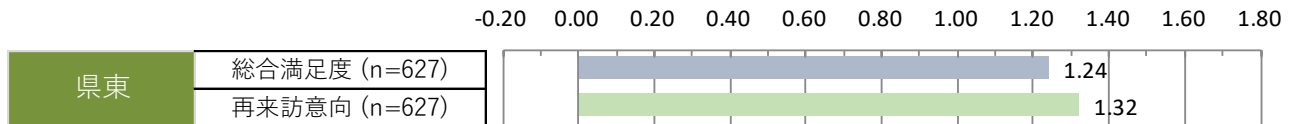
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が91.2%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が92.9%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=631)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.49で最も高く、「夏季」が1.09で最も低かった。再来訪意向については、「冬季」が1.56で最も高く、「春季」が1.18で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「40代」が1.32で最も高く、「60代以上」が1.16で最も低かった。再来訪意向についても、「40代」が1.39で最も高く、「60代以上」が1.24で最も低かった。



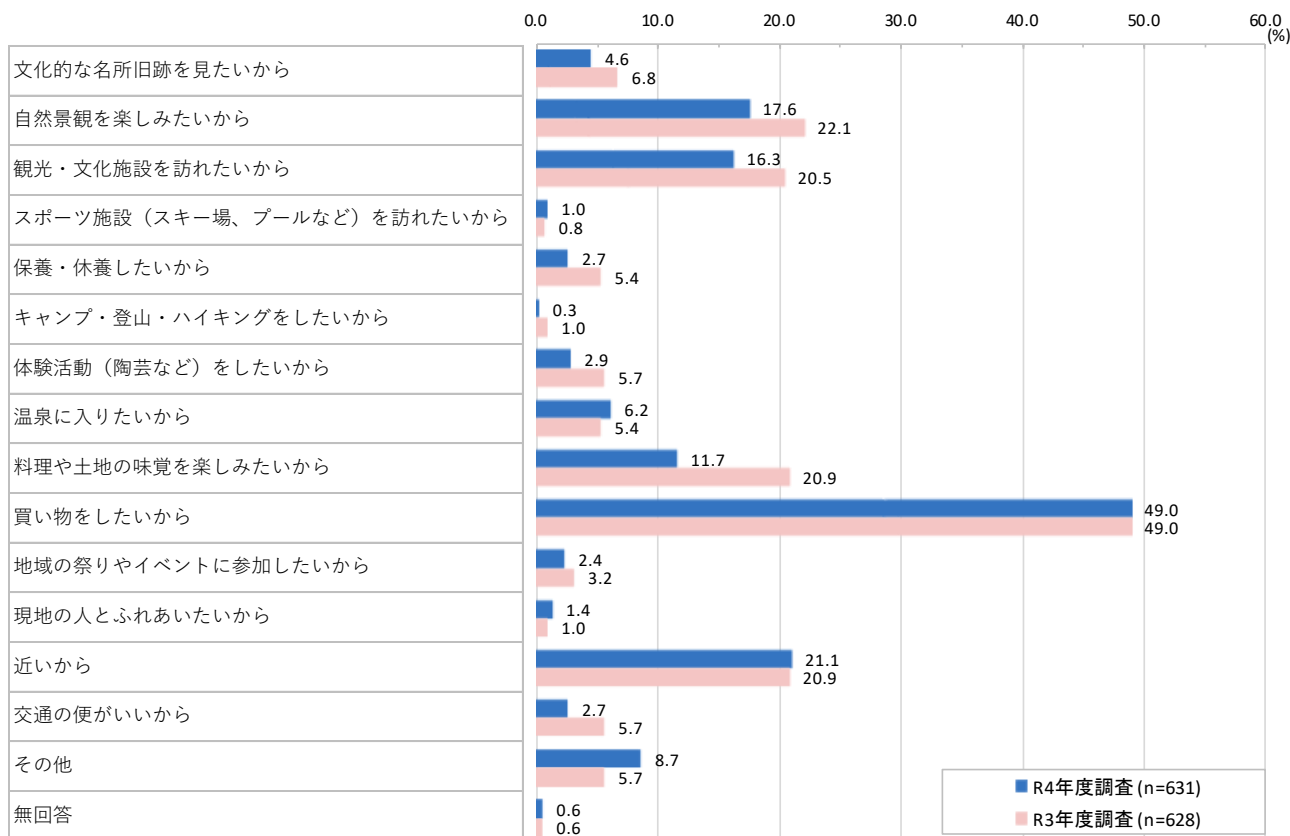
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 県東エリア

②過去調査との比較

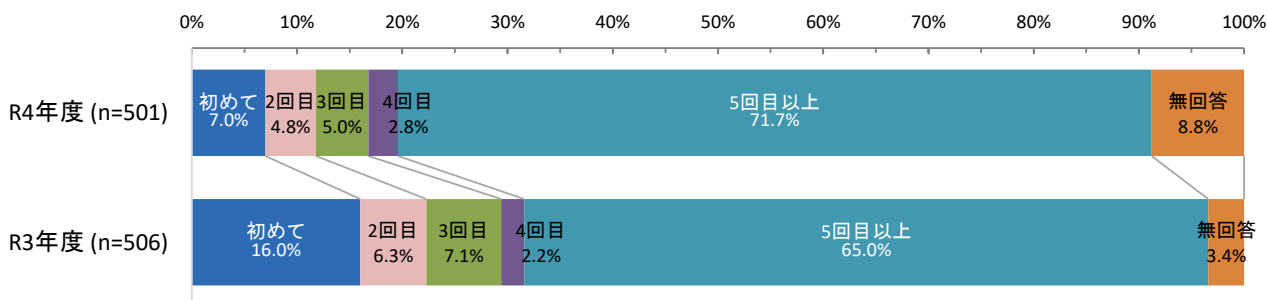
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和3(2021)年度調査と令和4(2022)年度調査ともに49.0%であった。また、次いで多かった「近いから」は令和3(2021)年度調査では20.9%、令和4(2022)年度調査では21.1%と大差はみられなかった。

旅行先に選んだ理由 (複数回答)



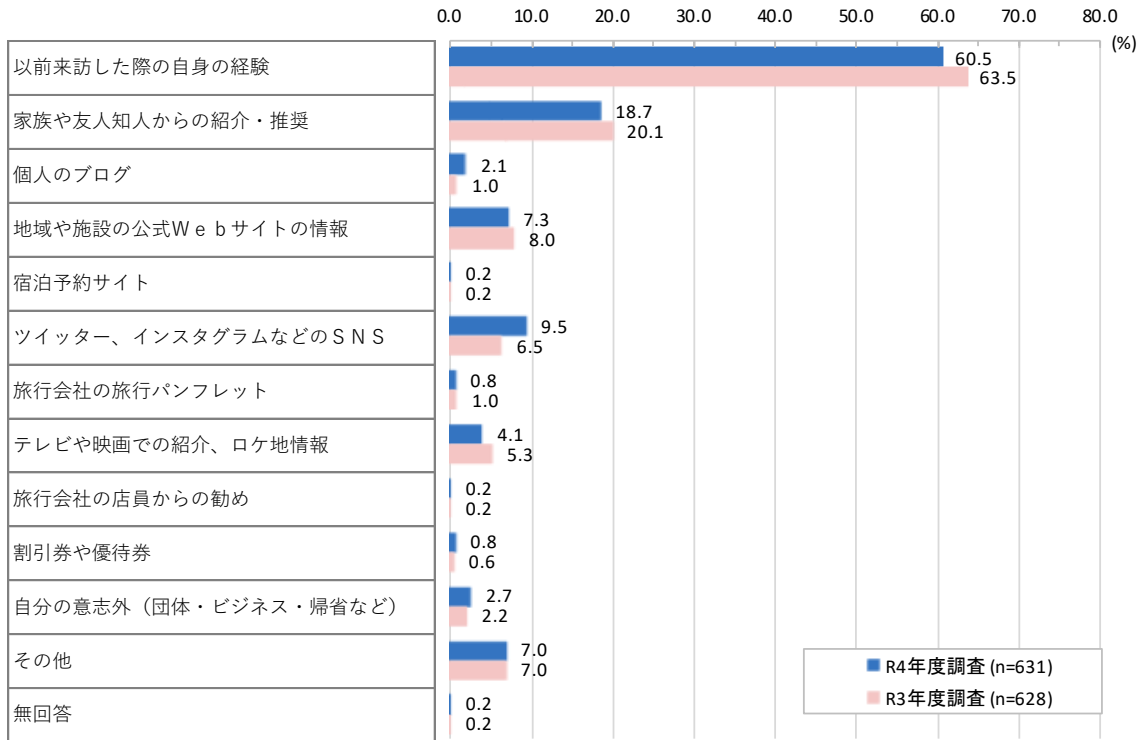
調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が最も多く、令和3(2021)年度調査では65.0%、令和4(2022)年度調査では71.7%と6.7ポイント増加した。一方、「初めて」は令和3(2021)年度調査では16.0%、令和4(2022)年度調査では7.0%と9.0ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数※周辺住民を除く



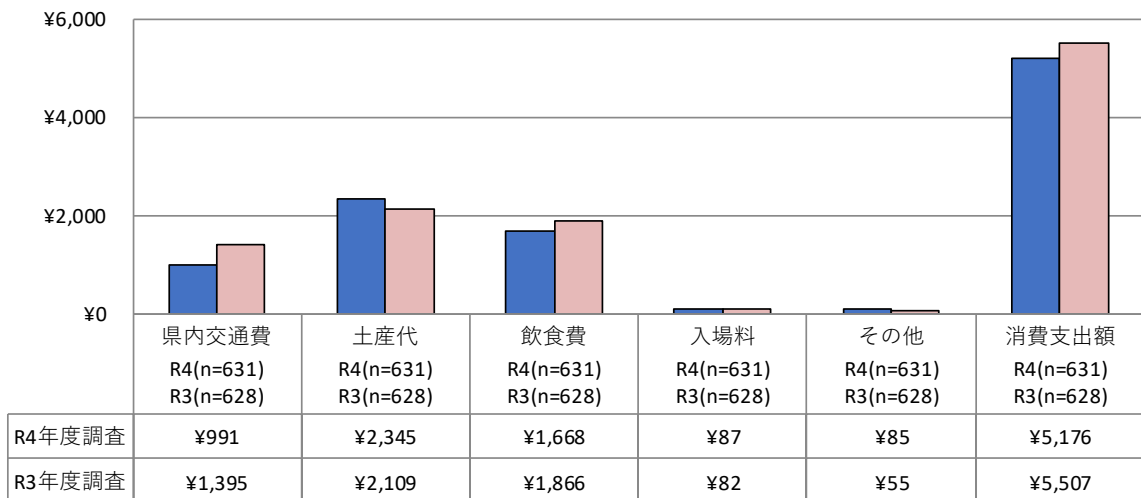
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3（2021）年度調査では63.5%、令和4（2022）年度調査では60.5%と3.0ポイント減少した。また、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」についても、令和3（2021）年度調査では20.1%、令和4（2022）年度調査では18.7%と1.4ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では5,507円であったが、令和4（2022）年度調査では5,176円に減少した。

消費支出（総額）

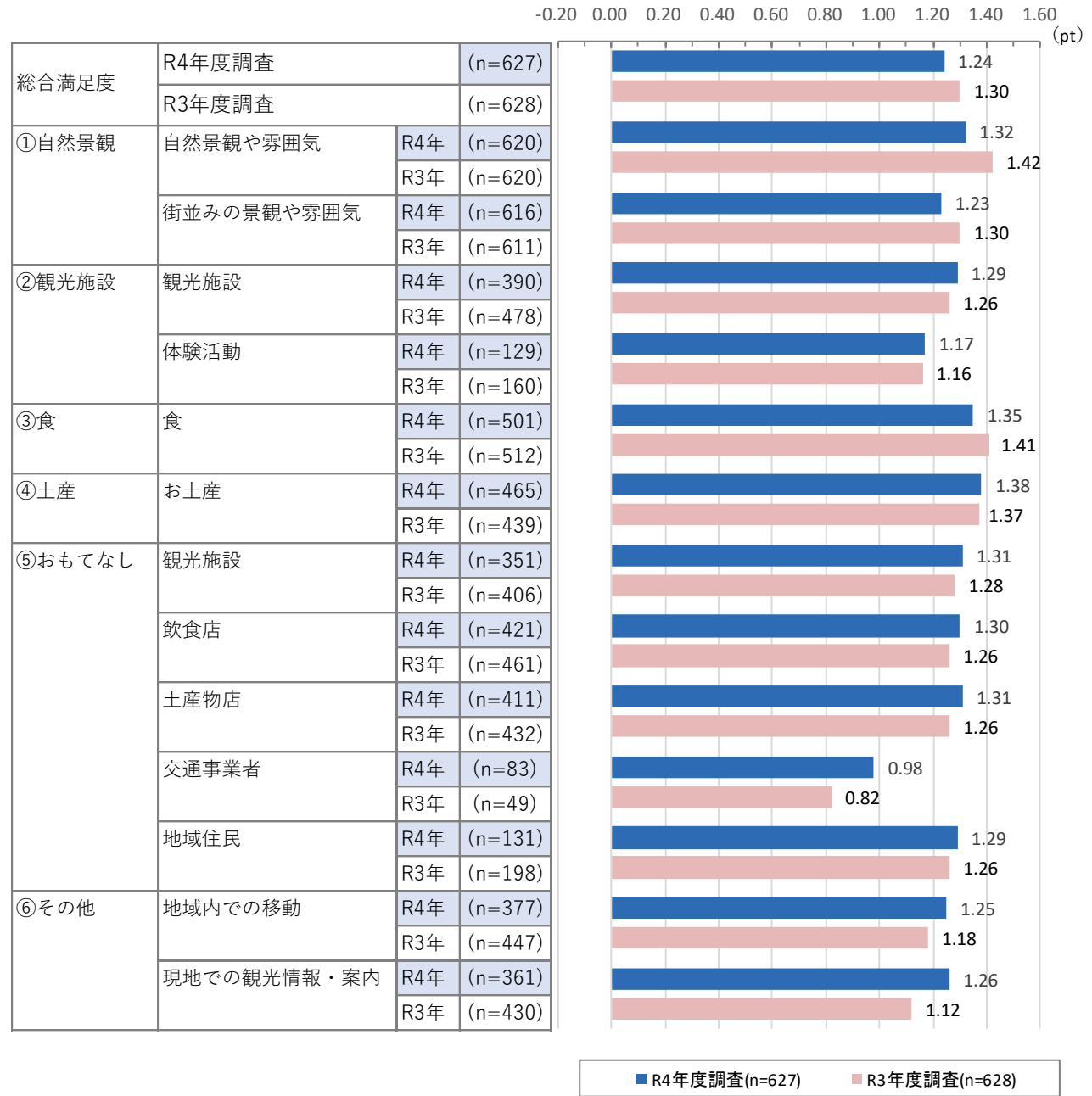


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 県東エリア

総合満足度は、令和3(2021)年度調査では1.30、令和4(2022)年度調査では1.24と0.06ポイント減少した。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.42と最も高いが、令和4(2022)年度調査では「お土産」が1.38と最も高くなっている。

項目別満足度 (加重平均値)



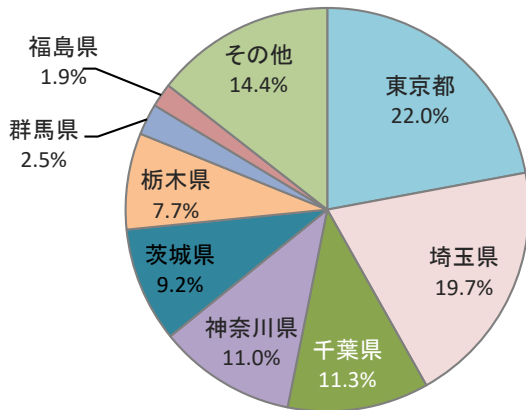
2. 宿泊客

(1) 県全体

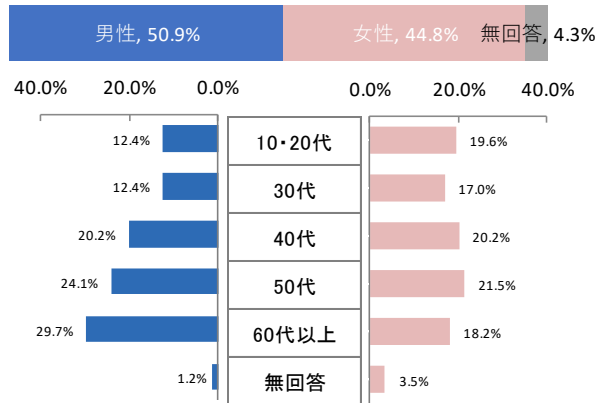
①令和4(2022)年度調査結果

お住まいは「東京都」が22.0%で最も多く、次いで「埼玉県」が19.7%、「千葉県」が11.3%であった。
性別は、「男性」が50.9%、「女性」が44.8%であった。
年代は、男性は「60代以上」が29.7%で最も多く、女性は「50代」が21.5%で最も多かった。

お住まい (n=1,140)

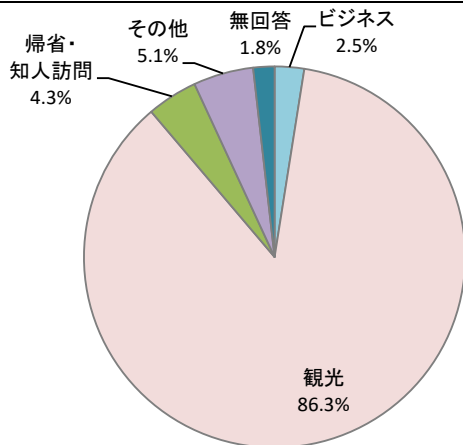


性別・年代 (n=1,140)

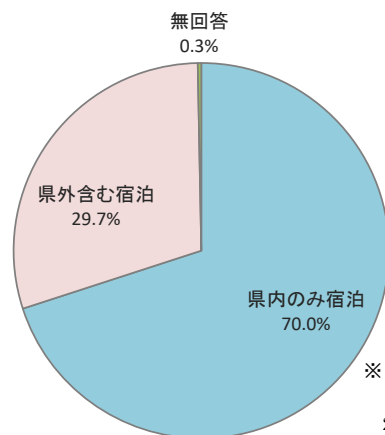


旅行の主要目的は、「観光」が86.3%と8割半ばとなった。
宿泊旅程は、「県内のみ宿泊」が70.0%と7割を占めた。

旅行の主要目的 (n=1,052)



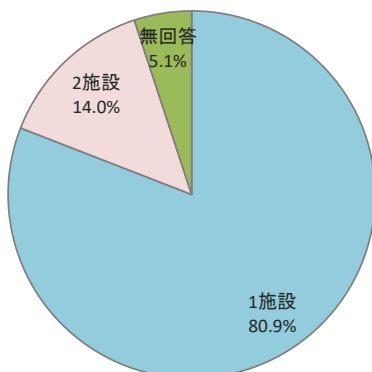
宿泊旅程 (n=232)



※今回の旅行の宿泊日数(県内に限らない)が2泊以上の方のみ集計。

県内に2泊以上した方の宿泊施設数は、「1施設」が80.9%と8割に達した。

栃木県内の宿泊施設数 (n=178)

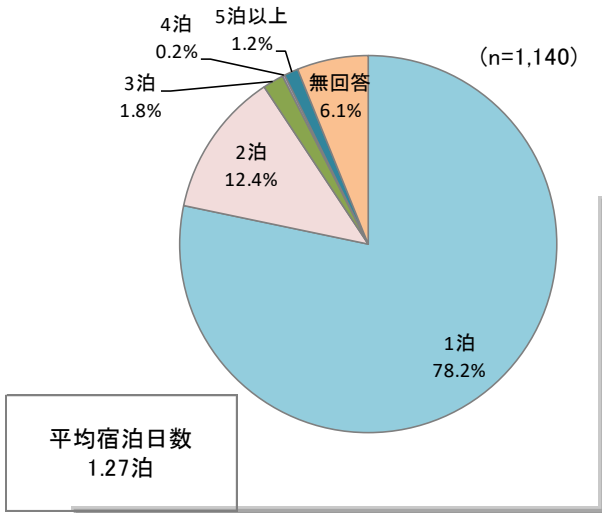


※1泊目と2泊目で同じ宿泊施設に宿泊した場合は1施設としてカウントしている。

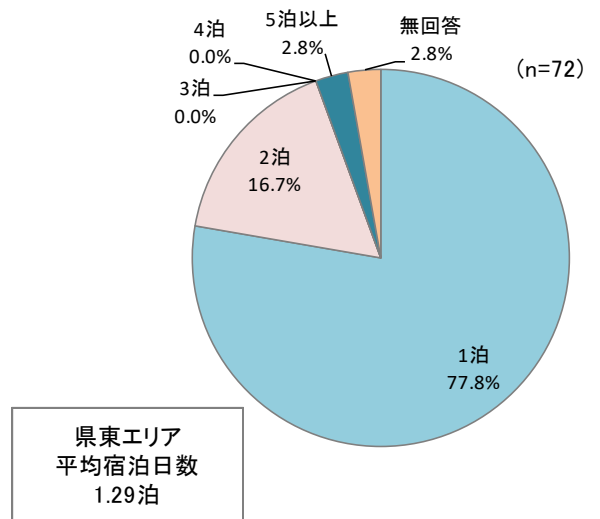
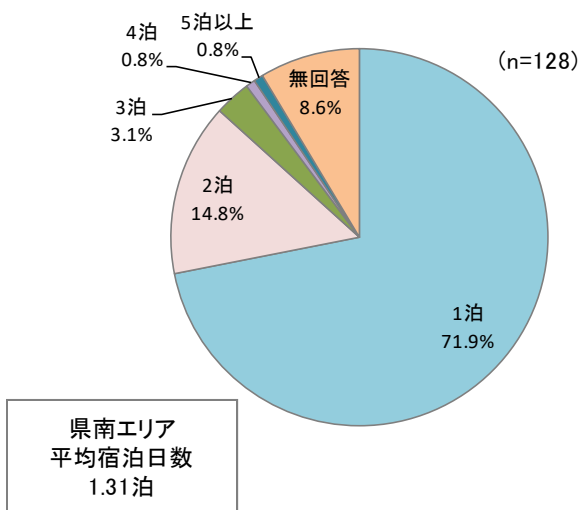
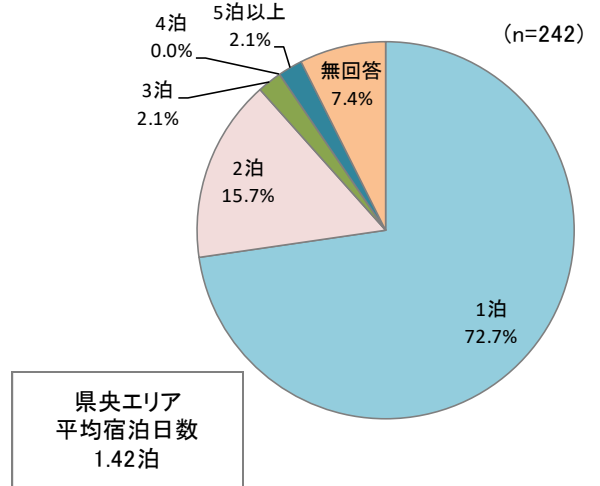
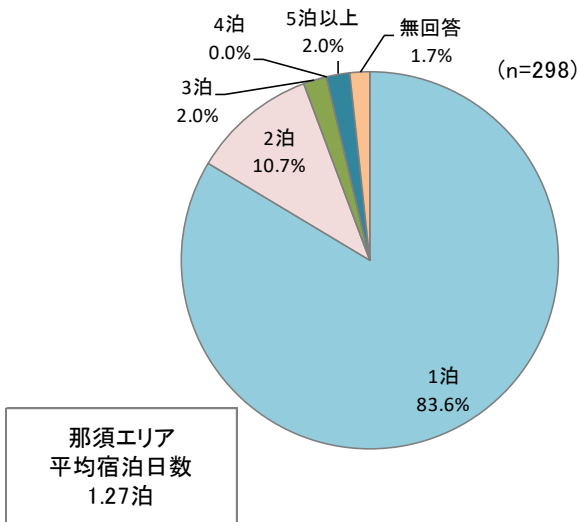
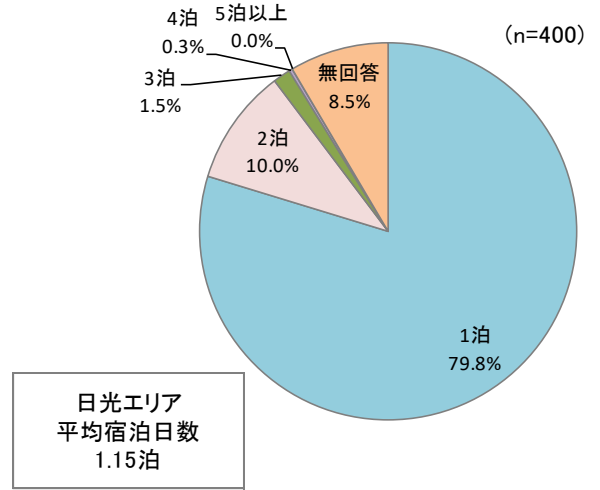
2. 宿泊客 (1) 県全体

県内での宿泊日数は、「1泊」が全てのエリアで最も多く、那須エリアでは8割を超えた。
 平均宿泊日数をエリア別にみると、県央エリアで1.42泊と他のエリアと比較して多かった。

【県全体】

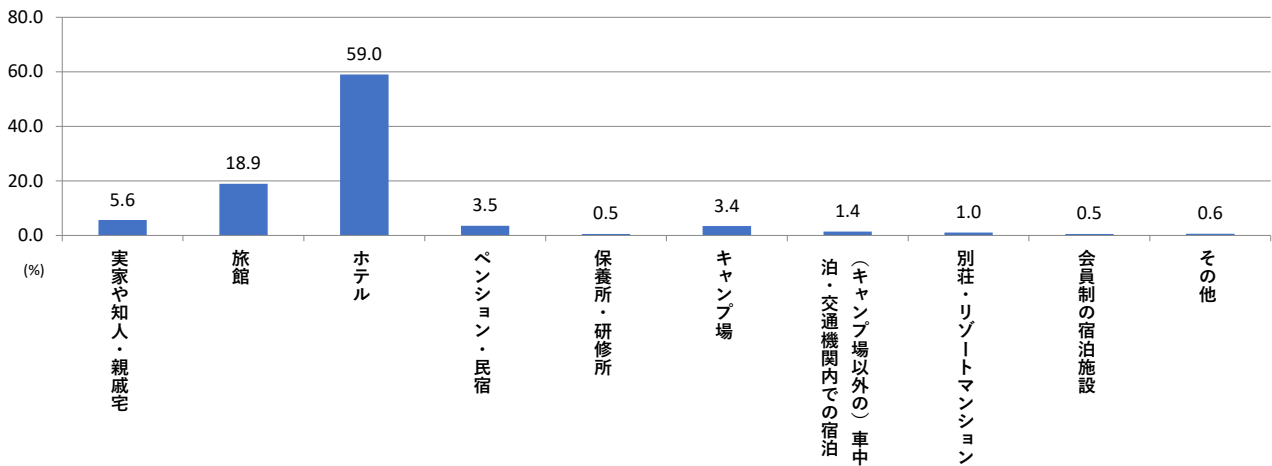


【エリア別】



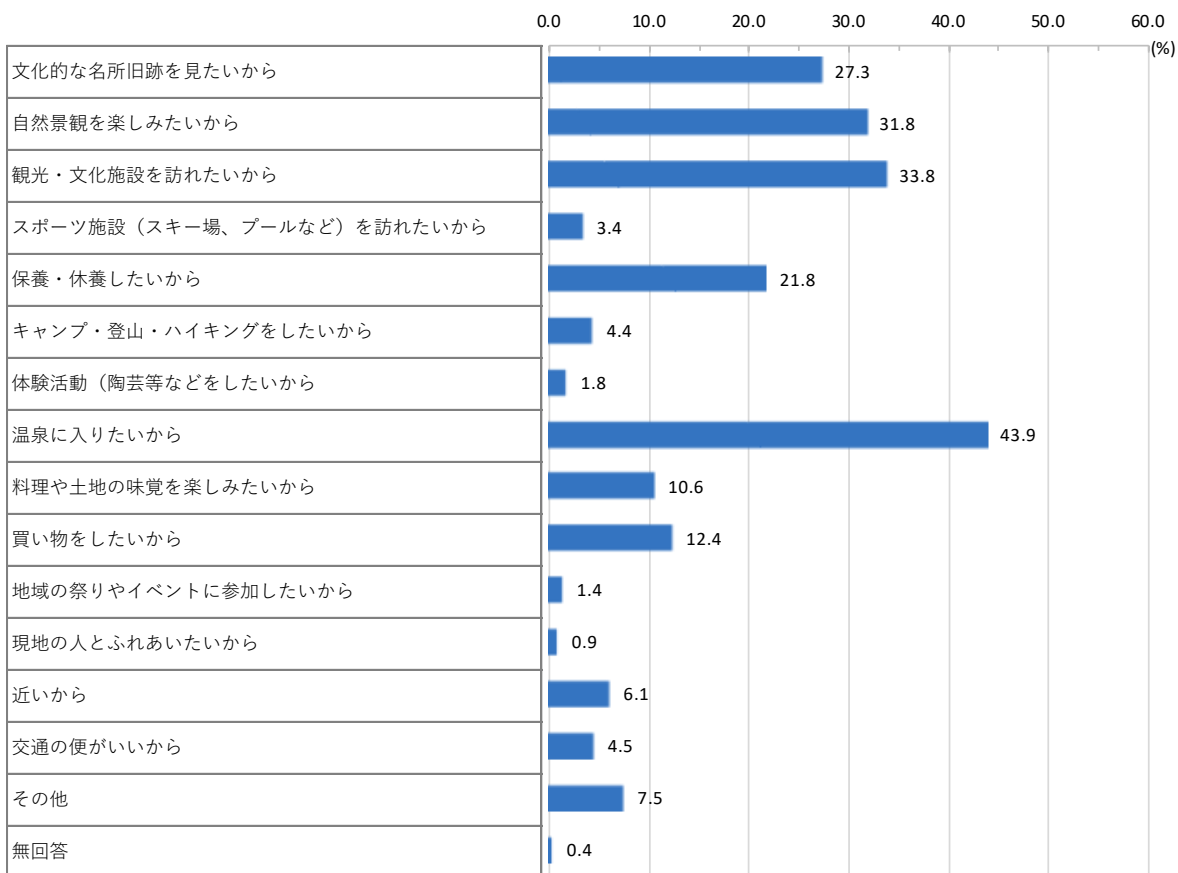
県内での利用宿泊施設は「ホテル」が59.0%で最も多く、次いで「旅館」が18.9%であった。

栃木県内での利用宿泊施設（複数回答）（n=1,140）



旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が43.9%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が33.8%、「自然景観を楽しみたいから」が31.8%、「文化的な名所旧跡を見たいから」が27.3%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=1,140）

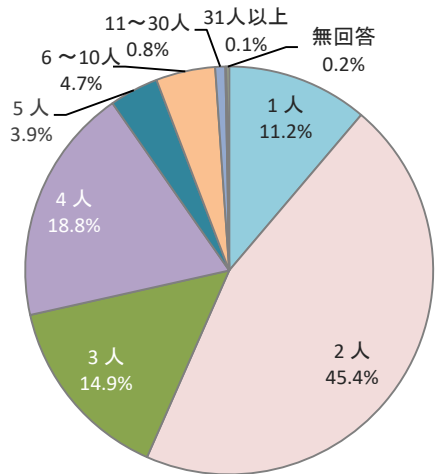


2. 宿泊客 (1) 県全体

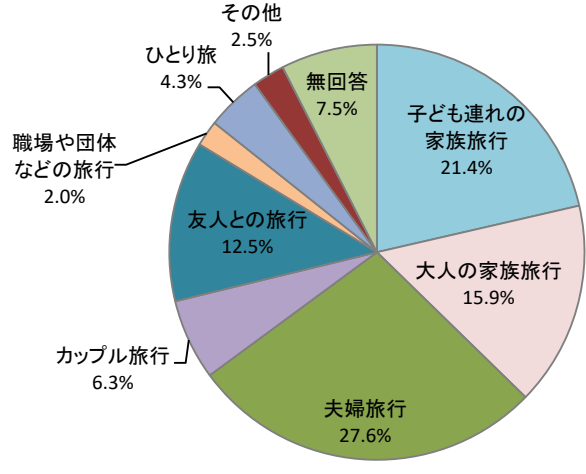
回答者を含む同行者数は、「2人」が45.4%で最も多く、次いで「4人」が18.8%、「3人」が14.9%であった。

同行者の関係は、「夫婦旅行」が27.6%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が21.4%であった。

同行者数 ※回答者を含む (n=1,140)

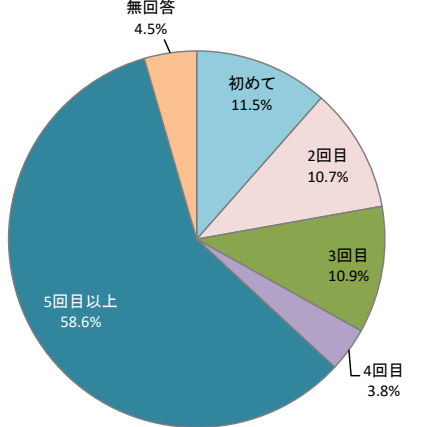


同行者の関係 (n=1,140)



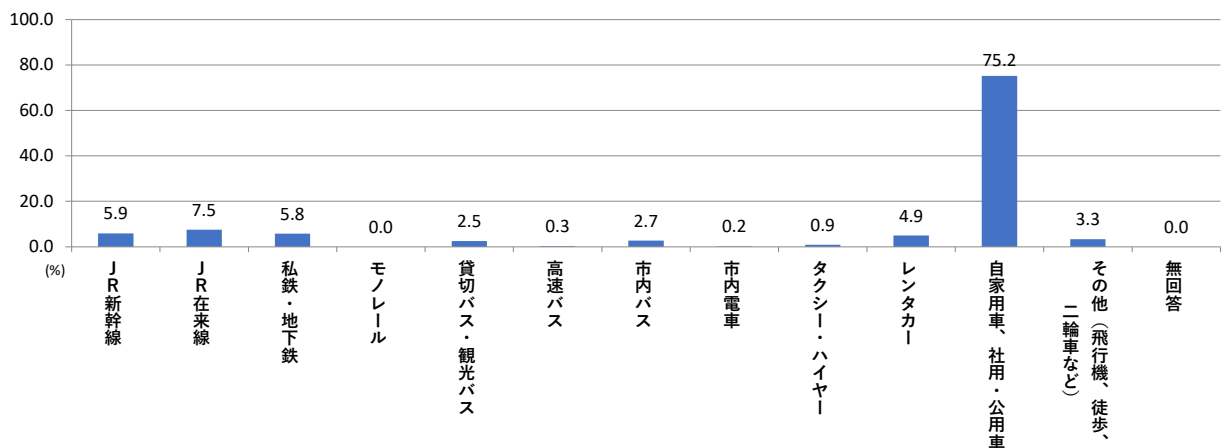
県外客の栃木県への来訪回数は、「5回目以上」が58.6%と6割弱であった。次いで「初めて」が11.5%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1,052)



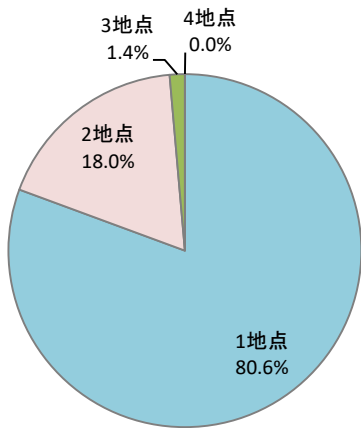
利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が75.2%で大半を占めた。その他の交通機関としては「JR在来線」が7.5%、「JR新幹線」が5.9%、「私鉄・地下鉄」が5.8%であった。

利用交通機関 (複数回答) (n=1,140)



立ち寄り観光施設数は、「1地点」が80.6%で最も多く、次いで「2地点」が18.0%であった。

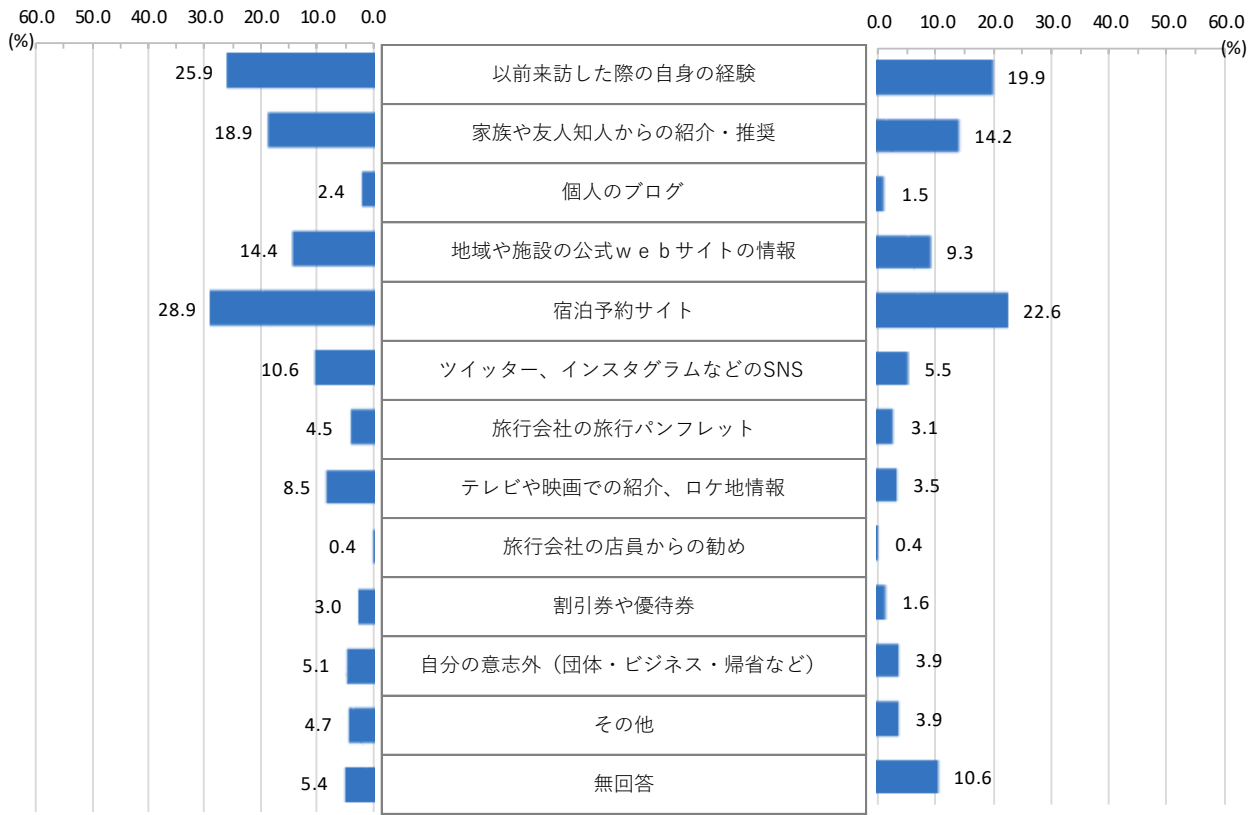
立ち寄り観光施設数 (n=289)
※「0地点 (調査地点以外立ち寄りなし)」を除く



旅行先に選んだ情報源は、「宿泊予約サイト」が28.9%で最も多く、次いで「以前来訪した際の自身の経験」が25.9%であった。
“決め手”となった情報源も、「宿泊予約サイト」が22.6%で最も多く、次いで「以前来訪した際の自身の経験」が19.9%であった。

旅行先に選んだ情報源
(複数回答) (n=1,140)

“決め手”となった情報源
(単一回答) (n=1,140)



第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

※全体で回答数の多い順（「無回答」を除く）

(%)

NO.	全体 (n=1,140)	
1	宿泊予約サイト	22.6
2	以前来訪した際の自身の経験	19.9
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	14.2
4	地域や施設の公式webサイトの情報	9.3
5	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	5.5
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	3.9
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.5
8	旅行会社の旅行パンフレット	3.1
9	割引券や優待券	1.6
10	個人のブログ	1.5
11	旅行会社の店員からの勧め	0.4
12	その他	3.9

NO.	10・20代 (n=173)	
1	宿泊予約サイト	20.2
2	以前来訪した際の自身の経験	14.5
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	17.9
4	地域や施設の公式webサイトの情報	8.7
5	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	13.9
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.9
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.5
8	旅行会社の旅行パンフレット	1.7
9	割引券や優待券	0.0
10	個人のブログ	2.9
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	2.9

NO.	30代 (n=169)	
1	宿泊予約サイト	24.3
2	以前来訪した際の自身の経験	14.8
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	14.2
4	地域や施設の公式webサイトの情報	10.1
5	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	8.3
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	3.0
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	1.8
8	旅行会社の旅行パンフレット	3.6
9	割引券や優待券	3.6
10	個人のブログ	1.8
11	旅行会社の店員からの勧め	0.6
12	その他	3.6

NO.	40代 (n=224)	
1	宿泊予約サイト	24.6
2	以前来訪した際の自身の経験	17.4
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	12.9
4	地域や施設の公式webサイトの情報	11.6
5	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	4.9
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	4.9
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	6.3
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.4
9	割引券や優待券	1.3
10	個人のブログ	0.9
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	3.6

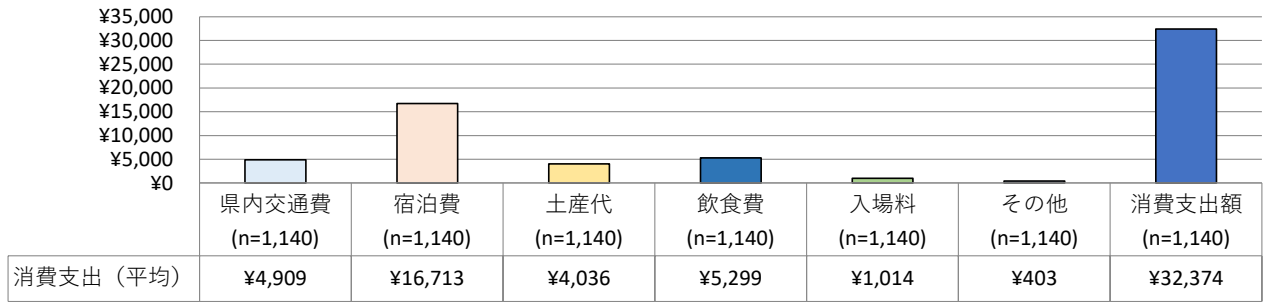
NO.	50代 (n=261)	
1	宿泊予約サイト	27.6
2	以前来訪した際の自身の経験	21.5
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	13.0
4	地域や施設の公式webサイトの情報	8.4
5	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	4.2
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	6.5
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.8
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.8
9	割引券や優待券	1.9
10	個人のブログ	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.8
12	その他	3.4

NO.	60代以上 (n=279)	
1	宿泊予約サイト	17.9
2	以前来訪した際の自身の経験	29.0
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	15.1
4	地域や施設の公式webサイトの情報	8.2
5	ツイッター、インスタグラムなどのSNS	0.4
6	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.2
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.5
8	旅行会社の旅行パンフレット	7.5
9	割引券や優待券	1.4
10	個人のブログ	2.2
11	旅行会社の店員からの勧め	0.4
12	その他	5.0

※全体 (n=1,140) には年代無回答の方が含まれているため、各年代の合計と一致しない。

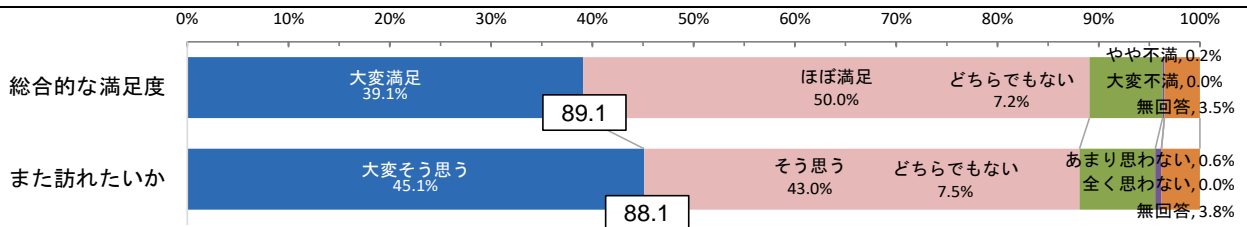
宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、総額で 32,374 円であった。
内訳は、「宿泊費」が 16,713 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,299 円であった。

消費支出（平均）



調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 89.1%であった。そして、また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】も 88.1%であった。

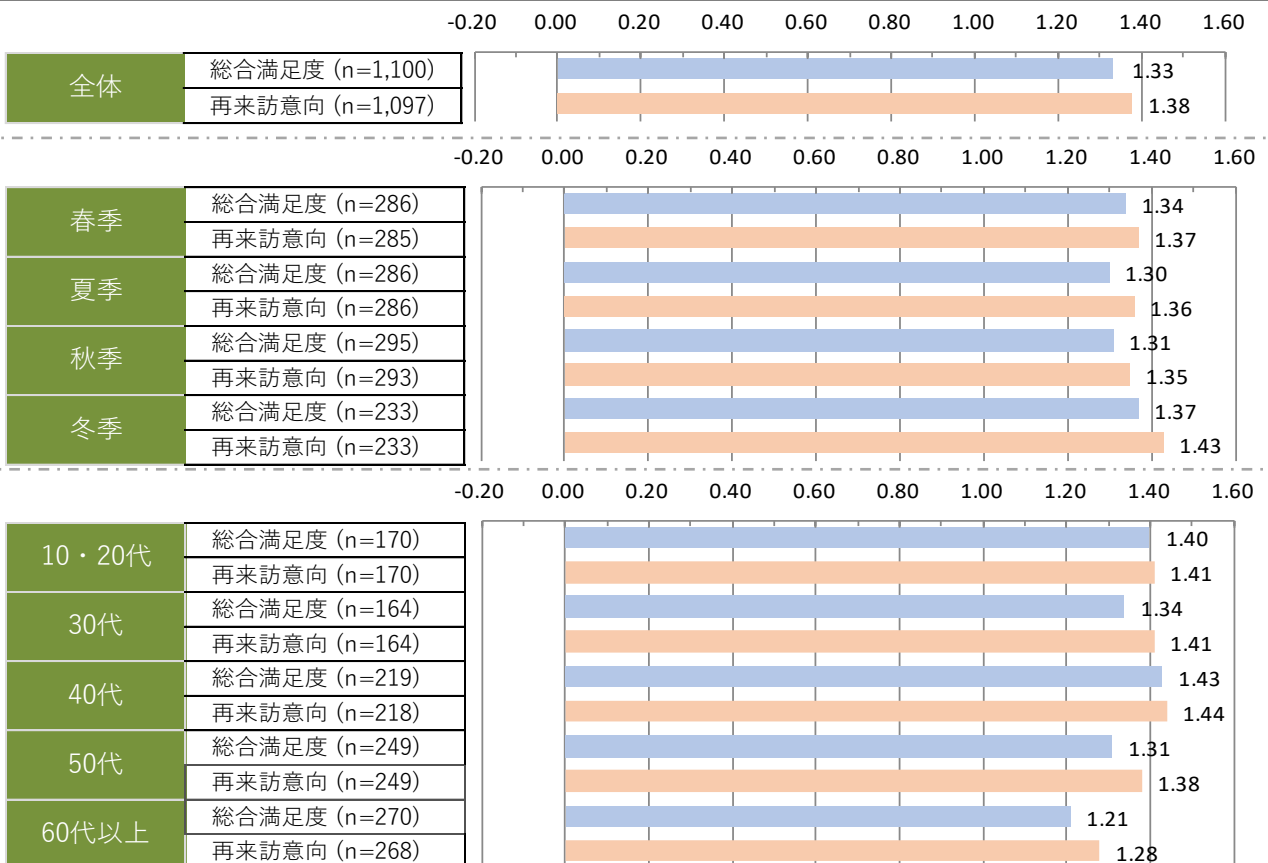
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=1,140)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が 1.37 で最も高かった。再来訪意向も、「冬季」が 1.43 で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「40代」が 1.43 で最も高かった。再来訪意向も、「40代」が 1.44 で最も高かった。

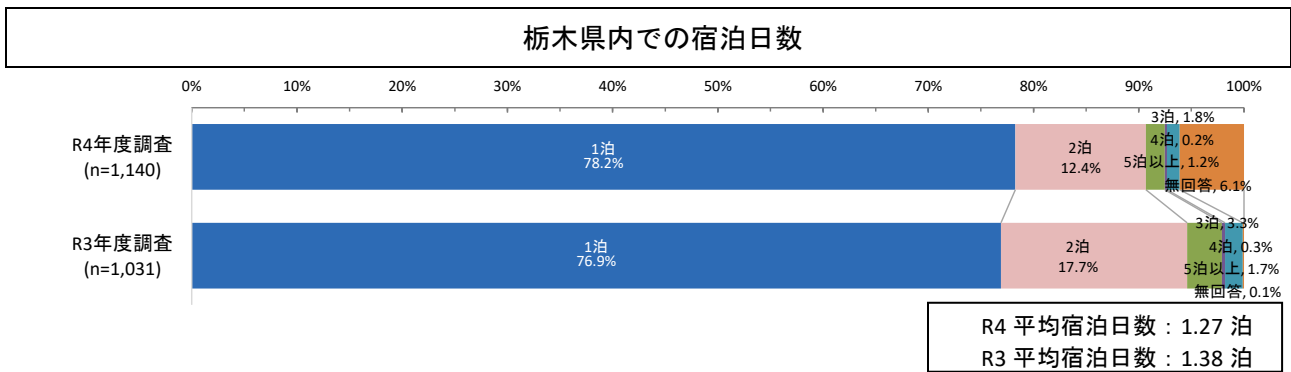


第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

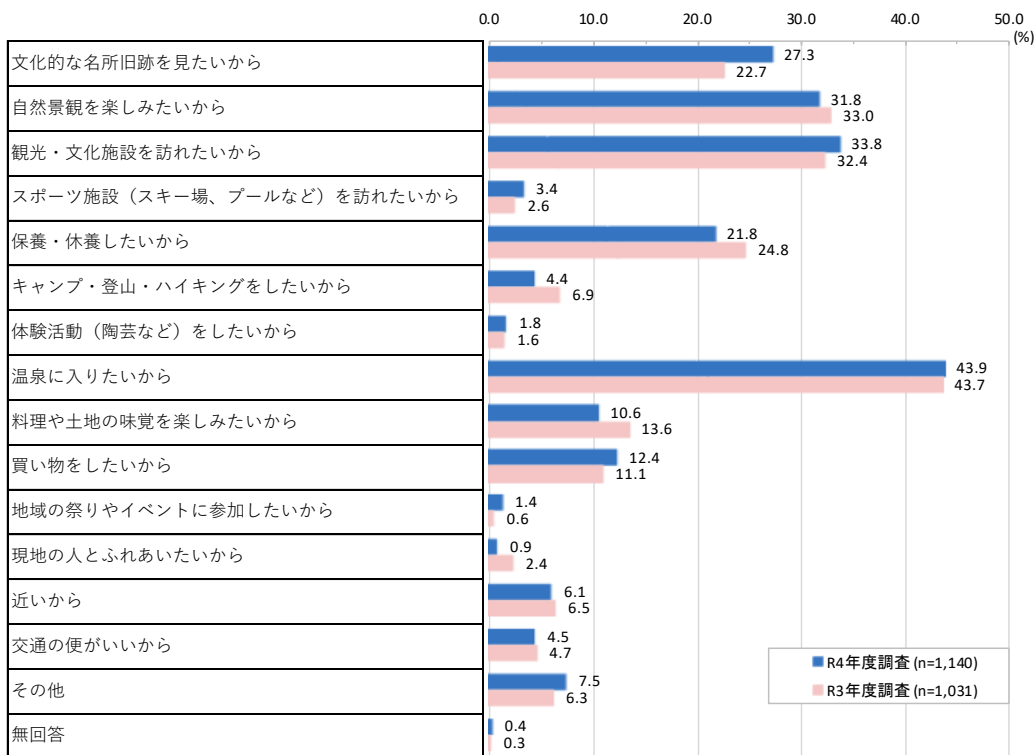
②過去調査との比較

栃木県内での宿泊日数は、「1泊」が令和3（2021）年度調査では76.9%だったが、令和4（2022）年度は78.2%と1.3ポイント増加した。一方、2泊以上の宿泊者の割合は令和3（2021）年度調査と比較して7.4ポイント減少した。平均宿泊日数は、令和3（2021）年度は1.38泊であったが、令和4（2022）年度は1.27泊と減少した。



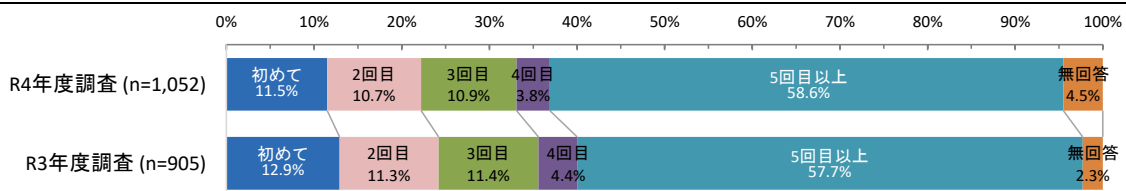
旅行先に選んだ理由は、最も多かった「温泉に入りたいから」が、令和3（2021）年度調査では43.7%、令和4（2022）年度調査では43.9%と大差はみられなかった。また、次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」が令和3（2021）年度調査では32.4%、令和4（2022）年度調査では33.8%とやや増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



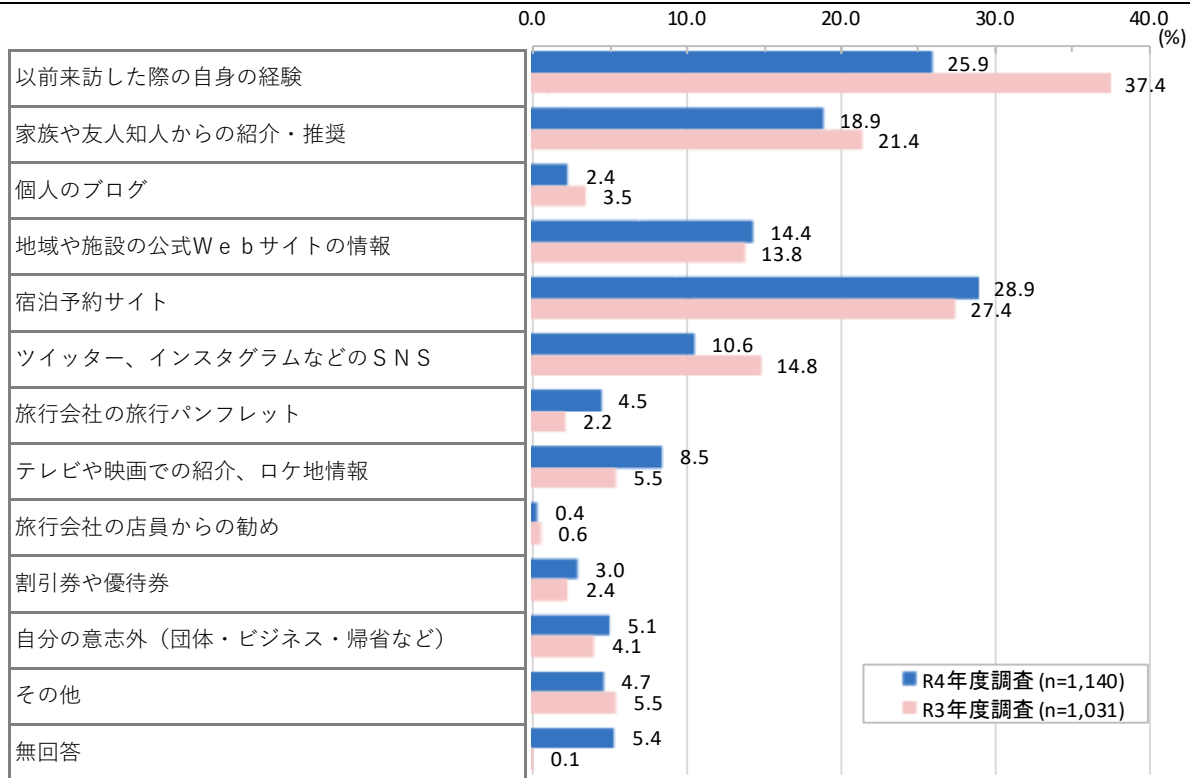
県外客の栃木県への来訪回数は、「5回目以上」が令和3（2021）年度調査では57.7%であったが、令和4（2022）年度調査では58.6%と0.9ポイント増加した。また、「初めて」は令和3（2021）年度調査の12.9%に対し、令和4（2022）年度調査では11.5%と1.4ポイント減少した。

県外客の栃木県への来訪回数



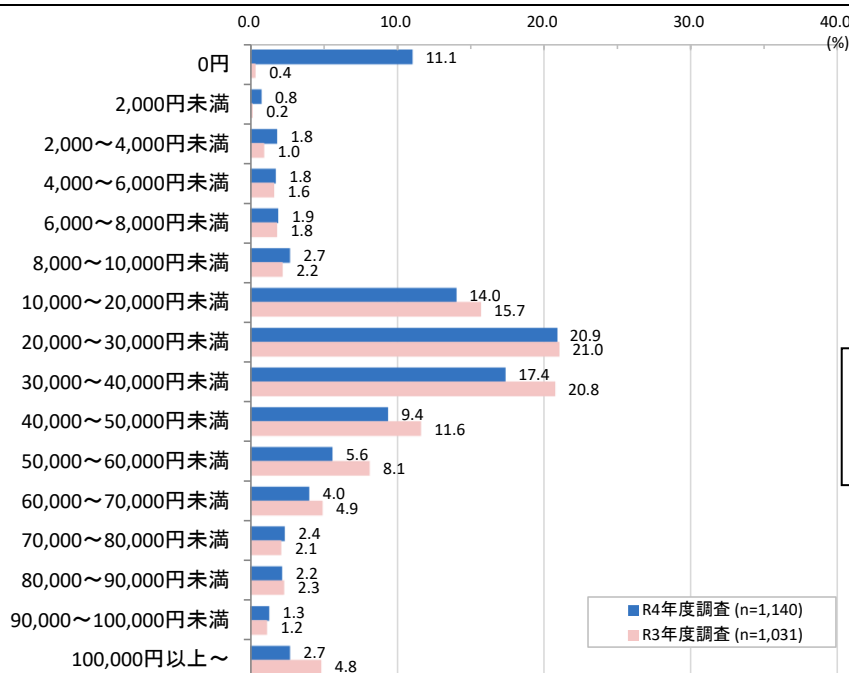
旅行先に選んだ情報源は、令和4(2022)年度調査では「宿泊予約サイト」が28.9%と最も多く、令和3(2021)年度調査の27.4%に対し、1.5ポイント増加した。一方、次いで多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3(2021)年度調査の37.4%に対し、令和4(2022)年度調査では25.9%と、11.5ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、「20,000～30,000円未満」は令和3(2021)年度調査の21.0%、令和4(2022)年度調査では20.9%と大差はみられなかった。一方、「30,000～40,000円未満」は令和3(2021)年度調査の20.8%に対し、令和4(2022)年度調査では17.4%と3.4ポイント減少した。宿泊客の一人当たり平均は、令和3(2021)年度調査では35,624円であったが、令和4(2022)年度調査では32,374円と減少した。

消費支出（総額）



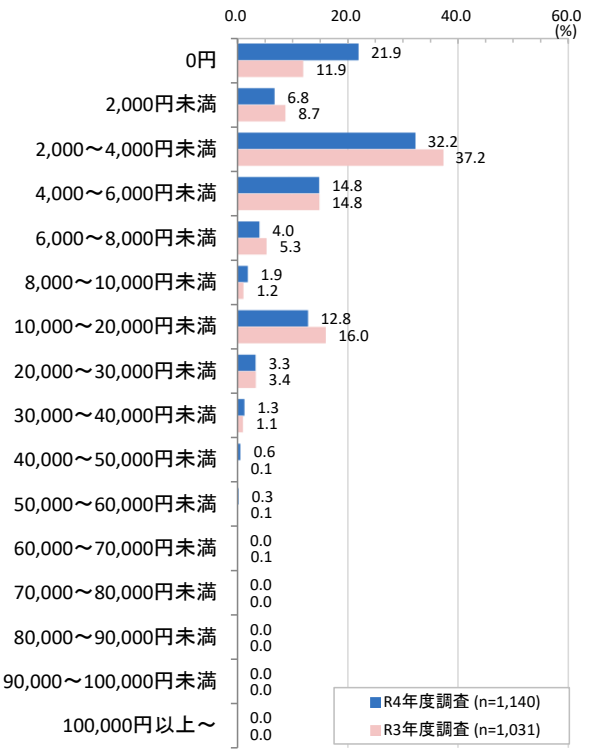
宿泊客の一人当たり平均
令和4年度調査：32,374円
令和3年度調査：35,624円

第2章 観光客調査 調査結果

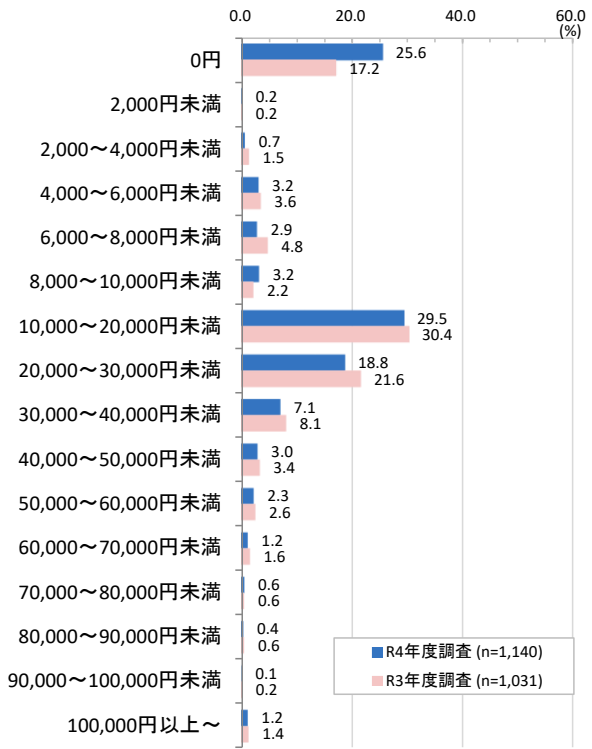
2. 宿泊客 (1) 県全体

県内交通費は、「2,000～4,000円未満」が令和3（2021）年度調査の37.2%に対し、令和4（2022）年度調査は32.2%と5.0ポイント減少した。また、宿泊費は「20,000～30,000円未満」が令和3（2021）年度調査の21.6%に対し、令和4（2022）年度調査では18.8%と2.8ポイント減少した。

消費支出 県内交通費

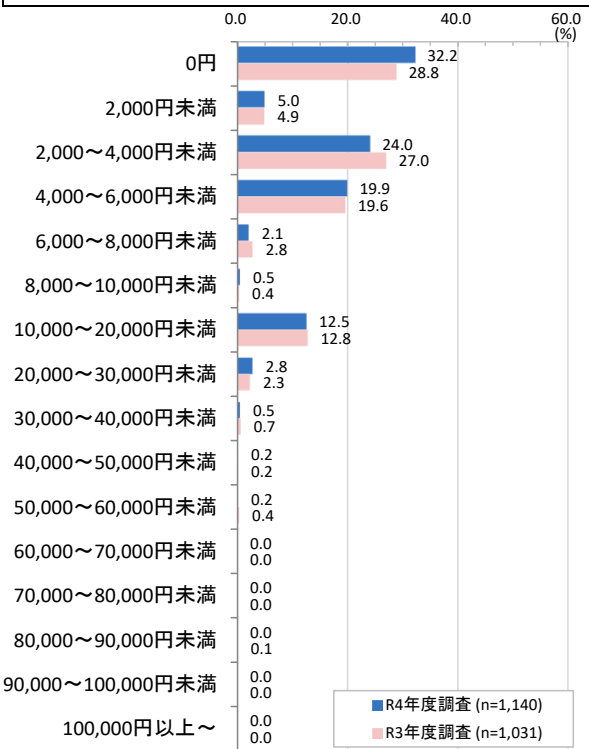


消費支出 宿泊費

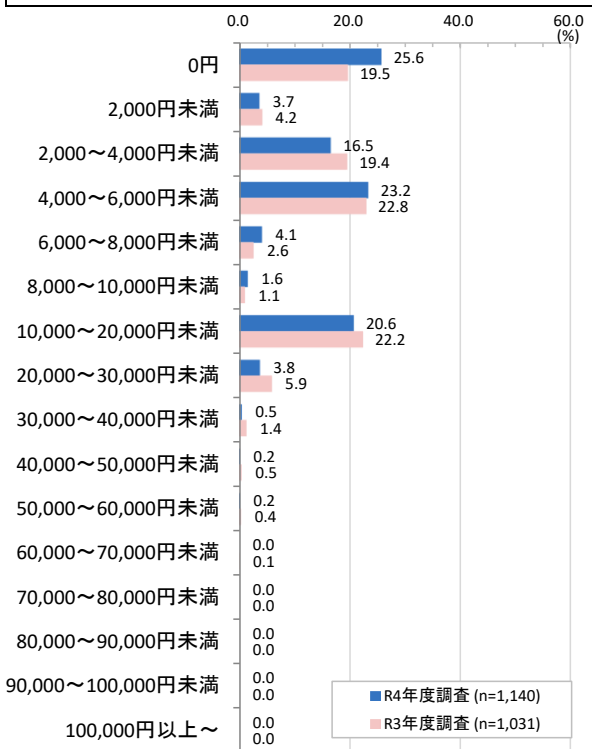


土産代は、「2,000～4,000円未満」が令和3（2021）年度調査の27.0%に対し、令和4（2022）年度調査では24.0%と3.0ポイント減少した。飲食費は、「4,000～6,000円未満」が令和3（2021）年度調査の22.8%に対し、令和4（2022）年度調査では23.2%とやや増加した。

消費支出 土産代

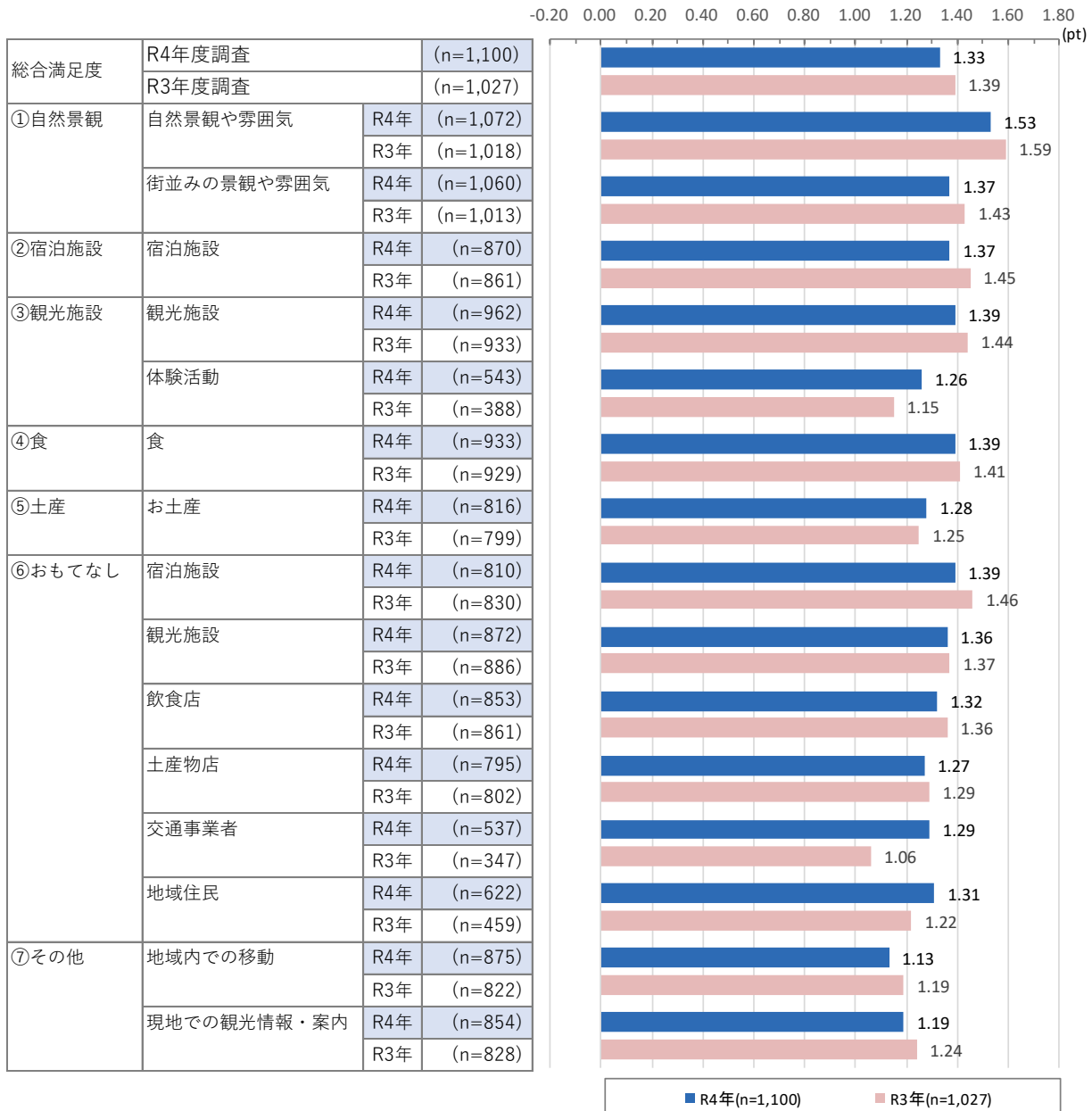


消費支出 飲食費



総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.33となり、令和3（2021）年度調査の1.39と比較して微減であった。満足度を項目別にみると、令和3（2021）年度調査、令和4（2022）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和3（2021）年度調査では1.59、令和4（2022）年度調査では1.53であった。

項目別満足度（加重平均値）



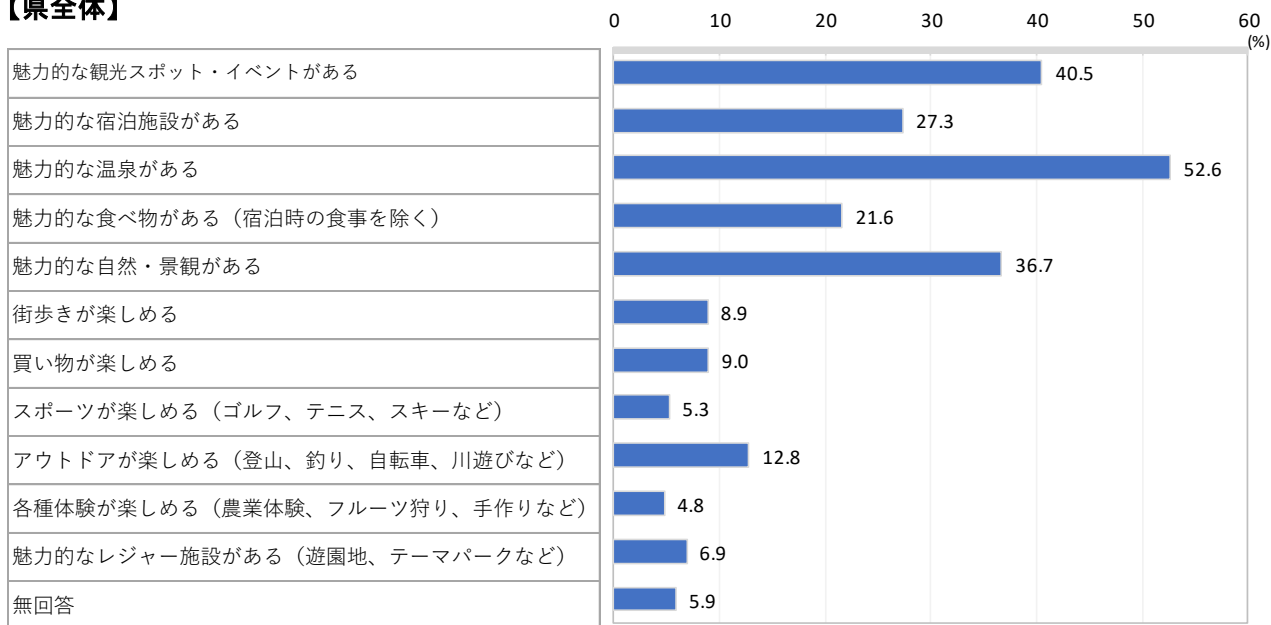
栃木県の魅力が1位だと感じるもの

◇「魅力的な温泉がある」が最も多く5割強。

栃木県の魅力が1位だと感じるものについて、県全体では「魅力的な温泉がある」が52.6%で最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがある」が40.5%、「魅力的な自然・景観がある」が36.7%であった。

エリアごとにみると、日光、那須、県央では「魅力的な温泉がある」が最も多く、県南では「魅力的な観光スポット・イベントがある」、県東では「魅力的な自然・景観がある」がそれぞれ最も多くなった。

【県全体】



【エリア別】 ※上位5項目

NO.	全体 (n=1,140)		日光 (n=400)		那須 (n=298)	
1	魅力的な温泉がある	52.6	魅力的な温泉がある	53.8	魅力的な温泉がある	67.4
2	魅力的な観光スポット・イベントがある	40.5	魅力的な観光スポット・イベントがある	45.8	魅力的な自然・景観がある	37.2
3	魅力的な自然・景観がある	36.7	魅力的な自然・景観がある	30.3	魅力的な観光スポット・イベントがある	35.2
4	魅力的な宿泊施設がある	27.3	魅力的な宿泊施設がある	29.8	魅力的な宿泊施設がある	33.2
5	魅力的な食べ物がある	21.6	魅力的な食べ物がある	22.5	魅力的な食べ物がある	22.8

NO.	県央 (n=242)		県南 (n=128)		県東 (n=72)	
1	魅力的な温泉がある	46.3	魅力的な観光スポット・イベントがある	46.1	魅力的な自然・景観がある	44.4
2	魅力的な自然・景観がある	45.9	魅力的な温泉がある	35.9	魅力的な温泉がある	36.1
3	魅力的な観光スポット・イベントがある	38.4	魅力的な自然・景観がある	33.6	魅力的な観光スポット・イベントがある	30.6
4	魅力的な宿泊施設がある	19.8	魅力的な宿泊施設がある	20.3	魅力的な宿泊施設がある	26.4
5	魅力的な食べ物がある	18.6	魅力的な食べ物がある	20.3	アウトドアが楽しめる	25.0

(2) エリア別

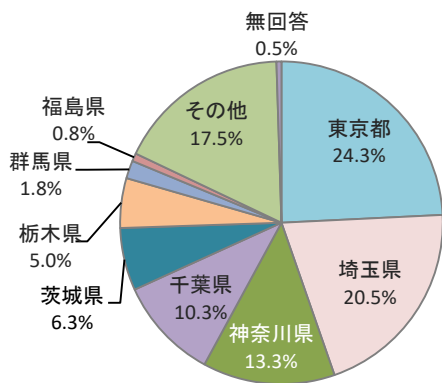
i. 日光エリア

① 令和4(2022)年度調査結果

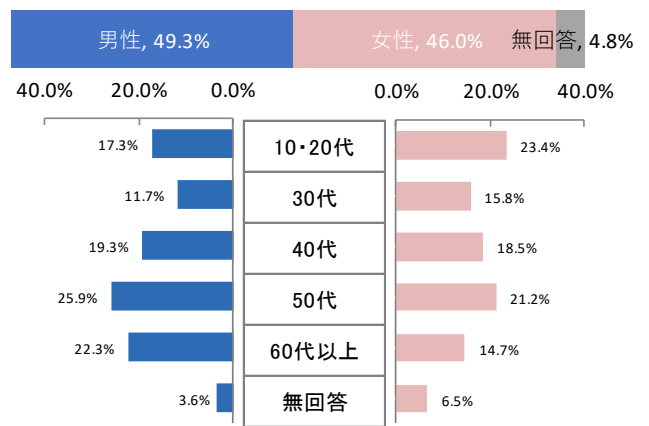
宿泊客(日光エリア) サンプル数：400

お住まいは「東京都」が最も多く24.3%、次いで「埼玉県」が20.5%、「神奈川県」が13.3%であった。年代は、男性では「50代」が25.9%で最も多く、女性では「10・20代」が23.4%で最多となった。調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が28.5%で最も多かった。同行者数は「2人」が45.5%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が27.3%で最も多かった。

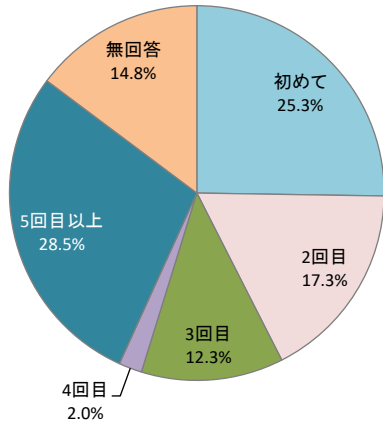
お住まい (n=400)



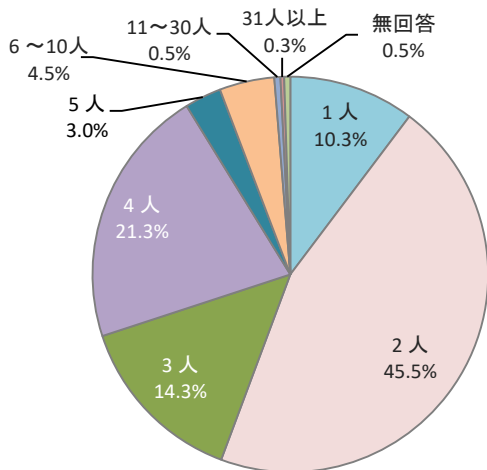
性別・年代 (n=400)



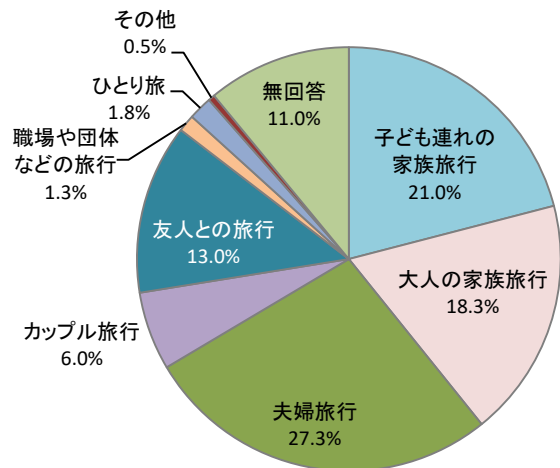
調査地域周辺への来訪回数 (n=400)



同行者数 ※回答者を含む (n=400)

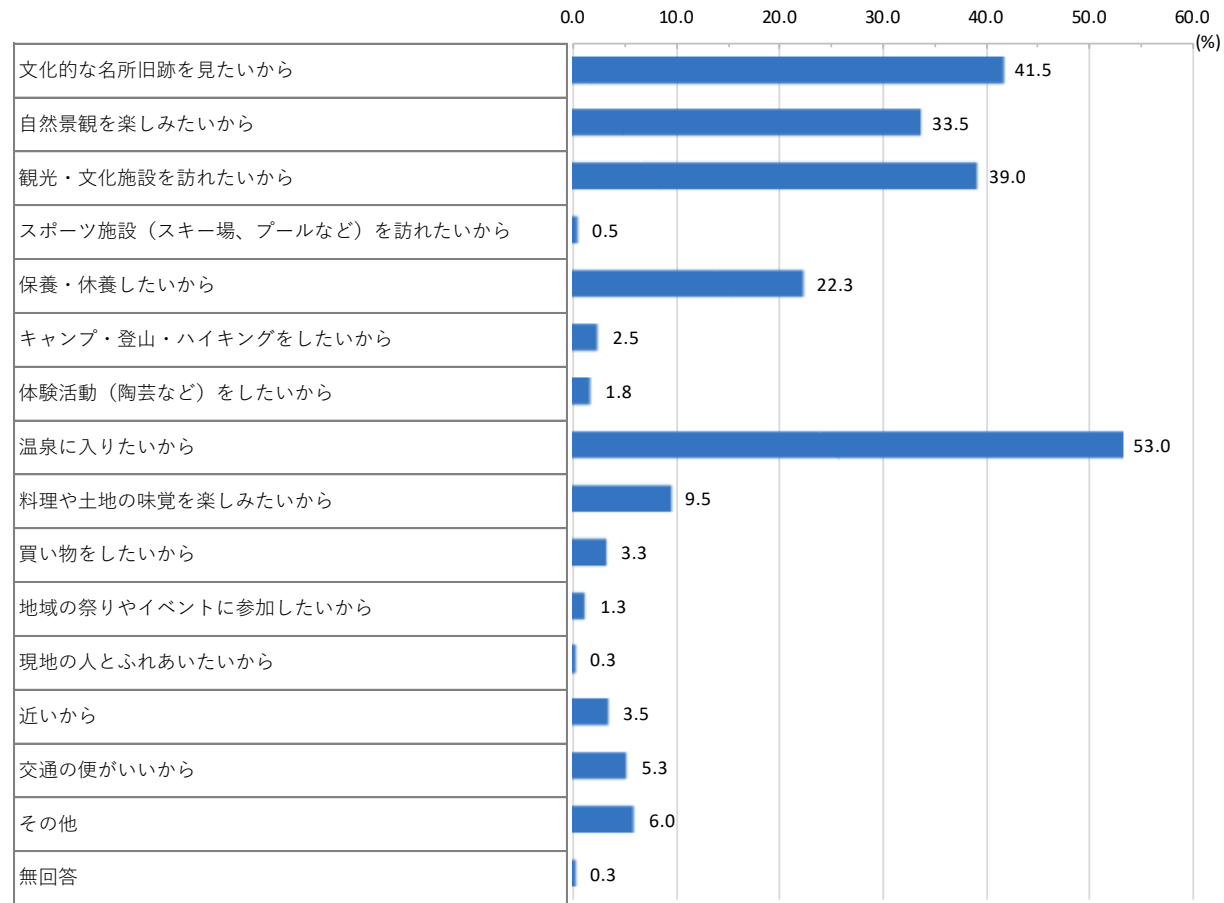


同行者の関係 (n=400)



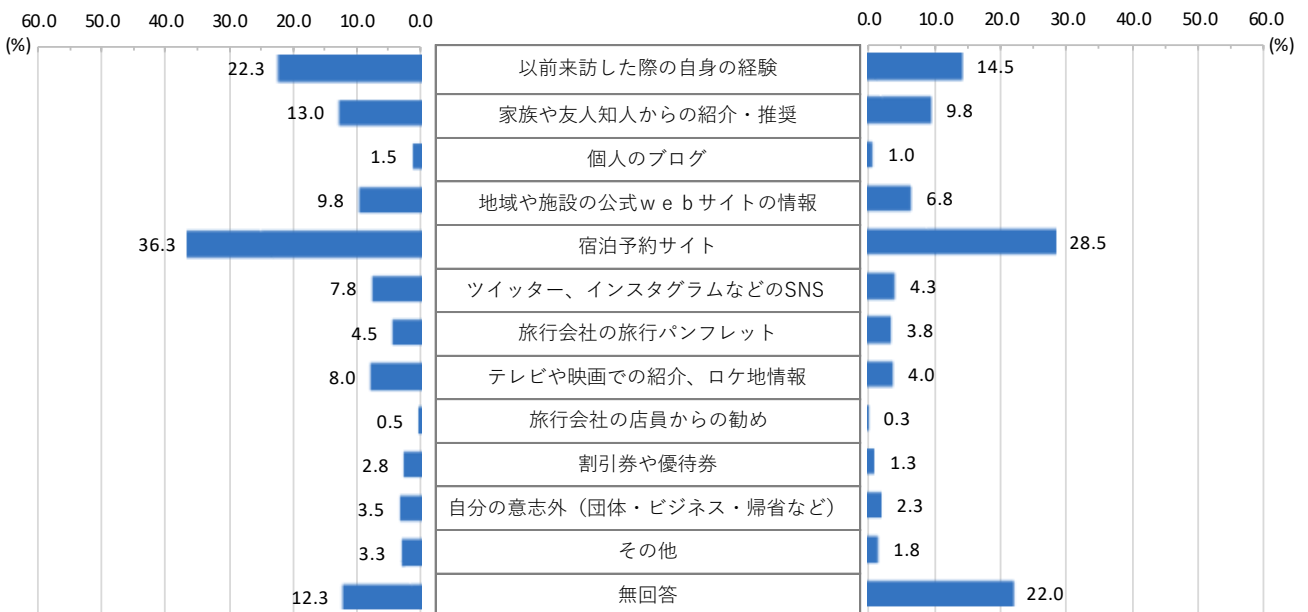
旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が53.0%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡を見たいから」が41.5%であった。旅行先に選んだ情報源は「宿泊予約サイト」が36.3%で最も多く、“決め手”となった情報源も「宿泊予約サイト」が28.5%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=400）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=400）

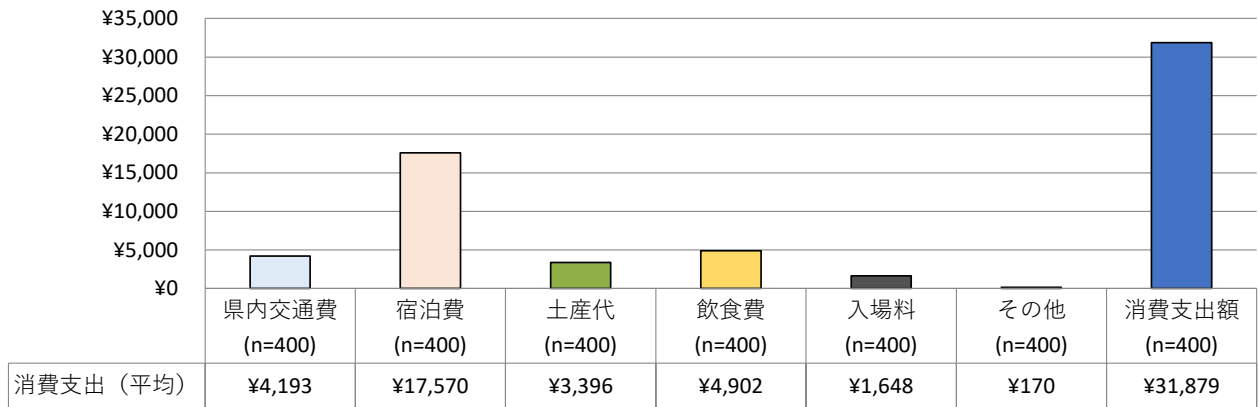
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=400）



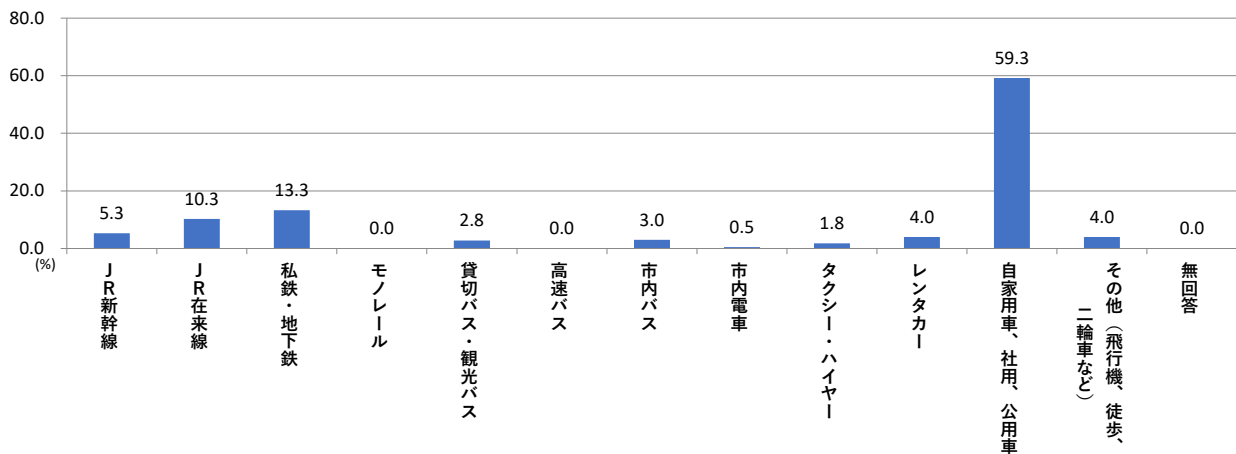
消費支出の平均は、総額で 31,879 円であった。内訳は、「宿泊費」が 17,570 円で最も多く、次いで「飲食費」が 4,902 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 59.3%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「二社一寺参拝者」が 60 人と最も多く、次いで「鬼怒川温泉」が 38 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=400）

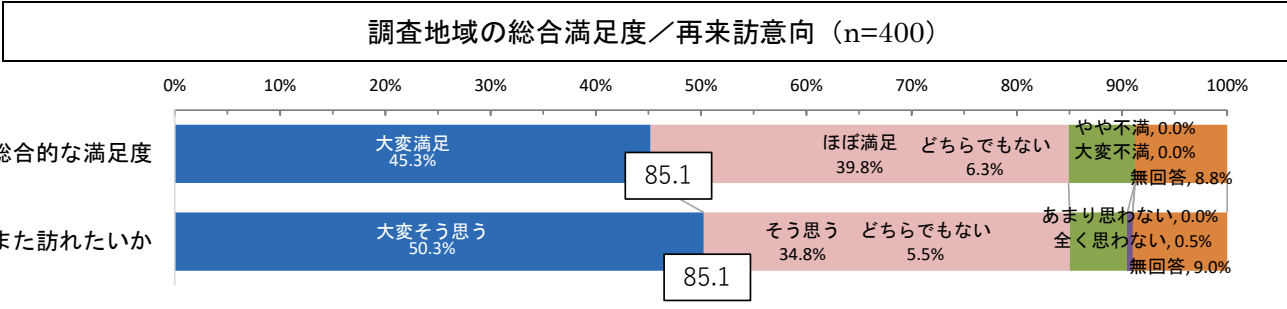


立ち寄り観光施設（n=400）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

日光	明智平(1)	県央
二社一寺参拝者(60)	足尾銅山観光(1)	宇都宮動物園(2)
鬼怒川温泉(38)	初詣（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）(1)	大谷資料館(1)
中禅寺湖(9)	男体山(1)	県南
華厳ノ滝(5)	日光さる軍団劇場(1)	佐野プレミアム・アウトレット(1)
湯西川温泉(4)	道の駅日光街道ニコニコ本陣(1)	
EDO WONDER LAND(3)	那須	
日光湯元温泉(2)	とちぎ明治の森記念館(1)	
戦場ヶ原・小田代原(2)	もみじ谷大吊橋(1)	
道の駅湯西川(2)	那須ハイランドパーク(1)	
東武ワールドスクウェア(1)		

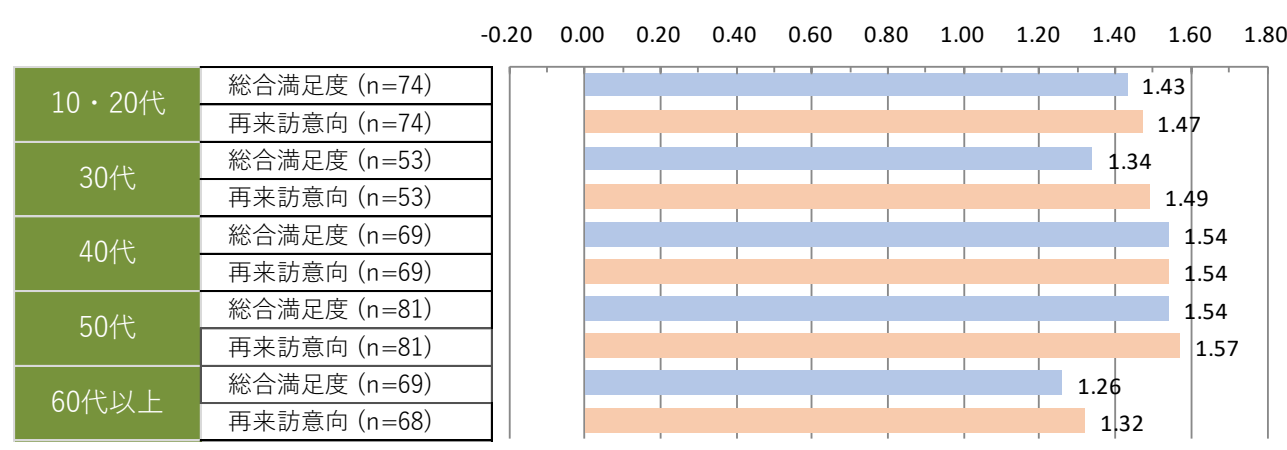
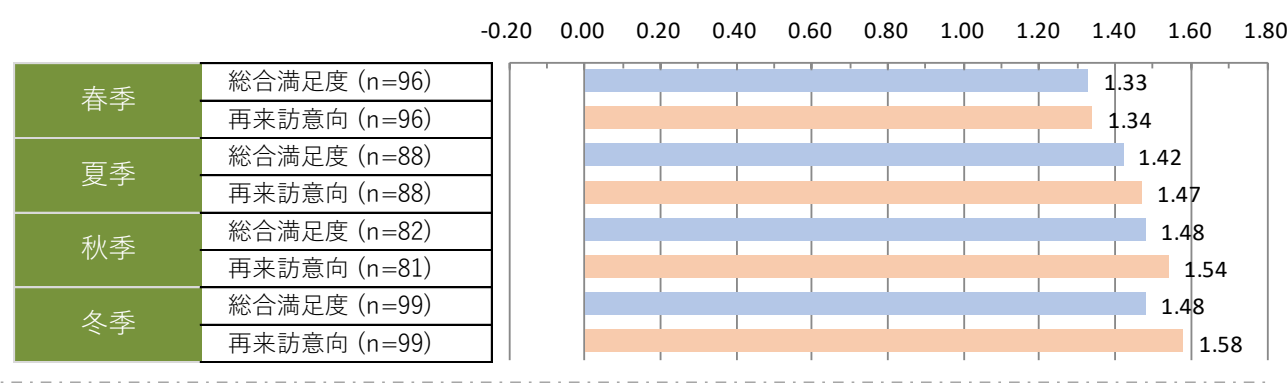
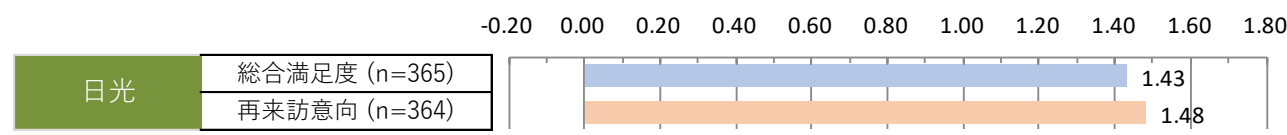
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
二社一寺参拝者（1）、東武ワールドスクウェア（4）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が85.1%であった。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が85.1%であった。



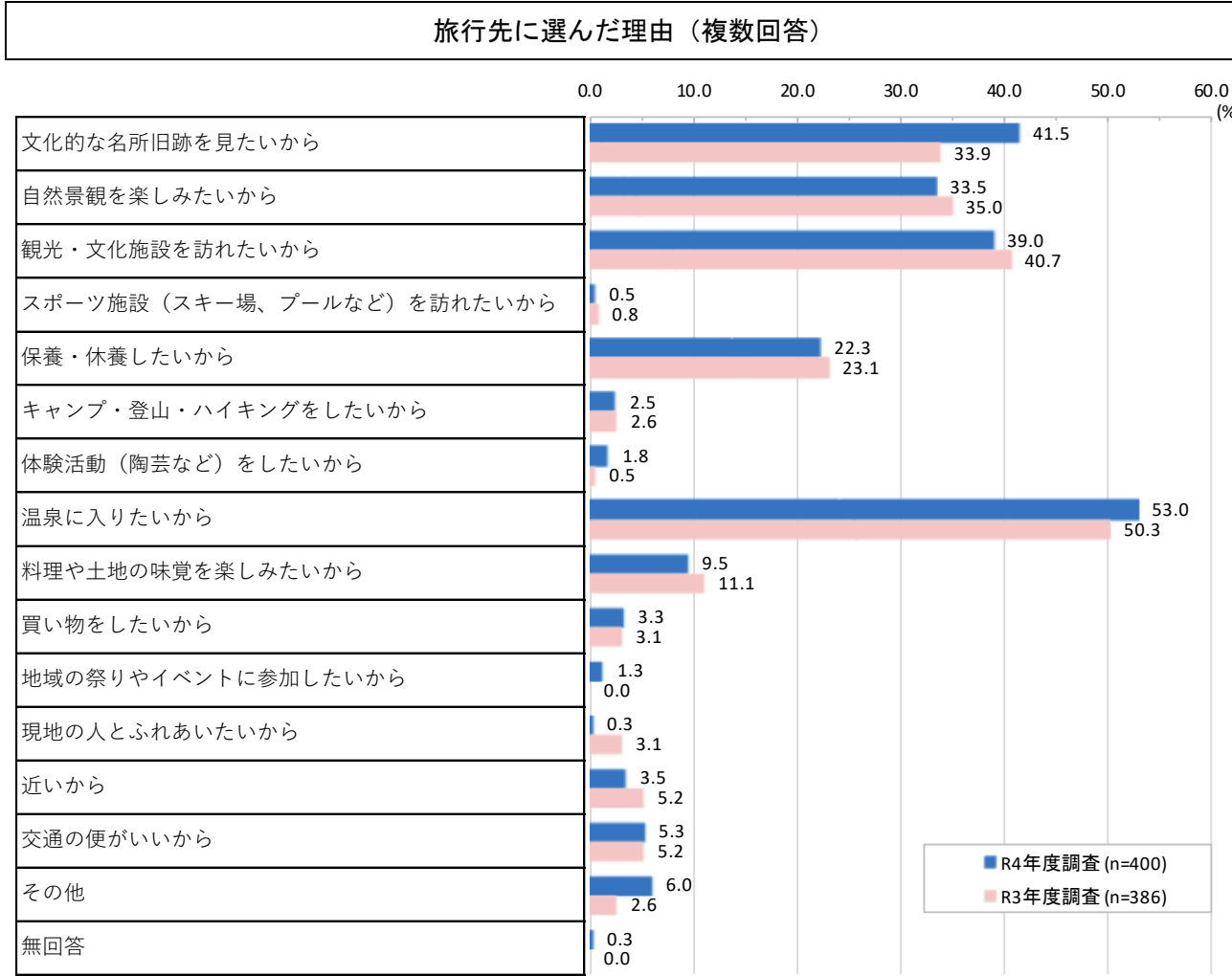
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「秋季」、「冬季」がともに1.48で最も高く、「春季」が1.33で最も低かった。再来訪意向については、「冬季」が1.58で最も高く、「春季」が1.34で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「40代」、「50代」がともに1.54で最も高く、「60代以上」が1.26で最も低かった。再来訪意向については「50代」が1.57で最も高く、「60代」が1.32で最も低かった。

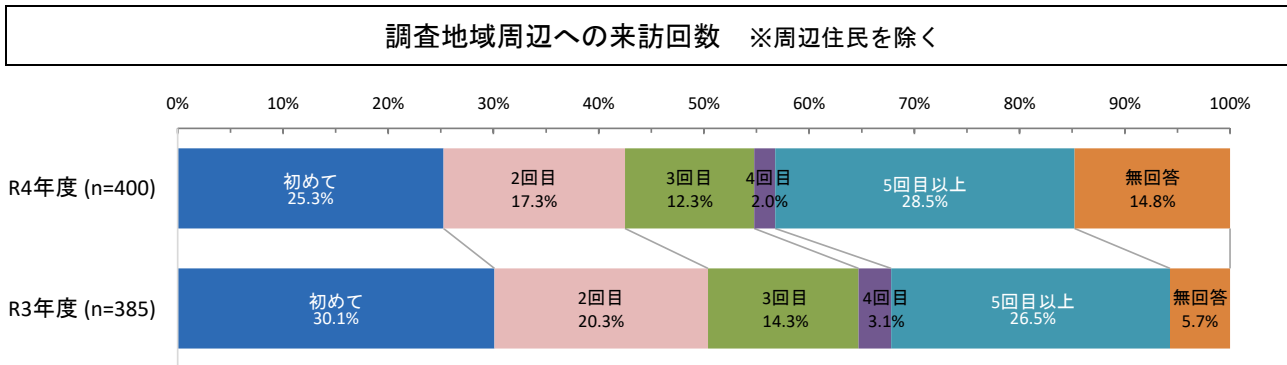


②過去調査との比較

旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が最も多く、令和3（2021）年度調査では50.3%、令和4（2022）年度調査では53.0%と、2.7ポイント増加した。また、次いで多かった「文化的な名所旧跡を見たいから」は、令和3（2021）年度調査では33.9%、令和4（2022）年度調査では41.5%と、7.6ポイント増加した。

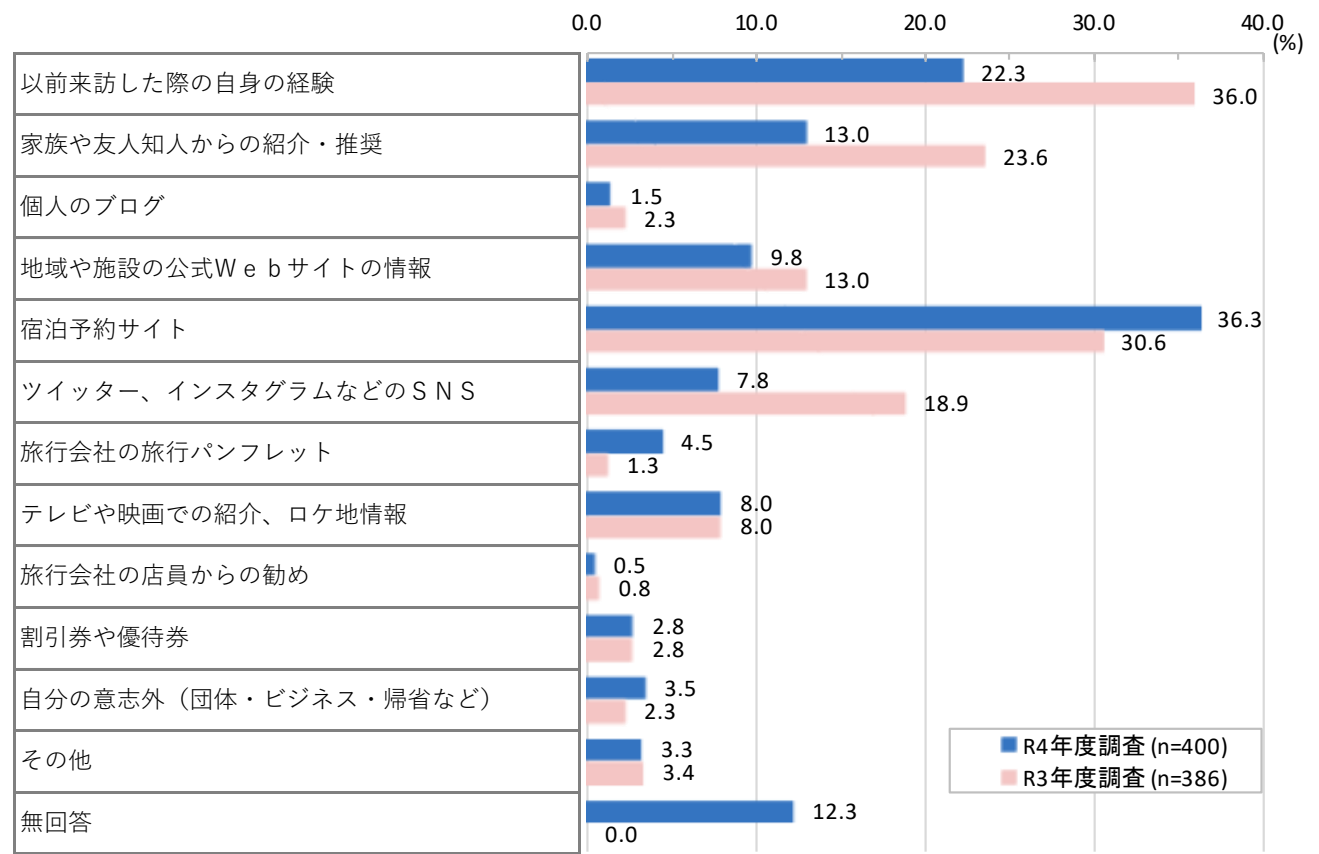


調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和3（2021）年度調査では30.1%、令和4（2022）年度調査では25.3%と、4.8ポイント減少した。一方、「5回目以上」は令和3（2021）年度調査で26.5%であったが、令和4（2022）年度調査では28.5%と2.0ポイント増加した。



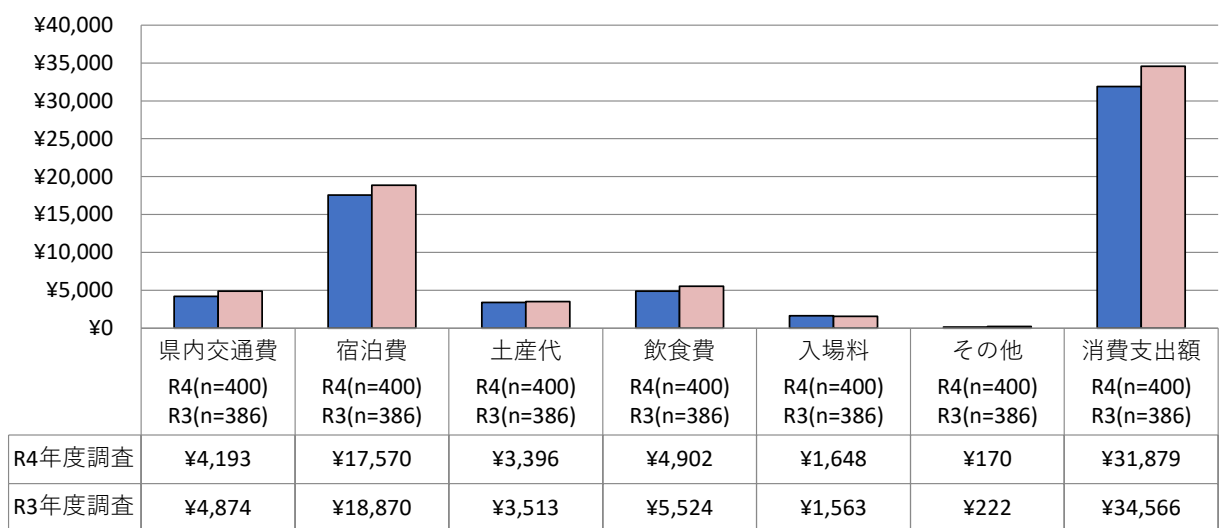
旅行先に選んだ情報源は、「宿泊予約サイト」が最も多く、令和3(2021)年度調査では30.6%、令和4(2022)年度調査では36.3%と5.7ポイント増加した。一方、次いで多かった「以前来訪した際の自身の経験」は令和3(2021)年度調査では36.0%であったが、令和4(2022)年度調査では22.3%と13.7ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源 (複数回答)



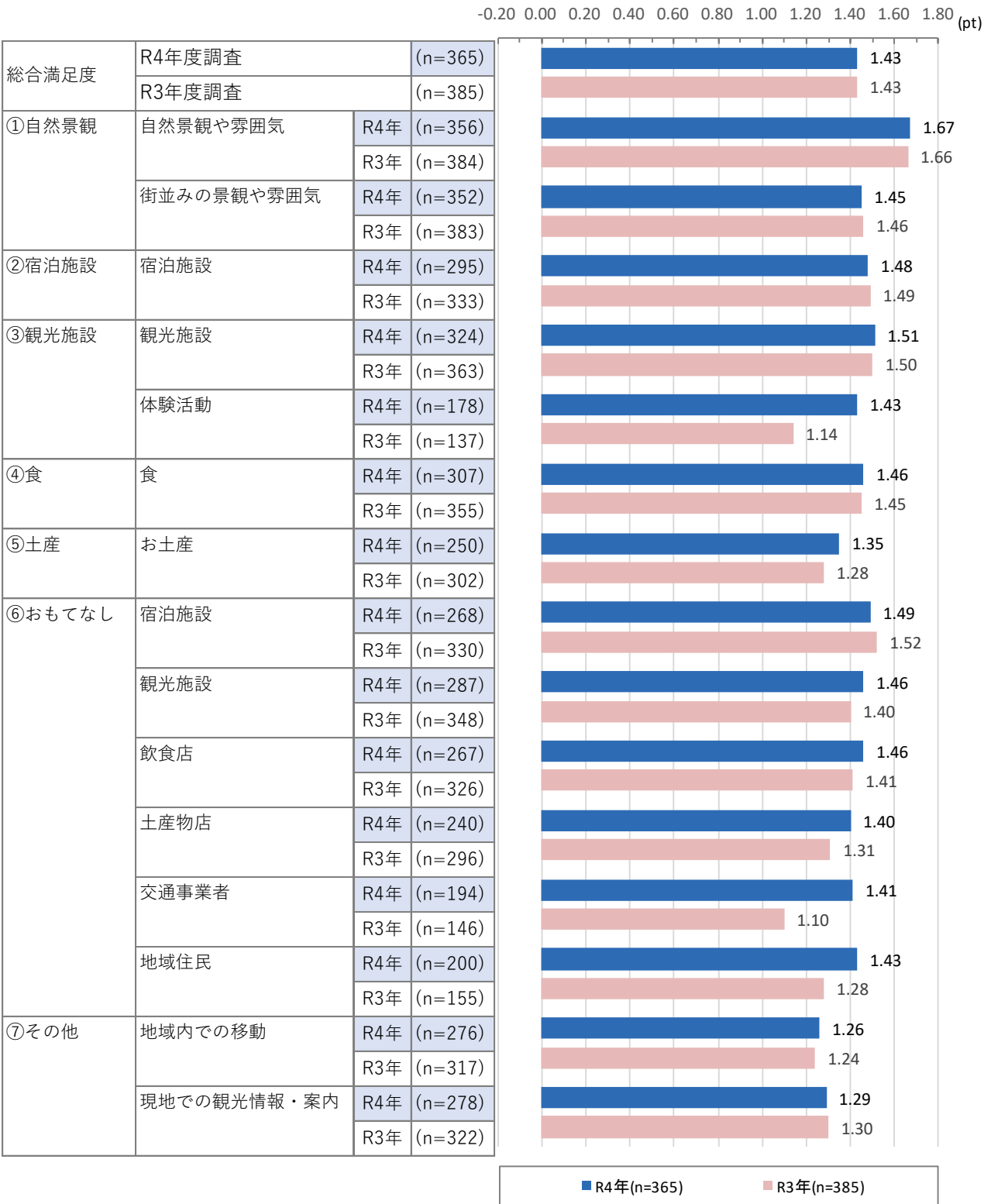
消費支出の総額は、令和3(2021)年度調査では34,566円だったが、令和4(2022)年度調査では31,879円に減少した。

消費支出 (総額)



総合満足度は、令和3(2021)年度調査、令和4(2022)年度調査ともに1.43であった。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度調査、令和4(2022)年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和3(2021)年度調査と令和4(2022)年度調査では大差はみられなかった。

項目別満足度 (加重平均値)



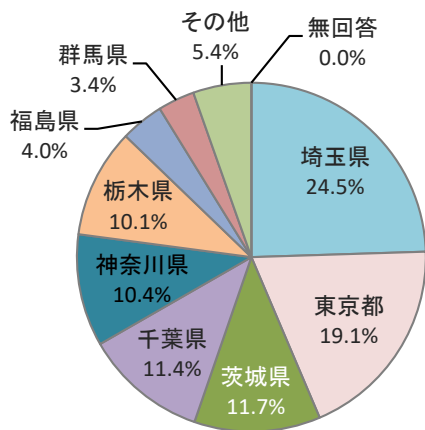
ii. 那須エリア

① 令和4(2022)年度調査結果

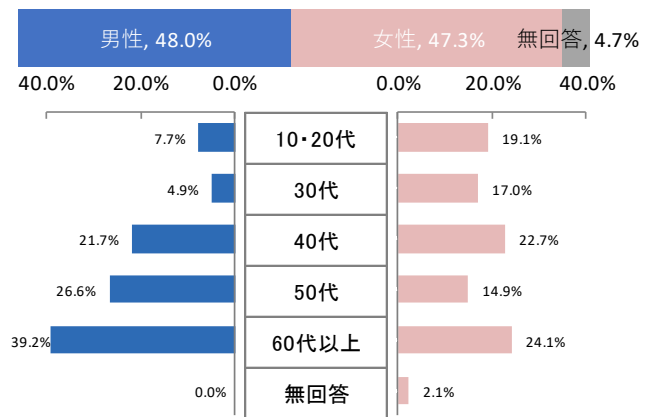
宿泊客(那須エリア) サンプル数：298

お住まいは「埼玉県」が最も多く 24.5%、次いで「東京都」が 19.1%、「茨城県」が 11.7%であった。年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性では 39.2%、女性では 24.1%であった。調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」のリピーターが 54.2%で最も多かった。同行者数は「2人」が 46.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 27.9%で最も多かった。

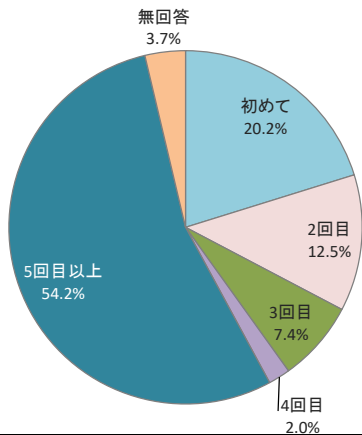
お住まい (n=298)



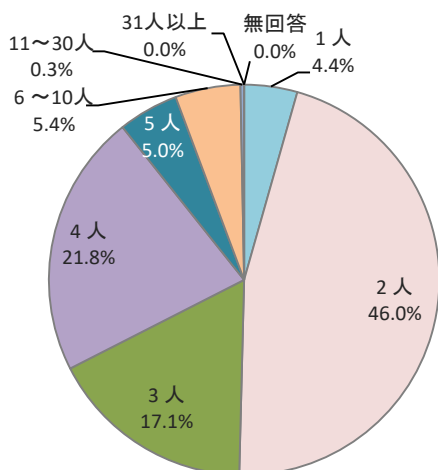
性別・年代 (n=298)



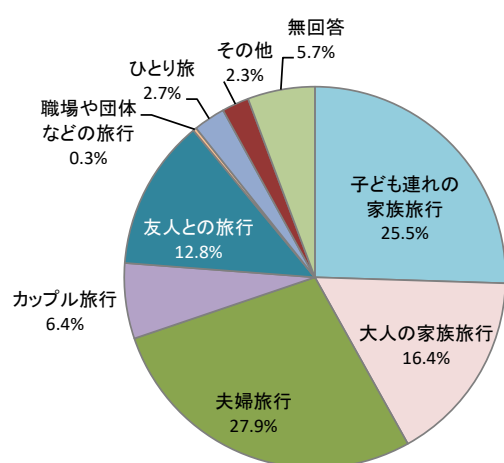
調査地域周辺への来訪回数 (n=297)



同行者数 ※回答者を含む (n=298)

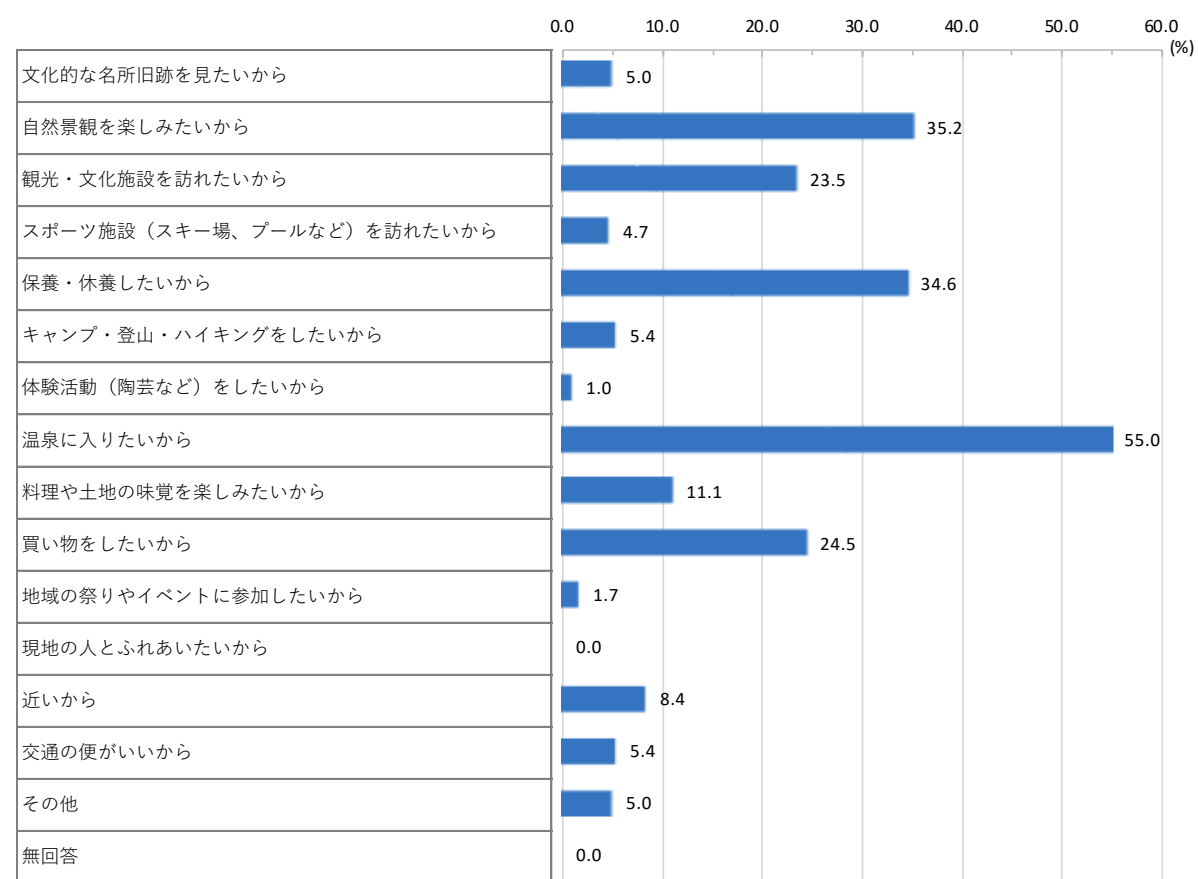


同行者の関係 (n=298)



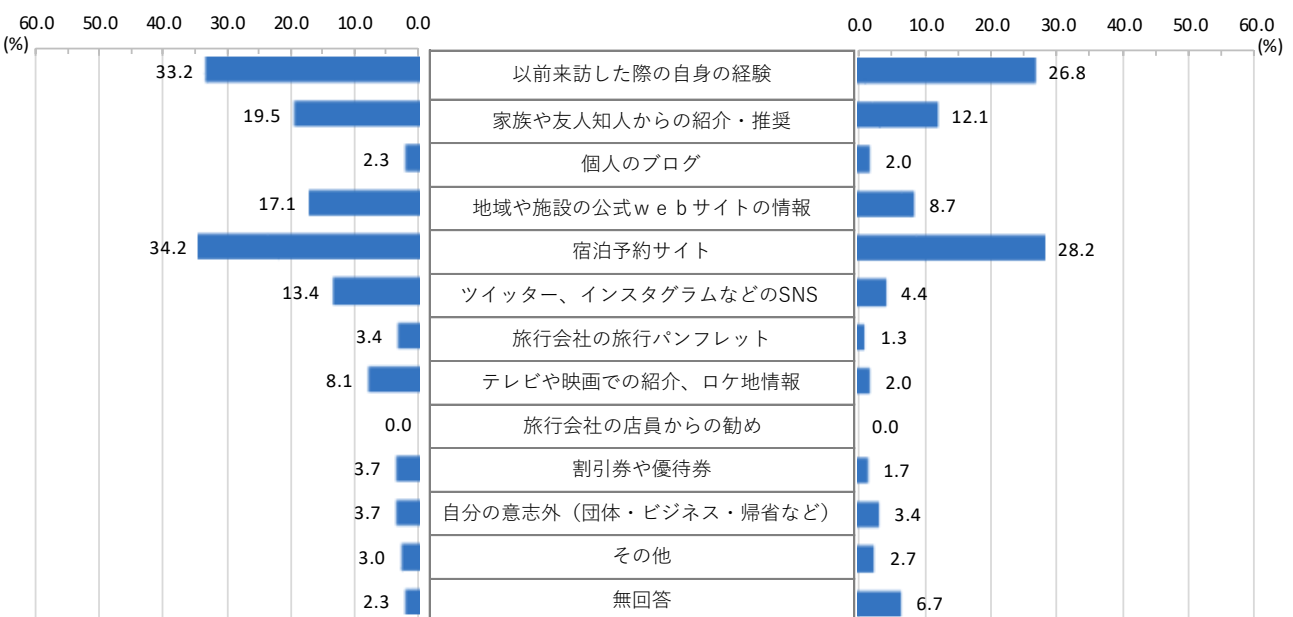
旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が55.0%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が35.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「宿泊予約サイト」が34.2%で最も多く、“決め手”となった情報源も「宿泊予約サイト」が28.2%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=298）



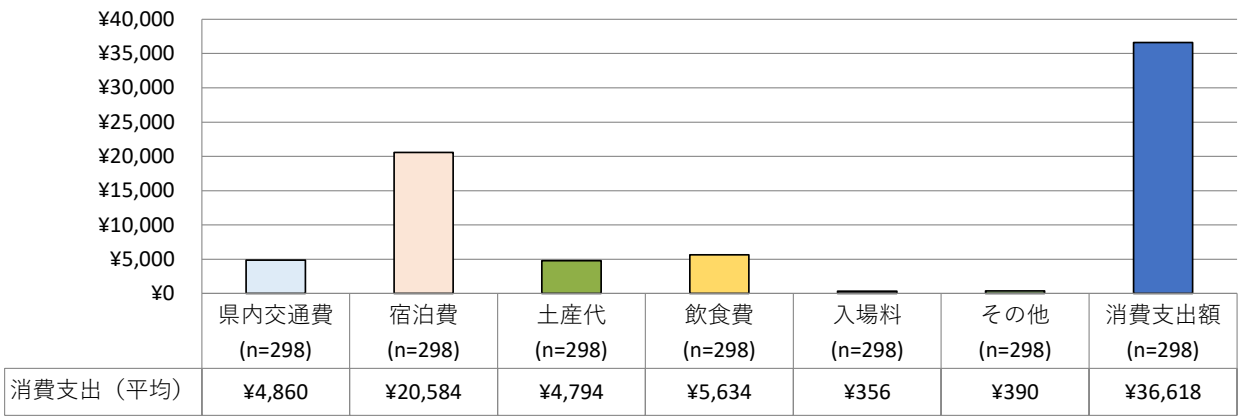
旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=298）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=298）

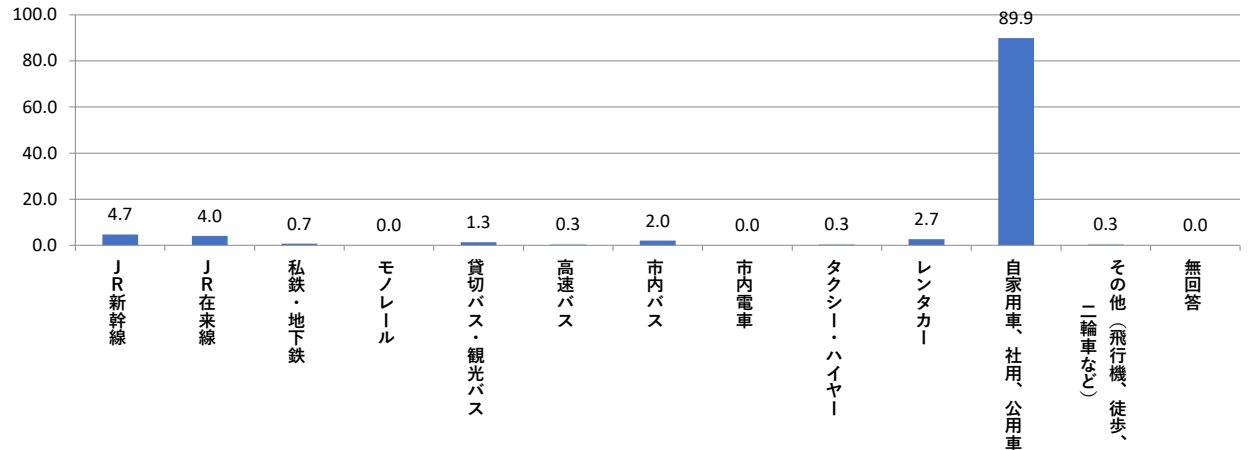


消費支出の平均は、総額で 36,618 円であった。内訳は、「宿泊費」が 20,584 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,634 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 89.9%であった。立ち寄り観光施設は、「塩原温泉郷」が 17 人で最も多く、次いで「ホテルエピナール那須」が 13 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=298）

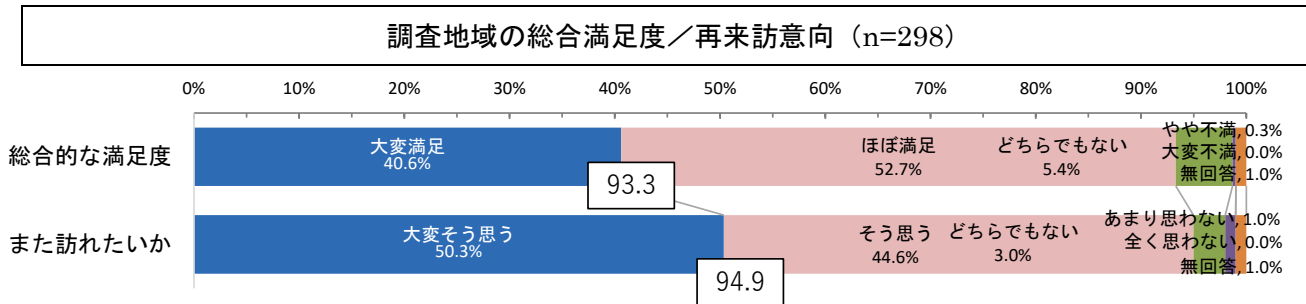


立ち寄り観光施設（n=298）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

那須	那須アルパカ牧場(1)	東武ワールドスクウェア(1)
塩原温泉郷(17)	那須野が原公園オートキャンプ場(1)	川治温泉(1)
ホテルエピナール那須(13)	那須ハイランドパーク(1)	大笹牧場(1)
千本松牧場(12)	板室温泉郷(1)	道の駅湯西川(1)
ホテルサンパレー那須(9)	道の駅やいた(1)	平家の里(1)
南ヶ丘牧場(7)	芦野温泉(1)	県央
那須ガーデンアウトレット(5)	マウントジーンズスキー場(1)	若山農場(1)
那須どうぶつ王国(4)	ハンターマウンテン塩原(1)	大谷資料館(1)
那須ティーベア・ミュージアム(4)	黒羽城址公園(1)	県東
那須ステンドグラス美術館(3)	もみじ谷大吊橋(1)	道の駅もてぎ(2)
宝石探しトレジャーストーンパーク(2)	日光	
那須国際カントリークラブ(2)	二社一寺参拝者(3)	
那須サファリパーク(2)	鬼怒川温泉(2)	
那須高原りんどう湖ファミリー牧場(2)	上三依水生植物園(1)	
那須ロープウェイ(2)	二荒山神社中宮祠(1)	
トリックアートの館(1)		
道の駅那須高原友愛の森(1)		

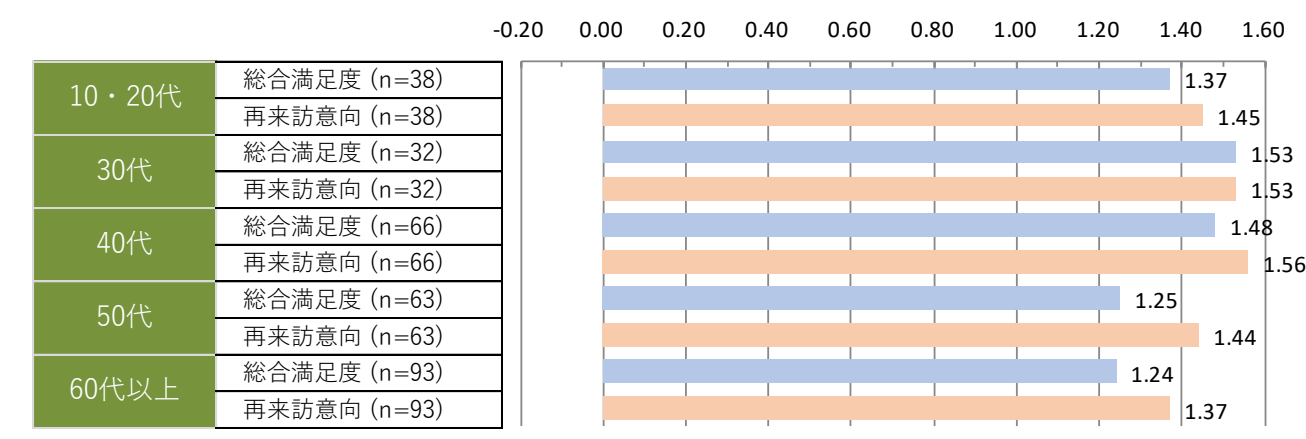
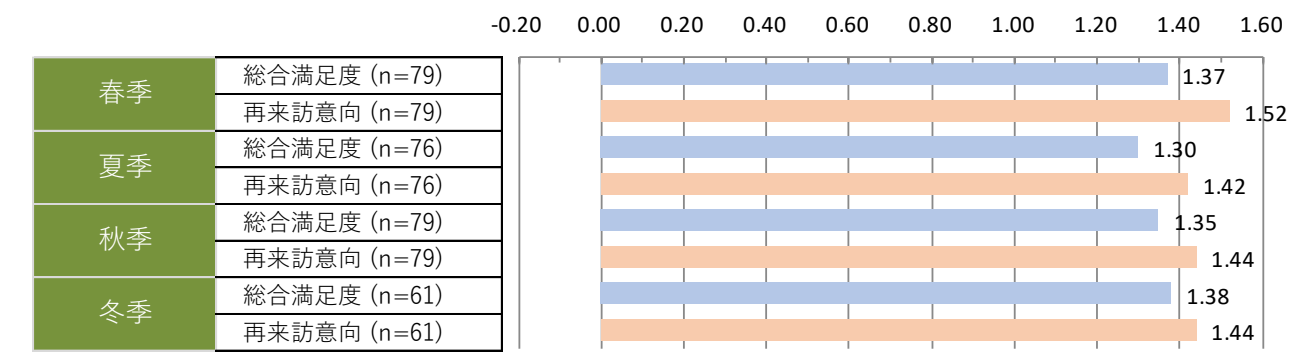
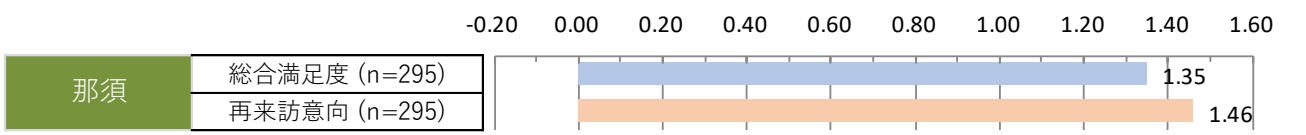
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅那須高原友愛の森（3）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が93.3%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が94.9%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

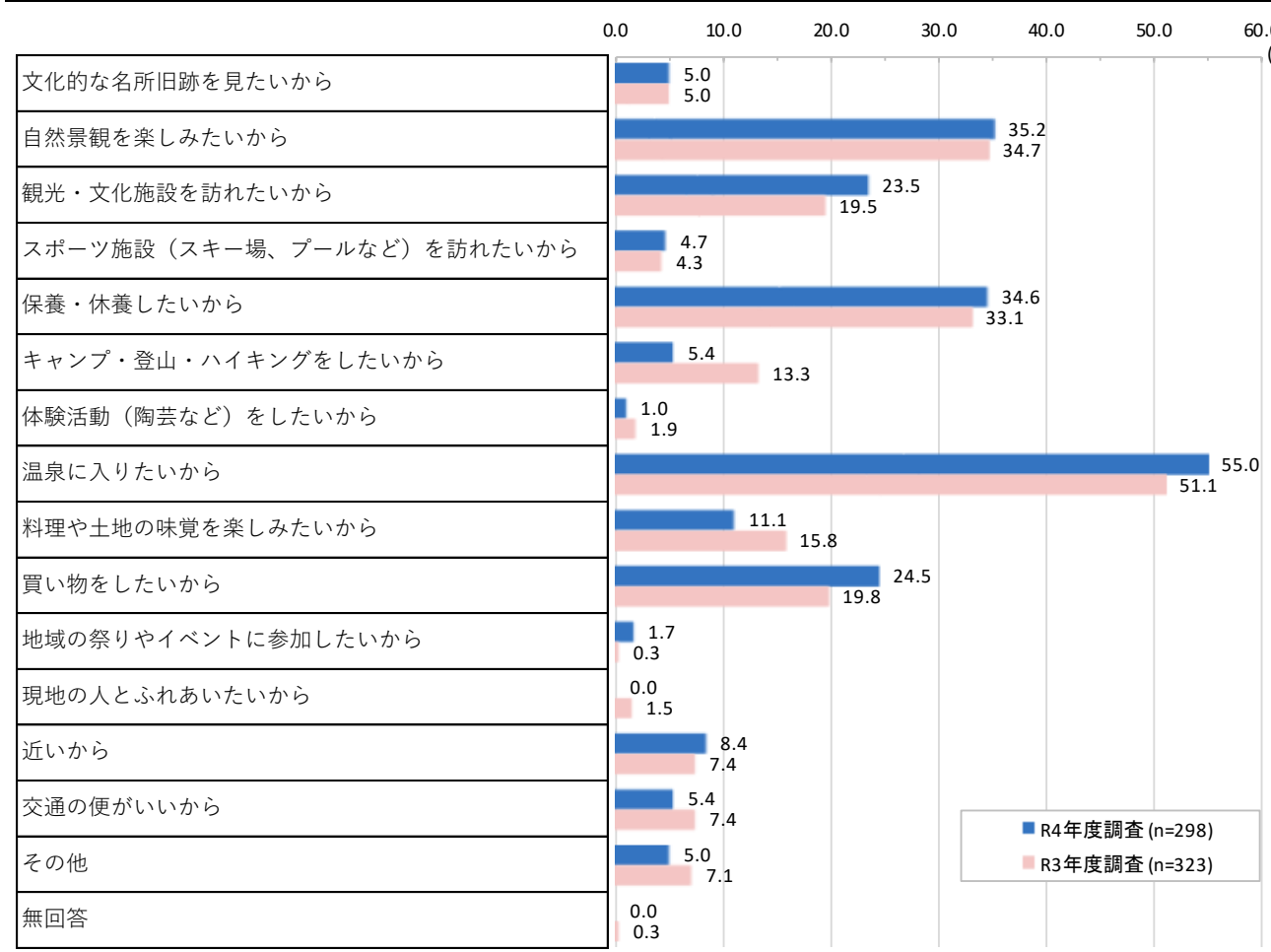
総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.38で最も高く、「夏季」が1.30で最も低かった。再来訪意向については「春季」が1.52で最も高く、「夏季」が1.42で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「30代」が1.53で最も高く、「60代以上」が1.24で最も低かった。再来訪意向については「40代」が1.56で最も高く、「60代以上」が1.37で最も低かった。



②過去調査との比較

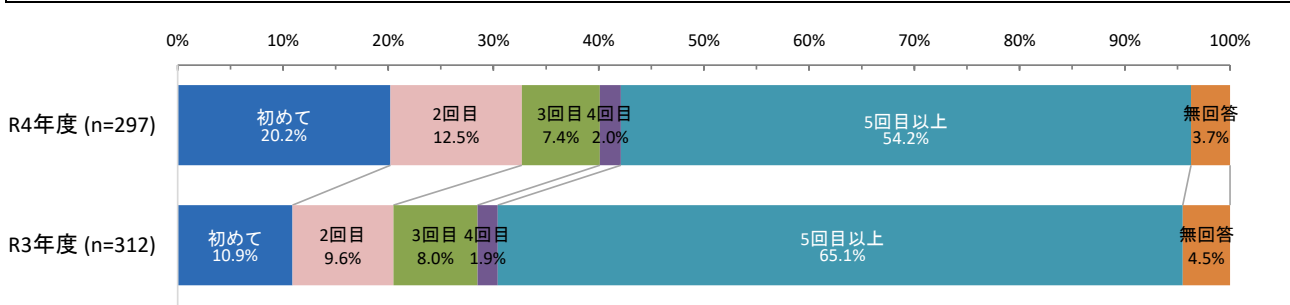
旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が最も多く、令和3(2021)年度調査では51.1%であったが、令和4(2022)年度調査では55.0%と3.9ポイント増加した。次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は令和3(2021)年度調査では34.7%、令和4(2022)年度調査では35.2%と大差はみられなかった。「保養・休養したいから」は令和3(2021)年度調査では33.1%、令和4(2022)年度調査では34.6%と1.5ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



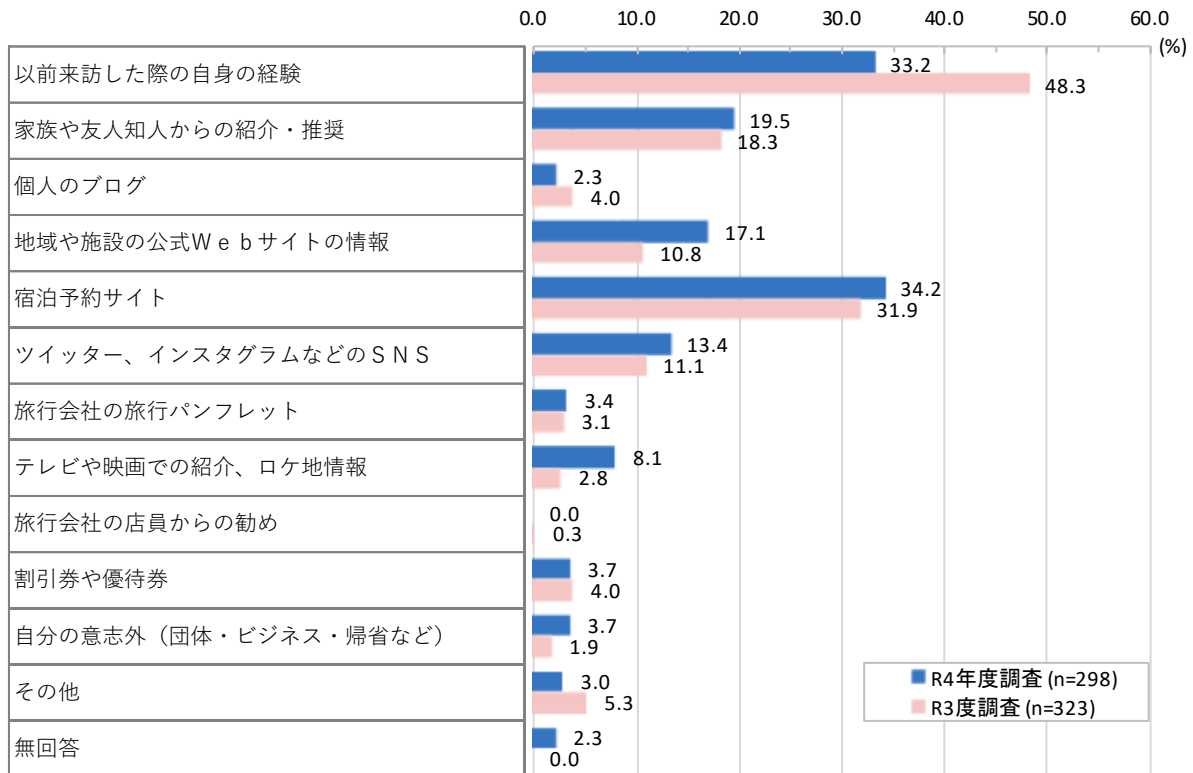
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和3(2021)年度調査では10.9%、令和4(2022)年度調査では20.2%と9.3ポイント増加した。一方、「5回目以上」は令和3(2021)年度調査では65.1%、令和4(2022)年度調査では54.2%と10.9ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



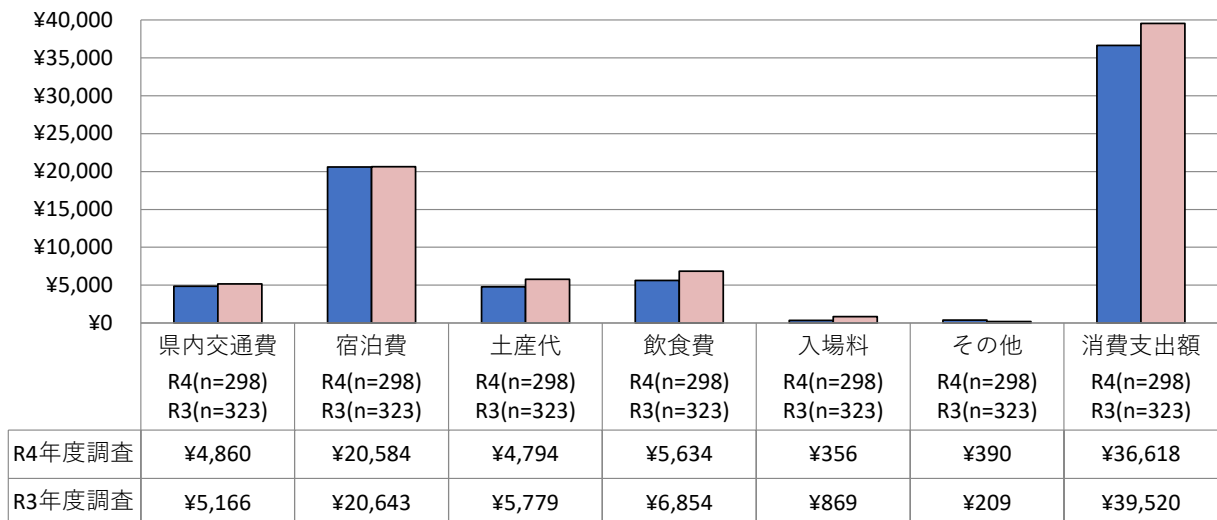
旅行先に選んだ情報源は、最も多かった「宿泊予約サイト」が、令和3(2021)年度調査では31.9%、令和4(2022)年度調査では34.2%と2.3ポイント増加した。一方、次いで多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3(2021)年度調査で48.3%だったが、令和4(2022)年度調査では33.2%と15.1ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和3(2021)年度調査では39,520円であったが、令和4(2022)年度調査では36,618円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和3(2021)年度調査で1.41、令和4(2022)年度調査では1.35と微減であった。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度調査、令和4(2022)年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和3(2021)年度調査では1.57、令和4(2022)年度調査では1.49であった。

項目別満足度 (加重平均値)



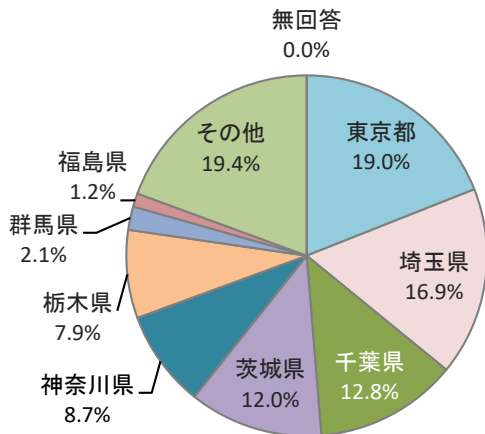
iii. 県央エリア

① 令和4(2022)年度調査結果

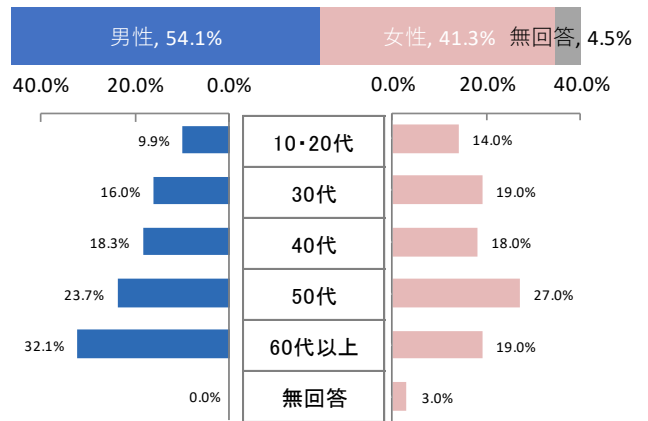
宿泊客（県央エリア） サンプル数：242

お住まいは「東京都」が最も多く 19.0%、次いで「埼玉県」が 16.9%、「千葉県」が 12.8%であった。
年代は、男性では「60代以上」が 32.1%で最も多く、女性では「50代」が 27.0%で最も多かった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 39.3%で最も多かった。
同行者数は「2人」が 44.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 27.7%で最も多かった。

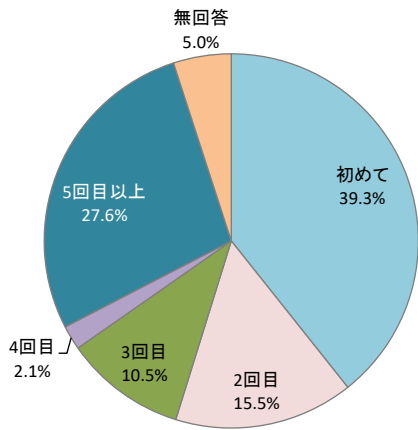
お住まい (n=242)



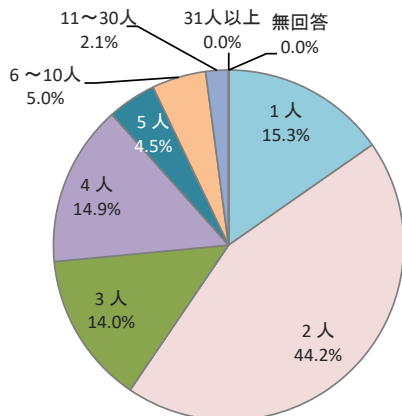
性別・年代 (n=242)



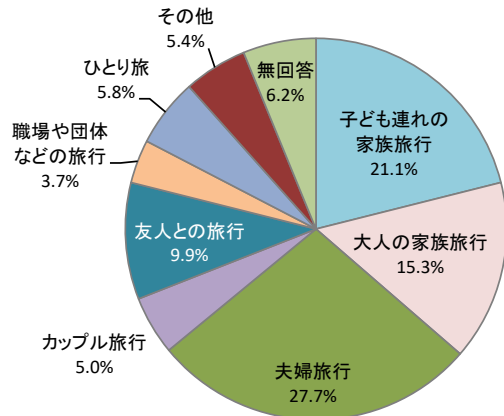
調査地域周辺への来訪回数 (n=239)



同行者数 ※回答者を含む (n=242)

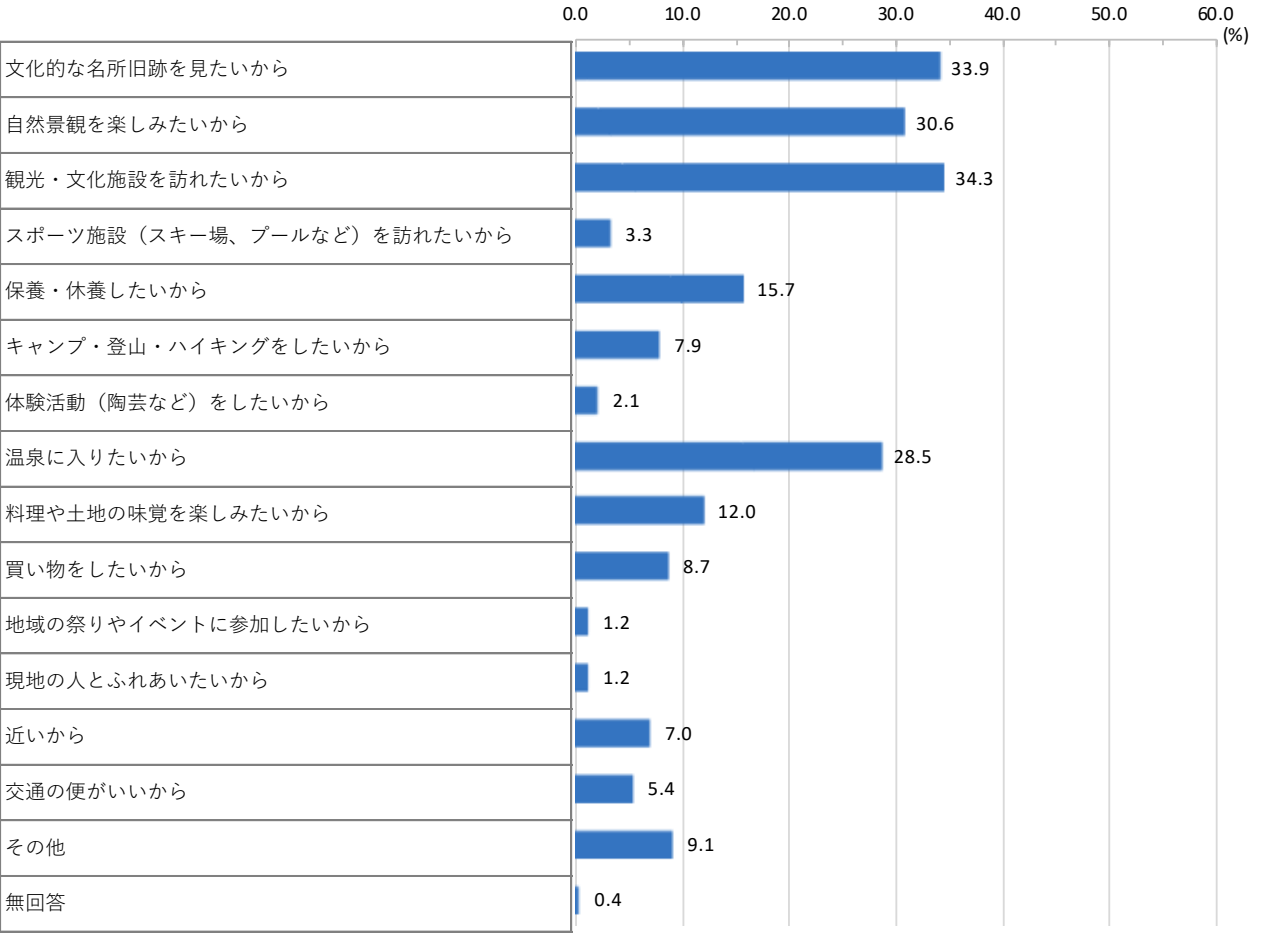


同行者の関係 (n=242)



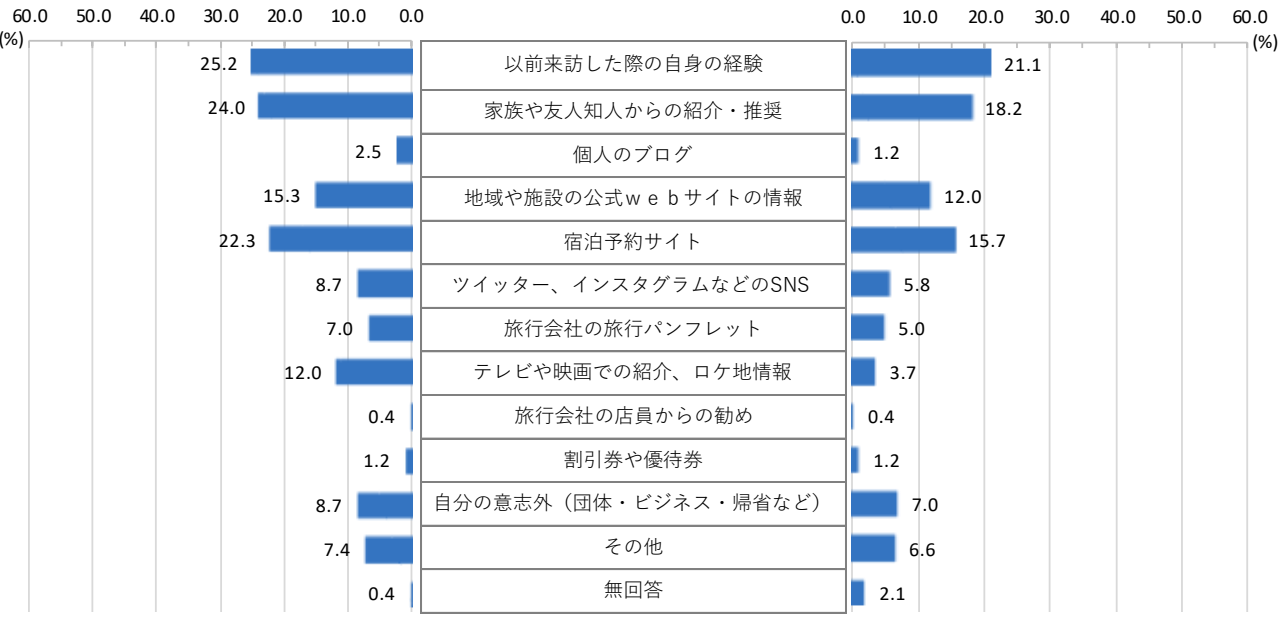
旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が34.3%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡を見たいから」が33.9%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が25.2%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が21.1%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=242）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=242）

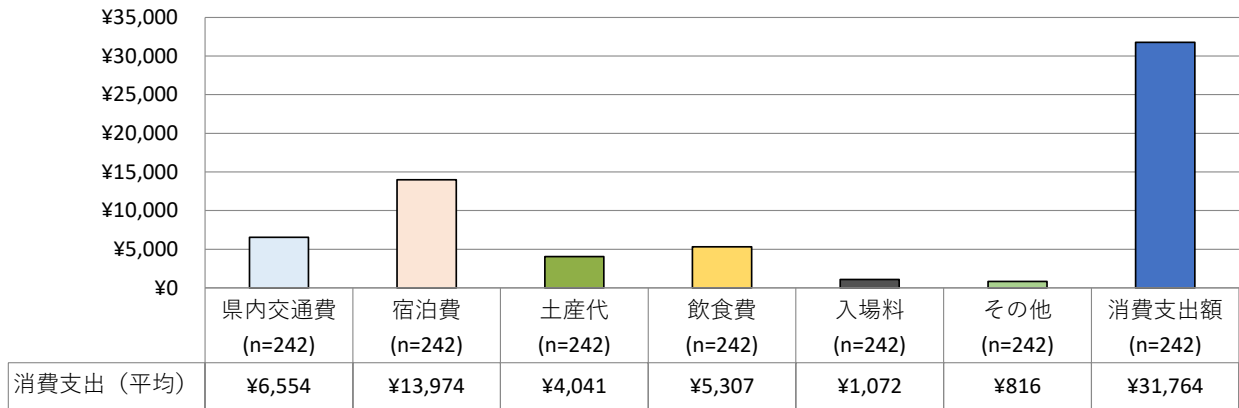
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=242）



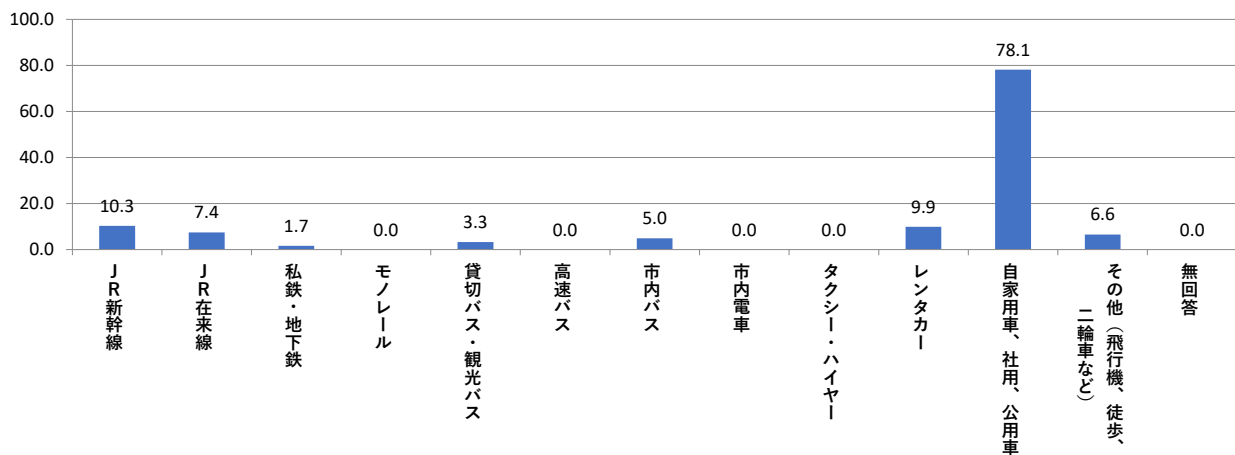
消費支出の平均は、総額で 31,764 円であった。内訳は、「宿泊費」が 13,974 円で最も多く、次いで「県内交通費」が 6,554 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 78.1%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「道の駅うつのみやろまんちっく村」、「鬼怒川温泉」がともに 6 人と最も多く、次いで「あしががフラワーパーク」、「栃木県なかがわ水遊園」がともに 4 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=242）

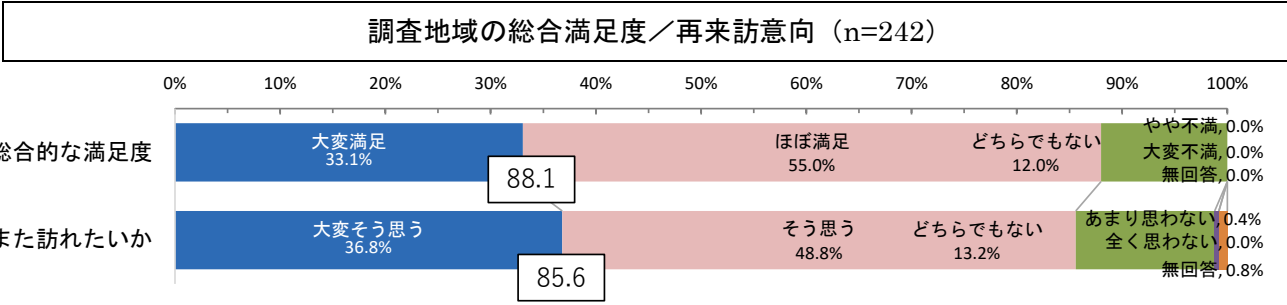


立ち寄り観光施設（n=242）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県央	県南	湯滝・湯の湖(1)
道の駅うつのみやろまんちっく村(6)	あしががフラワーパーク(4)	中禅寺湖(1)
宇都宮動物園(3)	出流山(2)	日光湯元温泉(1)
馬頭温泉郷(2)	道の駅しもつけ(1)	道の駅湯西川(1)
お丸山ホテル(2)	佐野プレミアム・アウトレット(1)	初詣（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）(1)
栃木県子ども総合科学館(1)	県東	二社一寺参拝者(1)
ゆりがねの湯(1)	井頭公園(1)	那須
鷲子山上神社(1)	日光	栃木県なかがわ水遊園(4)
サンタヒルズキャンプ場(1)	鬼怒川温泉(6)	塩原温泉郷(3)
かんぼの宿 喜連川温泉(1)	東武ワールドスクウェア(1)	もみじ谷大吊橋(2)
	川治温泉(1)	千本松牧場(1)
		那須どうぶつ王国(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅きつれがわ（1）

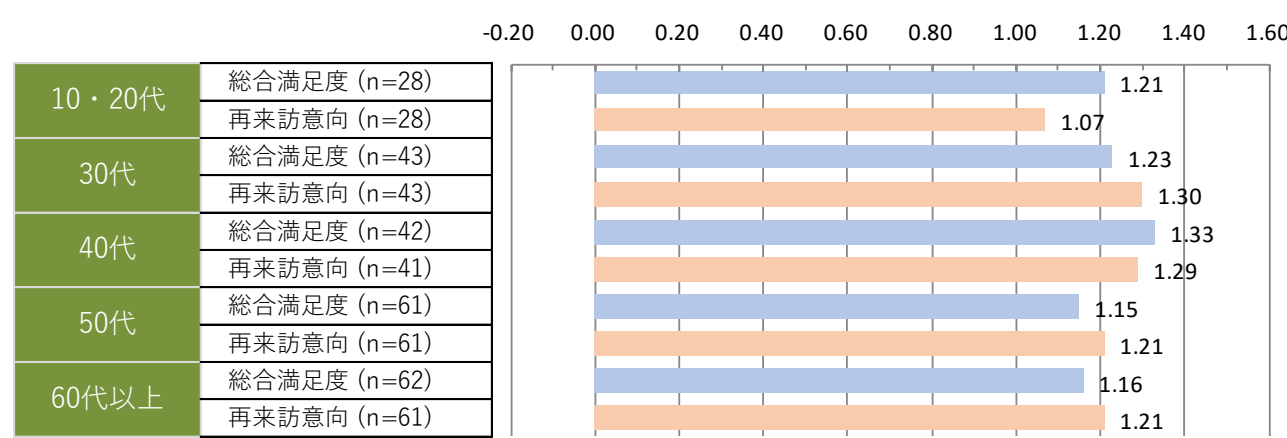
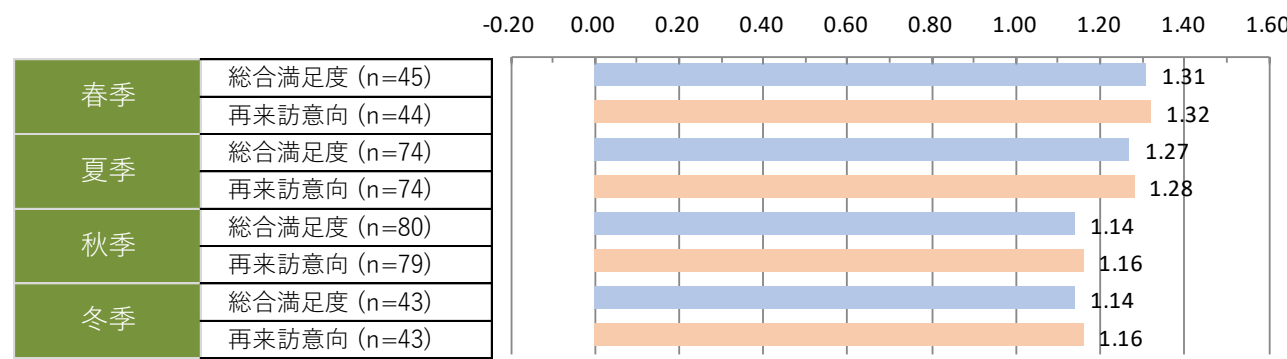
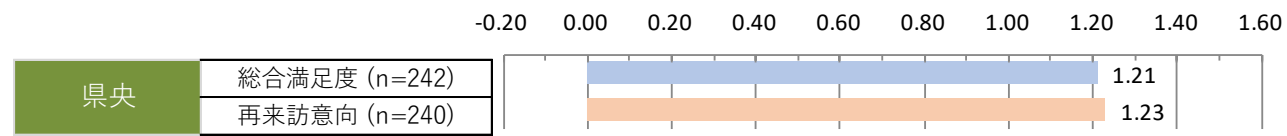
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が88.1%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が85.6%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.31で最も高く、「秋季」、「冬季」がともに1.14で最も低かった。再来訪意向についても、「春季」が1.32で最も高く、「秋季」、「冬季」がともに1.16で最も低かった。

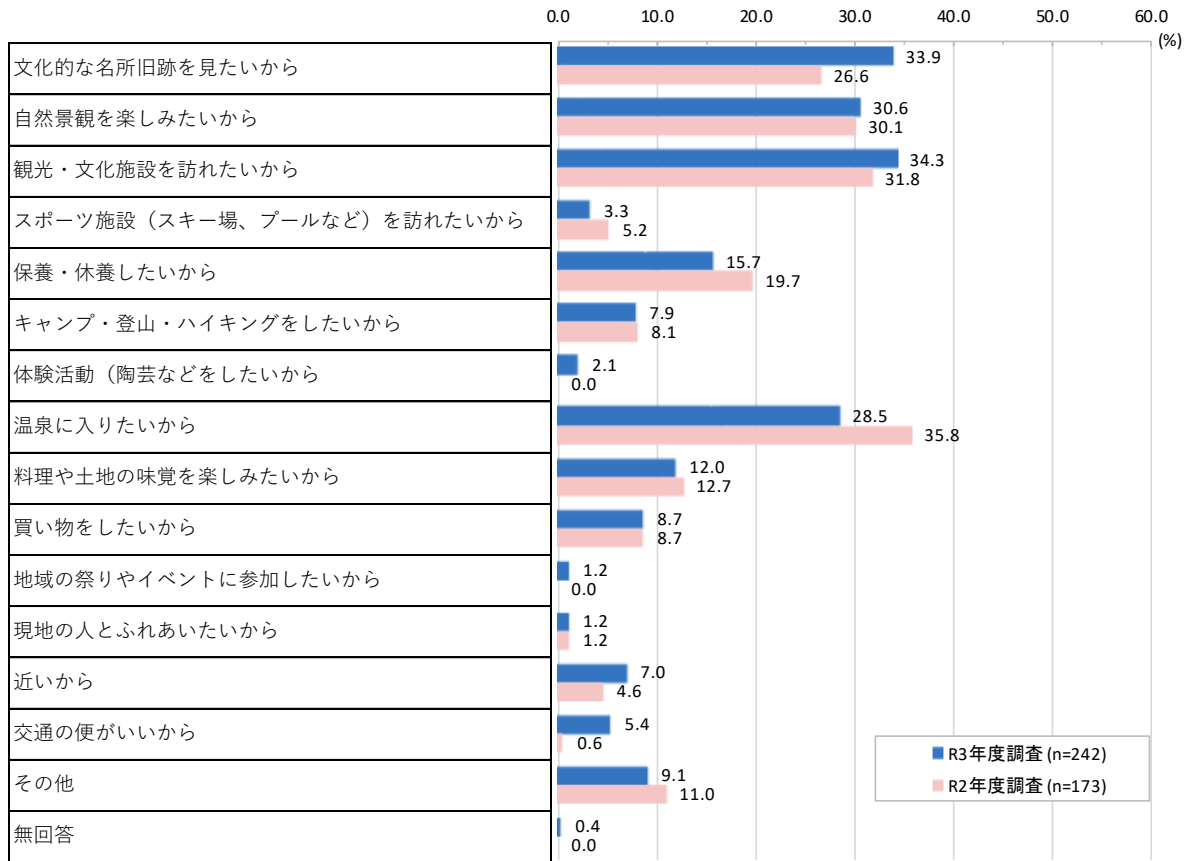
年代別にみると、総合満足度は「40代」が1.33で最も高く、「50代」が1.15で最も低かった。再来訪意向については、「30代」が1.30で最も高く、「10・20代」が1.07で最も低かった。



②過去調査との比較

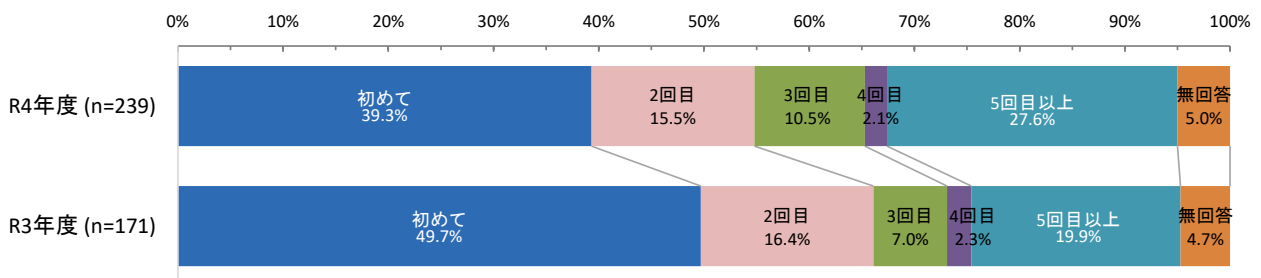
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く、令和3(2021)年度では31.8%、令和4年(2022)年度では34.3%と2.5ポイント増加した。また、次いで多かった「文化的な名所旧跡を見たいから」は令和3(2021)年度調査では26.6%、令和4(2022)年度調査では33.9%と7.3ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由 (複数回答)



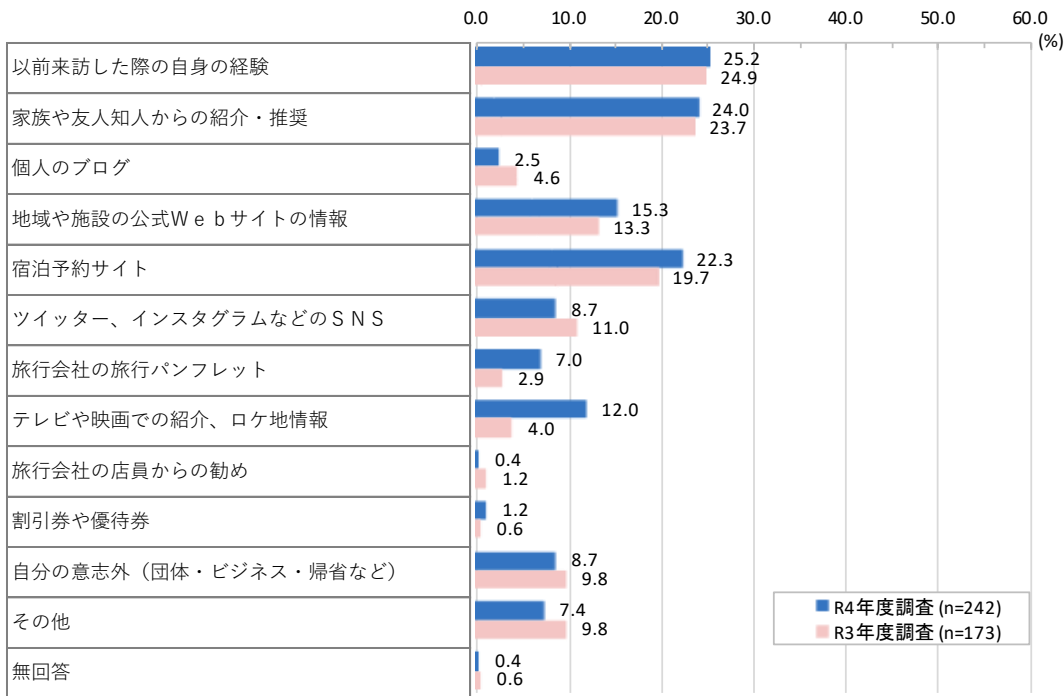
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和3(2021)年度調査では49.7%、令和4(2022)年度調査では39.3%と10.4ポイント減少した。一方、「5回目以上」は令和3(2021)年度調査で19.9%であったが、令和4(2022)年度調査では27.6%と7.7ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



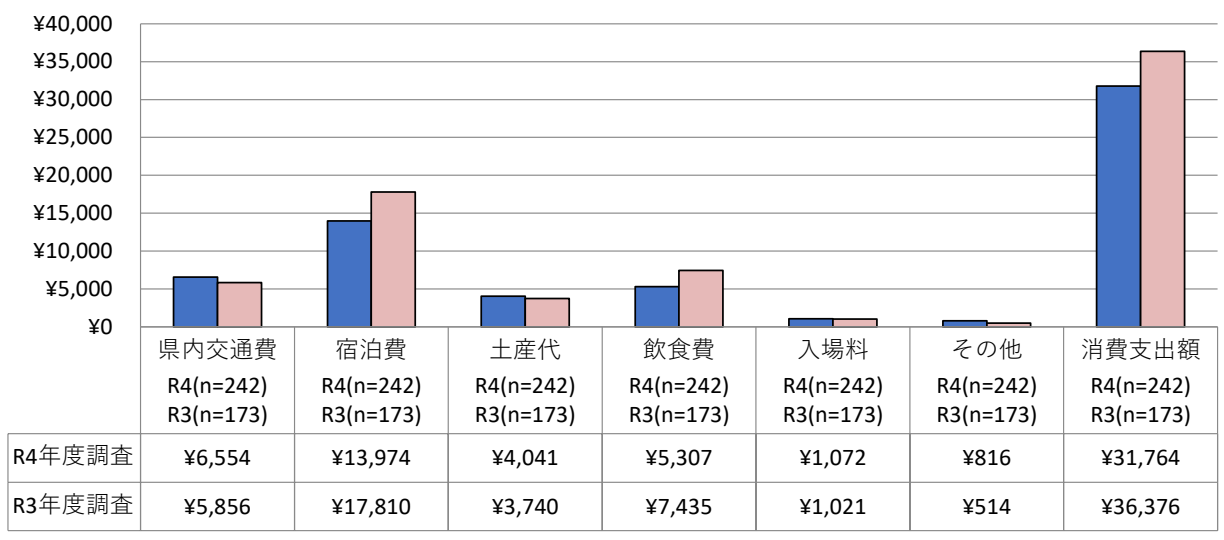
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和3（2021）年度調査では24.9%、令和4（2022）年度調査では25.2%と大差はみられなかった。
一方、「テレビや映画での紹介、ロケ地情報」は令和3（2021）年度調査では4.0%、令和4（2022）年度調査では12.0%と8.0ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



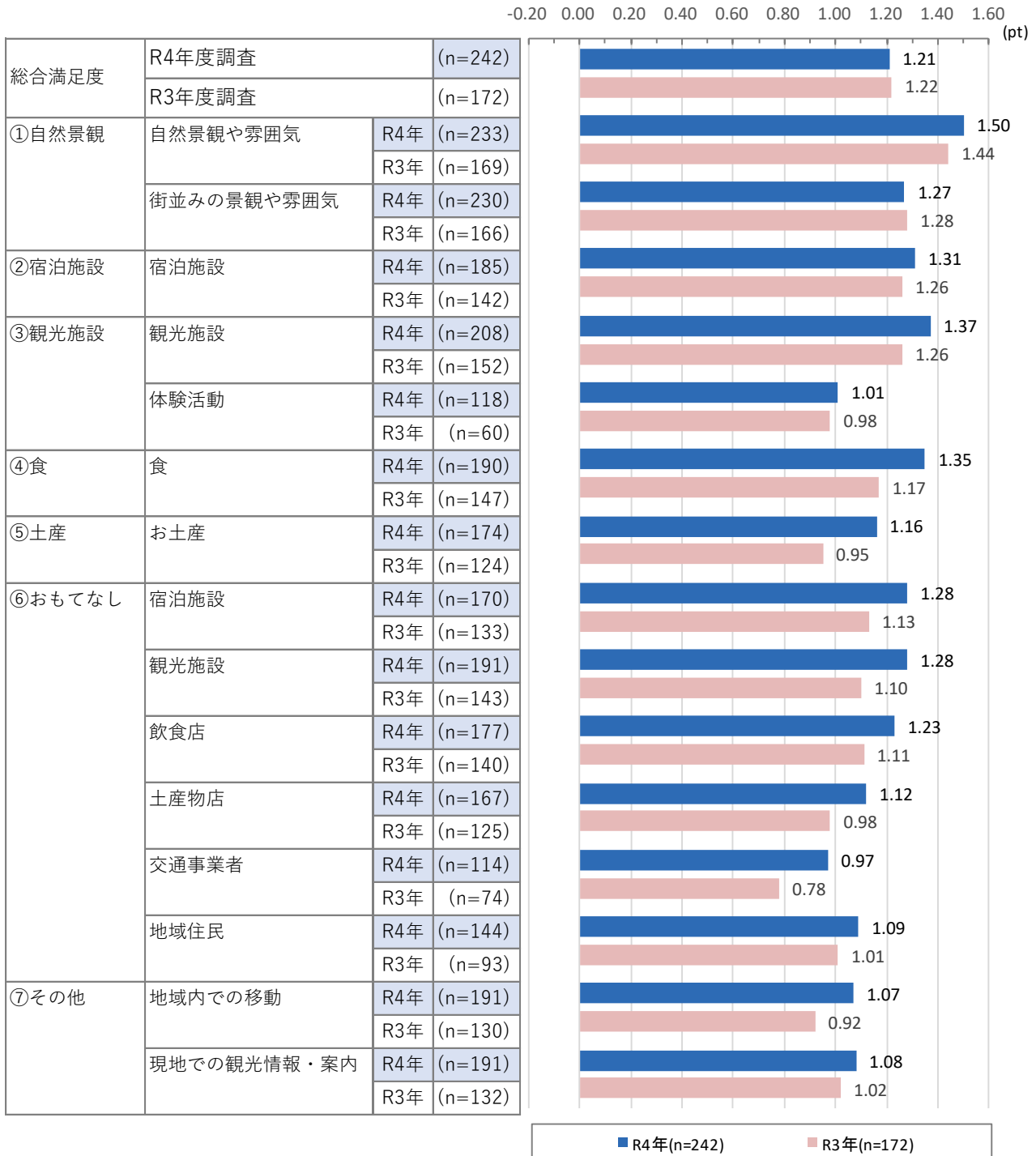
消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では36,376円であったが、令和4（2022）年度調査では31,764円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和3(2021)年度調査では1.22、令和4(2022)年度調査では1.21と大差はみられなかった。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度に引き続き「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和3(2021)年度調査は1.44、令和4(2022)年度調査では1.50とやや増加した。

項目別満足度 (加重平均値)



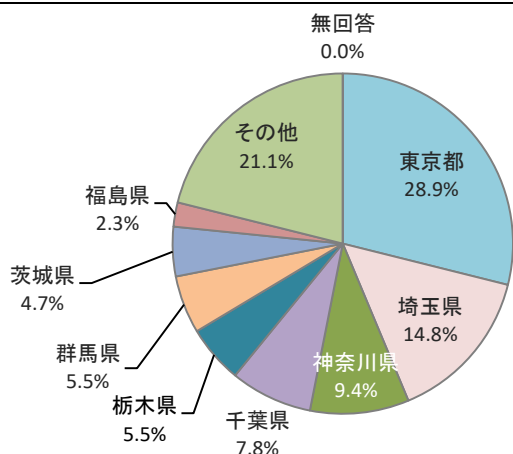
iv. 県南エリア

① 令和4(2022)年度調査結果

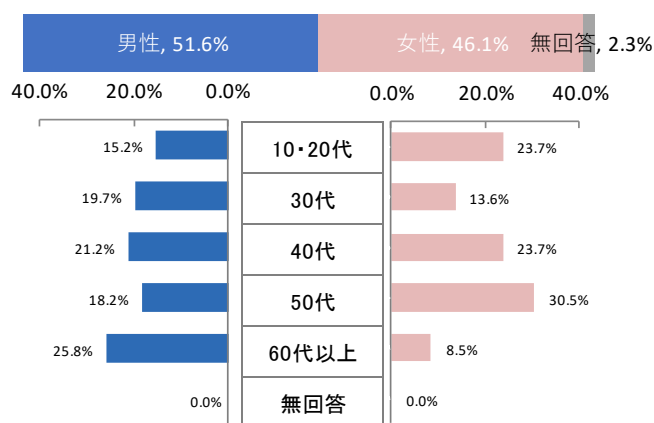
宿泊客 (県南エリア) サンプル数 : 128

お住まいは「東京都」が最も多く 28.9%、次いで「埼玉県」が 14.8%、「神奈川県」が 9.4%であった。年代は、男性では「60代以上」が最も多く 25.8%、女性では「50代」が 30.5%で最も多かった。調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 53.1%で最も多かった。同行者数は「2人」が 47.7%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 27.3%で最も多かった。

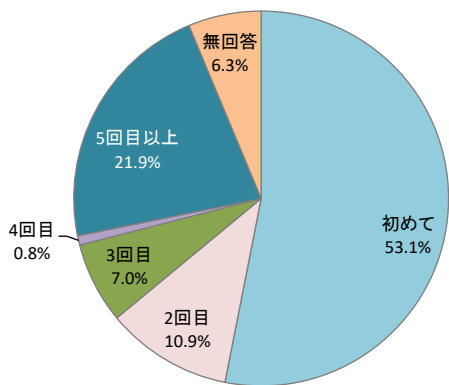
お住まい (n=128)



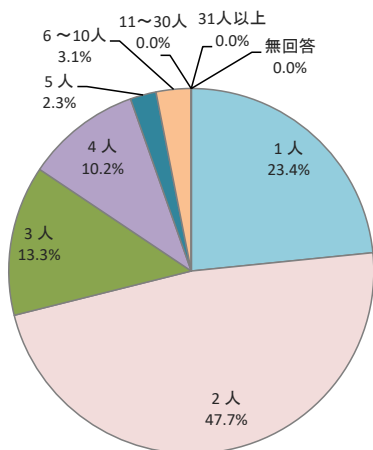
性別・年代 (n=128)



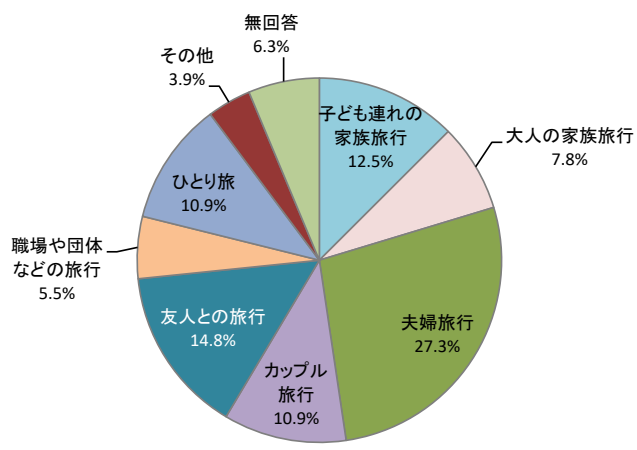
調査地域周辺への来訪回数 (n=128)



同行者数 ※回答者を含む (n=128)

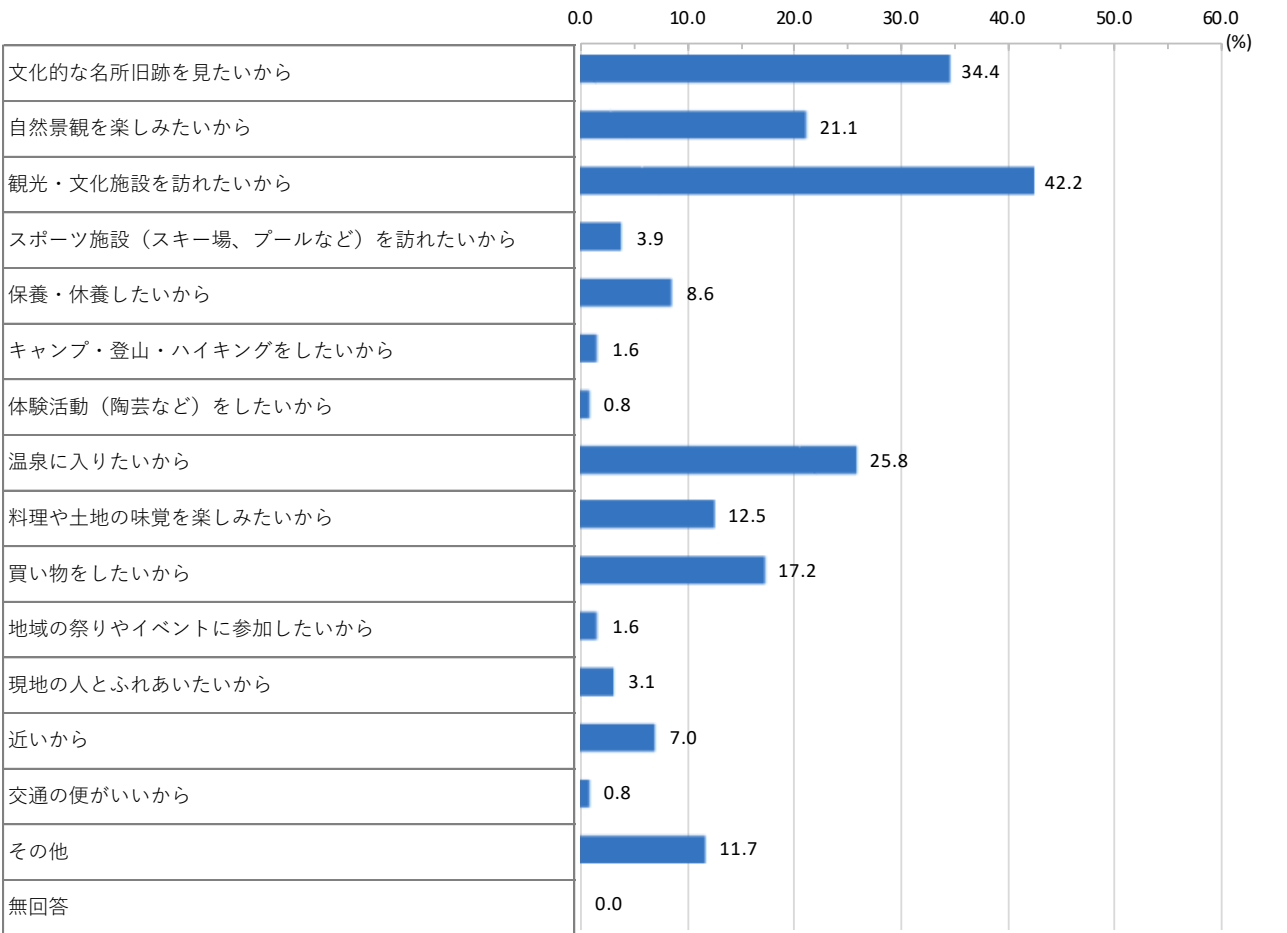


同行者の関係 (n=128)



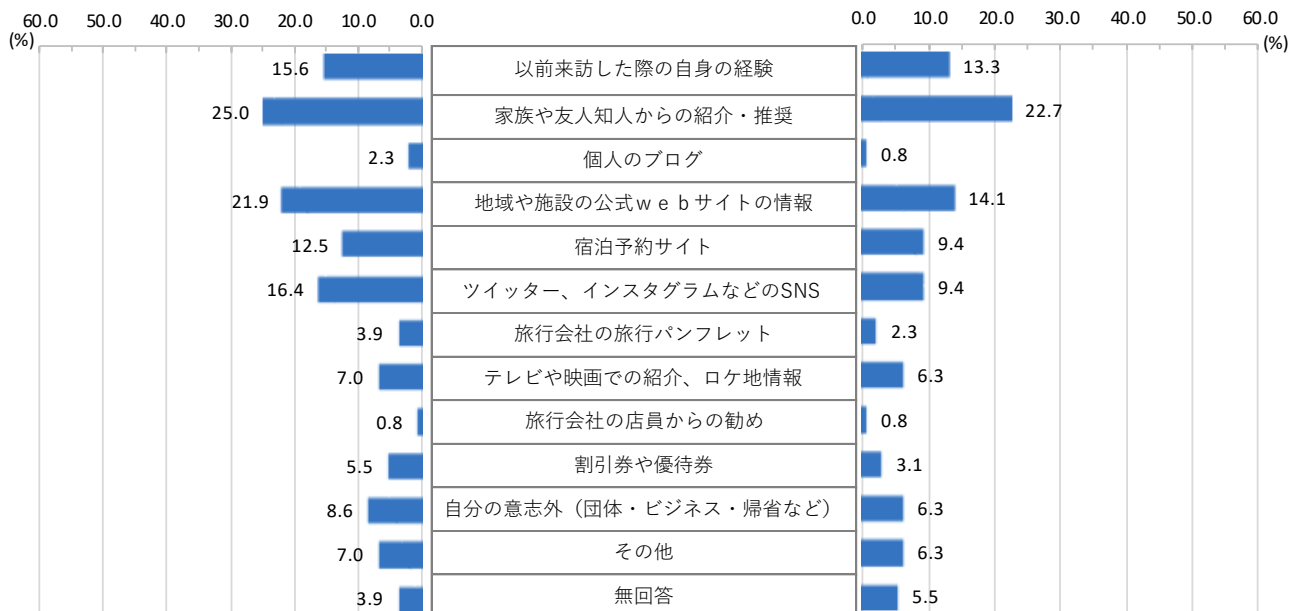
旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が42.2%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡を見たいから」が34.4%であった。旅行先に選んだ情報源は「家族や友人知人からの紹介・推奨」が25.0%で最も多く、“決め手”となった情報源も「家族や友人知人からの紹介・推奨」が最も多く、22.7%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=128）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=128）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=128）



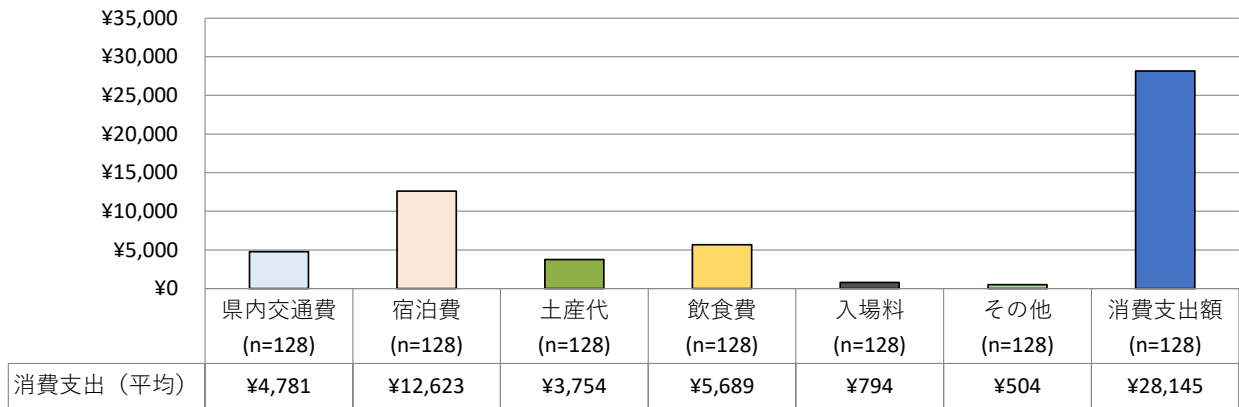
第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (2)エリア別 iv. 県南エリア

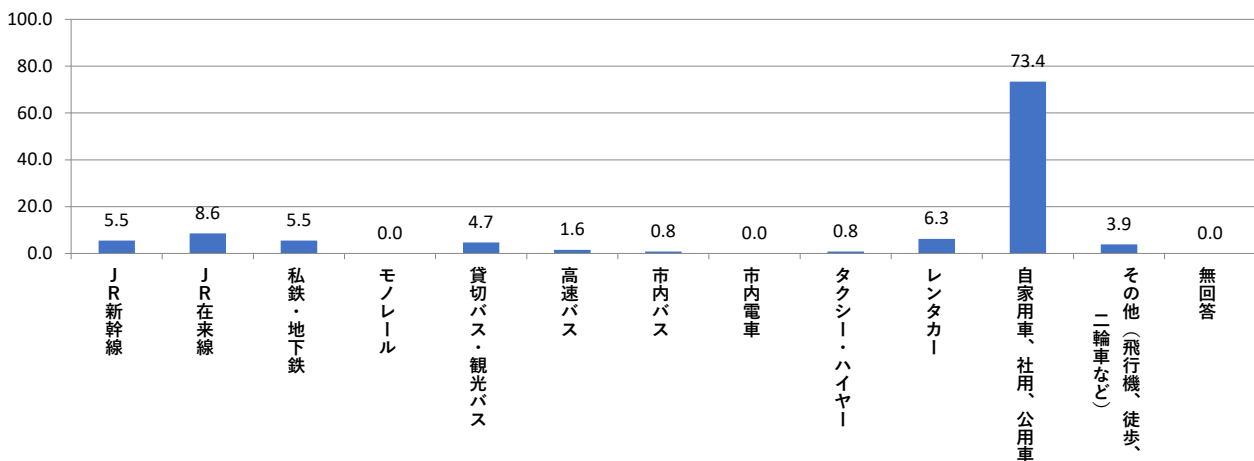
消費支出の平均は、総額で 28,145 円であった。内訳は、「宿泊費」が 12,623 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,689 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 73.4%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「織姫公園」が 10 人で最も多く、次いで「あしかがフラワーパーク」が 4 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=128）

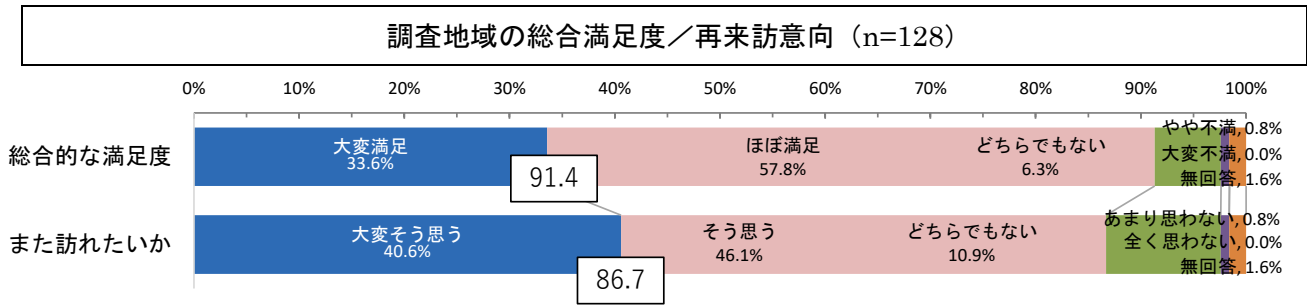


立ち寄り観光施設（n=128）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県南	日光
織姫公園(10)	鬼怒川温泉(3)
あしかがフラワーパーク(4)	那須
佐野厄よけ大師(2)	那須ガーデンアウトレット(1)
太平山神社(1)	県央
渡良瀬遊水地（谷中湖）(1)	前日光つつじの湯交流館(1)
道の駅みかも(1)	
佐野プレミアム・アウトレット(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）と立ち寄り観光施設に重複はなかった。

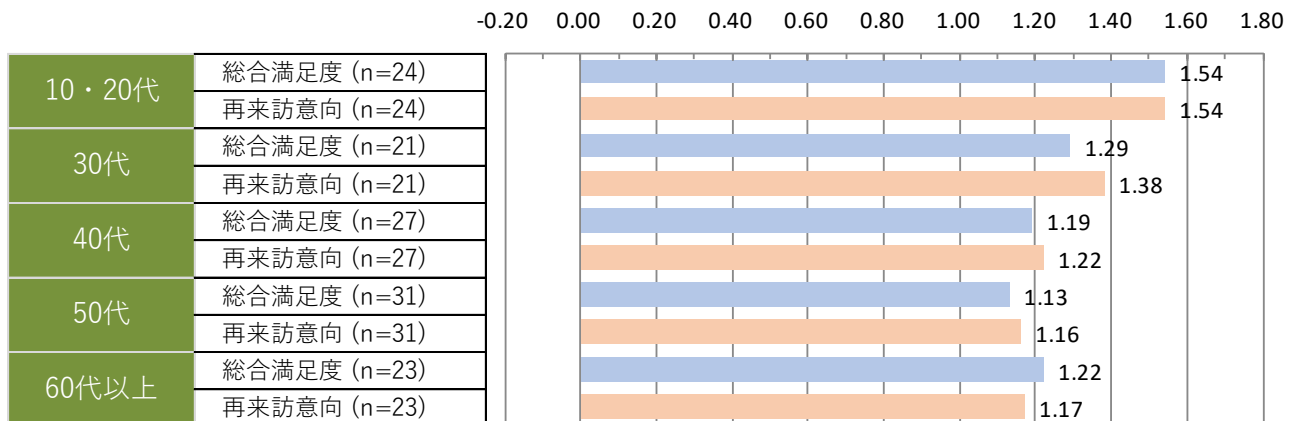
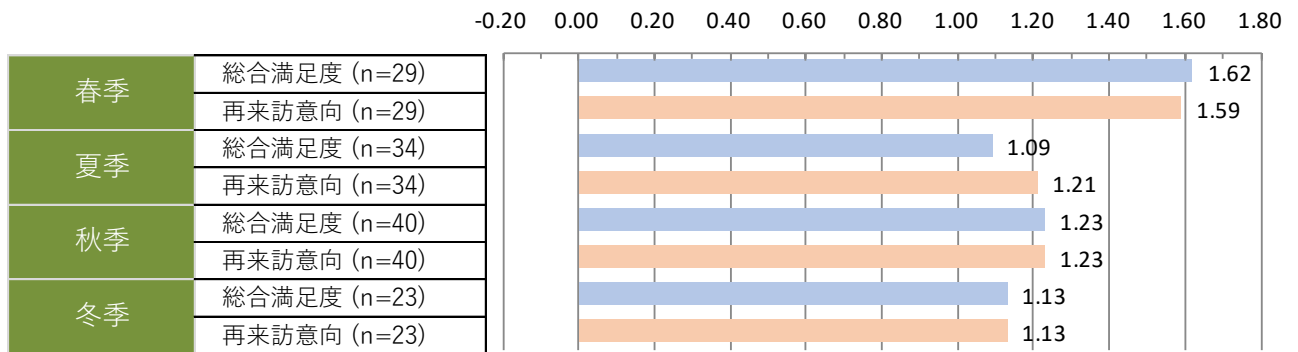
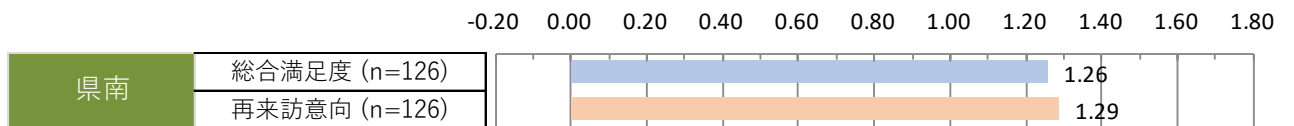
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が91.4%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が86.7%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.62で最も高く、「夏季」が1.09で最も低かった。再来訪意向については、「春季」が1.59で最も高く、「冬季」が1.13で最も低かった。

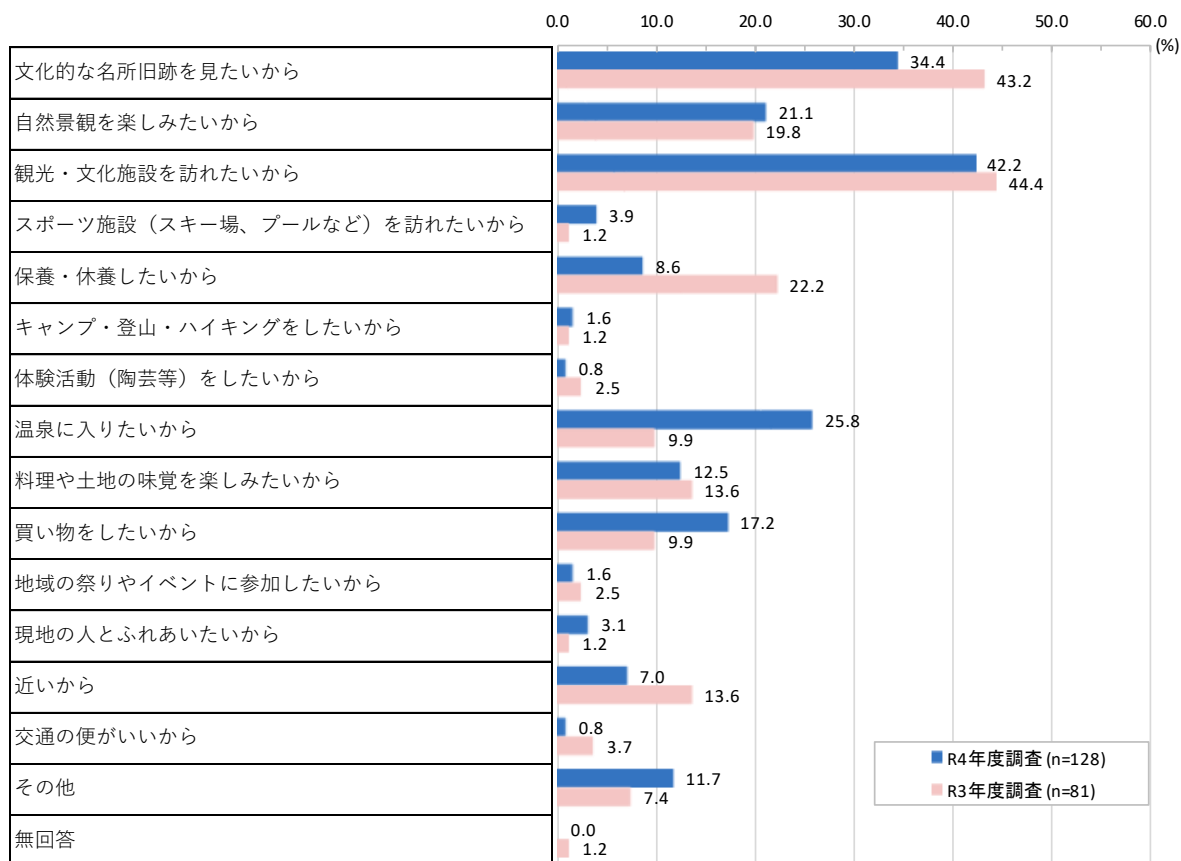
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.54で最も高く、「50代」が1.13で最も低かった。また、再来訪意向についても、「10・20代」が1.54と最も高く、「50代」が1.16で最も低かった。



②過去調査との比較

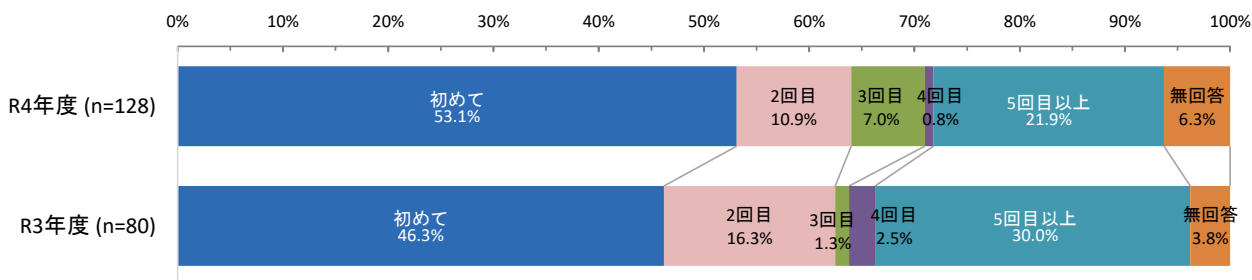
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く、令和3（2021）年度調査では44.4%、令和4（2022）年度調査では42.2%と2.2ポイント減少した。また、次いで多かった「文化的な名所旧跡を見たいから」は、令和3（2021）年度調査では43.2%、令和4（2022）年度調査では34.4%と8.8ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



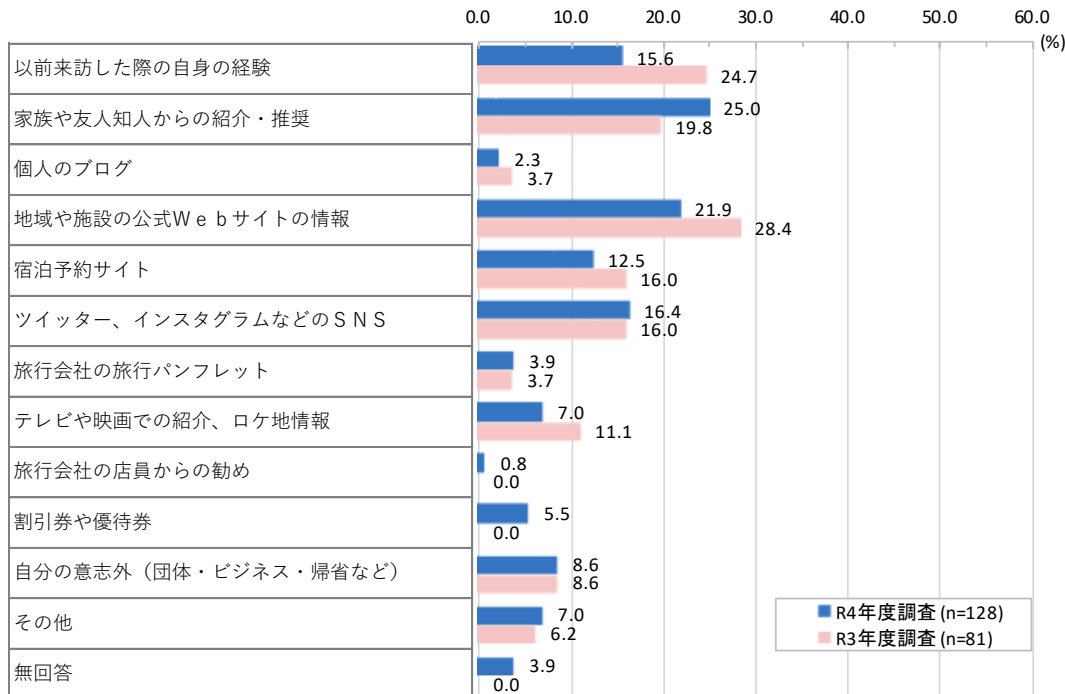
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和3（2021）年度調査では46.3%、令和4（2022）年度調査では53.1%と6.8ポイント増加した。一方、「5回目以上」は令和3（2021）年度調査では30.0%、令和4（2022）年度調査では21.9%と8.1ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



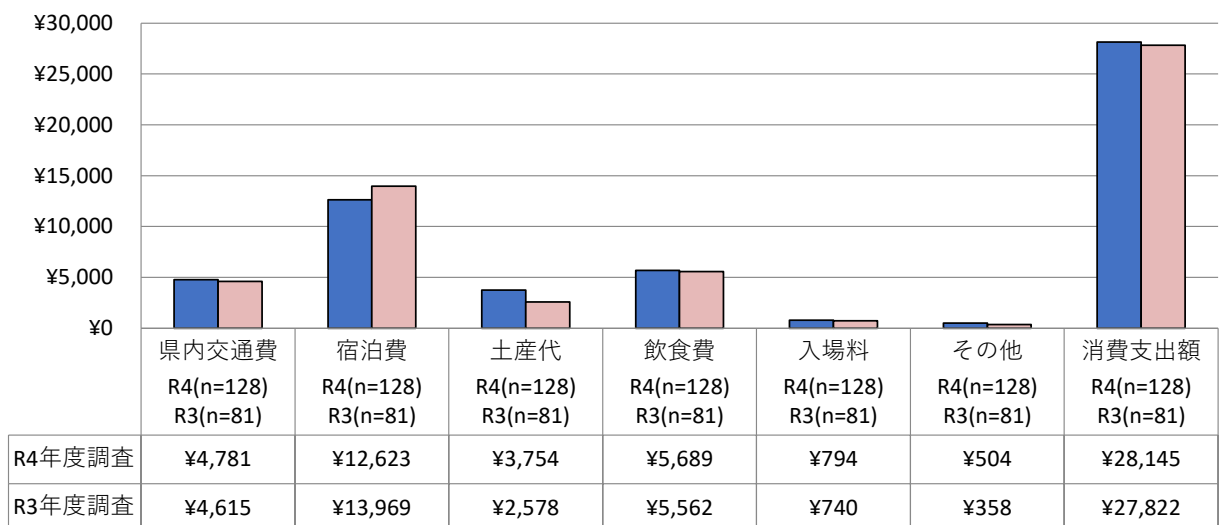
旅行先に選んだ情報源は、「家族や友人知人からの紹介・推奨」が最も多く、令和3(2021)年度調査では19.8%、令和4(2022)年度調査では25.0%と5.2ポイント増加した。一方、次いで多かった「地域や施設の公式webサイトの情報」は、令和3(2021)年度調査では28.4%、令和4(2022)年度調査では21.9%と6.5ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和3(2021)年度調査の27,882円から、令和4(2022)年度調査の28,145円に増加した。

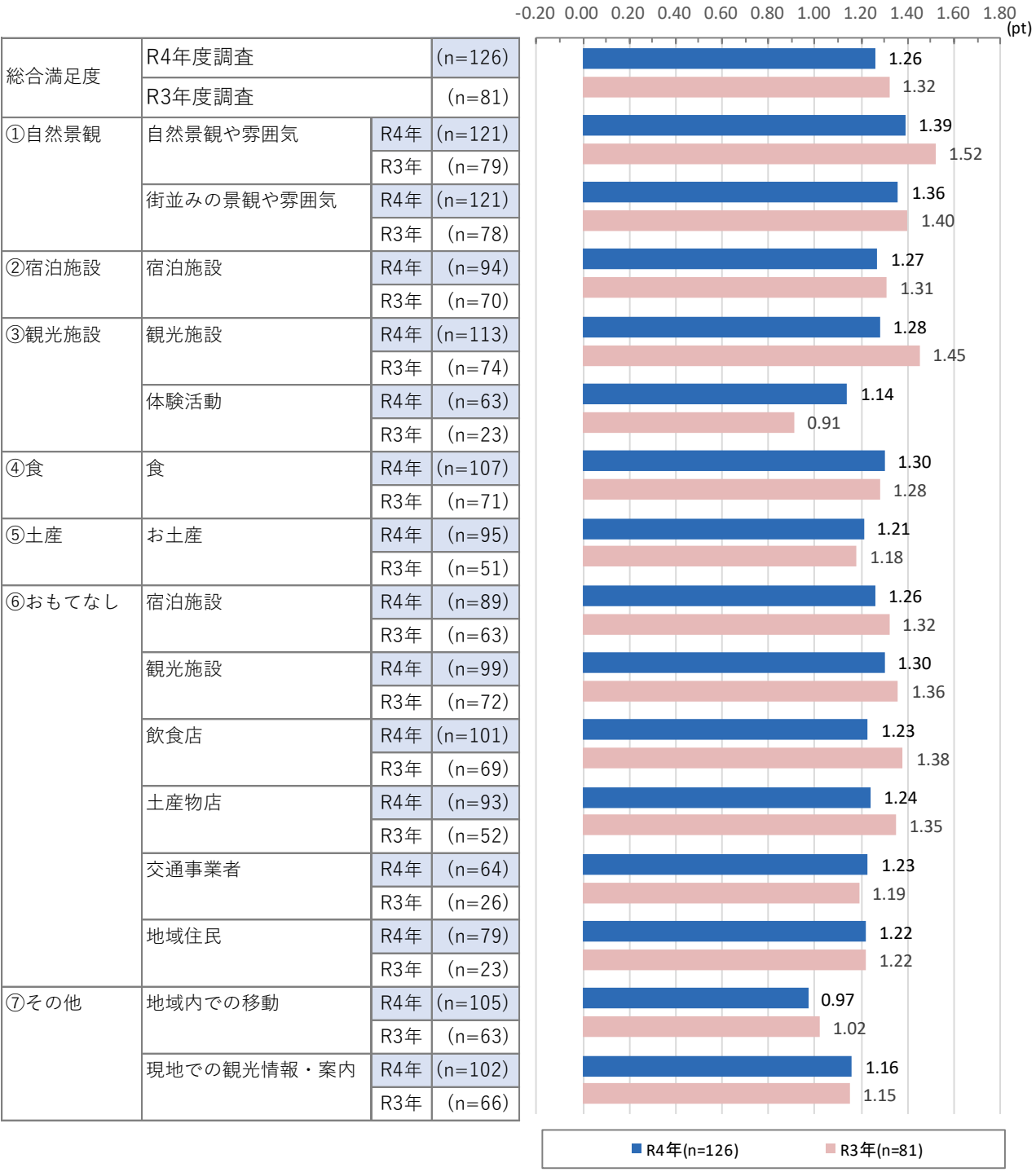
消費支出（総額）



第2章 観光客調査 調査結果
2. 宿泊客 (2)エリア別 iv. 県南エリア

総合満足度は、令和4（2022）年度調査では1.26と、令和3（2021）年度調査の1.32から微減であった。満足度を項目別にみると、令和3（2021）年度調査、令和4（2022）年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和3（2021）年度調査では1.52、令和4（2022）年度調査では1.39であった。

項目別満足度（加重平均値）



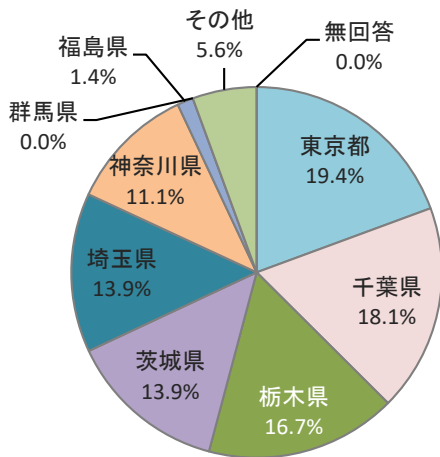
v. 県東エリア

① 令和4(2022)年度調査結果

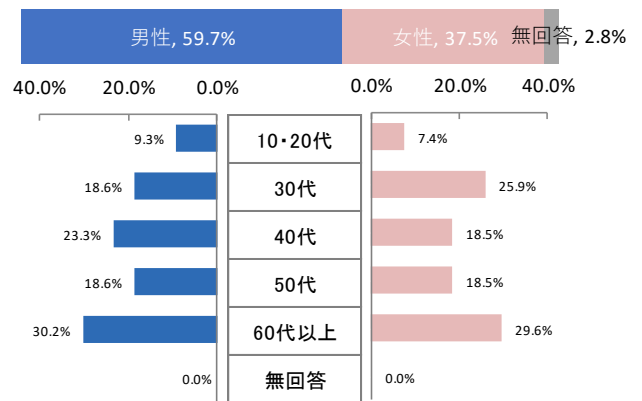
宿泊客(県東エリア) サンプル数: 72

お住まいは「東京都」が最も多く 19.4%、次いで「千葉県」が 18.1%、「栃木県」が 16.7%であった。年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、男性では 30.2%、女性では 29.6%であった。調査地域周辺への来訪回数は、「5回目以上」が 42.0%で最も多かった。同行者数は「2人」が 43.1%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 29.2%で最も多かった。

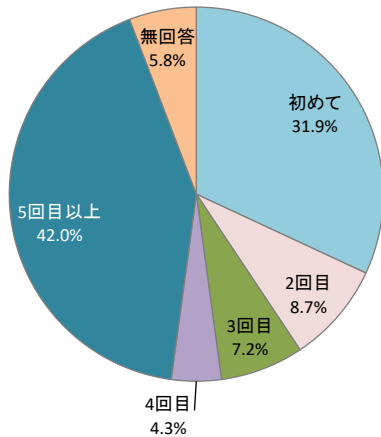
お住まい (n=72)



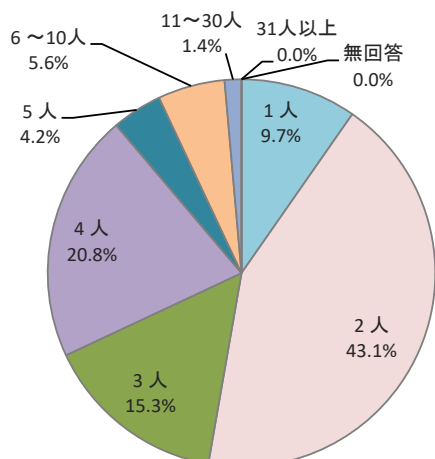
性別・年代 (n=72)



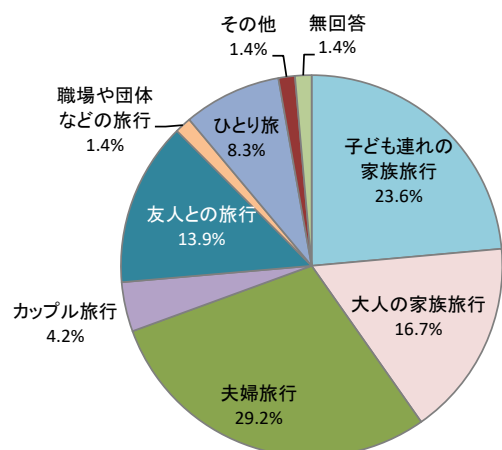
調査地域周辺への来訪回数 (n=69)



同行者数 ※回答者を含む (n=72)

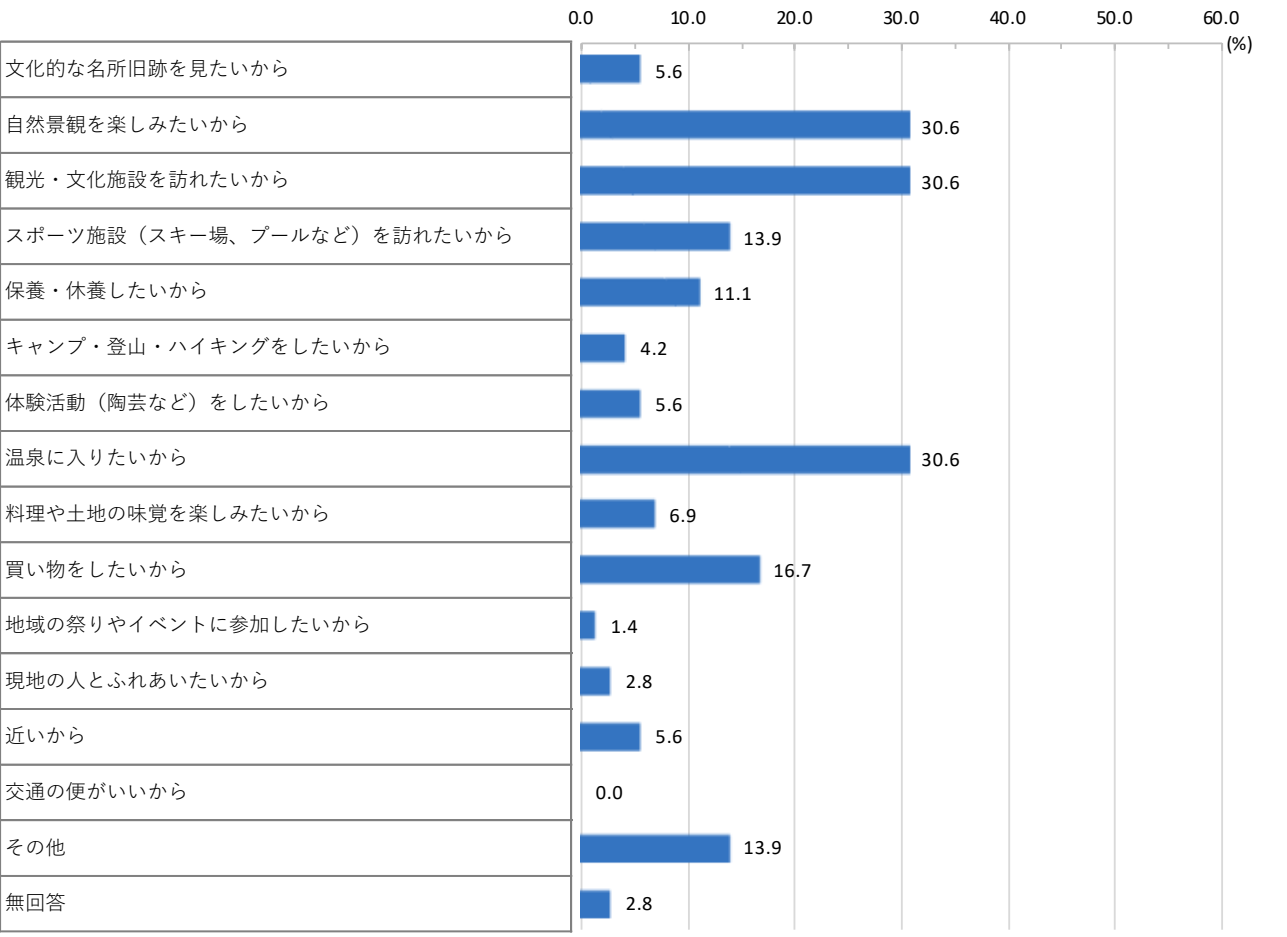


同行者の関係 (n=72)



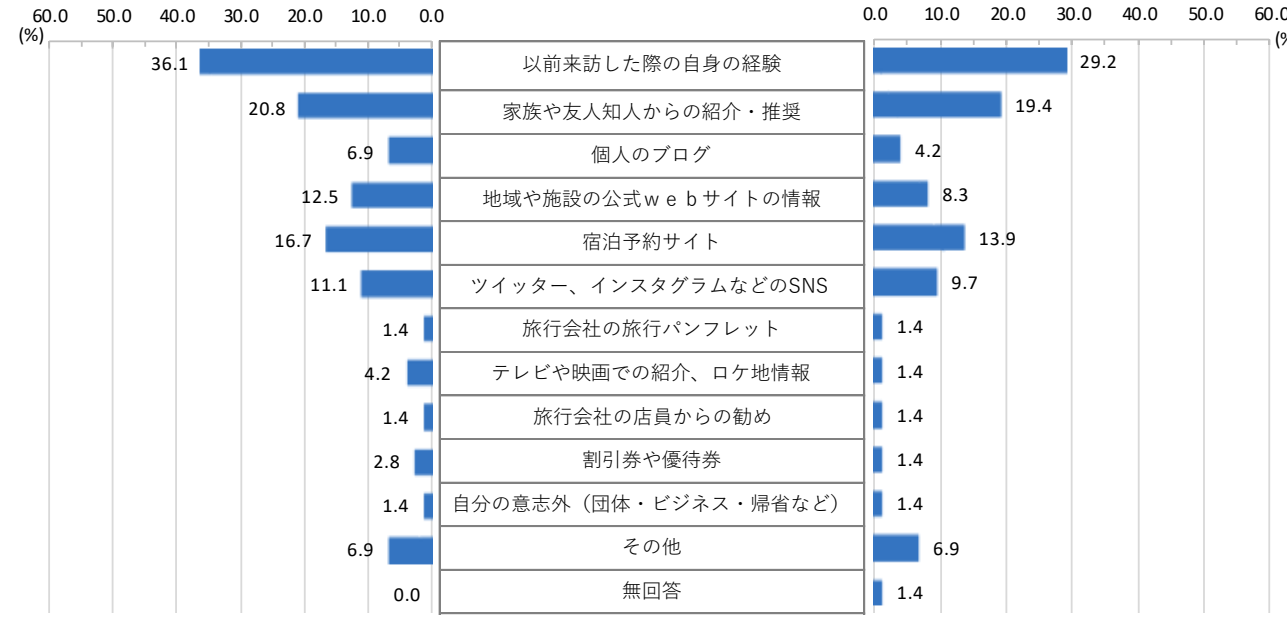
旅行先に選んだ理由は「自然景観を楽しみたいから」、「観光・文化施設を訪れたいから」、「温泉に入りたいから」がいずれも30.6%で最も多く、旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が36.1%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が29.2%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=72）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=72）

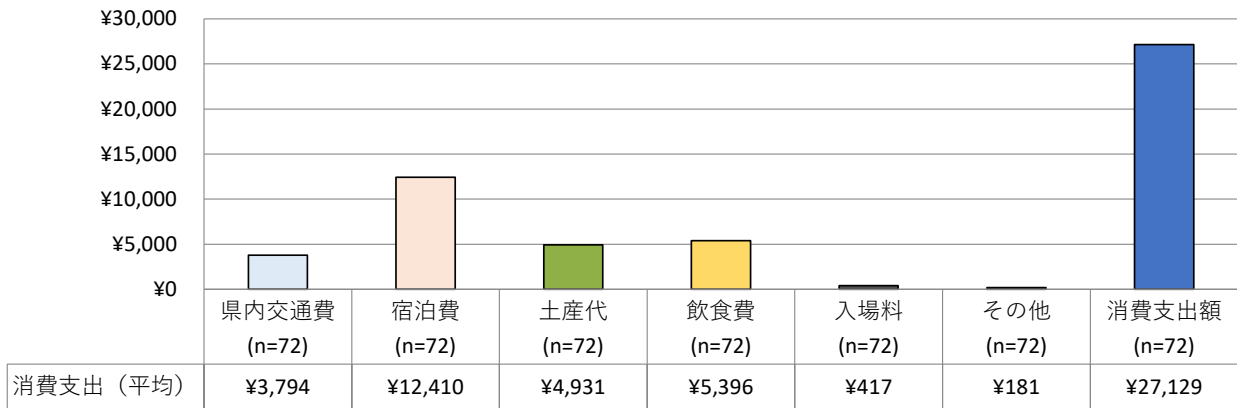
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=72）



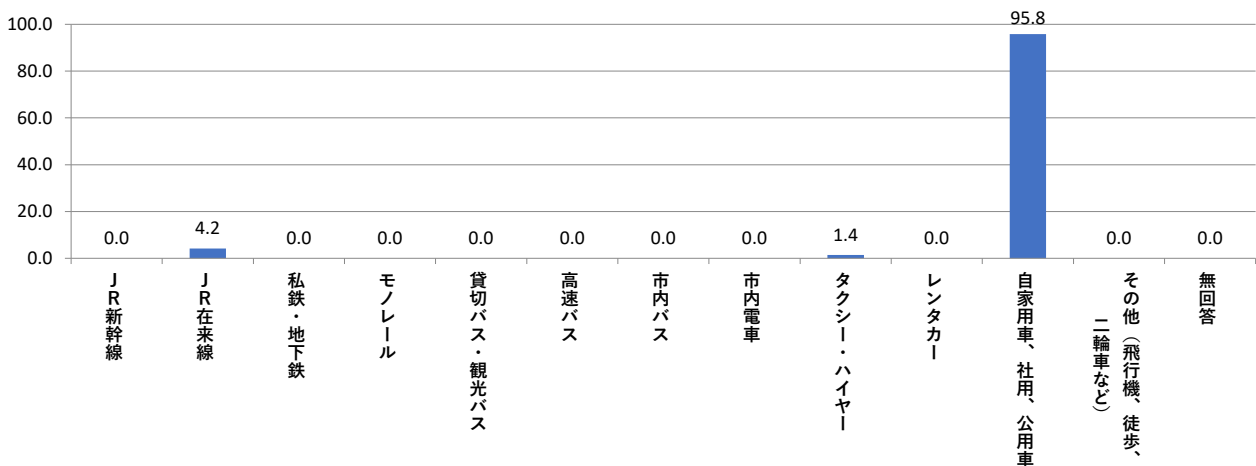
消費支出の平均は、総額で 27,129 円であった。内訳は、「宿泊費」が 12,410 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,396 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 95.8%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は他のエリアと比べて少なく、「道の駅しもつけ」、「いわふねフルーツパーク」の2人が最も多かった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=72）



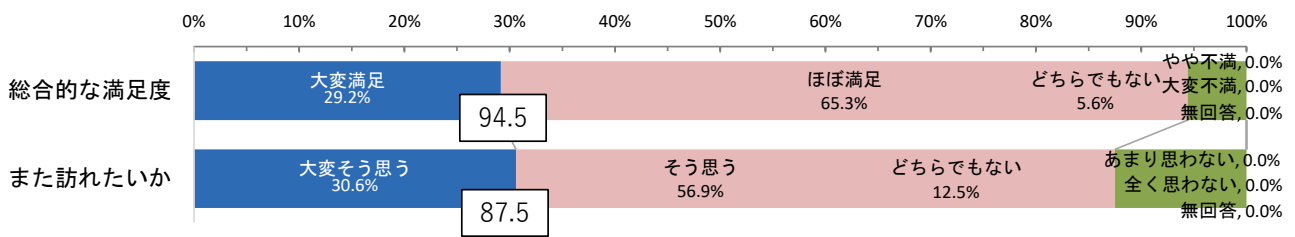
立ち寄り観光施設（n=72）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県東	塩原温泉郷(1)
モビリティリゾートもてぎ(1)	ホテルエピナール那須(1)
道の駅ましこ(1)	県央
日光	大谷資料館(1)
鬼怒川温泉(1)	県南
那須	道の駅しもつけ(2)
那須ガーデンアウトレット(1)	いわふねフルーツパーク(2)

※対象者が現在いる地点（調査地点）と立ち寄り観光施設に重複はなかった。

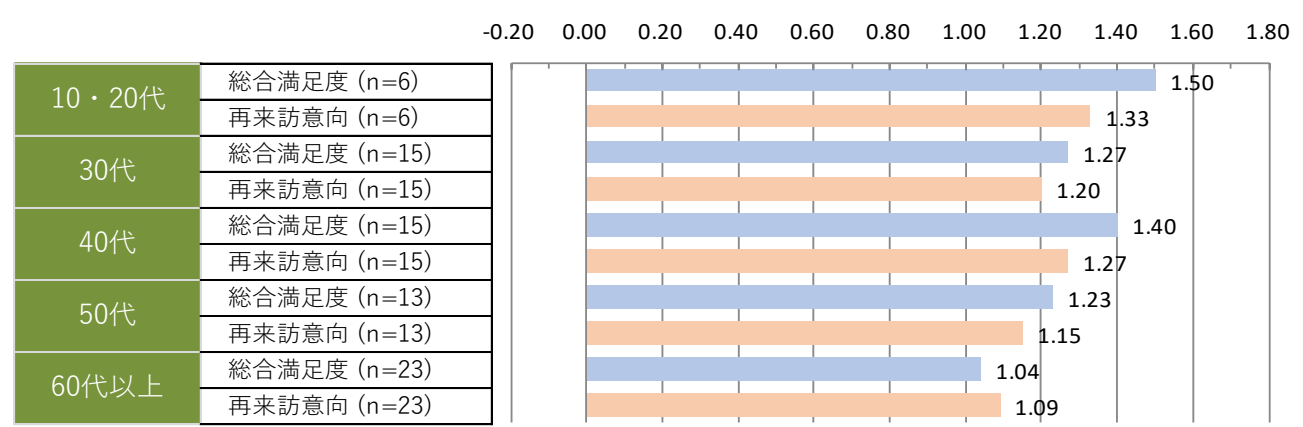
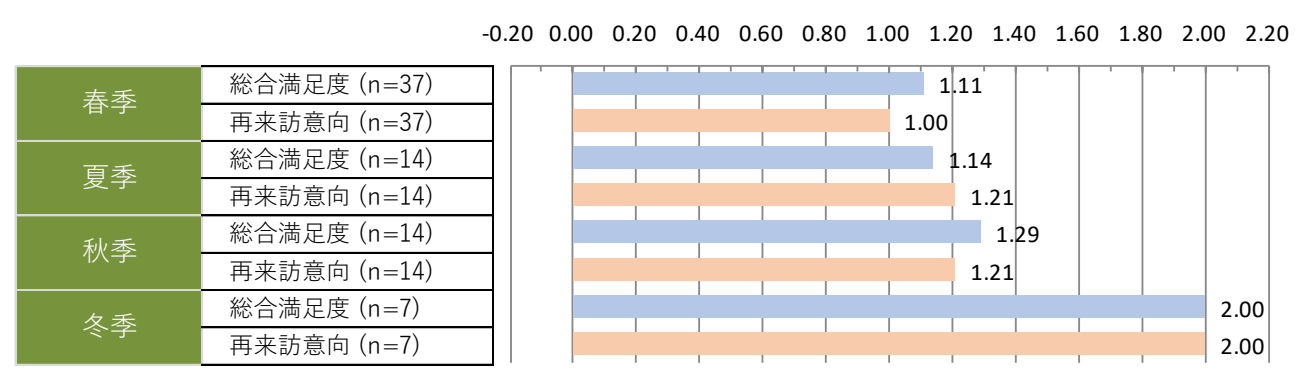
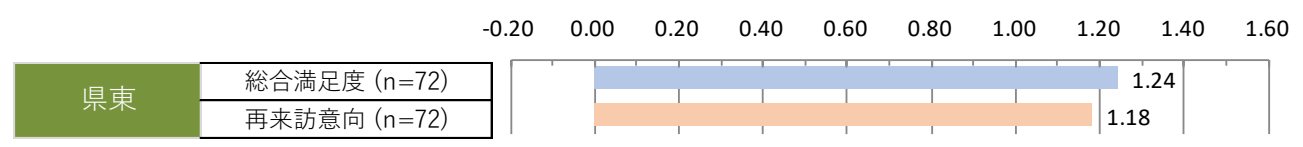
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が94.5%となった。また訪れたいかについては、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が87.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=72)



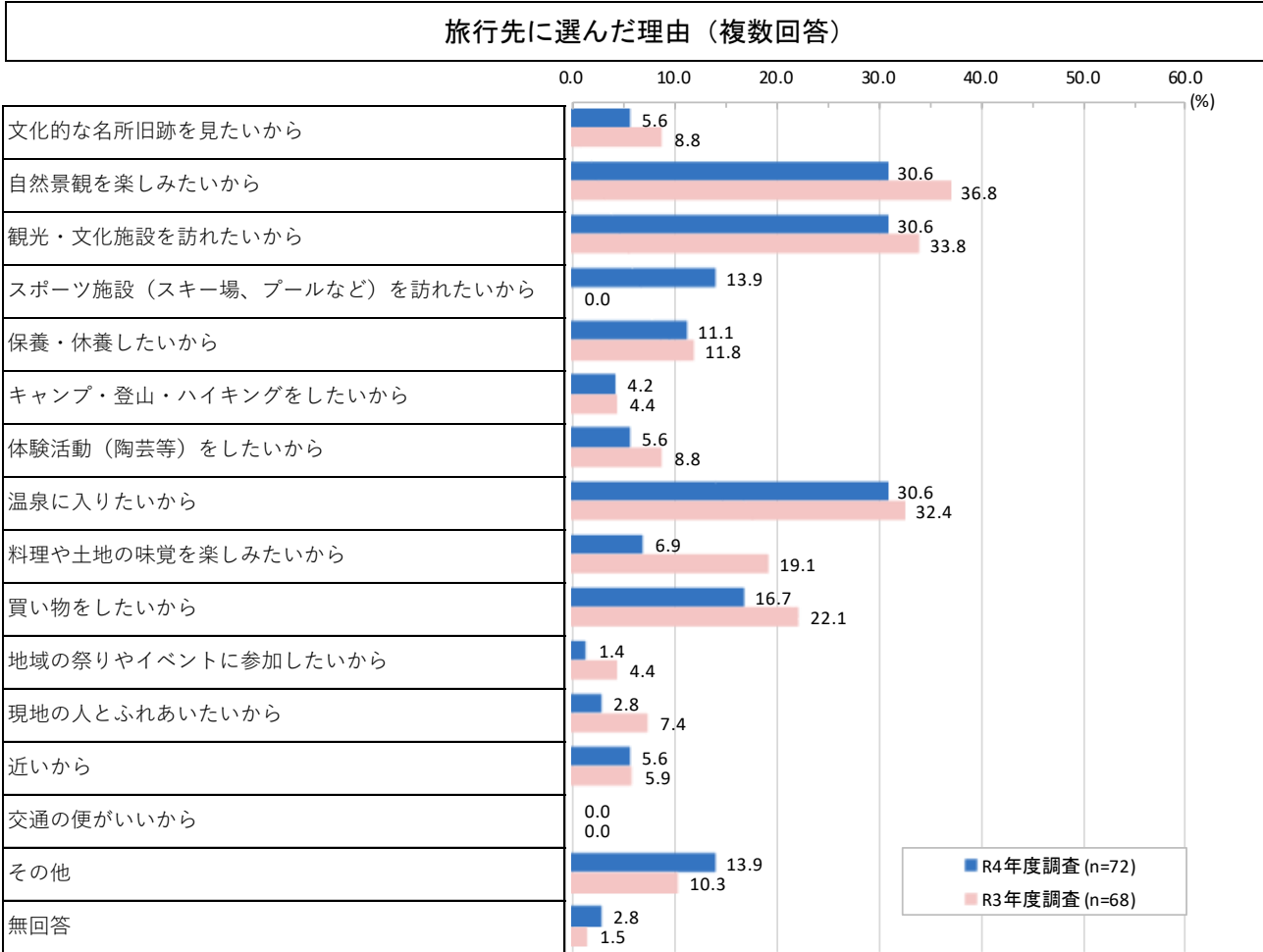
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が2.00で最も高く、「春季」が1.11で最も低かった。また、再来訪意向についても「冬季」が2.00で最も高く、「春季」が1.00で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.50で最も高く、「60代以上」が1.04で最も低かった。再来訪意向についても「10・20代」が1.33で最も高く、「60代以上」が1.09で最も低かった。

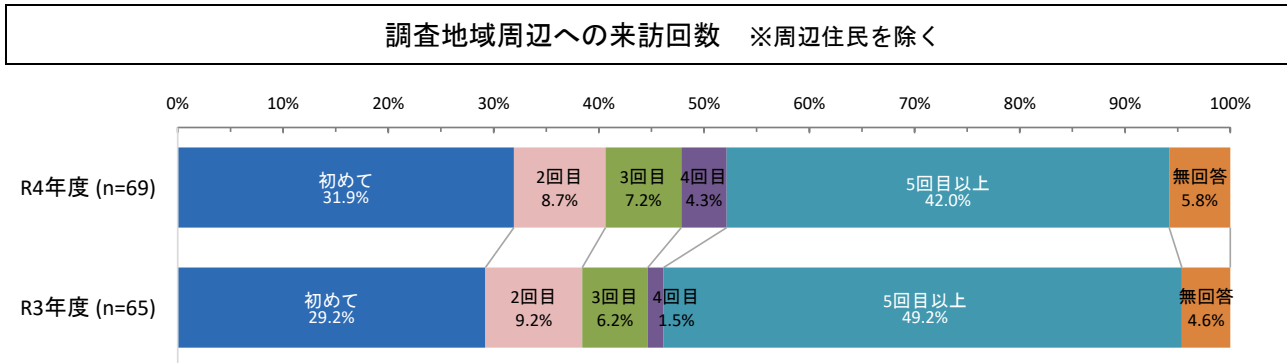


②過去調査との比較

旅行先に選んだ理由は、「自然景観を楽しみたいから」が令和3(2021)年度調査では36.8%、令和4(2022)年度調査では30.6%と6.2ポイント減少した。一方、「スポーツ施設(スキー場、プールなど)を訪れたいから」は、令和3(2021)年度調査で0.0%であったが、令和4(2022)年度調査では13.9%と大幅に増加した。

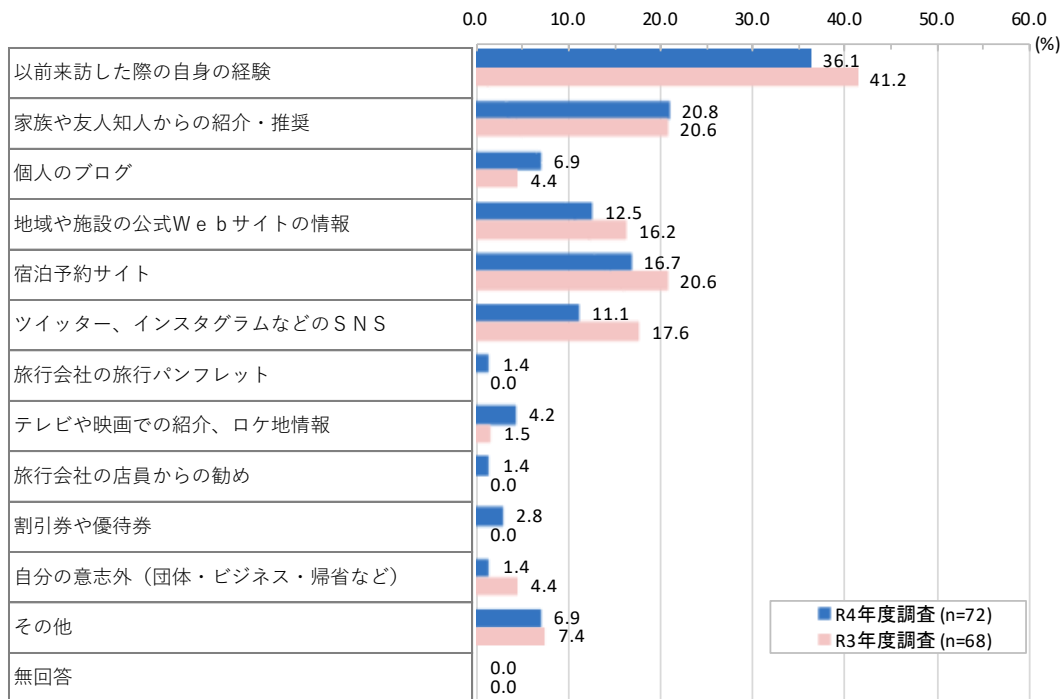


調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和3(2021)年度調査では29.2%であったが、令和4(2022)年度調査では31.9%と2.7ポイント増加した。一方、「5回目以上」は令和3(2021)年度調査では49.2%、令和4(2022)年度調査では42.0%と7.2ポイント減少した。



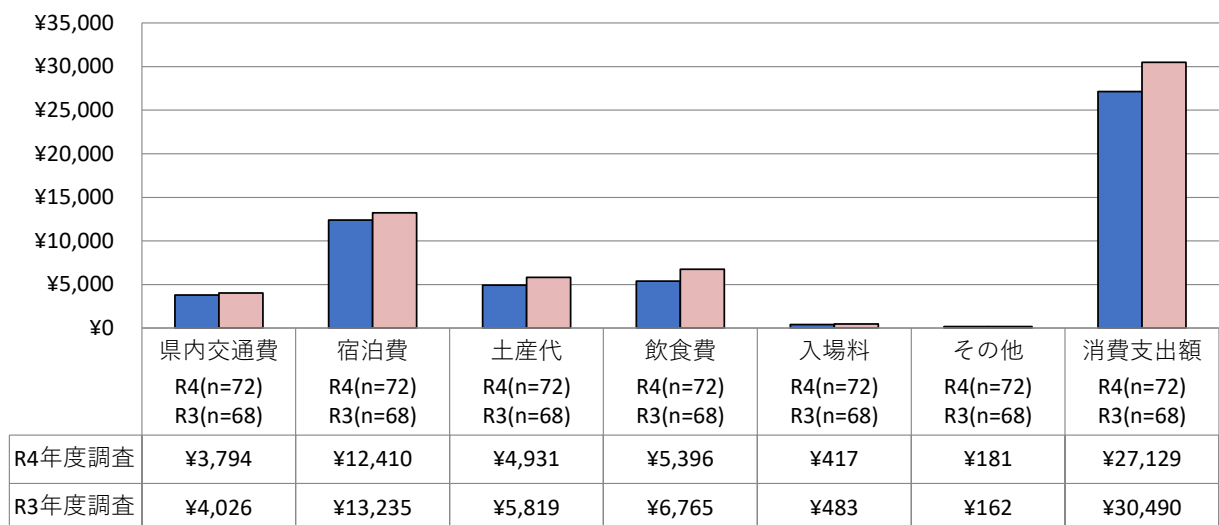
旅行先に選んだ情報源として最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」は、令和3（2021）年度調査では41.2%、令和4（2022）年度調査では36.1%と5.1ポイント減少した。
一方、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は、令和3（2021）年度調査では20.6%、令和4（2022）年度調査では20.8%と大差はみられなかった。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



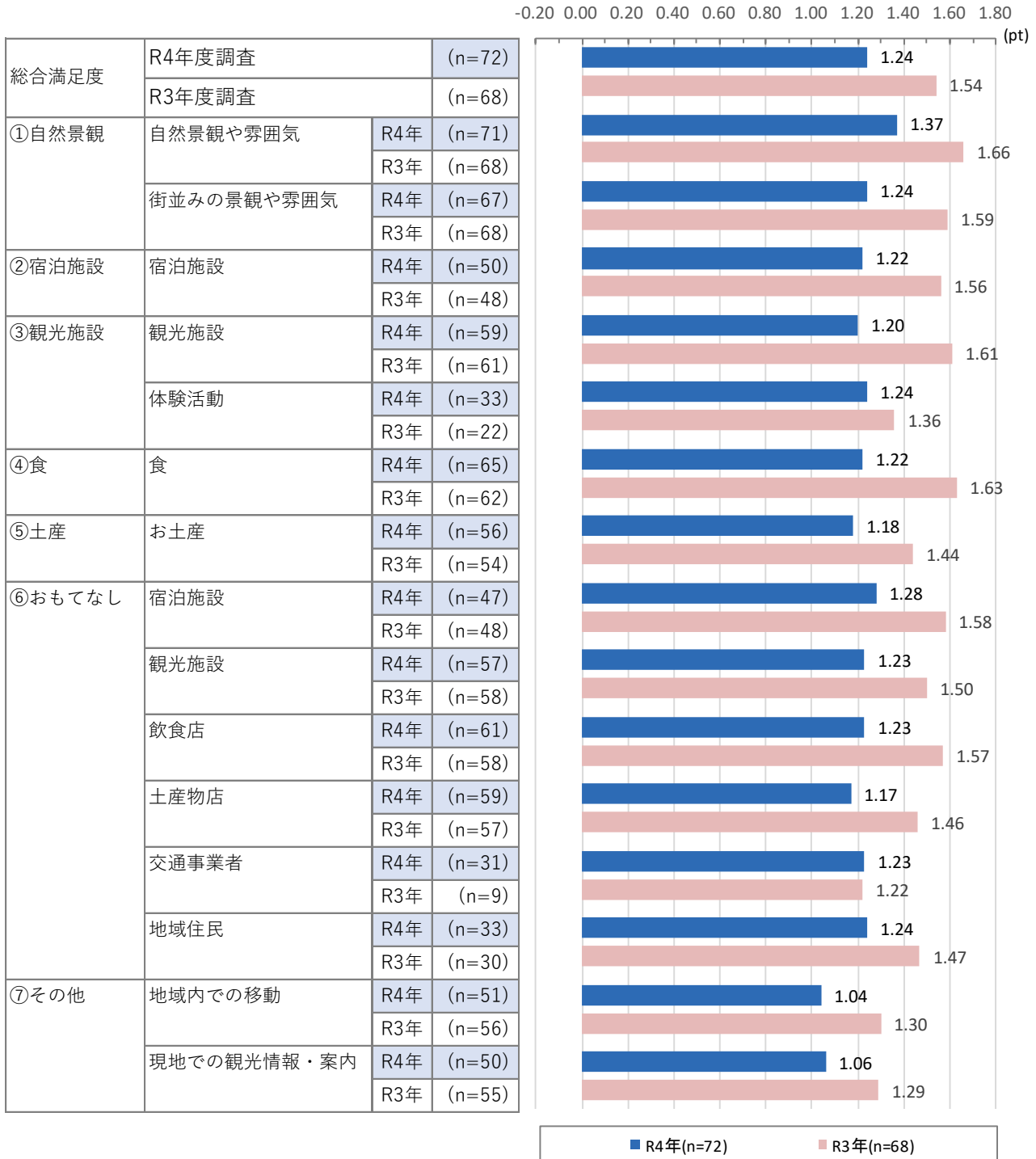
消費支出の総額は、令和3（2021）年度調査では30,490円であったが、令和4（2022）年度調査では27,129円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和3(2021)年度調査では1.54、令和4(2022)年度調査では1.24と0.30ポイント減少した。満足度を項目別にみると、令和3(2021)年度調査、令和4(2022)年度調査ともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、令和3(2021)年度調査では1.66、令和4(2022)年度調査では1.37であった。

項目別満足度 (加重平均値)



参考資料 調査票

令和 4(2022)年度 栃木県観光動態調査

ようこそ栃木県へお越しくださいました。今回のご来訪を心から歓迎いたします。
 本調査は、県内の観光地をより一層満足いただけるものとしていくために、観光客の皆様の声をお聞かせ
 いただくアンケート調査です。
 お手数ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

調査実施者：栃木県産業労働観光部観光交流課（電話028-623-3210）

※2人以上でいらしている場合には、どなたかお一人が代表してご記入ください。
 ※ 欄は具体的にご記入ください。その他は、該当する項目を選択してください。

問1. あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年代をお答えください。

お住まい	<input type="text"/> 都・道・府・県	<input type="text"/> 市・町・村	性別	1. 男性 2. 女性
年代	1. 10歳未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代	6. 50代 7. 60代 8. 70代 9. 80以上		

問2. 今回の旅行の栃木県内での滞在時間や宿泊数をお答えください。

・日帰りの方 → 栃木県での滞在時間 時間

・宿泊の方 → 全宿泊数 泊

うち 栃木県内での宿泊数 泊

↓

	宿泊地域	宿泊施設 (宿泊施設の分類は 下表から選択)
一泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>
二泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【表】 宿泊施設の分類

①実家や知人・親戚宅	②旅館	③ホテル	④ペンション・民宿
⑤保養所・研修所	⑥キャンプ場	⑦(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	
⑧別荘・リゾートマンション	⑨会員制の宿泊施設	⑩その他	

問3. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。該当するものに○をつけてください。※1つだけ

1. ビジネス	2. 観光
3. 帰省・知人訪問	4. (1~3のどれでもない) その他

問4. 現在いらっしゃる地域を旅行先に選んだ理由は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 文化的な名所旧跡を見たいから	2. 自然景観を楽しみたいから
3. 観光・文化施設を訪れたいから	4. スポーツ施設(スキー場、プールなど)を訪れたいから
5. 保養・休養したいから	6. キャンプ・登山・ハイキングをしたいから
7. 体験活動(陶芸など)がしたいから	8. 温泉に入りたいから
9. 料理や土地の味覚を楽しみたいから	10. 買い物がしたいから
11. 地域の祭やイベントに参加したいから	12. 現地の人とふれあいたいから
13. 近いから	14. 交通の便がいいから
15. その他 ()	

問5. 今回の旅行の同行者の人数、ご関係についてお答えください。

同行者 人（※自分を含む）

（該当するものに○をつけてください。※1つだけ）

1. 子ども連れの家族旅行 2. 大人の家族旅行 3. 夫婦旅行 4. カップル旅行
5. 友人との旅行 6. 職場や団体などの旅行 7. ひとり旅 8. その他

問6. 栃木県への来訪回数、現在いらっしゃる地域への来訪回数についてお答えください。

該当するものに○をつけてください。※1つだけ

（1）栃木県への来訪回数（※栃木県民の方は回答不要です。）

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上

（2）現在地周辺への来訪回数（※周辺住民の方は回答不要です。）

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上

問7. 今回の旅行で訪れた栃木県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。これから訪問する観光地についても予定をご記入ください。

※観光地は「栃木県観光マップ」を参考にご記入ください。また、交通機関は下表より番号をお選びください。

○居住地から調査地点まで

○調査地点から居住地まで

【表】交通機関

① J R新幹線	② J R在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他（飛行機、徒歩、二輪車など）		

問8. 今回の旅行で、栃木県の前に立ち寄った（又は後に立ち寄る予定の）都道府県があればご記入ください。

※交通機関は上表から選択

問9. 今回の旅行の一人当たりの費用(これから使う予定も含めて)を下欄の項目別にご記入ください。

※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、栃木県内分・栃木県外分を分けて記入してください。

※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が栃木県内分のみか、栃木県外分を含むかを選択してください。

	使用費用	
	栃木県内分	栃木県外分
①交通費	円	円
②宿泊費	円	
③土産代	円	
④飲食費	円	
⑤入場料	円	
⑥その他	円	
⑦パック料金	円	

問10. 現在いらっしゃる地域を選んだ際の情報源は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 以前来訪した際の自身の経験	2. 家族や友人知人からの紹介・推奨
3. 個人のブログ	4. 地域や施設の公式webサイトの情報
5. 宿泊予約サイト	6. ツイッター、インスタグラムなどのSNS
7. 旅行会社の旅行パンフレット	8. テレビや映画での紹介、ロケ地情報
9. 旅行会社の店員からの勧め	10. 割引券や優待券
11. 自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	12. その他()

問11. 問10の中で、選んだ“決め手”となったものを1つだけ選んで 内に記入してください。

問12. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の以下の項目の満足度はいかがでしたか。※それぞれ1つだけ

	大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
①自然景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
②街並みの景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
③宿泊施設	5	4	3	2	1	0
④観光施設	5	4	3	2	1	0
⑤体験活動	5	4	3	2	1	0
⑥食	5	4	3	2	1	0

		大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
⑦お土産		5	4	3	2	1	0
⑧おもてなし	宿泊施設	5	4	3	2	1	0
	観光施設	5	4	3	2	1	0
	飲食店	5	4	3	2	1	0
	土産物店	5	4	3	2	1	0
	交通事業者（バス・タクシー等）	5	4	3	2	1	0
	地域住民	5	4	3	2	1	0
⑨地域内での移動		5	4	3	2	1	0
⑩現地での観光情報・案内		5	4	3	2	1	0

問13. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の総合的な満足度はいかがでしたか。※1つだけ

大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
5	4	3	2	1

問14. 現在いらっしゃる地域へまた訪れたいと思いますか。※1つだけ

大変そう思う	そう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
5	4	3	2	1

問15. 以下の項目のうち、12都県と比べて、栃木県の魅力が1位だと感じるものを教えてください。※いくつでも

（宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県）

1. 魅力的な観光スポット・イベントがある	2. 魅力的な宿泊施設がある
3. 魅力的な温泉がある	4. 魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く）
5. 魅力的な自然・景観がある	6. 街歩きが楽しめる
7. 買い物が楽しめる	8. スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど）
9. アウトドアが楽しめる （登山、釣り、自転車、川遊びなど）	10. 各種体験が楽しめる （農業体験、フルーツ狩り、手作りなど）
11. 魅力的なレジャー施設がある （遊園地、テーマパークなど）	

（回答終了日時： 月 日 時 分）

☆☆ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。☆☆